カラーレーザビームプリンタ

COLOR LASER SHOT

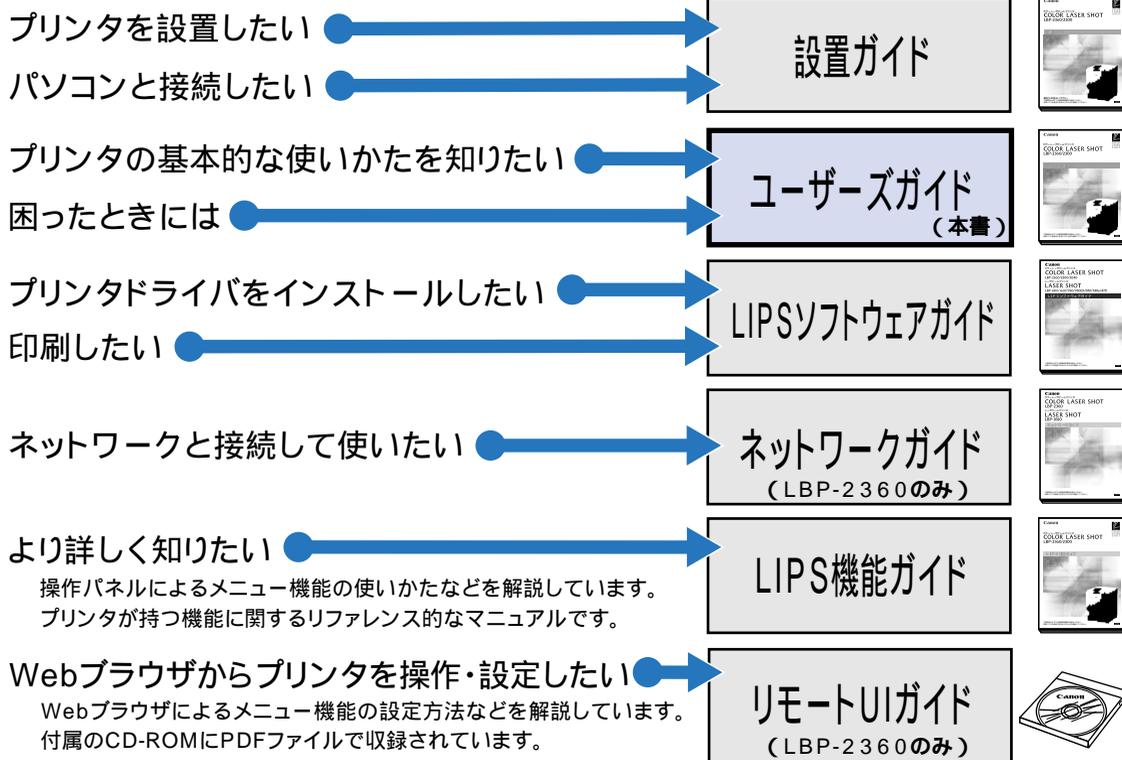
LBP-2360/2300

ユーザーズガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

マニュアルの構成について

キヤノン　COLOR LASER SHOT LBP-2360/2300をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本プリンタには、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本プリンタを十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も大切に保管しておいてください。

＊上記はLBP-2360の表紙例です。

その他のマニュアル

＊別売のマニュアルやオプション品のお求めについては販売店にご相談ください。

LIPS対応のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。

プログラマーズマニュアル（別売）

オプション品に付属されております取扱説明書は、本プリンタ専用には記載されておりません。オプション品を本プリンタと併せてご使用になる場合は、本プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

オプション品に付属のマニュアル

●本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
●本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

ユーザーズガイドの使いかた

第1章　プリンタの使いかた　必ずお読みください　1

プリンタを使うときの操作や必要な準備、設定のしかたについて説明しています。

第2章　給紙・排紙のしかた　必ずお読みください　2

使用できる用紙や給紙のしかた、OHPフィルム／光沢フィルムへのプリントのしかた、給紙元／排紙先の選択などを説明しています。

第3章　日常のメンテナンス　必要に応じてお読みください　3

トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換、プリンタのお手入れなど、日常のメンテナンスについて説明しています。

第4章　困ったときには　必要に応じてお読みください　4

紙づまりが起こったときの処理方法など、トラブルが起こったときの対処方法を説明しています。

付　録　必要に応じてお読みください　付録

オプション品の紹介や、仕様、用語集、索引をまとめています。

目次

第 1 章　プリンタの使いかた

第 2 章　給紙・排紙のしかた

第 3 章　日常のメンテナンス

第 4 章　困ったときには

付 録

COLOR LASER SHOT LBP-2360/2300の特長

高品位A3フルカラープリント

印字機構にA3カラーレーザプリンタエンジンを搭載。さらにデータ処理解像度を600dpi／多値処理とすることで、高画質フルカラープリンティングをA3サイズで実現しました。また、データ量が白黒に比べて格段に大きいフルカラーに対応するために、メモリ効率化技術MaxiMemを大幅に向上させました。フルカラー高画質を標準メモリで実現します。

高速プリント

高性能RISCプロセッサや「スーパー・レーザショット・チップ」などの強力なハードによりコントローラ処理時間の高速化を実現。A4モノクロ毎分24枚、A4フルカラー毎分6枚の高速プリントを実現しました。さらにキヤノン独自のTypeWing機能により、TrueTypeフォントの高速出力とパソコンの開放時間の短縮を可能にしました。

多彩なペーパーハンドリングとペーパーマテリアルの充実

3種類のペーパーデッキや7ビンソータ、本体内蔵タイプの両面ユニットなど、ペーパーハンドリングオプションも充実。最大3100枚の自動給紙や最大1240枚の積載が可能になります。
印字機構に中間転写方式の採用により、普通紙、OHPフィルムをはじめ、厚紙、ラベル紙、ハガキ、封筒、光沢フィルムなどの特殊用紙へのプリントにも対応可能。オフィスのあらゆるカラープリントニーズに応えられます。また、手差し両面プリントにも対応しています。

イージーメンテナンス

C、M、Y、Kの4色のトナーカートリッジとドラムカートリッジの5種類のカートリッジにより、トナーやドラムが手を汚すことなく簡単に交換できます。シリコンオイルも不要になり、さらに取り扱いが簡単になりました。
また、電源投入直後や温度、湿度などの環境の変化に応じて最適なトナー濃度を自動的に制御する「Color Stabilizer」機能（キャリブレーション）により常に安定した画質を実現するなど、手軽にフルカラー高画質を楽しめます。

ユーザフレンドリー

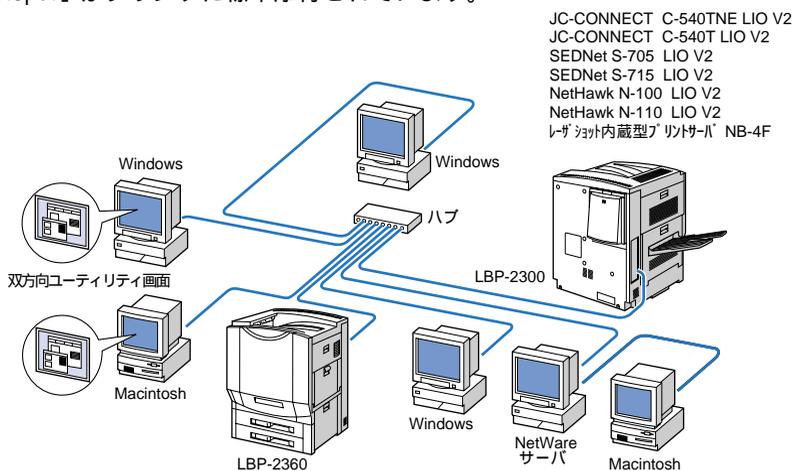
プリンタをより使いやすくするソフトウェアを用意しました。
印刷したい設定をメニューで簡単に選択できる「お気に入り」機能や、複数ページ印刷機能、製本作業を容易にした「仕上げ」等、機能満載のLIPS IVドライバを同梱しています。
また、パソコン上でローカルおよびネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot」と、プリンタの状態や印刷状態、自分の印刷が終わったかどうかをパソコン画面に知らせてくれる印刷終了通知等の機能を持った印刷ユーティリティソフトウェアの「NetSpot Job Monitor」を同梱しています。

簡単操作のカラーコントロール

サムネイルを使ったユーザーインタフェースにより直観的でわかりやすい色調整を実現。しかも9種類の色調整画像サンプルを1枚の用紙に出力するカタログプリント機能により好みの色を簡単・確実に確認できます。
また、カラーページを自動的に判別するオートカラー機能により、白黒モードとカラーモードをいちいち切り替える必要がなくなりました。もちろん期待通りの色再現を実現する、キヤノン独自のカラーマネジメントシステム「ColorGear」も搭載。ドキュメントを構成する文字、写真、絵の各要素毎に最適な色補正を行うカラーマッチングを簡単操作で実現しています。

ネットワーク対応プリンタ

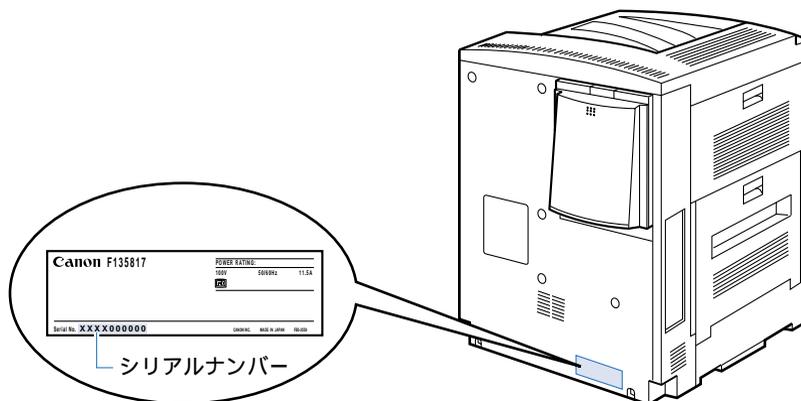
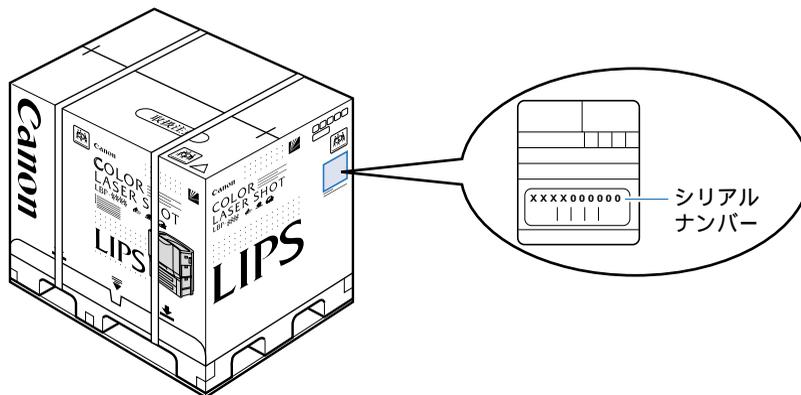
LBP-2360はプリントサーバを標準装備（LBP-2300はオプション）しており、Ethernetのネットワークプリンタとして使用できます。IPX/SPX、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、EtherTalkのマルチプロトコル対応により、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare®など幅広い使用環境に対応します。
また、ネットワークとプリンタの管理やプリンタの設定操作を簡単に行える専用ネットワーク管理ソフト「NetSpot」がプリンタに標準添付されています。

メモ

●本プリンタに付属されているソフトウェアの対応OS、インストールのしかたや詳細については、付属の「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守やサービスをお受けになるときは、シリアルナンバー（Serial No.）が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

●シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

●本体背面

●梱包箱外側

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の読みかた

■マークについて

本書では、絶対にしないでいただきたいことや注意していただきたいこと、参考にしていただきたいことの説明には、次のようなマークを付けています。これらのマークの箇所は必ずお読みください。

警告

●取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

●取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

●操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

●操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

■キーの表記について

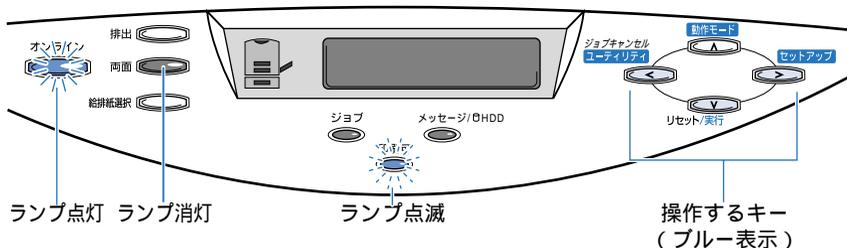
本書の説明文中で、操作パネルのキーを表すときは、キーの名称を ◯ の枠で囲んでいます。

例）(オンライン)：操作パネルの「オンライン」キーを表しています。

■イラスト／画面例について

本書の説明文中では、LBP-2360のイラストを例に説明しています。イラストや画面例が、ご使用の機械と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。LBP-2300の標準状態では、カセット1、プリントサーバおよびLANコネクタはありません。（ただし、LBP-2300にオプションを取り付けると、カセット1やプリントサーバが使用可能となります。）
また、HDDランプはLBP-2300にはありません。

■イラスト内のキーやランプ表示について

本書の説明文中に使用している操作パネルのイラストで、ランプの状態は次のように表しています。

■略称について

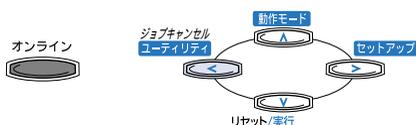
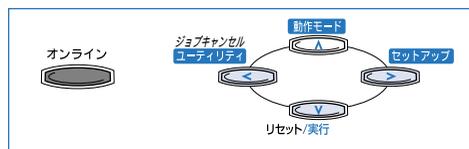
本書では、米国マイクロソフト社のMicrosoft® Windows®をWindowsと記述しています。米国Novell, Inc. の NetWare を NetWare と記述しています。
COLOR LASER SHOT LBP-2360 を LBP-2360、COLOR LASER SHOT LBP-2300 を LBP-2300、キヤノンレーザショット内蔵型プリントサーバ NB-4F をプリントサーバ NB-4F と記述しています。

*** NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。Microsoft® Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。**

■操作手順について

本書の説明で、手順通りに操作していただきたいところには番号を表示しています。
必ず番号順に操作をしてください。
わかりにくいイラストには、拡大図や補足説明などを付けています。

■ディスプレイの表示について

操作の説明で、ディスプレイの表示と連動するところには、ディスプレイの画面例を表示しています。

■プリンタドライバの画面について

操作の説明で、プリンタドライバの設定は、Windows 95/98/Me用プリンタドライバVersion8.3xを例に記載しています。

1

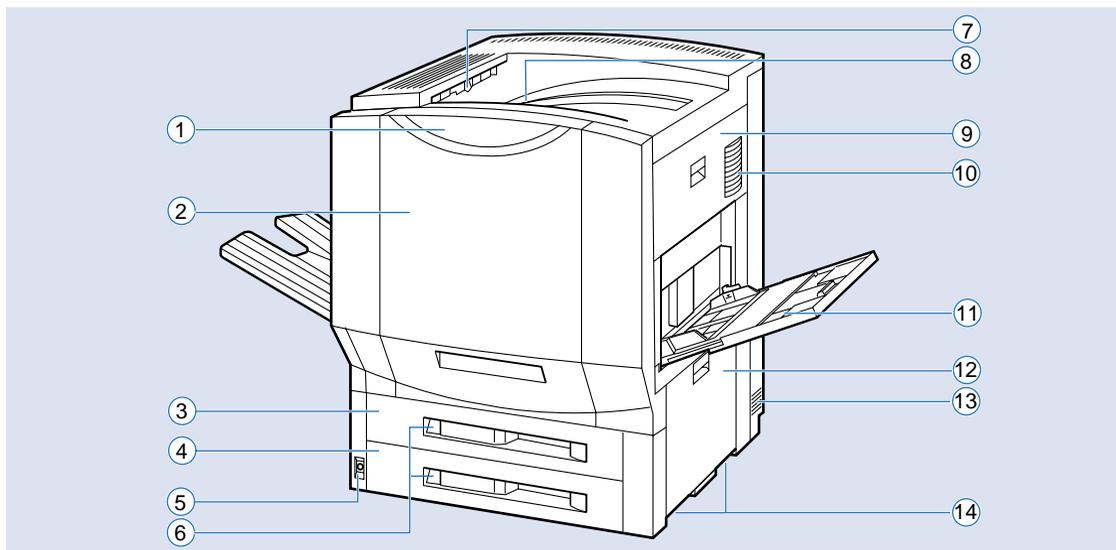
アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

各部の名称と機能

本プリンタは、いろいろな機能を持つ部品で構成されています。本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

プリンタ本体

■前面

① 操作パネル
プリンタの動作や状態を表示したり、機能の設定をします。**(→ P.22)**

② 前ドア
トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換、紙づまりを除去するときにここを開けて作業します。**(→ P.128, 132, 141, 186)**

③ カセット 1（LBP-2300 はオプション）
最大 500 枚までの A4、B4、レター、リーガルサイズの普通紙をセットします。**(→ P.77)**

④ カセット 2
最大500枚までのA4、B4、A3、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙をセットします。**(→ P.77)**

⑤ 電源スイッチ
プリンタの電源をオン／オフします。**(→ P.32)**

⑥ 用紙サイズ表示板差し込み口
給紙カセットの用紙サイズ表示板をセットします。**(→ P.81)**

⑦ 用紙積載センサー
排紙トレイの満載を検知します。**(→ P.71)**

⑧ 排紙トレイ（フェースダウントレイ）
プリントされた用紙が下向きで排紙されます。**(→ P.69)**

⑨ 右上カバー
プリンタ内部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。**(→ P.180, 186)**

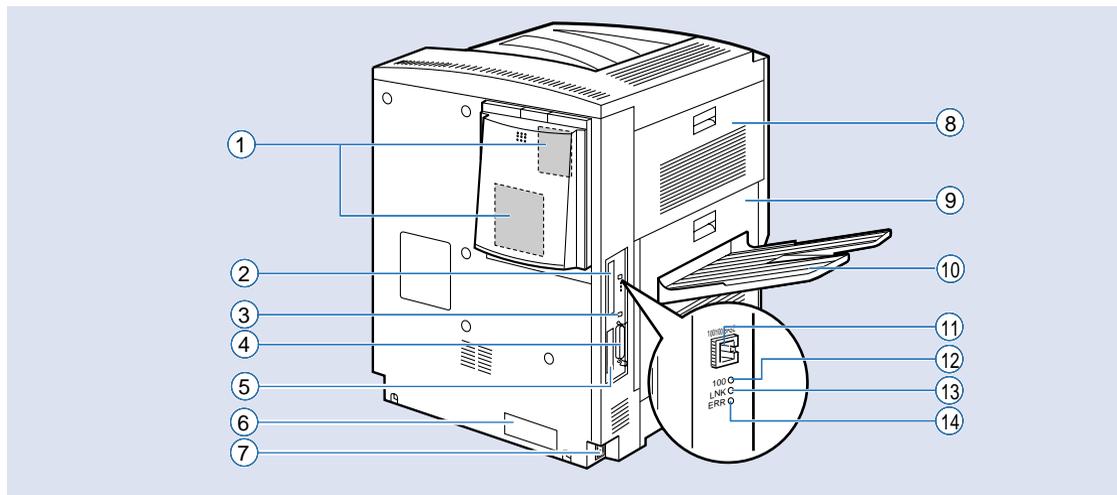
⑩ 排気口
プリンタ内で発生したオゾンが除去されて空気が出てくる排気口です。内部にオゾンフィルタが入っています。**(→ P.164)**

⑪ 給紙トレイ（開いた状態）
給紙カセットにセットできないサイズの用紙やOHPフィルム、封筒などをセットします。**(→ P.93)**

⑫ 右下カバー
給紙部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。**(→ P.179)**

⑬ 吸気口
プリンタ内部冷却用の吸気口です。

⑭ 運搬用取っ手
プリンタを運ぶときにここを持ちます。**(→ P.160)**

■背面

① 排気口
プリンタ内部冷却用の排気口です。中にフィルタが入っています。定期的に清掃してください。

② 拡張ボードスロット
オプションの内蔵型プリントサーバなどを取り付けます。

③USB コネクタ
コンピュータがUSBインタフェースに対応しているときに、ここへ接続します。

④ パラレルコネクタ
セントロニクス準拠の双方向通信対応パラレルインタフェースです。パソコンのプリンタポートとこのコネクタをプリンタケーブルで接続します。**(→ P.259)**

⑤ オプションコントローラスロット
オプションのオプションコントローラボードを取り付けます。

⑥ 定格銘板ラベル
プリンタ識別のためのシリアルナンバー(Serial No.)が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値(11.5A)は、最大消費電流です。**(→ P.8)**

⑦ 電源コード差し込み口
電源を取るときに、付属の電源コードやアース線をここに接続します。

⑧ 左上カバー
排紙部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。**(→ P.182)**

⑨ 左下カバー
排紙部や定着ユニット部、両面ユニット部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。**(→ P.191)**

⑩ サブ排紙トレイ(フェースアップトレイ)
プリントされた用紙が上向きで排紙されます。**(→ P.69)**

⑪LAN コネクタ(LBP-2360のみ)
10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル接続部です。

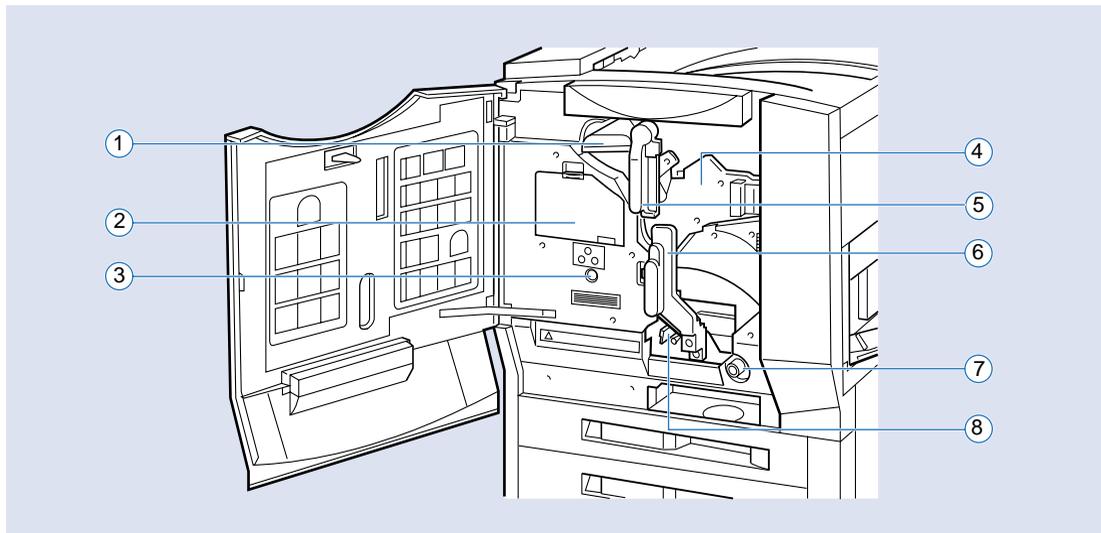
⑫100 ランプ(LBP-2360のみ)
プリントサーバが100BASE-TXでネットワークに接続されているときに点灯します。10BASE-T接続の場合は点灯しません。

⑬LNK ランプ(LBP-2360のみ)
プリントサーバがネットワークに正しく接続されているときに点灯します。

⑭ERR ランプ(LBP-2360のみ)
プリントサーバが正常に動作していないときに、点灯または点滅します。

注意

● 本体の排気口や吸気口を壁や物でふさがないように注意してください。本体の排気口や吸気口がふさがれると、本体内部に熱がこもり、プリント品質の低下や故障の原因になることがあります。

■前ドア内部

① K（ブラック）トナーカートリッジ
K（ブラック）トナーがなくなったときは、このカートリッジを交換します。**(→ P.128)**

② カラーカートリッジカバー
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のカラートナーカートリッジを交換するときにこのカバーを開きます。**(→ P.133)**

③ トナーカートリッジ交換ボタン
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のカラートナーカートリッジ交換時に、このボタンを押して交換するカートリッジを選択します。**(→ P.133)**

④ ドラムカートリッジ
プリント時に、トナーを中間転写体ユニットに転写（一次転写）する重要な部品です。**(→ P.141)**

⑤ ロック解除レバー（青）
K（ブラック）トナーカートリッジやドラムカートリッジを取り出すときに右上に押し上げます。**(→ P.128, 141)**

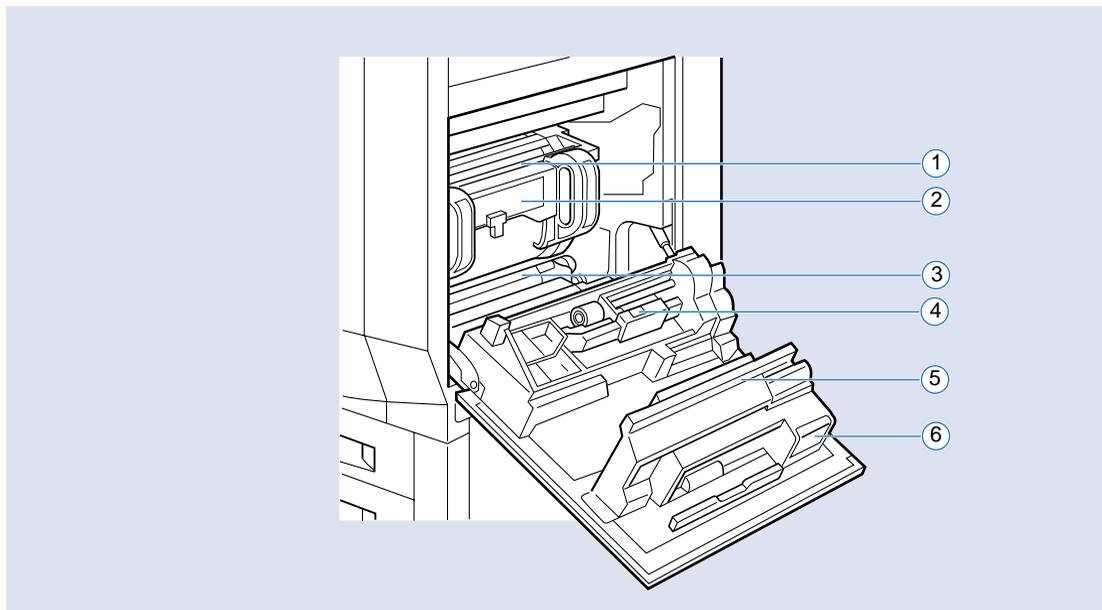
⑥ ロック解除レバー（緑）
ドラムカートリッジや中間転写体ユニットを取り出すときに、右下へ倒します。ロックボタンが付いています。**(→ P.141)**

⑦ 用紙送りつまみ
レジストローラ付近につまった用紙を取り除くときに、このつまみを回して奥へ送ります。**(→ P.186)**

⑧ 分離除電ユニット
分離による画像の乱れを防ぐ部品です。ドラムカートリッジ交換時に清掃してください。**(→ P.148)**

お願い

● ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリントの品質が低下します。必要なとき以外は取り出さないでください。

■右上カバー内部

① 帯電ユニット

中間転写体ユニット上のトナーを用紙に転写（二次転写）するための重要な部品です。ドラムカートリッジの交換時に清掃してください。
（→ P.150）

② 中間転写体ユニット

ユニット内のドラム表面上に4色のトナーを転写（一次転写）し、フルカラーイメージを形成する重要な部品です。**（→ P.150, 187）**

お願い

● ドラムの表面が汚れたりキズが付くと、性能が劣化し、プリントの品質が低下します。紙づまりの除去などで取り出すときは慎重に取り扱ってください。

③ 転写ガイド / レジストローラ

転写ベルトに用紙を送る重要な部品です。ここに紙粉がたまると、紙づまりの原因になります。トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時に清掃してください。
（→ P.152）

④ 濃度センサー

カラープリントの品質を管理する重要な部品です。汚れるとプリントの品質が低下します。トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時に、付属のブラシで清掃してください。
（→ P. 151）

⑤ 前露光ランプ

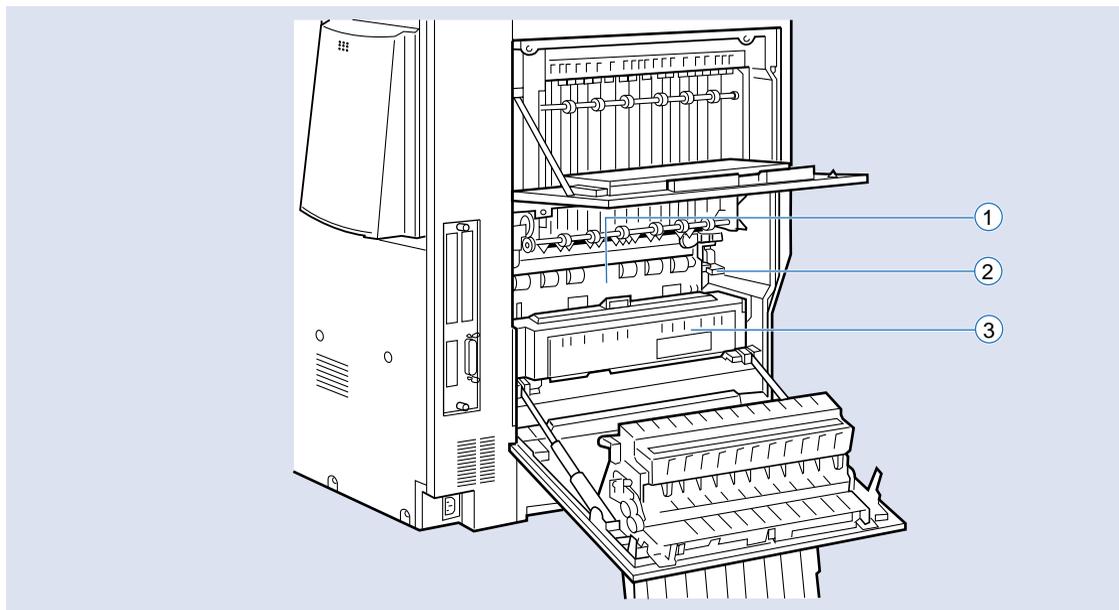
ドラムカートリッジ内の感光ドラム表面の残留電荷を除去するための重要な部品です。ドラムカートリッジの交換時に清掃してください。
（→ P. 152）

⑥ オゾンフィルタ

プリンタ内部で発生するオゾンの大気中への放出を防止するフィルタです。定期的にサービスマンによる交換が必要です。**（→ P. 164）**

お願い

● 絶対にオゾンフィルタを取り外したままでプリンタを使用しないでください。

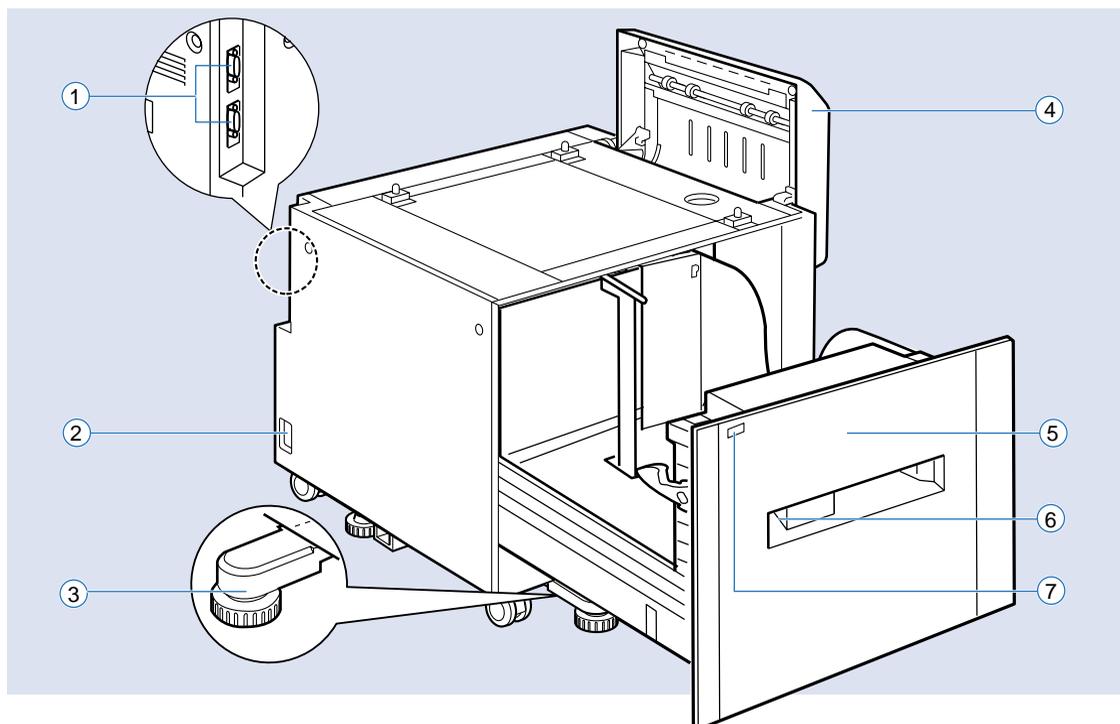
■左カバー内部

① 定着ユニット
トナーを用紙に定着させる装置です。プリント中は非常に高温になっています。

② 加圧解除レバー
トナーを用紙に定着させるための圧力を解除するレバーです。定着ユニット内部につまった用紙を取り出すときなど、このレバーを解除位置まで持ち上げます。**（→ P.193）**

③ 両面ユニット
本プリンタで両面プリントするためのオプションです。**（→ P.116, 194, 249）**

注意

●プリンタを使用した直後は、定着ユニットが非常に高温になっています。本書で指示されている部分以外は手を触れないでください。万一触れると、やけどなどの恐れがあります。

2000 枚ペーパーデッキ

① オプションコントローラコネクタ
オプションをコントロールするためのケーブルを接続します。上側の15ピンコネクタは、本体のオプションコントローラコネクタと接続します。下側の14ピンコネクタは、他のオプションがある場合に接続します。

② 電源コード差し込み口
付属の電源コードとアース線をここに接続します。

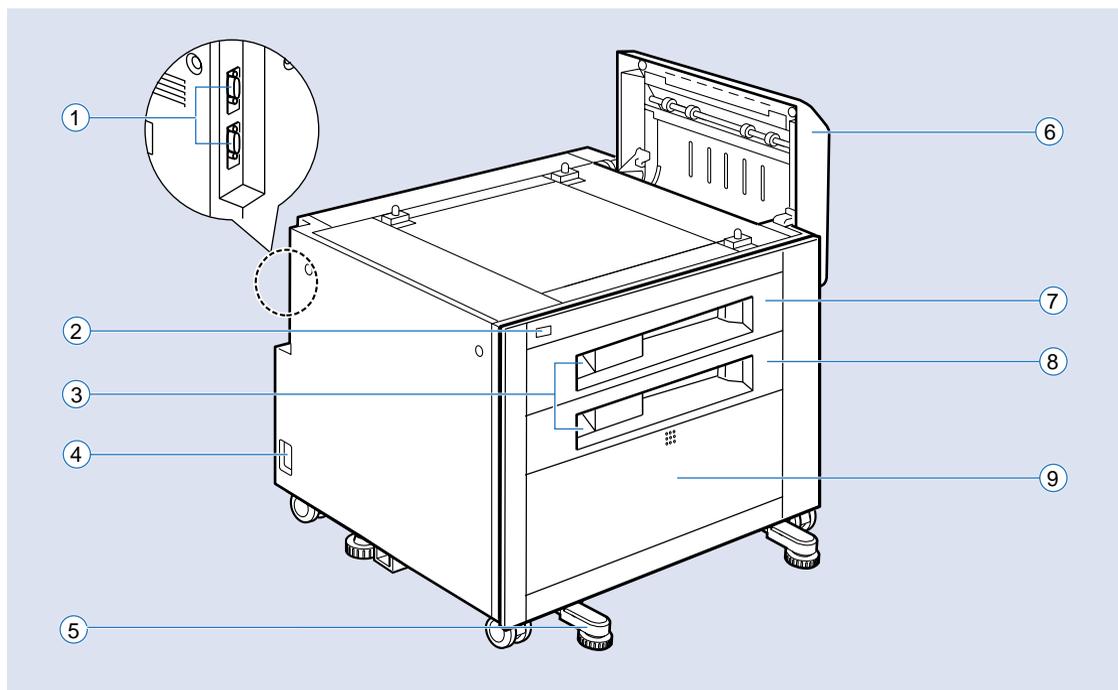
③ 転倒防止脚
2000枚ペーパーデッキを安定させるための補助脚です。**(→ P.161)**

④ 搬送路カバー
用紙を2000枚ペーパーデッキから本体へ給紙するための搬送路のカバーです。2000枚ペーパーデッキで紙づまりが起こったときは、ここを開けて点検します。**(→ P.176)**

⑤ 2000 枚ペーパーデッキ（開いた状態）
最大2000枚までのA4、B4、A3、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙をセットします。**(→ P.87)**

⑥ 用紙サイズ表示板差し込み口
2000枚ペーパーデッキの用紙サイズ表示板をセットします。**(→ P.90)**

⑦ 状況表示ランプ
2000枚ペーパーデッキの状態を表示します。
緑点灯：正常に待機中または動作中。
赤点滅：紙づまり発生中または搬送路カバーが開いている状態。
赤点灯：故障発生中。
消灯：電源オフまたは電源コード、インタフェースケーブル接続不良の状態。

2 × 500 枚ペーパーデッキ

① オプションコントローラコネクタ
オプションをコントロールするためのケーブルを接続します。上側の15ピンコネクタは、本体のオプションコントローラボードと接続します。下側の14ピンコネクタは、他のオプションがある場合に接続します。

② 状況表示ランプ
2 × 500 枚ペーパーデッキの状態を表示します。
緑点灯：正常に待機中または動作中。
赤点滅：紙づまり発生中または搬送路カバーが開いている状態。
赤点灯：故障発生中。
消灯：電源オフまたは電源コード、インタフェースケーブル接続不良の状態。

③ 用紙サイズ表示板差し込み口
カセットの用紙サイズ表示板をセットします。**(→ P.85)**

④ 電源コード差し込み口
付属の電源コードとアース線をここに接続します。

⑤ 転倒防止脚
2 × 500 枚ペーパーデッキを安定させるための補助脚です。**(→ P.161)**

⑥ 搬送路カバー
用紙を 2 × 500 枚ペーパーデッキから本体へ給紙する搬送路のカバーです。2×500枚ペーパーデッキで紙づまりが起こったときは、ここを開けて点検します。**(→ P.174)**

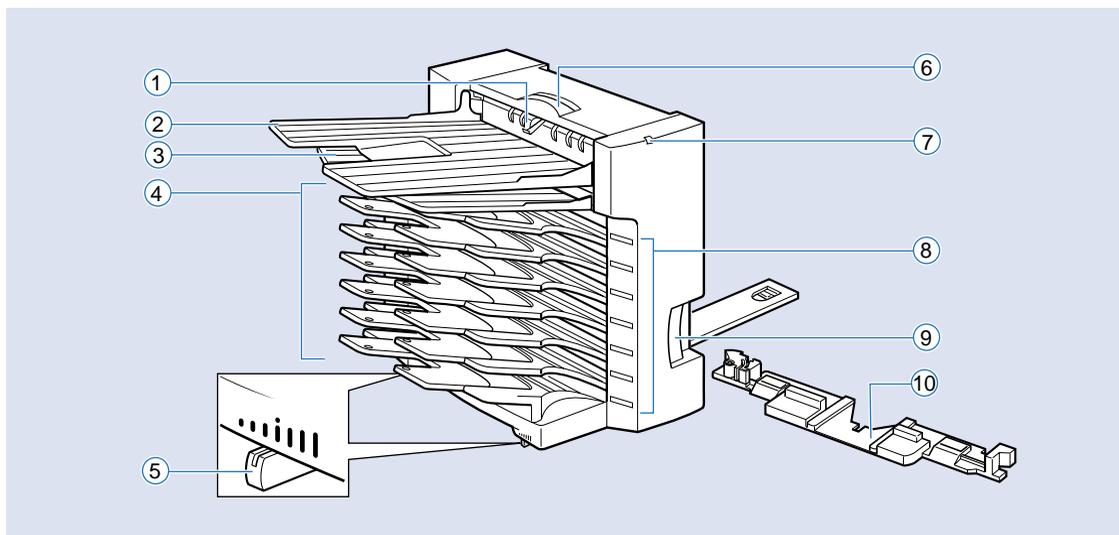
⑦ カセット 3
最大500枚までのA4、B4、レター、リーガルサイズの普通紙をセットできます。**(→ P.82)**

⑧ カセット 4
最大500枚までのA4、B4、A3、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙をセットできます。**(→ P.82)**

⑨ 収納スペース
付属品や消耗品を収納しておくことができるスペースです。ドアの上中央を押して開閉します。

- **図は2×500枚ペーパーデッキ-C1を例に説明しています。2×500 枚ペーパーデッキ - C1L の名称も同様です。ただし、収納スペースはありません。**

7 ビンソータ

■ 7 ビンソータ前面

① 用紙積載センサー
ノンソートビンの満載を検知します。

② ノンソートビン
用紙がフェースアップで排紙されます。**（→ P.70）**

③ 反転トレイ
用紙の裏表を反転させるときに、一度用紙がこのトレイに排紙され、反転して他のビンに排紙されます。

④ ビン
用紙を排紙するトレイで、7枚のビンが装備されています。ビンを指定して排紙したり、複数部をソートして排紙することができます。**（→ P.70, 74）**

⑤ 傾き調整レバー
7ビンソータの傾きを調整するレバーです。プリンタと7ビンソータの間に隙間ができるときは、このレバーで調整します。

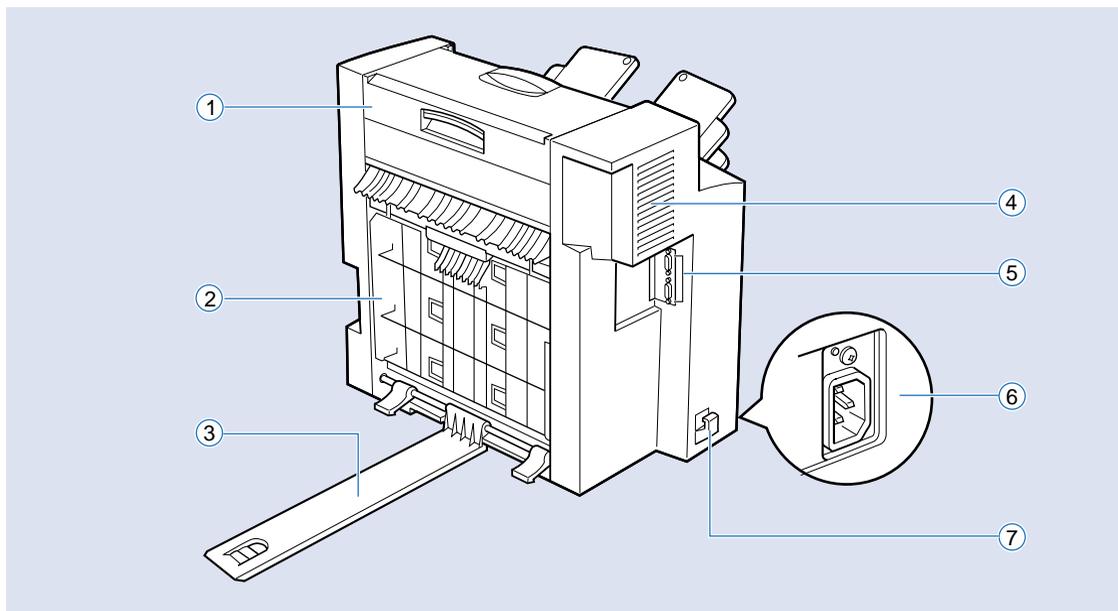
⑥ 7 ビンソータ開閉取っ手
7ビンソータで用紙がつまったときは、この取っ手を持って7ビンソータをプリンタ本体から引き離します。**（→ P.183）**

⑦ 状況表示ランプ
7ビンソータの状態を表示します。
緑点灯：正常に待機中または動作中。
赤点滅：紙づまり発生中。7ビンソータ右カバーが開いている状態。すべてのビンが満載の状態。
赤点灯：故障発生中。
消灯：電源オフまたは電源コード、インタフェースケーブル接続不良の状態。

⑧ ビン番号表示 / ビン名シール
ビン番号が表示されています。また、ラベルにビンの排紙区分を書き込むことができます。

⑨ 7 ビンソータロック解除レバー
7ビンソータをプリンタ本体から引き離すときは、このレバーをつかんでロックを解除します。**（→ P.183）**

⑩ 取り付けユニット
プリンタ側に取り付けるユニットです。このユニットに7ビンソータのガイドプレートを接続します。

■ 7 ビンソータ背面

① 7 ビンソータ上カバー
7 ビンソータの反転部で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。**(→ P.184)**

② 7 ビンソータ右カバー
7 ビンソータ内のプリンタ側で紙づまりが起こったときに、ここを開けて除去します。
(→ P.185)

③ ガイドプレート
7 ビンソータとプリンタをまっすぐに接続するためのガイドです。

④ 排気口
7 ビンソータ内部冷却用の排気口です。

⑤ オプションコントローラコネクタ
オプションをコントロールするためのケーブルを接続します。上側の 15 ピンコネクタは、本体のオプションコントローラボードと接続します。下側の 14 ピンコネクタは、他のオプションがある場合に接続します。

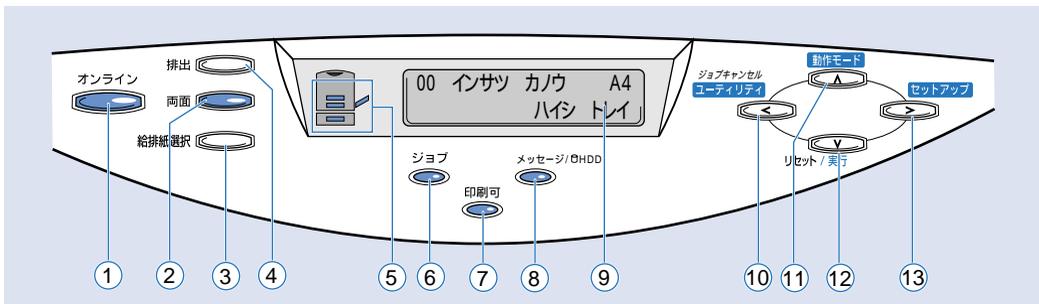
⑥ 電源コード差し込み口
付属の電源コードとアース線をここに接続します。

⑦ コードホルダ
電源コードとアース線を通すホルダです。

注意

● ソータの排気口や吸気口を壁や物でふさがないように注意してください。ソータの排気口や吸気口がふさがれると、内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

操作パネル

本機の前面には下図のような操作パネルがあり、この操作パネルで本機の状態を知ったり、本機の持つ各種の機能を使うことができます。

① オンライン キー／オンラインランプ（緑色）

パソコンとの接続をオン（オンライン）／オフ（オフライン）します。
他のキーを操作するときには、このキーを押して、オフラインにします。
また、エラーが発生してプリンタが停止したときに、そのエラーを一時的に解除してプリントを続行させる機能も持っています。
キー内部にオンラインランプがあり、点灯により次の状態を表示します。

点灯：　オンライン状態（パソコンからプリントデータを受信できる状態）
点滅：　オンラインからオフラインへ切り替え途中の状態。自己診断中。ウォーミングアップ中。
消灯：　オフライン状態（パソコンからのプリントデータを受信せず、操作パネルのキー操作を受け付ける状態）

お願い

- **エラーによっては、このキーを押しても解除できないことがあります。**
- **プリンタがスリープモードに移行しているときは、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯し、印刷可ランプのみ点灯します。****（→ P.33）**

② 両面 キー／両面ランプ

オフライン時：　両面プリントと片面プリントを切り替えます。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。
メニュー操作時：　メニュー操作中は動作しません。
キー内部に両面ランプがあり、点滅により次の状態を表示します。
点灯：　両面プリントに設定されている状態。
消灯：　片面プリントに設定されている状態。

メモ

- **オプションの両面ユニットが装着されていない場合は、両面 キーを押しても両面ランプは点灯しません。**

③ 給排紙選択 キー

オフライン時：　給排紙選択メニューを表示します。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。
給排紙選択ﾒﾆｭｰ時：　給紙元や排紙先、トレイ用紙サイズ、トレイ用紙タイプの設定が順に切り替わります。

給排紙選択メニューが表示されている状態で、ユーティリティ（＜）キーまたはセットアップ（＞）キーを押すことで、設定項目が切り替わります。

給紙元の設定値：
（LBP-2360の場合）自動→カセット1→カセット2→カセット3（オプション取付時）→カセット4（オプション取付時）→ペーパーデッキ（オプション取付時）→トレイ
（LBP-2300の場合）自動→カセット1（オプション取付時）→カセット2→カセット3（オプション取付時）→カセット4（オプション取付時）→ペーパーデッキ（オプション取付時）→トレイ

排紙先の設定値：
（標準状態）排紙トレイ→サブ排紙トレイ
（7ビンソータ取付時）自動→排紙ビン1→排紙ビン2→排紙ビン3→排紙ビン4→排紙ビン5→排紙ビン6→排紙ビン7→排紙トレイ→ノンソートビン

トレイ用紙サイズの設定値：封筒Y4→封筒K2→A5→B5→A4→A4R→B4→A3→LT→LTR→LG→LD→EX→フリー→ユーザペーパー→ハガキ
トレイ用紙タイプの設定値：普通紙→厚紙→OHP→光沢フィルム→フリー

選択されている設定値は、給紙元表示ランプおよびディスプレイで確認できます。
リセット／実行（∨）キーまたはオンラインキーを押すと、設定値が変更されます。**（→ P.67）**

メモ

●給紙元の選択は、給排紙選択キーを押すことでも切り替え可能です。オンラインキーを押すと、給紙元が変更されます。

④ 排出 キー

オフライン時：　プリンタのメモリに残っているプリントデータを強制的にプリントし、ジョブを終了させます。メモリのデータを強制的にプリントしているときは、「05 ハイシチュウ」とディスプレイに表示されます。
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。

何らかの原因でプリントデータが途中で途切れたり、プリントが中断したりしたような場合、ジョブランプが点灯したままプリンタが停止してしまうことがあります。このようなときに排出キーでメモリに残っているデータを強制的にプリントします。メモリにデータが残っていない場合は、実行中のジョブを終了します（ジョブランプ消灯）。**（→ P.231）**

⑤ 給紙元表示ランプ（緑色）

点灯：　現在選択されている給紙元のランプが点灯します。
点滅：　現在選択されている給紙元の用紙がない、またはカセットが装着されていない状態。
消灯：　現在選択されていない状態。オプションを含むカセットまたはペーパーデッキが装着されていない状態。

⑥ ジョブランプ（緑色）

点灯：　プリントデータ受信中または、プリンタのメモリにプリントデータが残っている状態。
点滅：　プリントデータを処理している状態。
消灯：　プリンタのメモリにプリントデータが何もない状態。

⑦ 印刷可ランプ（緑色）

点灯：　プリント可能な状態。
点滅：　自己診断中または、ウォーミングアップ中。
消灯：　プリントできない状態。

メモ

●オンラインでスリープモードに入った場合は、印刷可ランプ（緑）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。

⑧ メッセージランプ（オレンジ色）／HDD ランプ（緑色）

オレンジ色点灯：　プリンタに何かトラブルが起こってプリントできない状態。
緑色点灯：　ハードディスクに読み書きを行っている状態（LBP-2360ハードディスク使用時）。
消灯：　プリンタが正常な状態。ハードディスクに読み書きを行っていない状態（LBP-2360 ハードディスク使用時）。

注意

●万一、プリンタ本体のハードディスクに不具合が発生した場合、登録・保存したデータが消失することがあります。重要なデータを登録・保存される場合にはオリジナルのデータは、必ず消さずに保管してください。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

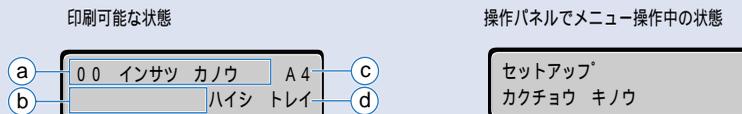
メモ

●オフラインでスリープモードに入った場合は、メッセージランプ（オレンジ）のみ点灯し、その他のランプは全て消灯します。

⑨ ディスプレイ

プリンタの状態やメッセージ、メニュー機能の設定項目や設定値を表示します。

●印刷可能な状態
a　00 インサツ カノウ　A4　c
b　ハイシ トレイ　d

●操作パネルでメニュー操作中の状態
セットアップ
カクチョウ キノウ →

ⓐプリンタの状態や動作モードを表示します。
ⓑ警告メッセージや処理メッセージを表示します。
ⓒ現在選択されている給紙元を用紙サイズまたは略号で表示します。次の用紙は略号で表示されます。（レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、エグゼクティブ：EX、ユーザペーパー：80～99、フリー：FR、洋形4号封筒：Y4、角形2号封筒：K2、ハガキ：HG）
ⓓ現在選択されている排紙先を表示します。

⑩ ユーティリティ／ジョブキャンセル（<）キー

オフライン時：　ジョブランプ点灯または点滅時はジョブキャンセルを行います。**（→ P.233）**
ジョブキャンセル消灯時はユーティリティメニューを表示します。
（→ P.237）

オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：　メニューの左側の項目を表示します。設定値を増やします。

⑪ 動作モード（∧）キー

オフライン時：　動作モードメニューを表示します。3秒以上押し続けると優先動作エミュレーションメニューを表示します。（→ LIPS 機能ガイド）

オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：　ひとつ前のメニュー（上の階層）へ戻します。

⑫ リセット／実行（∨）キー

オフライン時：　１秒以上押し続けると、ソフトリセットを行います。**（→ P.235）**
５秒以上押し続けると、ハードリセットを行います。**（→ P.236）**

オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。

メニュー操作時：　次のメニュー（下の階層）へ進みます。一番下のメニューでは、設定値を確定します。

● パソコン側でプリントをキャンセルしたときは、操作パネルでソフトリセットの操作を行い、プリンタのメモリに残っている不要なデータを消去してください。

⑬ セットアップ（>）キー

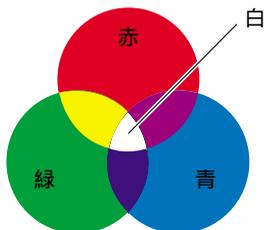
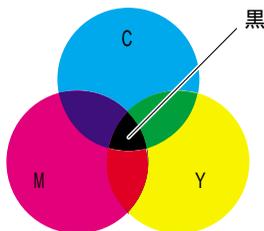
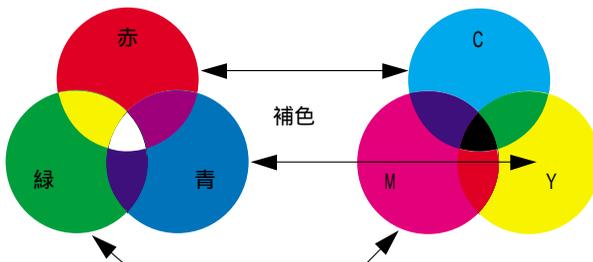
オフライン時：　セットアップメニューを表示します。

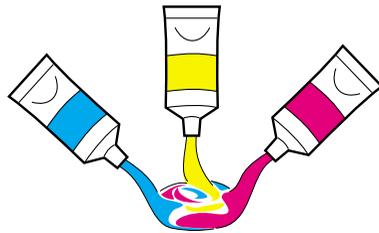
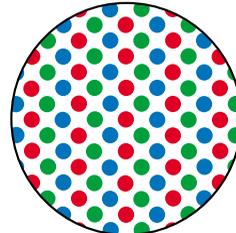
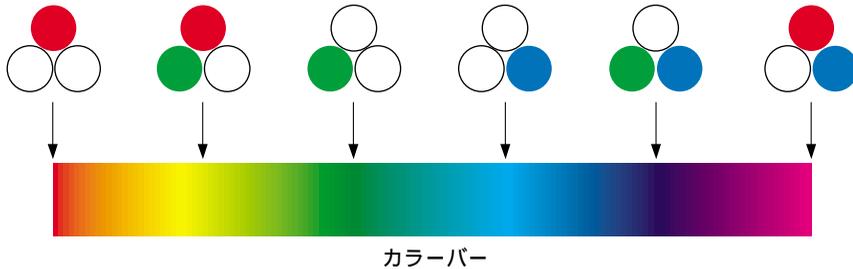
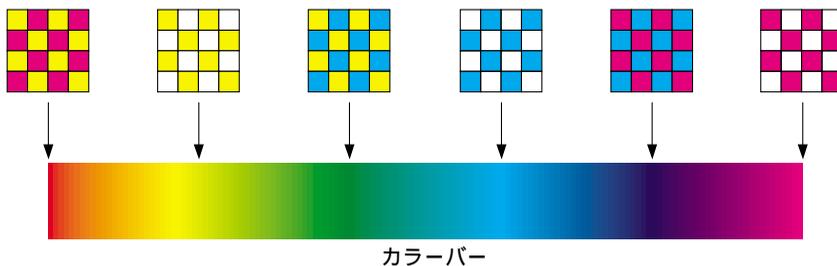
オンライン時：　オンラインの状態では動作しません。

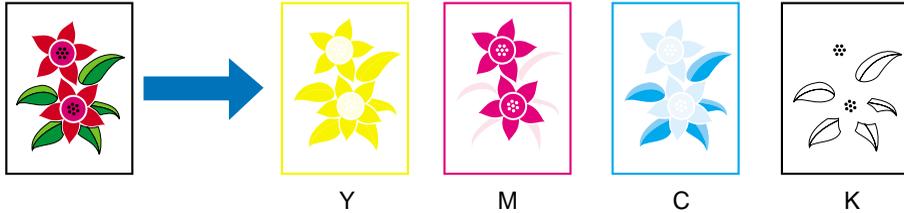
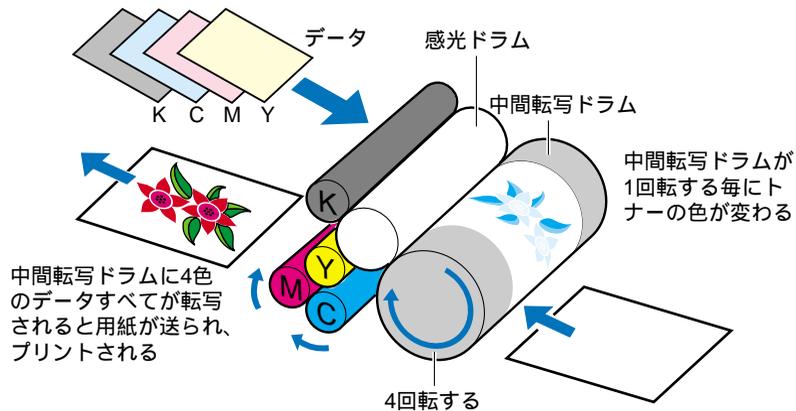
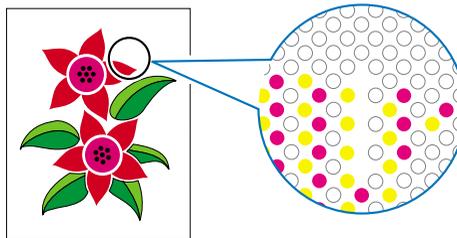
メニュー操作時：　メニューの右側の項目を表示します。設定値を減らします。

カラープリントのしくみ

光の 3 原色と色の 3 原色

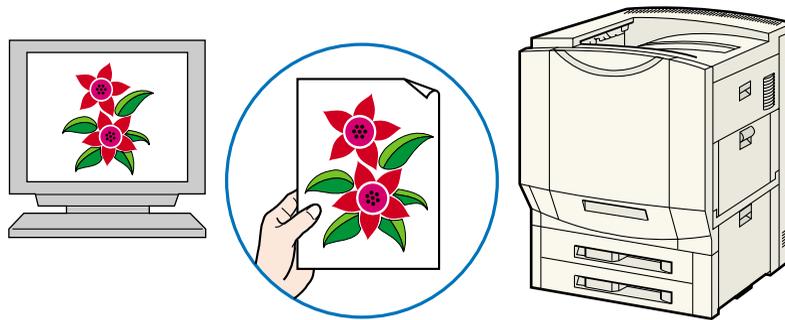
パソコンのディスプレイなどで見える色は、赤、緑、青の光の3原色で表現されます。光の3原色は、赤と緑と青の3色をすべて混合すると白になります（加法混色)。

カラープリンタは、光の3原色ではなく、絵の具などと同じ色の3原色で色を表現します。色の3原色は、C（シアン)、M（マゼンタ)、Y（イエロー）で、3色をすべて混合すると黒になります（減法混色)。

そして、光の3原色と色の3原色は、互いに補色の関係になっています。
光の赤は色のシアンと、緑はマゼンタと、青はイエローと補色関係です。

色を表現する方法

絵の具でいろいろな色を作るには、パレットで混ぜ合わせます。ディスプレイやプリンタでは、絵の具のように混ぜ合わせることができませんので、色の点の集まりで色を表現します。

ディスプレイの場合、R（赤）、G（緑）、B（青）の3つの点の光の強弱でいろいろな色を表現します。

プリンタの場合、トナーの色に強弱を付けることはできません。このため、ディスプレイより多くの点を使い、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）にK（ブラック）を加えた色の組み合わせでいろいろな色を表現します。そして、この点が小さければ小さいほど高解像度のカラープリントが可能になります。

カラープリントのしくみ

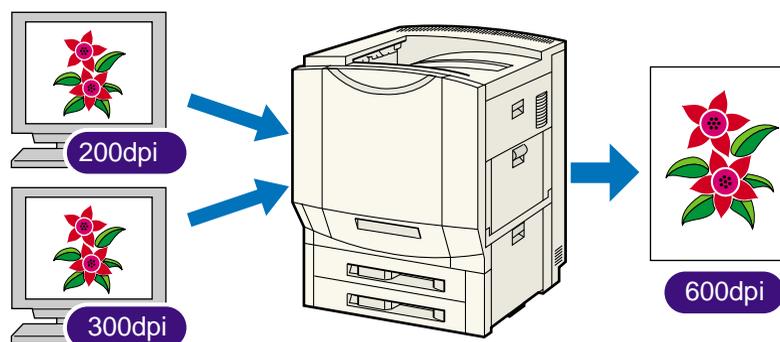
カラープリンタは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の細かな点の集まりで画像の形や色を表現します。
このため、プリンタに入力された画像データは、Y、M、C、Kの4色に分解されます。

そして、これらのデータを1色ずつトナーを変えながら感光ドラムにトナーが現像され、中間転写ドラムに転写されます。

4色すべてのデータが転写されると、用紙にプリントされて定着ユニットを通り、排紙されます。

より美しく快適にカラープリントするために

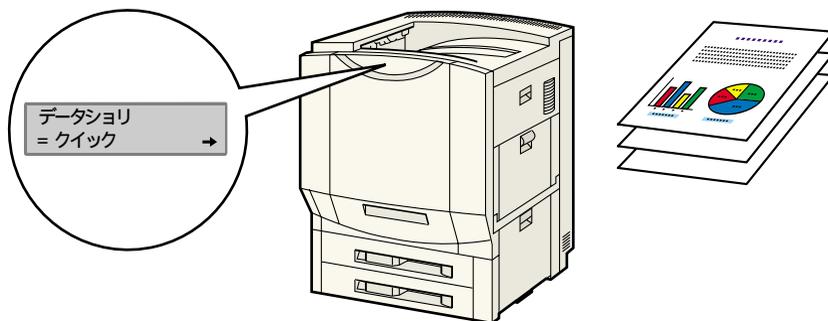
カラープリントが思った色にならなかったり、画質が低下したり、プリントに長時間かかったりしたのではプリンタの能力も半減です。ちょっとした調整や気遣いで、プリンタの能力を100%活用しましょう。

■ディスプレイの色補正をする

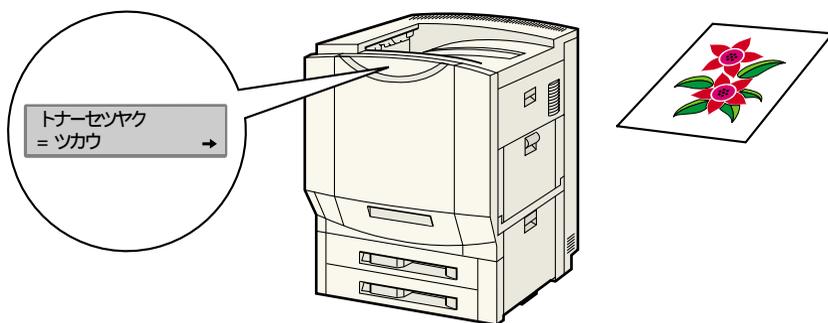
ディスプレイに見えている色が正しい色とは限りません。ディスプレイに見えている色を基準にカラープリントをしても、ディスプレイの表示色が狂っていると、プリントの色とは違ってきます。アプリケーションソフトに付属しているカラーサンプルや色補正ツールなどを使い、ディスプレイの表示色とプリントの色が近づくように補正します。

■解像度を合わせる

プリントするデータの解像度をどんなに高くしても、プリンタの解像度以上の画質は得られません。プリントするサイズで600dpiあれば十分です。データの解像度が高すぎると、プリント処理に時間がかかるばかりでなく、データの容量も大きくなります。逆に、データの解像度が低すぎると十分な画質が得られません。

画像処理のアプリケーションソフトなどで、プリントするデータの寸法や解像度を調べ、300または200dpi解像度にしておきます。

■プリントの内容に応じてプリントモードを選択する

文章や簡単な図形が中心の報告書やプレゼン資料、カラーを使っていないモノクロのデータなど高画質を必要としない文書は、標準階調またはクイックモードでプリントします。これらのモードに切り替えることにより、高速にプリントできます。カラー写真や複雑なイラストなどをきれいにプリントするときは、ファインモードで高画質プリントします。データに応じてモードを使い分けることで、効率的にプリントできます。

● クイックモード、およびファインモードの設定方法については、LIPS機能ガイド 第3章「4　印字調整グループの設定項目」をご覧ください。

■文字やレイアウトの確認は省トナーモードを利用する

原稿の内容やレイアウトのチェックをするとき、プリントの文字や配置だけわかればよい場合は、「省トナーモード」でプリントします。「省トナーモード」でプリントすることで、トナーの消費を大幅に節約できます。

● 省トナーモードの設定方法については、LIPS 機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。

第 1 章

プリンタの使いかた

電源のオン、オフ

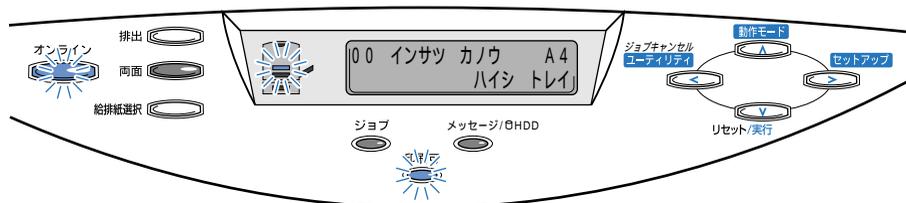
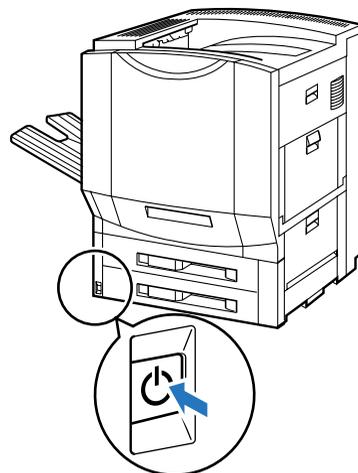
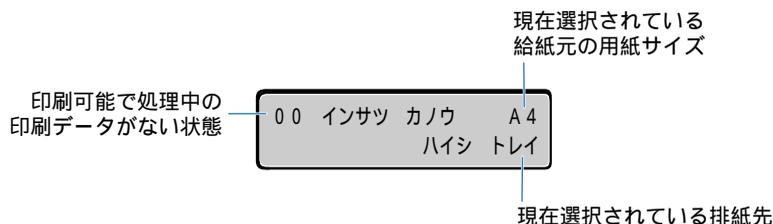
本プリンタを使用するには、電源スイッチを押し込み、オンにします。プリンタ本体やオプションの状態チェック、およびキャリブレーションを実行した後、プリント可能な状態になります。
また、本プリンタをオフにするときは、プリンタの状態を確認してから手順に従って電源スイッチをオフにします。電源をオフにすると、メモリ内のプリントデータはすべて消去されます。必要なプリントデータを誤って消したり、ネットワークに接続している場合は他のパソコンからのプリントデータを消さないよう、必ずジョブランプやHDDランプ（LBP-2360ハードディスク使用時）が消灯していることを確認してからオフにしてください。

電源をオンにする

本プリンタは、次の手順で電源をオンにします。

1

本体の電源スイッチを押し込みます。

電源スイッチが押し込まれた状態になります。
操作パネルのランプやディスプレイが点灯し、本体やオプションの状態を自己診断します。自己診断の結果異常がなければ、キャリブレーションを実行します。キャリブレーションが終了すると、オンラインランプと印刷可ランプ、選択されている給紙元表示ランプが点灯し、ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」と表示されてプリント可能な状態になります。

ディスプレイには、次の情報が表示されます。

お願い

● 正しく動作しなかったり、エラーメッセージが表示されたときは、第4章「メッセージが表示されたときは」（→ P.196）をご覧ください。

消費電力の節約（スリープモード）について

本プリンタは、何も操作せず、コンピュータからもデータが送られてこない状態が一定の時間続くと、消費電力を節約するスリープモードに移行します。

操作パネルのキーを操作したり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではデータを受信した場合にもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。

お願い

- 長時間スリープモードになっていた場合、ウオームアップ時間（定着ユニットの温度が上昇するまでの時間）が長くなります（最大で約5分）。
- スリープモードに移行する時間は、工場出荷時の状態で「30分」に設定されています。この設定は、メニュー機能で「15分」、「30分」、「60分」、「180分」に設定できます。詳細については、LIPS機能ガイド　第3章「1 拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。

メモ

- 次の場合は設定時間が経過してもスリープモードには移行しません。
  - ・「nn-nn　サービスコール」（nnは2桁の英数字）が表示されている状態
  - ・LBP-2360でハードディスクのシャットダウン中または初期化中
  - ・紙づまりしている状態
  - ・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中

電源をオフにする

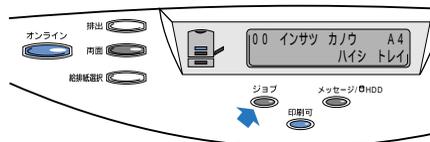
本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。電源をオフにする操作は、ハードディスクを装着している場合と、装着していない場合で異なります。

お願い

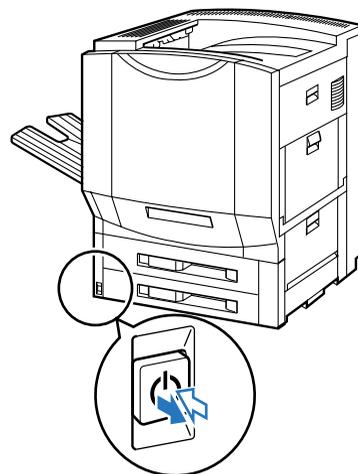
- ハードディスクを装着している場合は、ハードディスク保護のため、必ず手順にしたがって電源をオフにしてください。（→ P.35）
- ネットワークに接続している場合は、他のパソコンからプリントしていないか確認してから、電源をオフにしてください。
- ジョブランプが点灯している状態で電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っているプリントデータやハードディスクにスプールされている処理中のプリントデータ（ボックス内に保存されているプリントデータ以外）は消去されます。必要なプリントデータは、出力し終わるまで待つかオフラインの状態で［排出］キーを押し、出力してから電源をオフにしてください。（→ P.231）
- プリント中に電源をオフにしないでください。
- プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中には、電源をオフにしないでください。
- ハードディスクを装着している場合は、必ずHDDランプ（緑色）が点灯していないことを確認してください。HDDランプ（緑色）が点灯中（ハードディスクに読み書き中）に電源をオフにすると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。
- ディスプレイにNVRAM初期化中やNVRAM書き込み中のメッセージが表示されている場合は、メッセージの表示が消えたことを確認してから、電源をオフにしてください。
- ディスプレイにフラッシュメモリ書き込み中やフラッシュメモリ消去中のメッセージが表示されている場合は、メッセージの表示が消えたことを確認してから、電源をオフにしてください。

■ LBP-2300の場合／LBP-2360でハードディスクを使用していない場合

1

ジョブランプが消灯していることを確認します。

2

本体の電源スイッチを押し込みます。

電源スイッチが飛び出した状態になります。

お願い

●電源スイッチをオフにしても、本体背面の冷却用ファンは、内部が十分に冷却されるまで回転し続けます。もし、電源コードを抜き取るような場合は、冷却用ファンが完全に停止するまで（約30分）お待ちください。

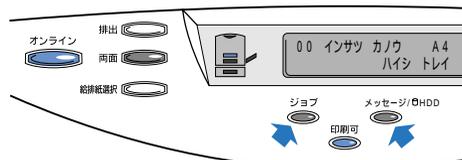
■ LBP-2360でハードディスクを使用している場合

お願い

●ハードディスクに停止操作したジョブやセキュアプリントのジョブがある場合は､｢ジョブガ　ノコッテイマス｣のメッセージが表示されます。シャットダウンを実行すると、ジョブはすべて消去されます。ただし､ボックス内に保存されているジョブはそのままハードディスクに保存されます。プリントを継続したいときは、オンラインキーを押して、オンラインにしてください。

●シャットダウンを実行すると、途中で止めることはできません。再びプリンタの電源をオンにしたい場合は、メッセージに従って電源スイッチを一度オフにしてから、電源スイッチをオンにしてください。

1

ジョブランプとHDDランプ（緑色）が消灯していることを確認します。

2

(オンライン)キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

3

(動作モード)キーを押します。

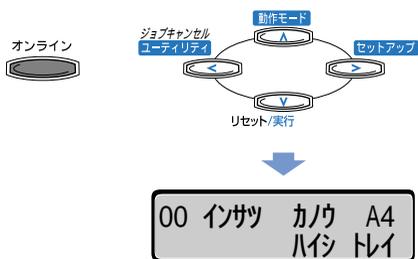
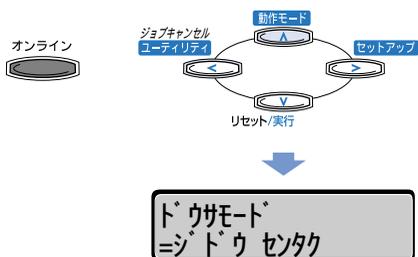
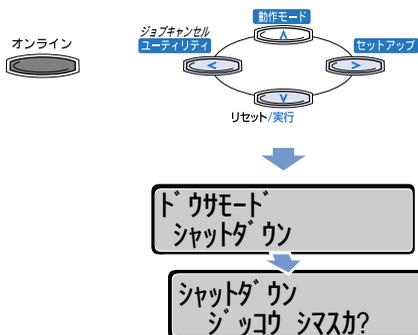
ドウサモード
=ジドウ センタク

4

(<)、(>)キーで「シャットダウン」を選択し、(∨)キーを押します。

ドウサモード
シャットダウン

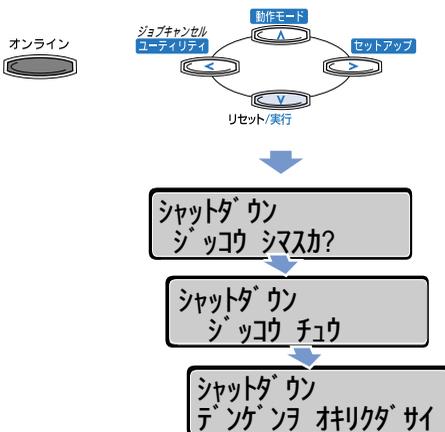
シャットダウン
ジッコウ シマスカ?

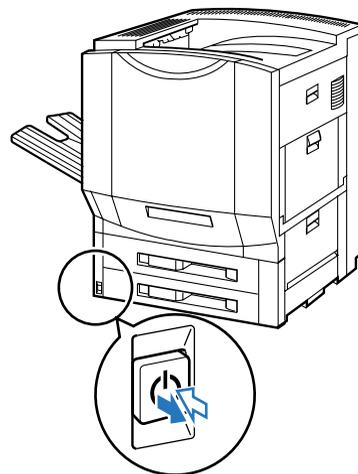
5

メッセージを確認し、(∨)キーを押します。

電源をオフにするための処理が行われ、準備が整うと「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されます。

シャットダウン
ジッコウ シマスカ?

シャットダウン
ジッコウ チュウ

シャットダウン
デンゲンヲ オキリクダサイ

「デンゲンヲ　オキリクダサイ」のメッセージが表示されたら、本体の電源スイッチを押します。

電源スイッチが飛び出した状態になります。

お願い

● 電源スイッチをオフにしても、本体背面の冷却用ファンは、内部が十分に冷却されるまで回転し続けます。もし、電源コードを抜き取るような場合は、冷却用ファンが完全に停止するまで（約 30 分）お待ちください。

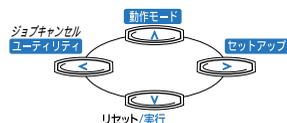
オンラインとオフライン

プリンタがパソコンからデータを受け取り、プリントできる状態を「オンライン」、パソコンとの接続が切り離され、データが受け取れない状態を「オフライン」といいます。操作パネルでメニューを操作するときは、プリンタをオフラインにしてから行います。

オンラインにする

パソコンからプリントするときは、プリンタがオンラインの状態になっていることが必要です。プリントするときは、プリンタがオンラインになっていることを確認してください。オンラインになっていないときは、次の手順でオンラインにします。電源をオンにしたときは、自動的にオンラインの状態になります。

1

(オンライン)キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

お願い

- **プリンタがエラー状態（メッセージランプ（オレンジ色）が点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときは、オンラインになりません。エラーの原因を取り除いてからオンラインにしてください。**
- **メニュー機能や給紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中はオンラインになりません。操作を完了してからオンラインにしてください。**
- **プリント中は、絶対に本体のカバーやカセット、ペーパーデッキを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。**

メモ

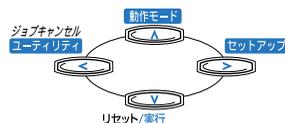
- **スリープモードが設定されていて、プリンタがスリープモードに移行しているときには、オンラインの状態になっていてもオンラインランプは消灯しますのでご注意ください。**
- **本プリンタは、常に安定したトナー濃度のカラープリントができるように、本体各部の状態をチェックして運転を制御しています。このため、多量のデータを連続してプリントすると、プリンタを安定した状態に保つために、ある一定枚数毎に「シバラクオマチクダサイ」とメッセージを表示し、一時的にプリントを中断します。プリンタが安定した状態に戻ると、自動的にプリントを再開します。**

オフラインにする

プリンタの操作パネルからメニューの操作や給排紙方法の選択、用紙サイズの設定などをするときは、プリンタはオフラインの状態になっていることが必要です。操作パネルのキーを使うときは、次の手順でオフラインにします。

1

(オンライン)キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

お願い

- **プリンタをオフラインにしたままパソコンからプリントすると、「プリンタの準備ができていません。」などのメッセージが表示され、プリントできません。**
- **本プリンタは、オフラインにしたまま５分間以上放置すると、自動的にオンライン状態になります。ただし、プリンタがエラー状態のとき（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）、またはメニュー機能や給排紙方法の選択、用紙サイズの設定などの操作中は、自動的にはオンラインになりません。**

ソフトウェアをインストールする

パソコンからプリントするには、プリンタドライバやユーティリティソフトなどのソフトウェアをインストールする必要があります。お使いのパソコンやネットワークに合ったソフトウェアをインストールしてからプリントしてください。

Windows の場合

Windows からプリントするときは、本プリンタに付属の CD-ROM からプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

● LIPS IV プリンタドライバ

Windows アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。お使いの OS に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

● NetSpot Job Monitor

プリンタの状態をパソコンの画面に表示して確認できるユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

メモ

● 「NetSpot Job Monitor」は、双方向パラレルインタフェースに対応しています。「NetSpot Job Monitor」で双方向通信を行う場合は、双方向対応のインタフェースケーブルが必要です。

● NetSpot

パソコンからプリンタの機能を設定したり、ネットワーク環境でのプリンタの管理を行うためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

● USB クラスドライバ

本プリンタを USB 接続で使用するために必要なソフトウェアです。お使いの OS に合ったものをインストールしてください。

メモ

● プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

DOS の場合

DOS のアプリケーションソフトで本プリンタを使用する場合、各アプリケーションソフトのプリンタ設定で、本プリンタまたは互換性のあるプリンタを選択してプリントします。本プリンタは、キヤノン独自の LIPS モードと IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）の ESC/P エミュレーションモードを標準で内蔵しています。
また、オプションのコントロール ROM を取り付けることで、PS/55 エミュレーションモードなどでプリントさせることもできます。プリントデータを受信するとデータの種類を判別し、自動的にデータに応じた動作モードでプリントします。また、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなど、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定したりすることもできます。

- **プリンタ設定の方法については、ご使用のアプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **オプションのコントロールROMについては、付録「オプションについて」(→P. 253)をご覧ください。**

Macintosh の場合

Macintoshからプリントするときは、付属のCD-ROMからプリンタドライバやユーティリティソフトをインストールします。インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。
本プリンタには、次のソフトウェアが添付されています。

● LIPS IV プリンタドライバ

アプリケーションからプリントするときに必要なソフトウェアです。EtherTalk 接続用プリンタドライバと USB 接続用プリンタドライバの 2 種類があります。接続方法に合わせて、いずれかを必ずインストールしてください。

● NetSpot

パソコンからプリンタの機能を設定したり、ネットワーク環境でのプリンタの管理を行うためのユーティリティソフトです。必要に応じてインストールしてください。

- **プリンタドライバやユーティリティソフトの対応OS、インストールのしかたや詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。**
- **Macintosh パソコンでプリントする場合のオプション品については、設置ガイド「Macintosh パソコンとの接続」をご覧ください。**

ネットワークに接続している場合

ネットワークに接続している場合は、お使いプリントサーバに対応したネットワーク管理ソフトをインストールします。インストールのしかたや詳細については、プリントサーバやネットワーク管理ソフトのマニュアルをご覧ください。
また、LBP-2360に標準装備のプリントサーバでは、ネットワーク上のパソコンからブラウザを使ってプリンタの機能を設定することができます。お使いのパソコンに合ったブラウザをインストールしてください。

メモ

- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定などが必要です。これらの設定については「ネットワークガイド」をご覧ください。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ステータスプリントを行ってプリントサーバのMACアドレスなどを確認し、ネットワークOS（NetWare, UNIXなど）の設定やプリントサーバの設定を行ってください。

プリントサーバについて

■標準のプリントサーバを使用する場合（LBP-2360のみ）

LBP-2360は、10BASE-T/100BASE-TX対応プリントサーバを標準装備しており、ネットワークへ直接接続してWindowsやMacintosh、UNIXなどのコンピュータからプリンタを共有することができます。本プリンタのプリントサーバはIPX/SPX、TCP/IP、EtherTalk、NetBIOS/NetBEUIのプロトコルに対応しています。

■オプションのプリントサーバを使用する場合

オプションのプリントサーバには以下の種類があります。プリントサーバにより、対応OSやネットワークの種類が異なります。お使いのネットワークやコンピュータに合わせてお選びください。

製品名称	対応プロトコル	ｲﾝﾀﾌｪｰｽ	メーカ名
JC-CONNECT C-540TNE LIO V2	IPX/SPX,TCP/IP,EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
JC-CONNECT C-540T LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	日本ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ工業(株)
SEDNet S-705 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
SEDNet S-715 LIO V2	IPX/SPX, TCP/IP	10BASE-T/100BASE-TX	住商電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ(株)
NetHawk N-100 LIO V2	TCP/IP, NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
NetHawk N-110 LIO V2	IPX/SPX,TCP/IP,EtherTalk,NetBEUI	10BASE-T/100BASE-TX	新潟ｷﾔﾉﾃｯｸ(株)
内蔵型ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ NB-4F	IPX/SPX, TCP/IP, NetBEUI, AppleTalk	10BASE-T/100BASE-TX	キヤノン(株)

これら製品の詳細や購入については、プリンタをお買い上げの販売店へお問い合わせください。

プリンタの機能と設定方法について

本プリンタは、拡大／縮小プリントや2ページ印刷、とじ幅の設定や印字位置の補正など、いろいろな機能を持っています。これらの機能は、プリンタドライバ、NetSpot、リモートUI、プリンタの操作パネルのいずれからでも設定できます。

プリンタの主な機能

機　能	機能の概要	プリンタドライバ	リモートUI	ユーティリティソフト	操作パネル
給紙選択	どこから用紙を給紙するか（給紙元）を設定します。	○	×	○	○
排紙選択モード	どこへ用紙を排紙するか（排紙先）をを設定します。	○	×	○	○
自動排紙モード	7ビンソータ装着時にビンへの排紙方法を設定します。	○	×	○	○
ユーザセパレートの種類	ユーザセパレート選択時の動作モード法を設定します。	○	×	○	○
トレイ用紙サイズ	給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定します。	×	○	○	○
両面プリント	用紙の両面に自動プリントします。	○	×	○	○
ページフォーマット	エミュレーションモードでプリントするときに、用紙に合わせてページフォーマットを設定します。	×	×	○	○
カラーモード	モノクロまたはカラーに固定してプリントするか、自動でプリントするかを設定します。	○	○	○	○
データ処理解像度 *1	ファイン（600dpi）、クイック（モノクロ300dpi、カラー600dpi）のモードを設定します。	○	○	○	○
拡大／縮小 *2（LIPSモード時のみ）	データを拡大または縮小してプリントします。	○	×	○	○
2ページ印刷 *3（LIPSモード時のみ）	拡大／縮小プリントの機能で縮小したデータを2ページ並べて1枚の用紙にプリントします。	○ 4ページ印刷も可能	×	○	○
オーバレイプリント *4（LIPSモード時のみ）	LIPSのコントロールコマンドで登録したフォーマットを選択し重ねてプリントします。	○	×	フォーム作成登録はLIPSコマンドで行います。使用するフォームの指定のみ可能です。	
とじ方向	とじ代を作る辺（長辺または短辺）を設定します。	○	○	○	○
とじ幅	とじ方向で設定された辺のとじ代の幅を設定します。	○	○	○	○
省トナーモード	トナーの消費量を節約するモードを設定します。	○	○	○	○
ブザー警告	エラー発生時のブザー音の鳴りかたを設定します。	×	○	○	○
スリープモード	プリンタの消費電力を節約するモードの設定をします。	×	○	○	○

- ○印は設定可能、×印は設定できないことを表しています。
- *1、*2、*3、*4の機能は、プリンタドライバとユーティリティソフト、リモートUI、操作パネルとで設定内容やプリント結果に違いがありますのでご注意ください。詳細については、「LIPSソフトウェアガイド」や「リモートUIガイド」、「LIPS機能ガイド」をご覧ください。

設定のしかた

プリンタの機能は、プリンタドライバやユーティリティソフト、リモートUI、プリンタの操作パネルで、それぞれ次のように設定して使います。

- **プリンタドライバ、ユーティリティソフトのインストール方法や操作のしかたについては、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。**
- **プリンタの操作パネルからの操作方法については、「LIPS機能ガイド」をご覧ください。**
- **リモートUIの操作方法については、「リモートUIガイド」をご覧ください。**

■プリンタドライバ

本プリンタに付属のLIPS IVプリンタドライバをパソコンにインストールし、プリンタ設定画面を表示して設定します。

■ユーティリティソフト「NetSpot」

本プリンタに付属のユーティリティソフト「NetSpot」をパソコンにインストールし、NetSpotのプリンタ設定画面で設定します。

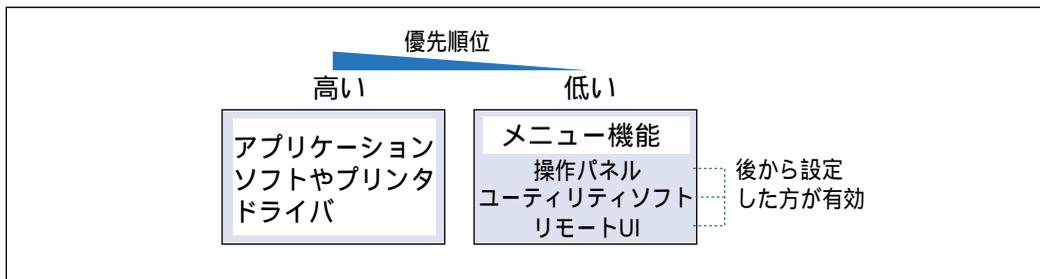
■リモートUI

本プリンタをネットワーク経由で接続している場合は、パソコンからWebブラウザで本プリンタを設定します。

■プリンタの操作パネル

プリンタをオフラインにし、操作パネルのキーでメニューを選択して設定します。

設定の優先順位

設定した項目は、プリンタドライバやアプリケーションソフトとプリンタのメニュー項目に同じ機能がある場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトの設定が優先されます。

ジョブの印刷と保存について

本プリンタにオプションのハードディスクと拡張RAMを取り付けると、本プリンタ用のプリンタドライバでさまざまなプリントジョブの処理機能を利用できるようになります。

メモ

- **この機能を利用するには、オプションのハードディスクと32MB以上の拡張RAMが必要です。オプションについては、付録「オプションについて」（→ P.251, 252）をご覧ください。**
- **DOSアプリケーションやUNIXなどプリンタドライバを使用できないパソコンでは、この機能を利用することはできません。プリントジョブは、［印刷］モードで処理されます。**

ジョブの処理方法の種類

本プリンタ用のプリンタドライバでは、以下のような機能を利用することができます。

■［印刷］モード

通常のプリントを行います。

メモ

- **このモードは、オプションのハードディスクと拡張RAMを取り付けなくても利用することができます。**

■［セキュアプリント］モード

プリントジョブにユーザ名とパスワードを設定できるモードです。プリントジョブは、プリンタのハードディスクに保存され、プリンタの操作パネルやリモートUIでユーザ名を選択し、パスワードを入力するとプリントされます。機密書類など他人にプリント結果を見られたくないときに便利です。

メモ

- **［セキュアプリント］モードでハードディスクに保存したジョブは、一定時間内にプリンタの操作パネルやリモートUIでプリント操作を行わないと、自動的に消去されます。工場出荷時は1時間に設定されています。消去するまでの時間は変更することができます。詳細については、LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループを設定する」をご覧ください。**

■［保存］モード

プリントジョブをプリンタのハードディスク（ボックス）に保存するモードです。保存したジョブをプリントするには、リモートUIでボックス内のジョブを指定します。プリント時に部数や排紙方法を指定できるので、よく使うフォームなどをプリントするときに便利です。また、保存時に保存するボックスを指定できるので、用途別にジョブを分けることができます。

■［保存＋印刷］モード

プリントジョブをプリンタのハードディスクに保存し、一部だけプリントするモードです。プリント結果の確認ができるので、結果が良ければリモートUIで部数や排紙方法を指定してプリントすることができます。

メモ

- **［保存］モードおよび［保存＋印刷］モードでプリントしたプリントジョブをプリンタの操作パネルでプリントすることはできません。リモートUIで操作してください。**
- **［保存］モードおよび［保存＋印刷］モードでプリントしたプリントジョブはハードディスクに保存され、電源を切っても消去されません。消去したい場合はリモートUIで操作してください。**

■［ジョブ割り込み印刷］モード

今処理中のプリントジョブを止めて先にプリントするモードです。止められたプリントジョブは、プリンタのハードディスクに保持され、割り込み印刷のプリントジョブが終わると、プリントし直されます。

メモ

- **すでに割り込み印刷のプリントジョブを処理している場合は、さらに割り込んで先にプリントすることはできません。**

■［編集＋プレビュー］モード

複数のプリントジョブを［Canon PageComposer］で編集してプリントするモードです。編集機能では、ページを入れ替えたり、プリント結果のプレビューを表示したり、部数や排紙方法を指定してプリントすることができます。簡易製本用にプリントしたいときや、複数のアプリケーションやファイルからプリントしたものを1冊に編集してプリントしたいときに便利です。

メモ

- **このモードは、オプションのハードディスクと拡張RAMを取り付けなくても利用することができます。**

パスワードを設定してプリントする（セキュアプリント）

セキュアプリントは、パソコンから［セキュアプリント］でプリンタのハードディスクに保存した後、プリンタの操作パネルやリモートUIを使って、パスワードを入力してプリントします。リモートUIの操作については、「リモートUIガイド」をご覧ください。
ここでは、プリンタの操作パネルを使ってプリントする手順を説明します。

1

パソコンのプリンタドライバで［セキュアプリント］を選択し、ユーザー名、パスワードを入力して、プリントします。

ユーザ名は半角英数字で15文字以内、パスワードは数字で1文字以上7文字以内で入力します。

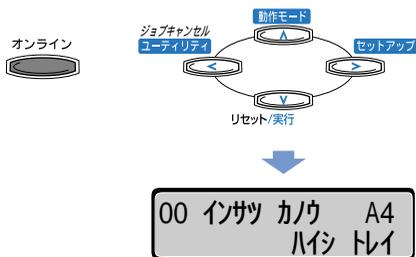
2

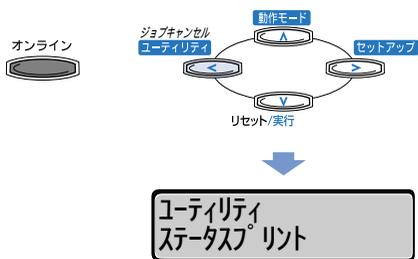
プリントするときは、プリンタの所へ行きます。

● ［セキュアプリント］モードでハードディスクに保存したジョブは、一定時間内にプリンタの操作パネルやリモートUIでプリント操作を行わないと、自動的に消去されます。工場出荷時は1時間に設定されています。消去するまでの時間は変更することができます。詳細については、LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループを設定する」をご覧ください。

3

ジョブランプが消灯しているとき（他のジョブを処理していないとき）に、オンライン キーを押して、オンラインランプを消灯します。

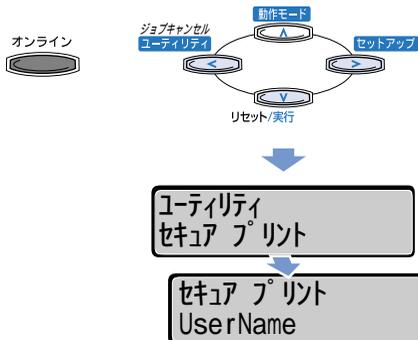
4

ユーティリティ キーを押します。

ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ →

5

＜、＞キーで「セキュア　プリント」を選択し、∨キーを押します。

セキュアプリントで保存されているプリントジョブのユーザ名が表示されます。

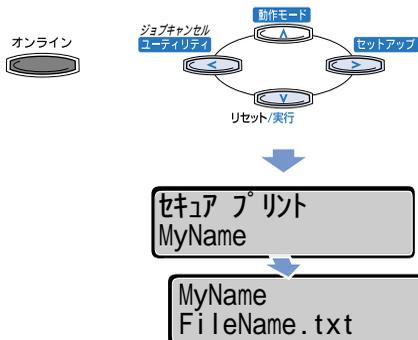
ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ
ｾｷｭｱ ﾌﾟﾘﾝﾄ →

ｾｷｭｱ ﾌﾟﾘﾝﾄ
UserName →

6

＜、＞キーで目的のユーザ名を選択し、∨キーを押します。

そのユーザ名でセキュアプリントしたプリントジョブのファイル名が表示されます。

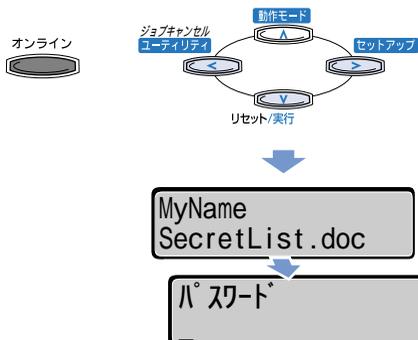
ｾｷｭｱ ﾌﾟﾘﾝﾄ
MyName →

MyName
FileName.txt →

7

＜、＞キーで目的のファイル名を選択し、∨キーを押します。

パスワード入力が表示されます。

MyName
SecretList.doc →

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
_

8

＜、＞キーで数字を選択し、∨キーを押します。

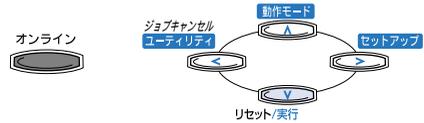
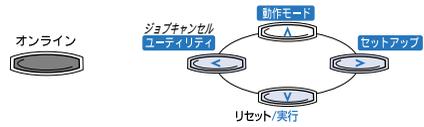
1桁目の数字が確定されます。この操作を繰り返してパスワードを入力してください。

メモ

●パスワードが7桁の場合、7桁目を確定するために∨キーを押した時点でプリントが始まります。パスワードが違う場合は、入力したパスワードが消去されますので、入力し直してください。

9

設定したパスワードを入力し終わったら、∨キーを押します。

指定したファイルがプリントされます。
パスワードが違うと、入力したパスワードの表示が消去されるので、入力し直してください。

カラーモードについて

本プリンタは、印字モードを「カラー」、「モノクロ」、「ジドウ」に設定できます。
「カラー」モードでは、受信した印字データをカラー処理してプリントします。「モノクロ」モードでは、受信した印字データをモノクロ処理してプリントします。「ジドウ」モードでは、受信した印字データがカラーのときはカラー処理、モノクロのときはモノクロ処理に自動的に切り換えてプリントします。モノクロの印字データを「カラー」の設定でプリントすると、カラーの印字データと同じ処理時間がかかります。

カラーモードの設定

■ Windows からプリントする場合

カラーモードはプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「フルカラーモードで印刷」が選択されています。カラーモードを指定するときは、プリンタドライバの［印刷品質］ページの［色の印刷モード］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

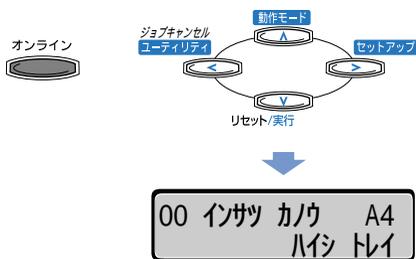
■ Macintosh からプリントする場合

カラーモードを指定するときは、プリンタドライバの［一般設定］ページの［カラー］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

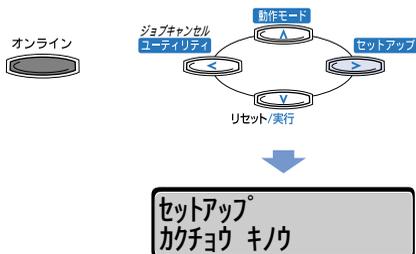
■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSからプリントする場合は、操作パネルでカラーモードを選択します。初期値は「ジドウ」に設定されています。

1

（オンライン）キーを押し、オンラインランプを消灯します。

2

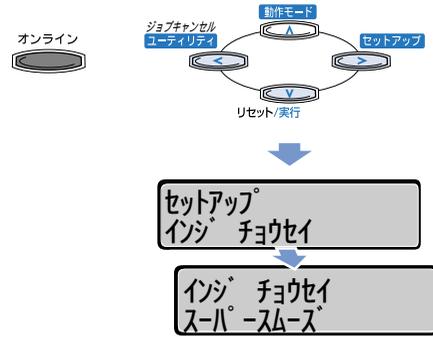
（セットアップ）キーを押します。

ディスプレイにセットアップメニューの項目が表示されます。

3

< 、 > キーで「インジ チョウセイ」を選択し、 ∨ キーを押します。

ディスプレイに印字調整の設定項目が表示されます。

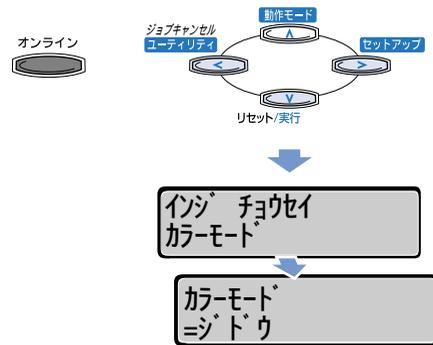
セットアップ°
インシ゛ チョウセイ →

インシ゛ チョウセイ
スーハ゜ースムース゛ →

4

< 、 > キーで「カラーモード」を選択し、 ∨ キーを押します。

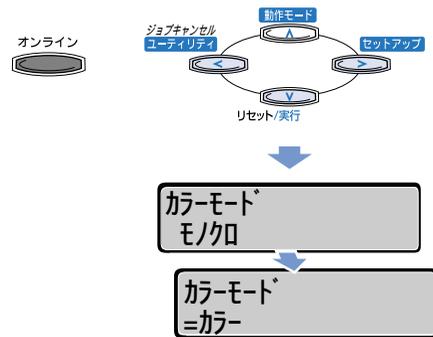
ディスプレイに現在のカラーモードの設定値が表示されます。

インシ゛ チョウセイ
カラーモート゛ →

カラーモート゛
=シ゛ト゛ウ →

5

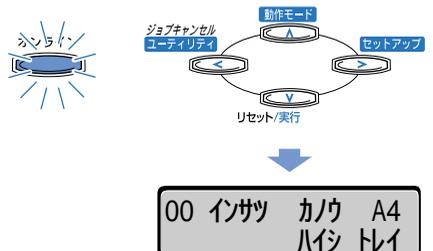
< 、 > キーで「カラー」、「モノクロ」、「ジドウ」のいずれかを選択し、 ∨ キーを押します。

カラーモート゛
モノクロ →

カラーモート゛
=カラー →

6

オンライン キーを押します。

設定が有効になり、オンライン状態に戻ります。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

第1章 プリンタの使いかた

動作モードについて

本プリンタは、キヤノン独自のLIPSモード、IBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）のESC/Pエミュレーションモードの2種類の動作モードを内蔵しています。プリントデータを受信すると、プリントデータを判別し、自動的にデータに応じた動作モードに切り替えてプリントします。
このため、通常は工場出荷時の設定のままで各種パソコンに対応できますが、自動切り替えがうまくできないときや、いままで使用していたプリンタと同じ設定で使いたいときなどは、優先的に処理する動作モードを設定したり、いずれかの動作モードに固定したりすることができます。

動作モードの種類

本プリンタは、内蔵のLIPSモードとESC/Pモード、オプションのコントロールROMによるPS/55、PS/Vシリーズなどのエミュレーションモードを使用できます。

● LIPSモード

LIPSは、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPSに対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）はこのモードでプリントします。付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的にLIPSモードでプリントされます。

● ESC/Pエミュレーションモード

IBM PC/AT互換機（DOS/Vパソコン）、AXパソコンで標準的に使用されているESC/P準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのコンピュータで、LIPSに対応していないアプリケーションソフトを使用しているときはこのモードでプリントします。エプソンが提唱するESC/P-J84のコマンド体系に準拠しています。

●その他のエミュレーションモード

PS/55やPS/Vシリーズ、HP-GL専用プリンタをエミュレートするコントロールROMがオプションで用意されています。コントロールROMを取り付けることにより、PS/55やPS/Vシリーズ、HP-GL対応のアプリケーションからプリントできるようになります。

メモ

● コントロールROMについては、付録「オプション品について」（→ P.253）をご覧ください。

自動切り替えがうまくできないとき

本プリンタの動作モード設定を「自動選択」(工場出荷時のままの状態)で使用中に、ESC/P データがLIPSでプリントされるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、プリンタを次のように設定してみてください。
次の設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないときは、プリントデータに合った動作モードに固定してプリントしてください。

●優先エミュレーションを切り替えたい動作モードに設定する
優先エミュレーションの工場出荷時の設定は「ESC/P」になっています。この設定をプリントするデータに合わせて「LIPS」や「オプション(コントロールROM)」、「なし」に変更します。

●自動切り替えの設定で不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す
自動切り替えの工場出荷時の設定は、すべての動作モードが「使う」になっています。この設定を、不要な動作モードを「使わない」に設定します。

メモ

●優先エミュレーション、動作モードの自動切り替えの設定、動作モードの固定はユーティリティソフト、操作パネルのどちらからでもできます。ユーティリティソフトからの設定方法については「LIPSソフトウェアガイド」、操作パネルからの設定方法についてはLIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。

専用プリンタと同じ動作で使う(動作モード固定)

使用しているパソコンの専用プリンタと同じ動作で使いたいときは、自動切り替えを解除し、動作モードをLIPS、ESC/Pエミュレーションモード、コントロールROM(オプション)のエミュレーションのいずれかに固定することができます。

●IBM PC/AT互換機(DOS/Vパソコン)やAXパソコン
→ESC/Pエミュレーションモードに固定

●PS/55、PS/Vシリーズなどのパソコン
→取り付けたコントロールROM(オプション)のエミュレーションモードに固定

メモ

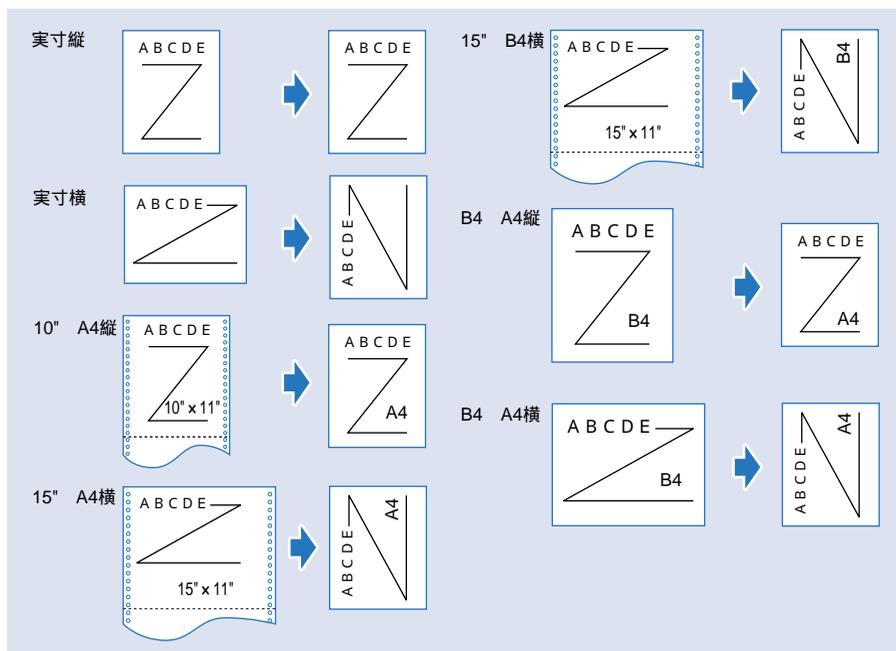
●ESC/Pエミュレーションモードでプリントする場合、ページフォーマットの設定が必要です。ページフォーマットについては次ページをご覧ください。
●動作モードの設定はユーティリティソフト、操作パネルのどちらからでもできます。ユーティリティソフトからの設定方法については「LIPSソフトウェアガイド」、操作パネルからの設定方法については、LIPS機能ガイド　第6章「1　動作モードメニューの設定項目」をご覧ください。

エミュレーションモードで使うとき

本プリンタをESC/Pエミュレーションモードで使用する場合、いままで使用していた用紙やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、本プリンタのページフォーマットを設定する必要があります。

■ ESC/P のページフォーマット設定

いままでESC/P準拠プリンタで使用していた用紙の種類やアプリケーションで指定していた用紙の種類に合わせ、次の7種類のページフォーマットから選択します。本プリンタを購入したまま（工場出荷時）の状態では「実寸縦」に設定されています。

実寸縦：　用紙を縦に使ってプリントします
実寸横：　用紙を横に使ってプリントします
10" → A4 縦：10" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → A4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小してプリントします
15" → B4 横：15" × 11" の連続用紙用に作成したデータを B4 に縮小してプリントします
B4 → A4 縦：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を縦に使ってプリントします
B4 → A4 横：B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙を横に使ってプリントします

- **用紙サイズは、「10" → A4 縦」「15" → A4 横」「B4 → A4 縦」「B4 → A4 横」では A4、「15" → B4横」ではB4が標準ですが、給紙元が設定（給紙選択）されているときは、設定されている給紙元の用紙にプリントします。**
- **10" × 11" の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。15" × 11" の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。**

プリントを中止する

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、「ジョブキャンセル」を行います。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていない他のインタフェースのプリントデータには影響しません。

お願い

- **ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに（ジョブキャンセル）キーを押すと、（ユーティリティ）キーとして動作します。**
- **すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。**
- **本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。**

ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

メモ

- **上記のディスプレイ表示は、LIPSモードのジョブを処理している場合を例にしています。ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイ上段に動作モード、下段にユーザ名やプリンタの状態などの情報が表示されます。**

2

ジョブキャンセル キーを押します。

「03 ジョブ キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。

03 ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ

データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00 ジョブ スキップ」の表示に変わります。

00 ｼﾞｮﾌﾞ ｽｷｯﾌﾟ
ｾﾝﾄﾛﾆｸｽ

「00 インサツ カノウ」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

00 ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ A4
ﾊｲｼ ﾄﾚｲ

お願い

- **「00 ジョブ スキップ」が表示されているときは、リセット キーを押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。**
- **「03 ジョブ キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00 ジョブ スキップ」が表示されるまでお待ちください。**

第 2 章

給紙・排紙のしかた

用紙について

使用できる用紙

本プリンタでは次の用紙を使用できます。◎は片面プリントとオプションの両面ユニットを使った両面プリントが可能、○は片面プリントのみ可能、△は制限付きで可能、×は不可です。

■用紙サイズ

用紙の種類	給紙元					
	給紙トレイ	カセット1*1	カセット2	カセット3（オプション）	カセット4（オプション）	ペーパーデッキ（オプション）
普通紙(64～105g/m^2)						
A5	◎	◎*2	×	◎*2	×	×
B5	◎	◎*3	×	◎*3	×	×
A4	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4R	◎	×	×	×	×	×
B4	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A3*3	◎	×	◎	×	◎	◎
レター	◎	◎	◎	◎	◎	◎
レターR	◎	×	×	×	×	×
エグゼクティブ	◎	×	×	×	×	×
リーガル*4	◎	◎	◎	◎	◎	◎
レジャー*4	◎	×	◎	×	◎	◎
ユーザペーパー 幅：98.4～304.8mm 長さ：190～469.9mm	○	×	×	×	×	×
厚紙(106～135g/m^2)						
A5	○	×	×	×	×	×
B5	○	×	×	×	×	×
A4	○	×	×	×	×	×
A4R	○	×	×	×	×	×
B4	○	×	×	×	×	×
A3	○	×	×	×	×	×
レター	○	×	×	×	×	×
レターR	○	×	×	×	×	×
エグゼクティブ	○	×	×	×	×	×
リーガル	○	×	×	×	×	×
レジャー	○	×	×	×	×	×
ユーザペーパー 幅：98.4～304.8mm 長さ：190～469.9mm	○	×	×	×	×	×
光沢フィルム　A4	○	×	×	×	×	×
OHPフィルム　A4	○	×	×	×	×	×
ラベル用紙　A4	○	×	×	×	×	×
官製ハガキ	○	×	×	×	×	×
封筒						
洋形4号	○	×	×	×	×	×
角形2号	○	×	×	×	×	×

■給紙元の積載枚数

用紙の種類	給紙元					
	給紙トレイ	カセット1*1	カセット2	カセット3（オプション）	カセット4（オプション）	ペーパーデッキ（オプション）
普通紙（64g/m²の場合）	約100枚	約500枚	約500枚	約500枚	約500枚	約2000枚
厚紙（128g/m²の場合）	約50枚	×	×	×	×	×
光沢フィルム	約50枚	×	×	×	×	×
OHPフィルム	約50枚	×	×	×	×	×
ラベル用紙	約40枚	×	×	×	×	×
官製ハガキ	約40枚	×	×	×	×	×
封筒	約10枚	×	×	×	×	×

■排紙先の積載枚数

用紙の種類	排紙先		
	排紙トレイ	サブ排紙トレイ（ノンソートビン）	ビン1～7（オプション）
普通紙（64g/m²の場合）	約300枚	約100枚	各120枚
厚紙（128g/m²の場合）	△*5	約50枚	×
光沢フィルム	△*5	1枚	×
OHPフィルム	△*5	1枚	×
ラベル用紙	×	約40枚	×
官製ハガキ	×	約100枚	×
封筒	△*5	約10枚	×

*1 LBP-2300は、オプションの500枚カセットUC-82、CS-82（A5R）、CS-82（B5R）を装着した場合に、セット可能となります。
*2 オプションの500枚カセットCS-82（A5R）を装着した場合に、セット可能となります。
*3 オプションの500枚カセットCS-82（B5R）を装着した場合に、セット可能となります。
*4 オプションの拡張RAMを装着した場合に、両面プリントが可能となります。
*5 排紙先に7ビンソータのビンを指定してプリントし、エラースキップを行った場合には、排紙トレイへ排紙されます。また、通常の排紙先としても設定できますが、用紙がカールしたり、しわの原因になるので、サブ排紙トレイ（ノンソートビン）に排紙することをお勧めします。

お願い

- A3、レジャーサイズの用紙をセットする場合、75g/m² 以上の用紙をお使いください。
- 給紙トレイにA5、B5サイズの用紙をセットするときは、必ず縦送り方向にセットしてください。
- 給紙トレイにラベル用紙をセットするときは、必ず縦送り方向にセットし、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「A4R」に設定してください。「フリー」に設定してご使用の場合は「用紙の向き」を「タテオクリ」に設定してください。
- 封筒の場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「フウトウ　Y4」または「フウトウ　K2」に設定すると、自動的に封筒の印字モードでプリントされます（→ P.99）。操作パネルからの「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。
- ハガキの場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「ハガキ」に設定すると、自動的にハガキの印字モードでプリントされます（→ P.99）。操作パネルからの「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。

メモ

- オプションのペーパーデッキを装着した場合、ペーパーデッキの状態監視のために、給紙元にかかわらず、連続プリント中に一時的にプリントが中断されることがあります。
- プリンタ本体の上段カセット（カセット 1）や 2 × 500 枚ペーパーデッキの上段カセット（カセット 3）は、オプションの 500 枚カセット CS-82（ B5R または A5R）と差し替えると、B5 や A5 サイズの用紙をセットすることができます。（→ P.248）
- オプションの 500 枚ユニバーサルカセット UC-82 は、プリンタ本体の上段カセット（カセット 1）や 2 × 500 枚ペーパーデッキの上段カセット（カセット 3）と差し替えて使うことができます。（→ P.248）
- オプションの 500 枚ユニバーサルカセット UC-82K は、プリンタ本体の下段カセット（カセット 2）や 2 × 500 枚ペーパーデッキの下段カセット（カセット 4）と差し替えて使うことができます。（→ P.248）

●普通紙

本プリンタでは、A5、B5、A4、B4、A3、エグゼクティブ、レター、リーガル、レジャーサイズの定形用紙を含む幅 98.4 ～ 304.8mm、長さ 190 ～ 469.9mm、重さ 64 ～ 105g/m² の普通紙を使用できます。
定形用紙は、給紙カセットやペーパーデッキ、給紙トレイから給紙できます。オプションの両面ユニットを取り付けることにより、自動両面プリントが可能になります。
その他のサイズは、給紙トレイから給紙します。

●厚紙

本プリンタでは、A5、B5、A4、B4、A3、エグゼクティブ、レター、リーガル、レジャーサイズの定形用紙を含む幅 98.4 ～ 304.8mm、長さ 190 ～ 469.9mm、重さ 106 ～ 135g/m² の厚紙を使用できます。厚紙は、給紙トレイから給紙します。

●光沢フィルム

本プリンタでは、専用の「キヤノン カラーレーザ 光沢フィルム GF-1 A4（A4 サイズ）」を使用してください。

お願い

- 光沢フィルム GF-1 A4 は、LBP-2160/2200/2260/2260PS/2300/2360 専用です。他のカラーレーザプリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。

●OHP フィルム

本プリンタでは、専用の「キヤノン カラーレーザ OHP 用紙 TR-3 A4（A4 サイズ）」を使用してください。

お願い

- **OHP 用紙 TR-3 A4 は、LBP-2160/2040/2200/2260/2260PS/2300/2360 専用です。他のカラーレーザプリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。**
- **LBP-2030 用 OHP 用紙（キヤノン　カラーレーザ OHP 用紙 T-H1 A4、T-H1 LTR）や CLC 用 OHP、モノクロプリンタ用 OHP（キヤノン国内 LBP 用トランスペアレンシー）など、指定以外の OHP フィルムは、本プリンタでは使用できません。万一使用すると、プリンタ内部の定着ユニットの故障や画質低下の恐れがあります。**

●ラベル用紙

本プリンタでは、A4 サイズのラベル用紙を使用できます。

お願い

- **次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。**
  - **・ラベルが剥がれかけていたり、一部使いかけている用紙**
  - **・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙**
  - **・糊がはみ出ている用紙**
- **給紙トレイにラベル用紙をセットするときは、必ず縦送り方向にセットし、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「A4R」に設定してください。「フリー」に設定してご使用の場合は「用紙の向き」を「タテオクリ」に設定してください。**

●封筒

本プリンタでは、洋形 4 号、角形 2 号の封筒を使用できます。

お願い

- **次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。**
  - **・ファスナーや留め具の付いている封筒**
  - **・窓付きの封筒**
  - **・糊付きの封筒**
  - **・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒**
  - **・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒**
  - **・長方形でない封筒や不規則な形の封筒**
- **セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。**
- **裏面にはプリントしないでください。**

●ハガキ

本プリンタでは、官製ハガキのみを使用できます。往復ハガキや私製ハガキは使用できません。

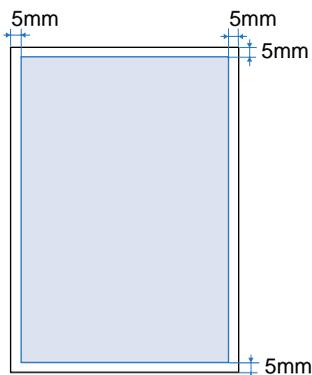
お願い

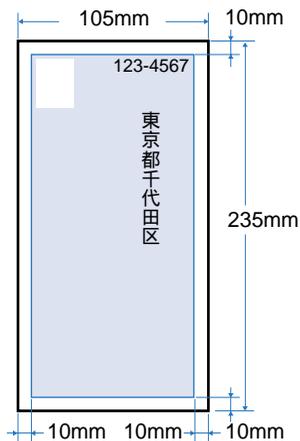
- **インクジェット用の官製ハガキを使用することはできません。**

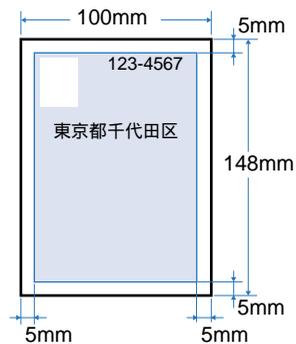
プリントできる範囲

本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。

●普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / 光沢フィルム / ラベル用紙

普通紙/厚紙/OHPフィルム/光沢フィルム/ラベル用紙は、用紙の周囲5mmより内側の範囲にプリントできます。

●封筒

封筒は、封筒の周囲10mmより内側の範囲にプリントできます。お使いのアプリケーションによっては、プリント時に位置を調整してお使いください。

●ハガキ

ハガキは、官製ハガキの周囲5mmより内側の範囲にプリントできます。

使用できない用紙

紙づまりやプリンタ本体の故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

お願い

- ●紙づまりを起こしやすい用紙
  - 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - 不規則な形の用紙
  - 湿っている用紙、濡れている用紙
  - 破れている用紙
  - 表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - カールした用紙や折り目のある用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - 裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
  - バリのある用紙
  - しわのある用紙
  - 角折れのある用紙
- ●高温によって変質する用紙
  - 定着ユニットの熱（約 180℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - 感熱用紙
  - 表面加工したカラー用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - 糊などがついた用紙
- ●プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - カーボン紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - 複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可）
- ●トナーが定着しにくい用紙
  - ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - 紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - 繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格に合った用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに注意してください。

お願い

- **用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。**
- **用紙の包装紙は、湿気を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。**
- **平らな場所に保管してください。**
- **床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。**
- **用紙が丸まったり折り目がつくような置き方をしないでください。**
- **用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。**
- **直射日光の当たる場所や湿度の高い場所に保管しないでください。**
- **保管場所と使用する場所の温度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。**

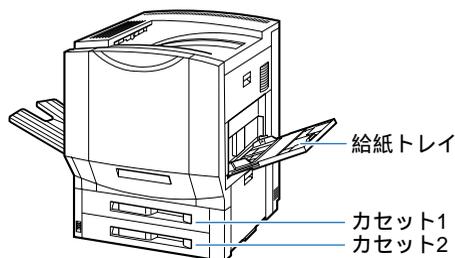
給紙元を選択する

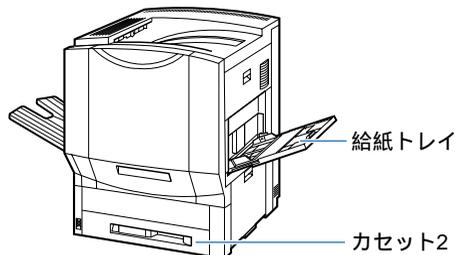
本プリンタは、標準状態で給紙カセットと給紙トレイの給紙元があります。また、オプションの2000枚ペーパーデッキや2×500枚ペーパーデッキ、500枚カセット（LBP-2300の場合）を装着することにより、最大5つの給紙元を使用することが可能です。

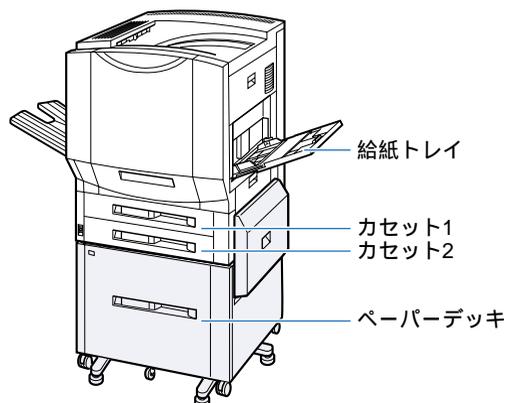
給紙元の種類

本プリンタには、次の給紙元があります。

● **LBP-2360 標準状態**

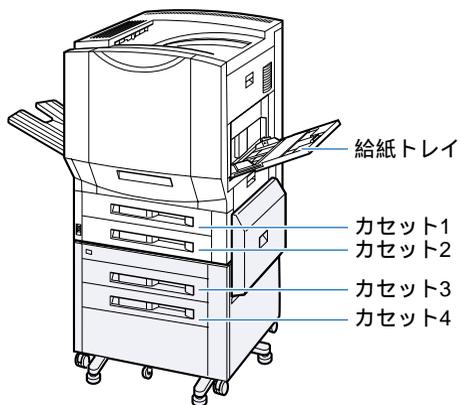
給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット1
給紙カセット2
給紙枚数：　最大1100枚（64g/m²）

● **LBP-2300 標準状態**

給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット2
給紙枚数：　最大600枚（64g/m²）

● **2000枚ペーパーデッキ PD-82 装着状態**

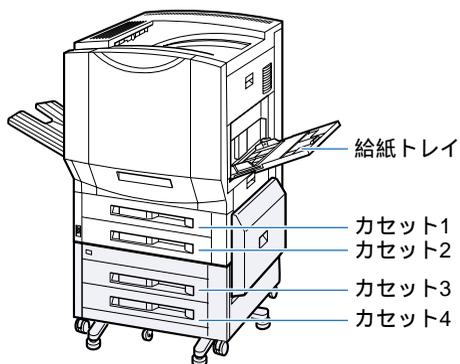
給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット1
給紙カセット2
ペーパーデッキ
給紙枚数：　最大3100枚（64g/m²）*

* LBP-2300ではオプションの500枚カセットを給紙カセット1に装着した場合の枚数です。

● 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1 装着状態

給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット 1
給紙カセット 2
給紙カセット 3
給紙カセット 4
給紙枚数：　最大 2100 枚（64g/m²）*

＊LBP-2300ではオプションの500枚カセットを給紙カセット１に装着した場合の枚数です。

● 2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L 装着状態

給紙元：　給紙トレイ
給紙カセット 1
給紙カセット 2
給紙カセット 3
給紙カセット 4
給紙枚数：　最大 2100 枚（64g/m²）*

＊LBP-2300ではオプションの500枚カセットを給紙カセット１に装着した場合の枚数です。

給紙元の選択

■ Windows や Macintosh からプリントする場合

給紙元の選択は、プリンタドライバで設定します。プリンタドライバの初期値は［自動］に設定されており、アプリケーションソフトで用紙サイズを設定すれば、自動的に給紙元を探して給紙されます。プリント中に用紙がなくなっても他の給紙元に同じサイズの用紙があれば、自動的に切り替えて給紙されます。
給紙元を指定したい場合は、プリンタドライバで給紙元を設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

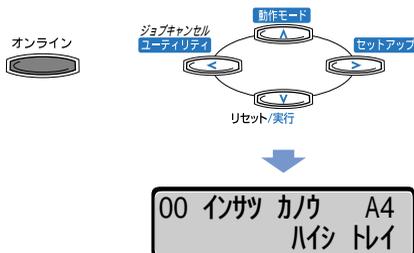
■ DOS や UNIX からプリントする場合

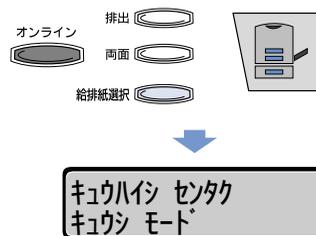
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで給紙元を選択します。本プリンタの給紙選択の初期値は「ジドウ」に設定されています。

1

(オンライン)キーを押して、オンラインランプを消灯します。

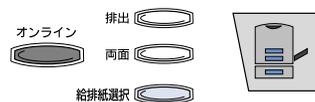
操作パネルで設定できる状態になります。

2

(給排紙選択)キーを押します。

ディスプレイに「キュウハイシ　センタク」と表示されます。

3

給排紙選択キーを押して、給紙元を選択します。

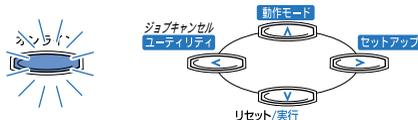
給排紙選択キーを押すたびに、使用可能な給紙元の表示がジドウ→カセット1（LBP-2300は500枚カセット取付時）→カセット2→カセット3（2×500枚ペーパーデッキ取付時）→カセット4（2×500枚ペーパーデッキ取付時）→ペーパーデッキ（2000枚ペーパーデッキ取付時）→トレイの順で変わります。

メモ

- **給紙元を「ジドウ」に設定すると、LBP-2360はカセット1、LBP-2300はカセット2（オプションの500枚カセット取付時はカセット1）の給紙元表示ランプが点灯します。**
- **ペーパーデッキが装着されていないときは、ペーパーデッキやカセット3、カセット4の給紙元表示ランプは点灯しません。**

4

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

給紙元が変更され、プリントできる状態になります。
ディスプレイ右上に選択した給紙元の用紙サイズが表示されます。ジドウを選択したときは、LBP-2360はカセット1、LBP-2300はカセット2（オプションの500枚カセット取付時はカセット1）の用紙サイズが表示されます。

メモ

- **給紙元の選択は、<、>キーでも可能です。**
- **給紙元の変更は、∨キー（リセット/実行キー）でも可能です。**
- **給紙元は、<、>キー、オンラインキー、給排紙選択キー以外のキーを押すと、選択中の給紙元に変更されます。**

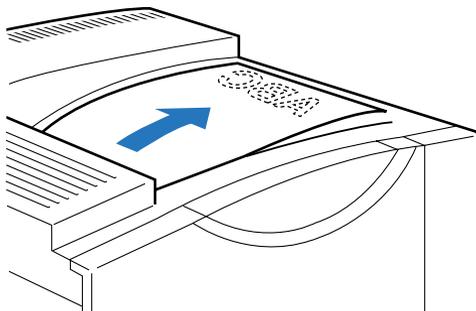
排紙先を選択する

本プリンタは、プリンタ上面の排紙トレイとプリンタ左側面のサブ排紙トレイの排紙先があります。また、オプションの7ビンソータを装着すると、7つのビンを排紙先として追加することができ、排紙トレイ、ノンソートビンと合わせて、9つの排紙先を目的に応じて使いわけることが可能です。

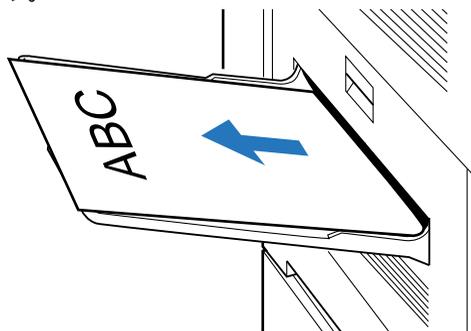
排紙先の種類

本プリンタには、次の排紙先があります。

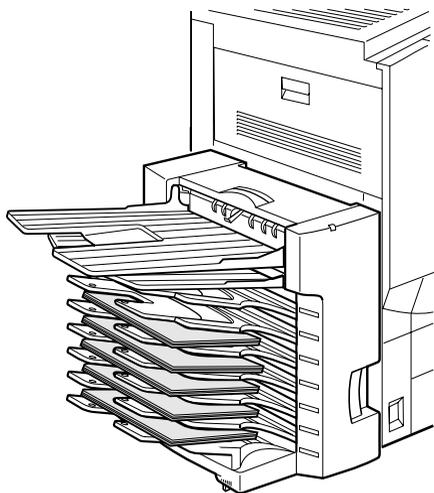
■排紙トレイ（フェースダウントレイ）

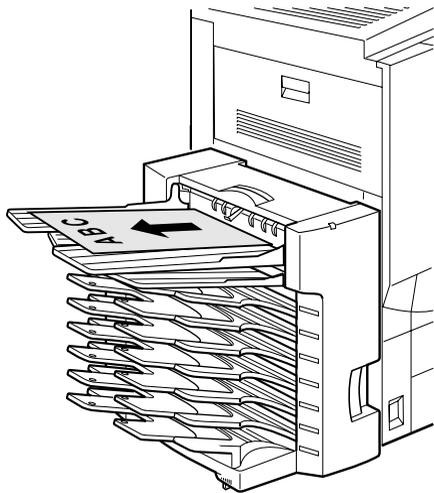
プリンタ上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。フェースダウンで排紙するときは、給排紙選択メニューの排紙選択モードで、「排紙トレイ」を選択します。

■サブ排紙トレイ（フェースアップトレイ）

プリンタ左側面のサブ排紙トレイに印字した面が上向き（フェースアップ）で排紙されます。用紙はページ順とは逆に積み重なります。フェースアップでの排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすいOHPフィルムや光沢フィルム、ラベル用紙、ハガキ、封筒などに印字するときに使います。フェースアップで排紙するときは、給排紙選択メニューの排紙選択モードで、「サブ排紙トレイ」を選択します。

お願い

●ハガキにプリントする場合は、必ずサブ排紙トレイに排紙されます。

■ソータ排紙ビン

オプションの7ビンソータを装着することにより、7つのビンを排紙先として使用できます。プリンタドライバの設定により、ソート排紙やビン指定排紙などさまざまな使いかたが可能です。7ビンソータの利用例については、74ページをご覧ください。

■ノンソートビン

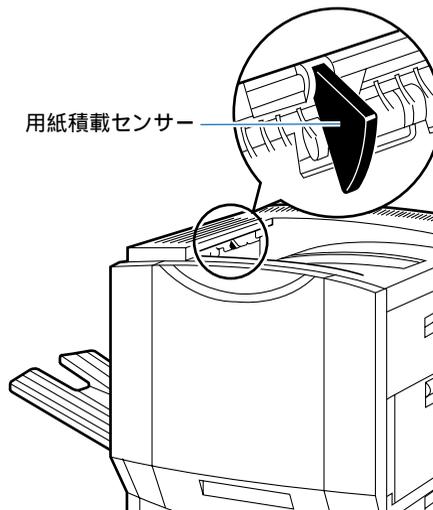
7ビンソータの一番上に印字した面が上向き（フェースアップ）で排紙され、用紙はページ順とは逆に積み重なります。7ビンソータ装着時のサブ排紙トレイとなり、用紙がまっすぐに排紙可能なので、カールしやすいOHPフィルムや光沢フィルム、ラベル用紙、ハガキ、封筒などに印字するときに使います。

お願い

- **ノンソートビンに排紙した時、用紙の種類によって排紙された用紙がカールし、積載性が損なわれることがあります。その場合は、用紙の面を裏表逆にセットして、プリントしてください。**
- **ハガキにプリントする場合は、必ずノンソートビンに排紙されます。**
- **ノンソートビンは、プリンタ本体に付属のサブ排紙トレイを取り付けてください。**

お願い

● 一度ソータ排紙ビンから取り除いた用紙を戻したり、ソータ排紙ビンに用紙を追加したりしないでください。満載の検知が正しく行われなかったり、紙づまりの原因になることがあります。

メモ

● 排紙トレイは、普通紙（64g/m²）で約300枚まで積載することができます。排紙トレイには用紙積載センサーがあり、満載になると「1F ハイシトレイ　フル」のメッセージが表示されてプリントが停止されます。排紙トレイが満載になったときは、排紙トレイから用紙を取り除いてください。プリントが再開されます。

● ７ビンソータのノンソートビンは、普通紙（64g/m²）で約100枚まで積載することができます。ノンソートビンが満載になると「１Ｆ　ＦＵトレイ　フル」のメッセージが表示されてプリントが停止されます。ノンソートビンから用紙を取り除くと、プリントが再開されます。
● ７ビンソータのビン１～ビン７は、普通紙（64g/m²）で１ビンあたり約120枚まで積載することができます。
● スタック排紙やソート排紙の場合、ビンが満載になると「１Ｆ　ビン　フル」のメッセージが表示され、その下に用紙を取り除く必要があるビンが表示されてプリントが停止されます。用紙を取り除くと、プリントが再開されます。
● ビン固定排紙の場合、「１Ｆ　ビンｎ　フル」のメッセージが表示されてプリントが停止されます。用紙を取り除くと、プリントが再開されます。

排紙先の選択

■ Windows からプリントする場合

排紙先はプリンタドライバで指定します。プリンタドライバの初期値は「排紙トレイ」が選択されており、何も指定しなければ、排紙トレイへ排紙されます。7ビンソータ装着時は、［デバイスの設定］ページの［排紙オプション］で［7ビンソータ］を選択します。
排紙先を指定するときは、プリンタドライバの［仕上げ］ページの［排紙設定］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

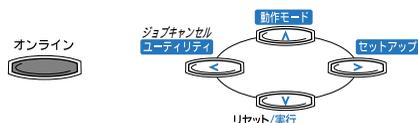
■ Macintosh からプリントする場合

排紙先を指定するときは、プリンタドライバの［給排紙設定］ページの［排紙先］で設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルで排紙先を選択します。排紙選択の初期値は「ハイシ　トレイ」に設定されています。また、7ビンソータ装着時は、初期値が「ジドウ」に設定されています。

1

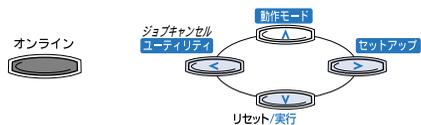
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

2

（給排紙選択）キーを押します。

ディスプレイに「キュウハイシ　センタク」と表示されます。

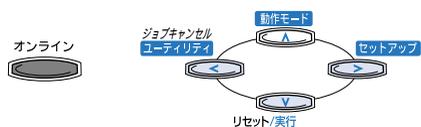
3

<、>キーで「ハイシ　センタク　モード」を選択し、∨キーを押します。

キュウハイシ センタク
ハイシ センタク モード →

ハイシ センタク モード
=ハイシ トレイ →

4

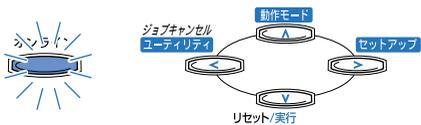
<、>キーで排紙先を選択し、∨キーを押します。

ディスプレイの右下に排紙先が表示されます。

ハイシ センタク モード
サブ ハイシ トレイ →

ハイシ センタク モード
=サブ ハイシ トレイ →

5

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

00 インサツ カノウ A4
サブ ハイシ トレイ

7ビンソータの活用例

本プリンタにオプションの7ビンソータを装着すると、普通紙の排紙先をさまざまに使い分けることができます。ここでは、代表的な例とWindows版プリンタドライバでの設定方法を紹介します。プリンタの利用状況に合せ、あらかじめ活用方法を決めてから運用することをお勧めします。
Macintosh版プリンタドライバの操作方法については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

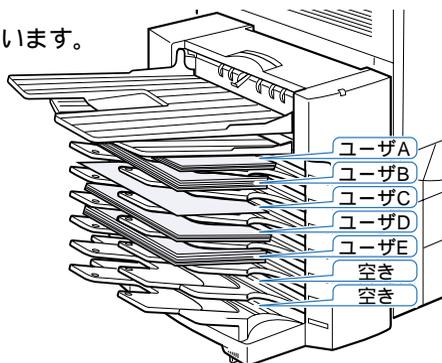
■プリンタを多数のユーザで共有する場合

●ユーザ名排紙

ユーザ名排紙では、ジョブを送信したユーザ名が自動的にビンに割り当てられ、同じユーザ名から再びジョブが送信されると、ユーザ名のビンへ排紙されます。プリントが他のユーザと混ざることがなく、すぐに自分のプリントを見つけられます。また、ビンの用紙を取り除くと自動的にビンのユーザ名が削除され、新たなユーザに割り当てられます。ユーザ名排紙では、多くのユーザでフレキシブルにビンを活用することができます。
7ビン装着時は、初期値としてこのモードが設定されています。

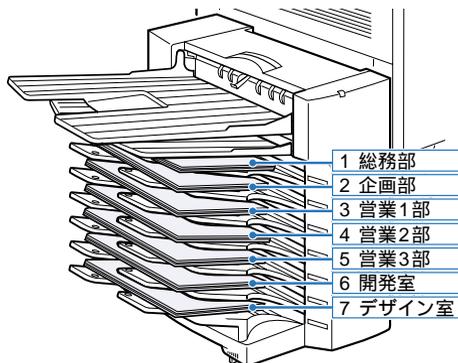
【必要な設定】

○プリンタドライバの設定
［デバイスの設定］ページ
［排紙オプション］＝7ビンソータ
［ユーザセパレートモード］＝自動
［仕上げ］ページ
［排紙方法］＝ユーザセパレート

ユーザA
ユーザB
ユーザC
ユーザD
ユーザE
空き
空き

●ビン名排紙

NetSpotでビンに各グループ名称や個人名などを登録すると、プリンタドライバの［排紙設定］をグループ名称や個人名などで指定できるようになります。ビン名排紙では、自分のプリントを指定したビンへメールボックスのように排紙させることができます。本プリンタを7つまでの部署もしくはグループで共有する場合に便利です。

【必要な設定】

○ NetSpotの設定
［ビン名称］ダイアログボックス
［ビン名称］＝それぞれ決めた名称
○プリンタドライバの設定
［デバイスの設定］ページ
［排紙オプション］＝7ビンソータ
［ユーザセパレートモード］＝固定
［仕上げ］ページ
［排紙方法］＝ユーザセパレート
［排紙設定］＝出力したいビン名称

●各ビンの名称はあらかじめNetSpotで登録します。登録していない場合は、ビン1、ビン2.... ビン7（初期設定値）が表示されます。

■プリンタを特定のユーザが使う場合

●多部数ソート排紙

7部までのプリントなら7つのビンにソート済みで排紙させることができます。また、オプションのハードディスクと32MB以上の拡張RAMを取り付けると、8部以上のプリントでも7部ずつの排紙をくり返して、全部数をソート排紙することが可能です。64MB以上の拡張RAMを取り付けている場合は、rip once（リップワンス）機能をオンにすることにより、電子ソートで全部数を自動ソート排紙することが可能です。ソート排紙は、多部数プリントのジョブが多い場合に便利です。

【必要な設定】

○プリンタドライバの設定

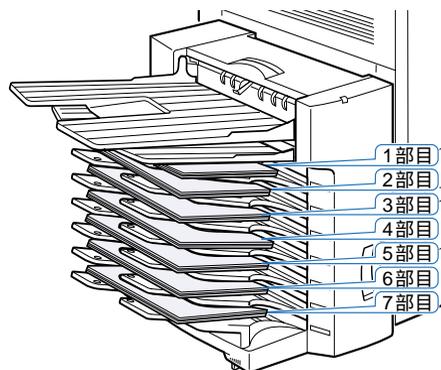
［デバイスの設定］ページ

［排紙オプション］＝7ビンソータ

［LIPS拡張メモリ］＝32MB以上

［ハードディスクを装着する］＝オン

［仕上げ］ページ

［排紙方法］＝ソート

メモ

- **rip once（リップワンス）機能を使用していない場合は、8部以上のソート排紙を行うと、7部終わる度に「1F　ヨウシヲ　トッテクダサイ」のメッセージが表示されます。全ビンから用紙を取り除くと、プリントが再開されます。**
- **ソート排紙でプリント中に割り込み印刷が行われると、割り込み印刷終了後プリントを再開するときに、「1F　ヨウシヲ　トッテクダサイ」のメッセージが表示されることがあります。排紙ビンから用紙を取り除くと、プリントが再開されます。**

●大容量スタック排紙

スタック排紙では、ジョブに関係なく一番下のビンからフェースダウン排紙されます。満載になると次々に排紙ビンが切り替わっていき、約840枚の自動連続排紙が可能です。連続ページプリントが多い場合には、スタック排紙が便利です。

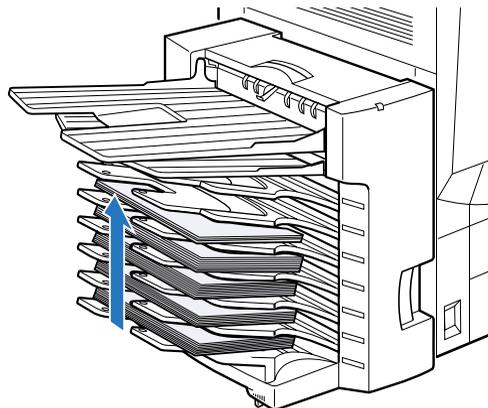
【必要な設定】

○プリンタドライバの設定

［デバイスの設定］ページ

［排紙オプション］＝7ビンソータ

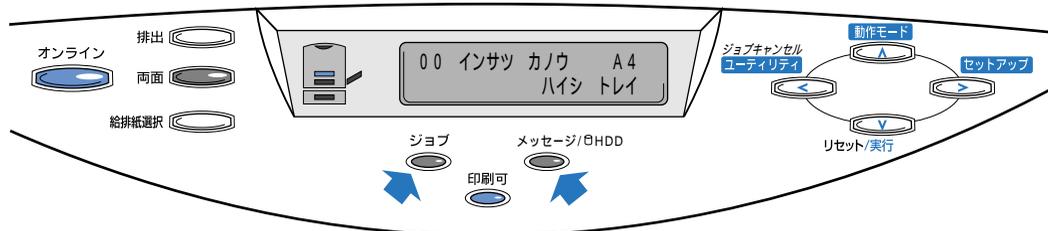
［仕上げ］ページ

［排紙方法］＝スタック

用紙をセットする

本プリンタの給紙元には、給紙カセット、給紙トレイ、2000枚ペーパーデッキ、2×500枚ペーパーデッキがあります。給紙カセットやペーパーデッキには、A4やB4などの定形サイズの普通紙をあらかじめセットしておくことができます。給紙トレイには、定形サイズと定形以外の用紙をセットでき、使用する用紙をその都度セットします。
給紙カセットや給紙トレイなどの用紙がなくなると、ディスプレイに「11　A4ヨウシガ　アリマセン」や「17　カセット1　ヨウシ　ナシ」などのメッセージが表示され、給紙元の用紙がなくなったことを表示します。このメッセージが表示されたら、給紙元に用紙をセットしてください。

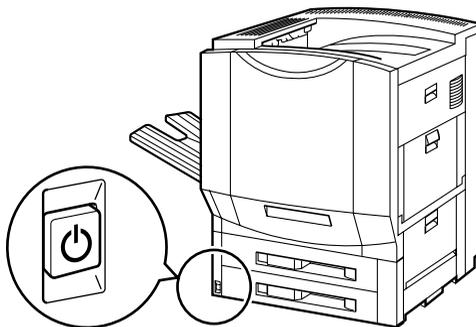
用紙をセットするときの注意

用紙をセットするときは、次のいずれかの状態のときに行ってください。ジョブランプとメッセージランプ／HDDランプ（LBP-2360ハードディスク使用時）が点滅しているときはプリント処理中なので、給紙カセットを引き出さないでください。

●ジョブランプとメッセージランプ（オレンジ色）／HDDランプ（緑色）が消灯しているとき

●「ヨウシナシ」のメッセージが表示されているとき

11 A4ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ
ﾌﾂｳｼ

●本プリンタの電源がオフのとき

お願い

●プリント中は、絶対にカバーやカセット、ペーパーデッキを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

給紙カセットからプリントする

給紙カセットには、定形サイズの普通紙を約500枚（64g/m²）までセットすることができます。プリンタ本体には、カセット1（LBP-2300はオプション）とカセット2の給紙元があります。また、オプションの2×500枚ペーパーデッキを装着時はカセット3とカセット4、2000枚ペーパーデッキを装着時はペーパーデッキの給紙元が追加されます。

お願い

●紙づまりの原因になることがありますので、次の注意を守ってください。

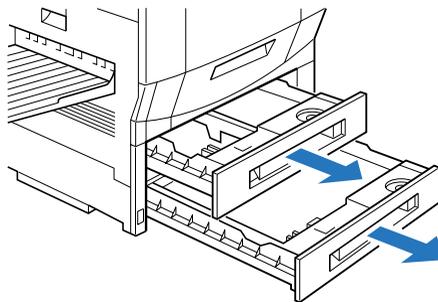
- **OHPフィルムや光沢フィルム、ラベル用紙、封筒など普通紙以外の定形サイズの用紙と、定形外の用紙はセットできません。セットできる用紙については、「用紙について」（→P. 58）をご覧ください。**
- **しわのある用紙やひどくカールした用紙をセットしないでください。**
- **給紙カセットの黒いゴムパットには、手を触れないでください。給紙不良の原因になることがあります。**

標準カセットに用紙をセットする

カセット1（LBP-2300はオプション）、カセット2、オプションの500枚カセット共に、用紙のセット方法は同じです。カセット1（上段）とカセット2（下段）には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙元を自動的に切り替えて使用することができます。
次の手順で正しく用紙をセットしてください。

1

ジョブランプとメッセージランプ／HDDランプが消灯していることを確認し、セットする給紙カセットの取っ手を引いて給紙カセットを完全に引き出します。

2

左側用紙ガイドの手前を持ち上げて外し、セットする用紙サイズが表示されている位置の溝へ、図の①、②の順に差し込んで固定します。

3

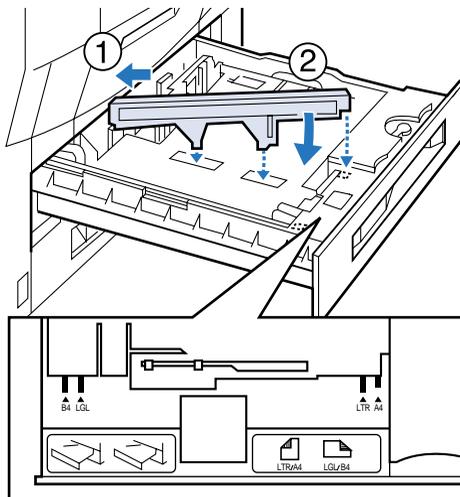
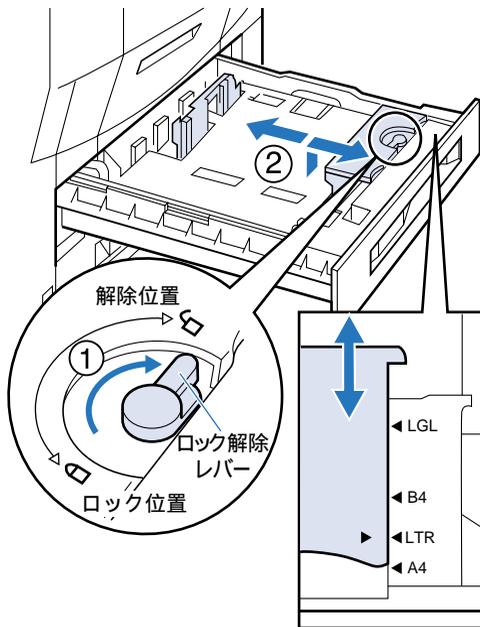
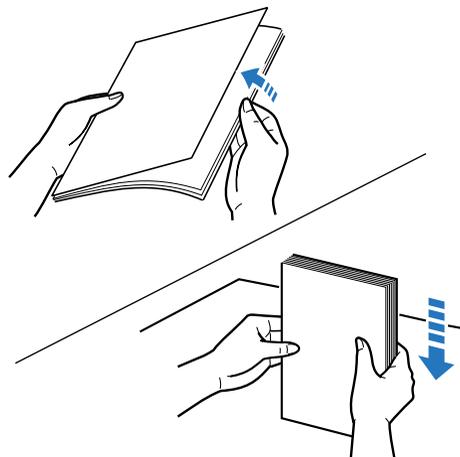
前側用紙ガイドのロック解除レバーを解除側に回し①、用紙ガイドの位置を合わせたら②、ロック解除レバーをロック側に回してロックします。

奥の用紙ガイドは、手前の用紙ガイドを動かすと連動します。

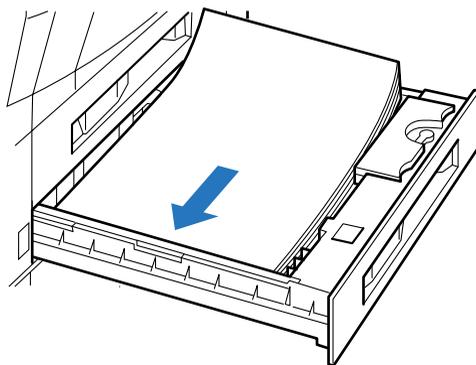
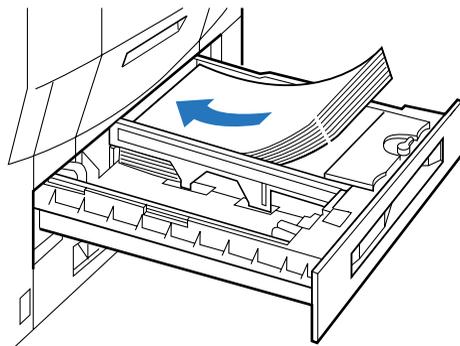
4

用紙の束をさばいてから、縁を揃えます。

用紙は平らな場所で揃えてください。

お願い

●用紙をさばかずにセットすると､給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。

5

用紙を左側と奥側の用紙ガイドに沿わせてセットします。

A4およびレターサイズの用紙は横送りにセットします。

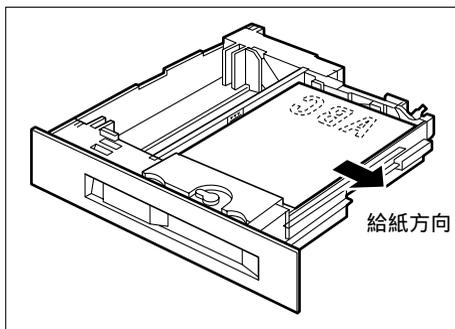
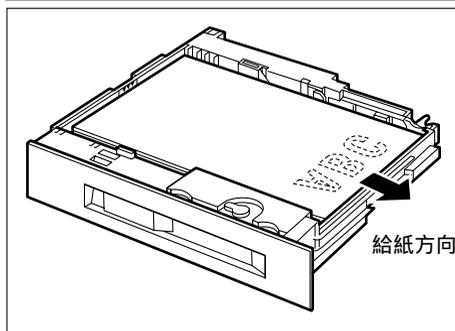
B4、A3、リーガル、レジャーサイズの用紙は、縦送りにセットします。

メモ

● レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・横送り時の用紙の向き
A4やレターサイズのように用紙を横送りでセットした場合は、奥側が用紙の上端になります。

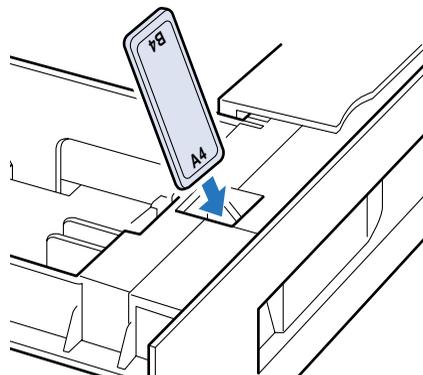
・縦送り時の用紙の向き
B4やA3サイズのように用紙を縦送りでセットした場合は、右側が用紙の上端になります。

6

用紙の右側を下へ押さえ、用紙ガイドの積載制限マークを超えていないか確認します。

お願い

● 給紙カセットにセットできる枚数は、普通紙（64g/m²）で約500枚です。絶対に左端の用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

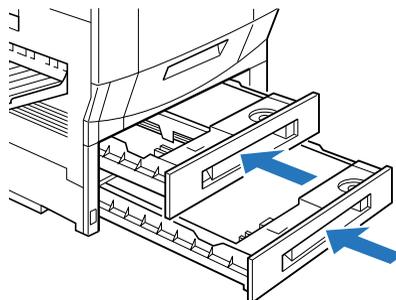
7

セットした用紙サイズに合った用紙サイズ表示板を、給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

セットした用紙サイズの表記を下側にしてセットします。

8

給紙カセットをカチッとロックするまで押し込みます。

ロックすると、電源が入っているときは作動音がします。用紙ナシのメッセージが表示されているときは、自動的にプリントを再開します。

メモ

- **オプションの500枚カセットCS-82（B5R、A5R）を使用すると、B5、A5サイズの用紙を縦にセットできます。500枚カセットについては、付録「オプションについて」（→ P.248）をご覧ください。**

2 × 500 枚ペーパーデッキに用紙をセットする

2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1 または 2 × 500 枚ペーパーデッキ - C1L には、定形サイズの普通紙を約 500 枚（64g/m²)までセットすることができます。カセット 3（上段）とカセット 4（下段）には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙元を自動的に切り替えて使用することができます。

お願い

- **プリント中は、絶対にカバーやカセット、ペーパーデッキを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。**
- **エラーメッセージが表示されていないとき、およびジョブランプとメッセージランプ/HDDランプが消灯しているときに用紙を追加するには、（オンライン）キーを押してオンラインランプを消灯し、プリンタをオフラインに切り替えてから給紙カセットを引き出してください。オンラインの状態で給紙カセットを引き出さないでください。**

1

ジョブランプとメッセージランプ／HDDランプが消灯していることを確認し、セットする給紙カセットの取っ手を引いて給紙カセットを完全に引き出します。

2

左側用紙ガイドの手前を持ち上げて外し、セットする用紙サイズが表示されている位置の溝へ、図の①、②の順に差し込んで固定します。

第2章 給紙・排紙のしかた

3

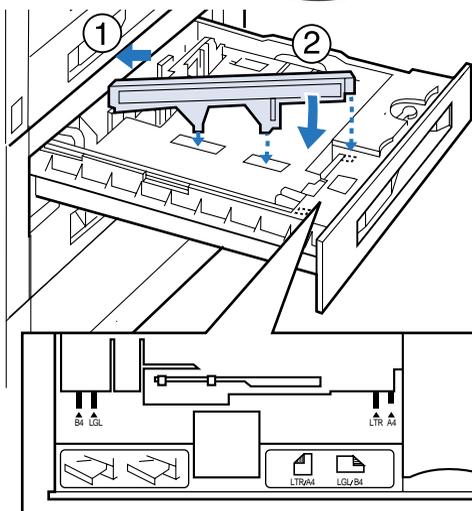
前側用紙ガイドのロック解除レバーを解除側に回し①、用紙ガイドの位置を合わせたら②、ロック解除レバーをロック側に回してロックします。

奥の用紙ガイドは、手前の用紙ガイドを動かすと連動します。

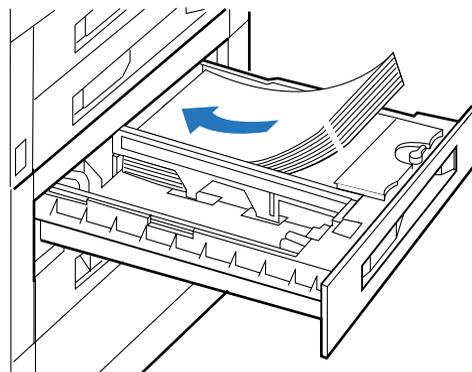
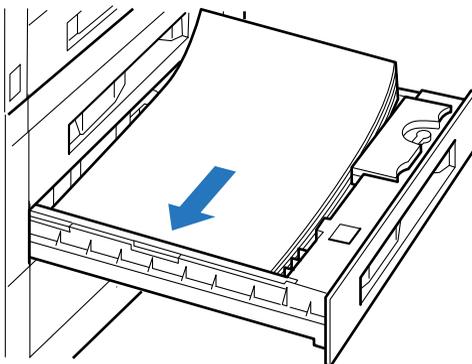
4

用紙の束をさばいてから、縁を揃えます。

用紙は平らな場所で揃えてください。

お願い

- 用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。

5

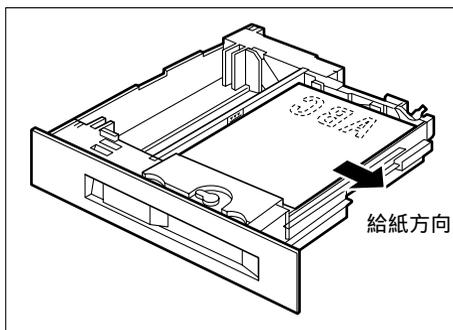
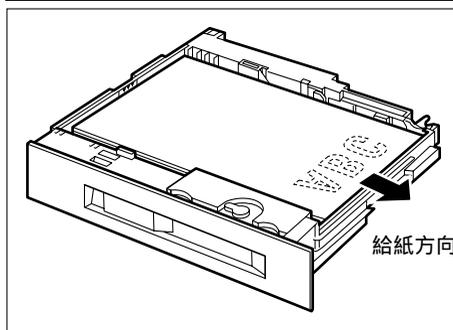
用紙を左側と奥の用紙ガイドに沿わせてセットします。

A4およびレターサイズの用紙は横送りにセットします。

B4、A3、リーガル、レジャーサイズの用紙は縦送りにセットします。

メモ

- **レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。**
  - **横送り時の用紙の向き**
    A4やレターサイズのように用紙を横送りでセットした場合は、奥側が用紙の上端になります。

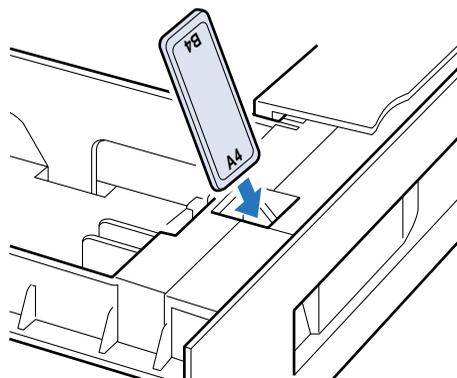
  - **縦送り時の用紙の向き**
    B4やA3サイズのように用紙を縦送りでセットした場合は、右側が用紙の上端になります。

6

用紙の右側を下へ押さえ、用紙ガイドの積載制限マークを超えていないかどうか確認します。

お願い

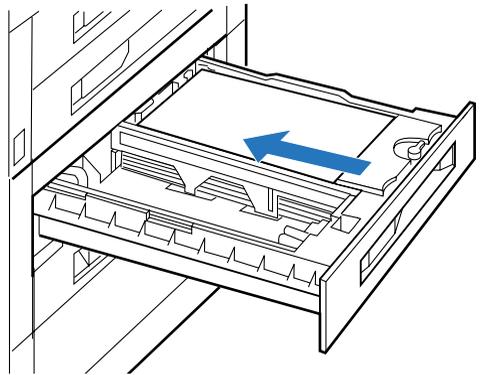
- **給紙カセットにセットできる枚数は、普通紙（64g/m²）で約500枚です。絶対に左端の用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。**

7

用紙サイズ表示板にセットした用紙サイズのラベルを貼り、給紙カセットの前面左側の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

セットした用紙サイズの表記を下側にしてセットします。

8

給紙カセットをカチッとロックするまで押し込みます。

ロックすると、電源が入っているときは作動音がします。用紙ナシのメッセージが表示されているときは、自動的にプリントを再開します。

お願い

●給紙カセットに用紙をセットした後、作動音がしている間およびディスプレイに「02　リフトアップ　チュウ」のメッセージが表示されている間は、プリンタをオンラインに切り替えないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。

メモ

●オプションの500枚カセットCS-82（B5R、A5R）を使用すると、B5、A5サイズの用紙を縦にセットできます。500枚カセットについては、付録「オプションについて」（→P.248）をご覧ください。

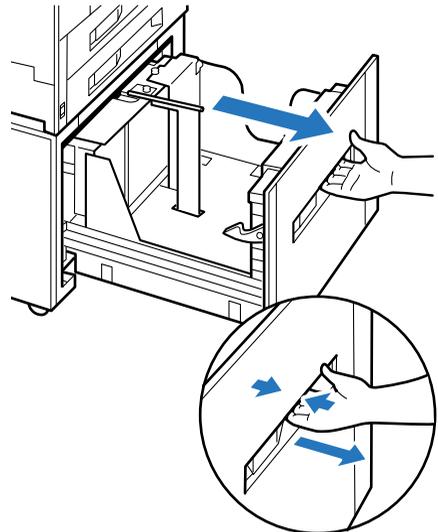
2000 枚ペーパーデッキに用紙をセットする

2000枚ペーパーデッキには、定形サイズの普通紙(64g/m²の用紙)を約2000枚までセットすることができます。

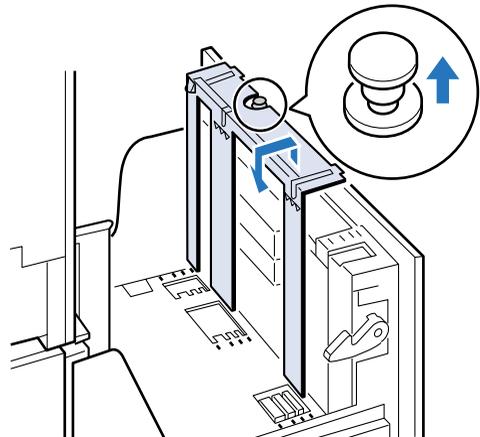
お願い

- **プリント中は、絶対にカバーやカセット、ペーパーデッキを開けないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。**
- **エラーメッセージが表示されていないとき、およびジョブランプとメッセージランプ/HDDランプが消灯しているときに用紙を追加するには、オンラインキーを押してオンラインランプを消灯し、プリンタをオフラインに切り替えてからペーパーデッキを引き出してください。オンラインの状態でペーパーデッキを引き出さないでください。**

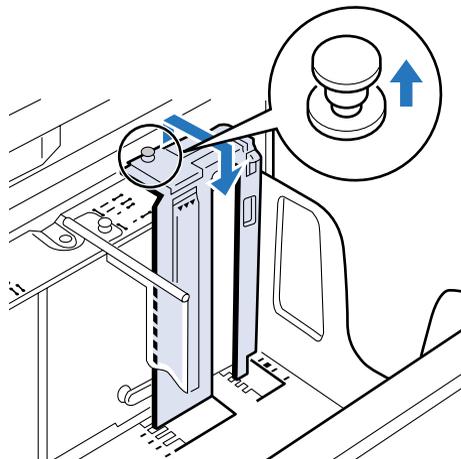
1

ジョブランプとメッセージランプ／HDDランプが消灯していることを確認し、ペーパーデッキの取っ手を引いてペーパーデッキを完全に引き出します。

2

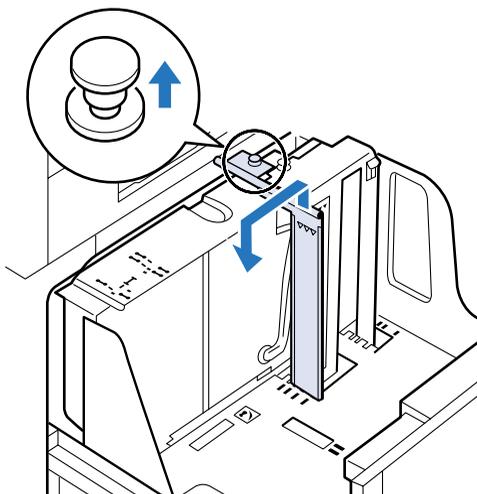
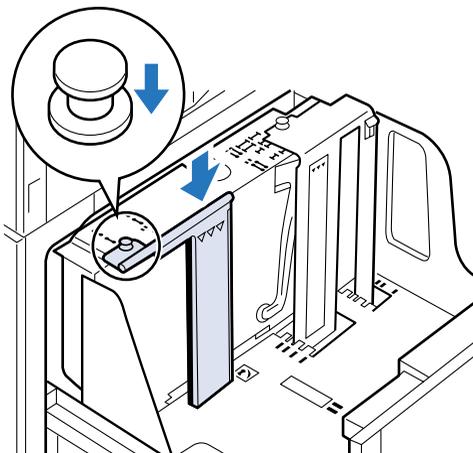
前側用紙ガイドのロックピンを引き上げて用紙ガイドを外し、セットする用紙のサイズに合わせて取り付けます。

用紙ガイドを差し込んだら、ロックピンを押し込んでロックしてください。

3

奥側用紙ガイドのロックピンを引き上げて用紙ガイドを外し、セットする用紙のサイズに合わせて取り付けます。

用紙ガイドを差し込んだら、ロックピンを押し込んでロックしてください。

4

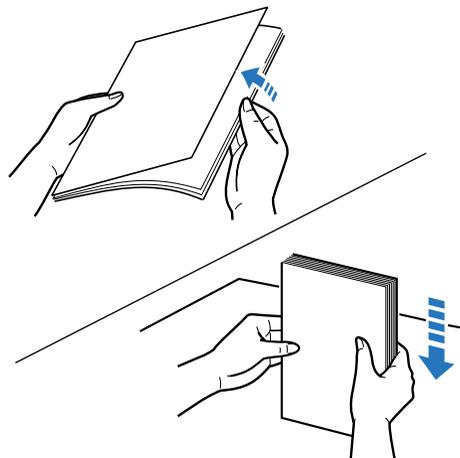
左側用紙ガイドのロックピンを引き上げて用紙ガイドを外し、セットする用紙のサイズに合わせて取り付けます。

用紙ガイドを差し込んだら、ロックピンを押し込んでロックしてください。

レジャーサイズ以外の場合

レジャーサイズの場合

5

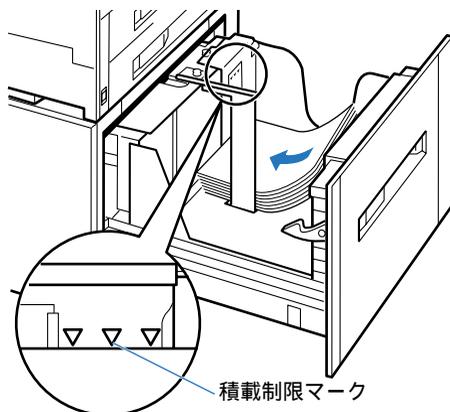
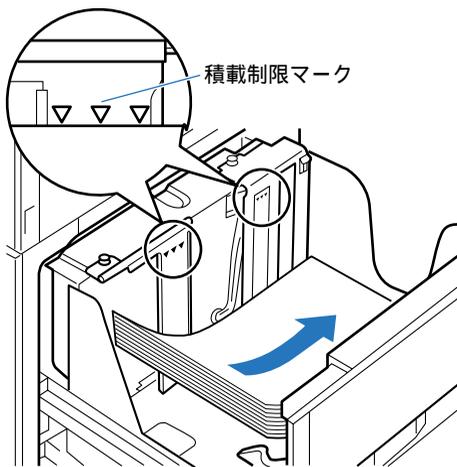
用紙の束をさばき、縁を揃えます。

用紙は平らな場所で揃えてください。

お願い

● **用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になることがあります。**

6

プリントする面を下にして、用紙の奥側を積載制限マークのあるガイドに突き当ててセットします。

A4およびレターサイズの用紙は横送りにセットしてください。

横送り時の用紙の向き

B4、A3、リーガル、レジャーサイズの用紙は縦送りにセットしてください。

積載制限マーク

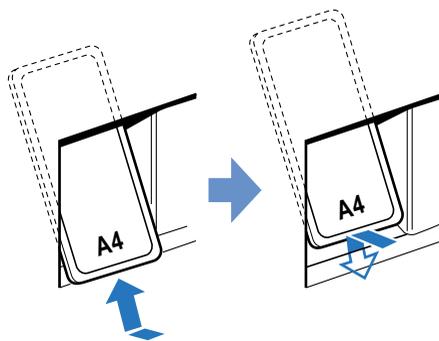
縦送り時の用紙の向き

お願い

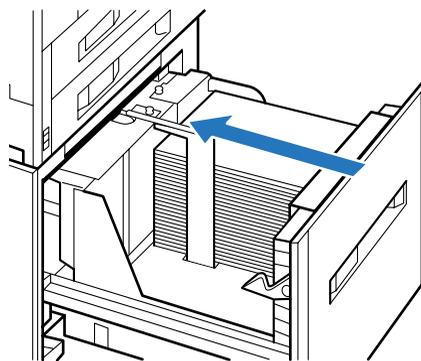
- 2000枚ペーパーデッキには、普通紙（64g/m²）を約2000枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。

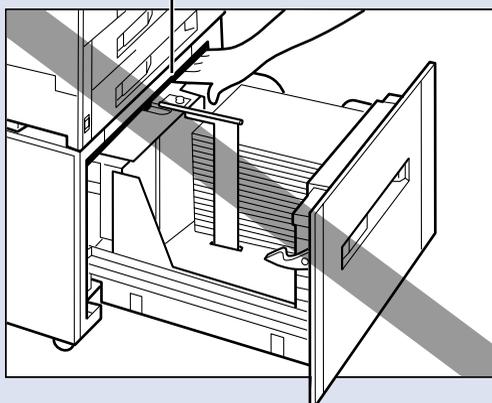
7

セットした用紙サイズに合った用紙サイズ表示板を、2000枚ペーパーデッキの前面左側の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

セットした用紙サイズの表記を下側にしてセットします。

8

ペーパーデッキをカチッとロックするまで押し込みます。

ロックすると、電源が入っているときは作動音がします。用紙ナシのメッセージが表示されていた場合は、自動的にプリントを再開します。

注意

- **ペーパーデッキとプリンタのすき間に手を入れないでください。手をはさんで、けがの原因になることがあります。**

お願い

- **2000枚ペーパーデッキに用紙をセットした後、作動音がしている間およびディスプレイに「02　リフトアップ　チュウ」のメッセージが表示されている間は、プリンタをオンラインに切り替えないでください。プリンタが停止し、プリントできなくなる場合があります。**

メモ

- **2000枚ペーパーデッキを装着した場合、ペーパーデッキの状態監視のために、給紙元にかかわらず連続プリント中に一時的にプリントが中断されることがあります。**

給紙トレイからプリントする

給紙トレイには、横幅が98.4～304.8mm、長さが190～469.9mmの範囲の用紙を約100枚(64g/m²)までセットできます。OHPフィルムや光沢フィルム、ラベル用紙、ハガキ、封筒、定形外の用紙など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。
給紙トレイからプリントするときは、次の項目を設定する必要があります。

●給紙トレイに用紙をセットする（→ P.93）

●用紙のサイズとタイプを設定する（→ P.99, 101）

セットアップメニューの「キュウシ」グループ
「トレイヨウシサイズ」＝セットした用紙のサイズ
「トレイヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ

DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSからプリントするときは、次の設定を行います。

セットアップメニューの「キュウシ」グループ
「デフォルトヨウシタイプ」＝通常使用する用紙のタイプ
「トレイヨウシタイプ」＝セットした用紙のタイプ

両方の用紙タイプの設定を必ず一致させてください。

●プリンタドライバを設定する（→ P.104）

プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh版プリンタドライバの操作については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。

[ページ設定]ページ
[出力用紙サイズ]＝セットした用紙のサイズ
[給紙]ページ
[給紙方法]＝[手差し（トレイ)]
[用紙タイプ]＝セットした用紙のタイプ
[仕上げ]ページ
[排紙設定]＝セットした用紙のタイプにより[サブ排紙トレイ]を選択

お願い

●用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

●用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

メモ

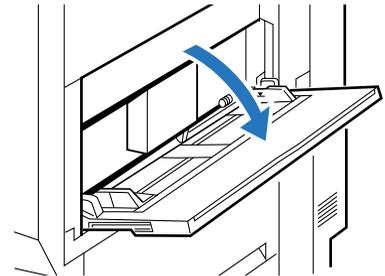
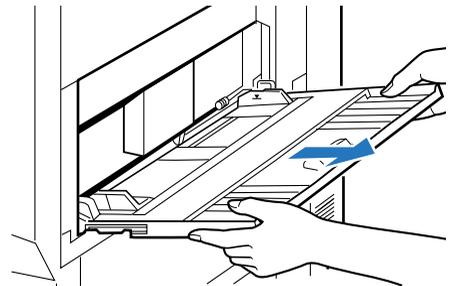
●OHPフィルムや光沢フィルムにプリントする場合は、「OHPフィルム/光沢フィルムにプリントする」（→ P.107）をご覧ください。

給紙トレイに用紙をセットする

■用紙（封筒以外）をセットする

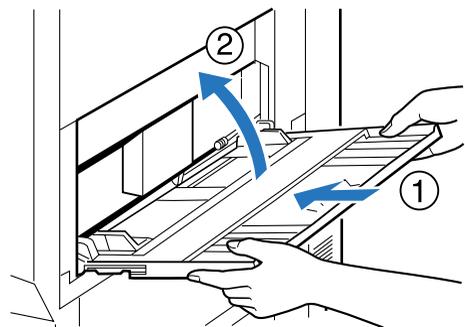
給紙トレイに普通紙や厚紙、ラベル用紙、ハガキなどをセットするときは、次の手順でセットします。

1

プリンタ右側面の給紙トレイを開きます。

B4やA3など長いサイズの用紙をセットするときは、給紙トレイのグリップを持ち、補助トレイを引き出します。

お願い

● 給紙トレイ、補助トレイの上にはプリントする用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。トレイが破損することがあります。

給紙トレイを閉じるときは

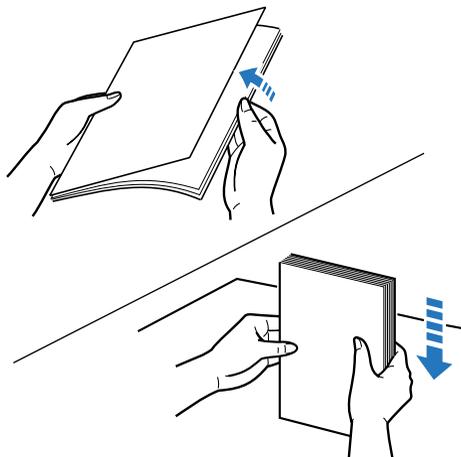
給紙トレイを閉じるときは、開くときと逆の手順です。給紙トレイを使わないときは、閉じておいてください。

お願い

● 補助トレイは奥まで確実に収納してください。飛び出したまま給紙トレイを閉じると、トレイ破損の原因になります。

2

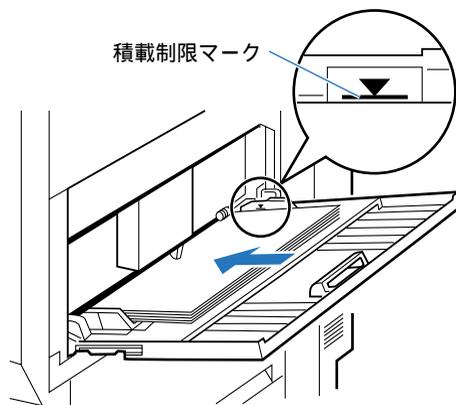
用紙の束をよくさばいてから、縁を揃えます。

用紙は、平らな場所で揃えてください。

お願い

- **用紙をさばかずにセットすると、給紙不良や紙づまりの原因になります。**
- **用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。**

3

用紙のプリント面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

A5、B5サイズの用紙およびラベル用紙、ハガキは、縦送りでセットします。

お願い

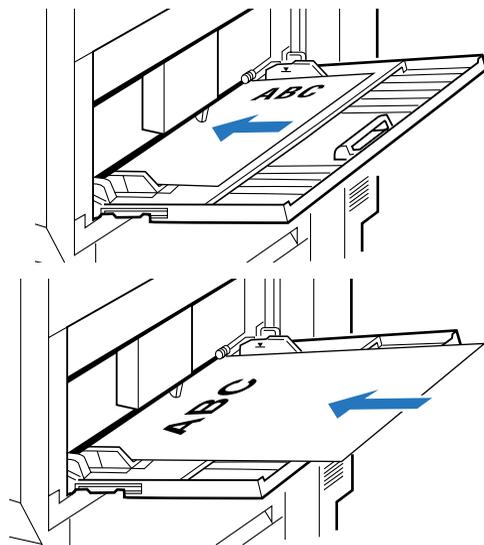
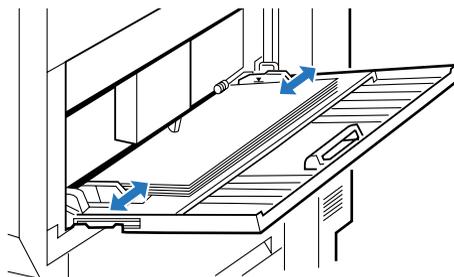
- **給紙トレイには、普通紙（64g/m²）の場合約100枚まで、ハガキの場合約40枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。**
- **用紙を斜めにセットしないでください。**
- **用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。**
- **トレイ用紙サイズを「フリー」でご使用の場合に、A4またはレターサイズの用紙を縦送り方向にセットしたときは、「用紙の向き」を「タテオクリ」に設定してください。**
- **給紙トレイにA5、B5サイズの用紙をセットするときは、必ず縦送り方向にセットしてください。**
- **給紙トレイにラベル用紙をセットするときは、必ず縦送り方向にセットし、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「A4R」に設定してください。「フリー」に設定してご使用の場合は「用紙の向き」を「タテオクリ」に設定してください。**

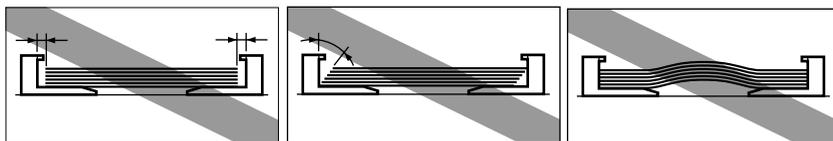
メモ

●レターヘッドやロゴ付きの用紙などにプリントする場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・横送り時の用紙の向き
A4やレターサイズのように用紙を横送りでセットした場合は、奥側が用紙の上端になります。

・縦送り時の用紙の向き
B4/A3/A5/B5サイズの用紙やラベル紙、ハガキなど、用紙を縦送りでセットした場合は、左側が用紙の上端になります。

4

用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。

お願い

●必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。用紙サイズとガイドの位置が合っていないと、「9A　MP ガイド　フセイ」のメッセージが表示されます。
●用紙ガイドと用紙の間に隙間があいたり、強く押しすぎて用紙がゆがんだりしないようにしてください。

●プリント中は、給紙トレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因となります。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。（→ P.99）

■封筒を給紙トレイにセットする

給紙トレイには、洋形4号、角形2号の封筒をセットできます。封筒を給紙トレイにセットするときは、次の手順でセットします。

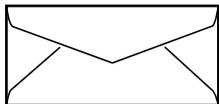
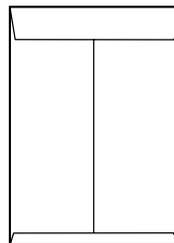
お願い

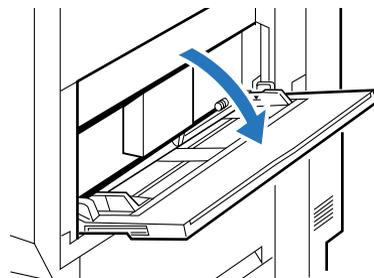
●セットできる封筒は、次のような構造のものに限ります。

洋形4号
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）

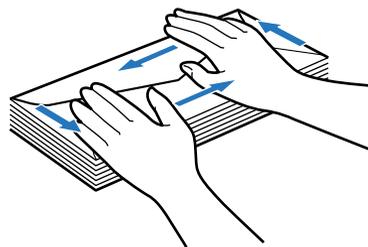
角形2号

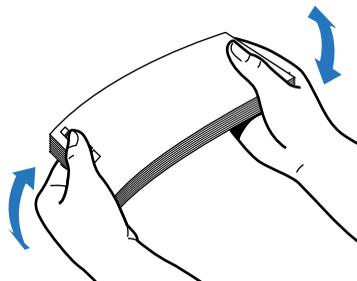
2
第2章 給紙・排紙のしかた

1

プリンタ右側面の給紙トレイを開きます。

角形2号の封筒をセットするときは、補助トレイを引き出してください。

2

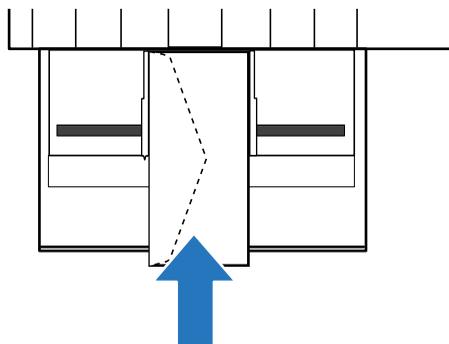
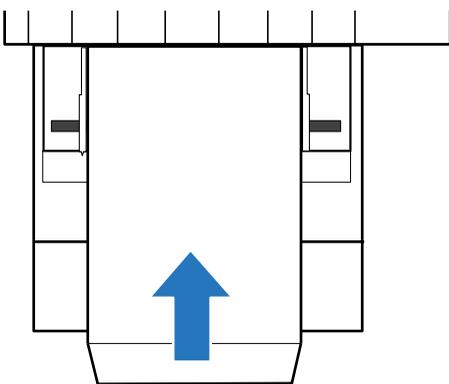
封筒の束を平らな場所へ置き、縁の折り目をきちんとつけて、平らにします。

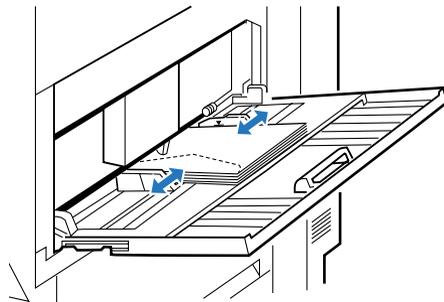
封筒は、平らな場所で揃えてください。

3

封筒の両端を持って、封筒をさばきます。

4

封筒の宛名を書く面を上向き、封筒のふたを左側に向けて、先端が給紙トレイの奥に突き当たるまでゆっくりと差し込みます。

お願い

- 給紙トレイには、封筒を約10枚までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）にはプリントできません。
- 洋形 4 号の封筒を使う場合は、ふたが左側になるようにセットしてください。

- 角形2号の封筒を使う場合は、ふたを開いたまま、底辺が奥側になるようにセットしてください。

5

用紙ガイドをスライドさせて、封筒の左右にぴったりと合わせます。

お願い

- 必ず用紙ガイドを封筒の幅に合わせてください。用紙サイズとガイドの位置が合っていないと、「9A　MP ガイド　フセイ」のメッセージが表示されます。
- 用紙ガイドと封筒の間に隙間があいたり、強く押しすぎて封筒がゆがんだりしないようにしてください。正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

次に給紙トレイの用紙サイズを設定してください。（→ P.99）

給紙トレイの用紙サイズを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは、操作パネルから給紙トレイの用紙サイズを設定します。定形サイズの用紙や封筒は、そのサイズを設定します。定形外の用紙は、「ユーザペーパー」に設定します。給紙トレイの用紙サイズ設定は、工場出荷状態で「A4」に設定されています。
給紙トレイの用紙サイズの設定は、次の手順で行います。

- 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 定形外の用紙をセットしたときは、トレイ用紙サイズを「ユーザペーパー」に設定してプリントしてください。
- プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバの用紙サイズが一致していても、用紙ガイドの位置が合っていないと、「9A　MPガイド　フセイ」のメッセージが表示されます。
- トレイ用紙サイズを「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙サイズとのチェックを行いません。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。
- トレイ用紙サイズを「フリー」に設定した場合、ラベル用紙など縦送り方向に用紙をセットしたときは、「用紙の向き」を「タテオクリ」に設定を変更する必要があります。

- 次の用紙は、略号で表示されます。
  レター：LT、レター縦：LTR、リーガル：LG、レジャー：LD、エグゼクティブ：EX、ユーザペーパー：80～99、フリー：FR、洋形４号封筒：Y4、角形２号封筒：K2、ハガキ：HG
- 多様な用紙サイズを給紙トレイからプリントするとき、確実に用紙のチェックが可能な場合は「フリー」が便利です。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

00 インサツ　カノウ　A4
　　　　　ハイシ　トレイ

2

（セットアップ）キーを押します。

セットアップ
カクチョウ　キノウ　→

3

＜、＞キーで「キュウシ」を選択し、∨キーを押します。

オンライン

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｷｭｳｼ →

ｷｭｳｼ
ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ →

4

＜、＞キーで「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、∨キーを押します。

オンライン

ｷｭｳｼ
ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ →

ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
=A4 →

5

＜、＞キーで用紙のサイズを選択し、∨キーを押します。

用紙サイズの左に「＝」が表示され、トレイの用紙サイズが設定されます。

オンライン

ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
LG →

ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
=LG →

6

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

00 ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ LG
ﾊｲｼ ﾄﾚｲ

次に給紙トレイの用紙タイプを設定してください。**（→ P.101）**

給紙トレイの用紙タイプを設定する

給紙トレイに用紙をセットしたときは､用紙の種類に合わせて操作パネルから｢トレイ　ヨウシ　タイプ｣を設定します。用紙タイプに合わせて、最適な印刷モードでプリントされます。工場出荷状態では「フツウシ」に設定されています。

用紙の種類	セットアップメニュー「トレイ ヨウシ タイプ」設定値
普通紙（64〜105g/m²）	フツウシ
厚紙（106〜135g/m²）	アツガミ
光沢フィルム	コウタクフィルム
OHPフィルム	OHP
ラベル用紙	アツガミ

お願い

- **用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと､｢PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン｣のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと､｢トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。**
- **封筒の場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「フウトウ　Y4」または「フウトウ　K2」に設定すると、自動的に封筒の印字モードでプリントされます（→P.99)。操作パネルからの「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。**
- **ハガキの場合は、給紙メニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」を「ハガキ」に設定すると、自動的にハガキの印字モードでプリントされます（→ P.99)。操作パネルからの「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定は必要ありません。**
- **実際に給紙トレイにセットする用紙のタイプと「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので､必ず用紙のタイプを一致させてください。**
- **｢トレイ　ヨウシ　タイプ」を「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプとのチェックを行いません。必ず､プリンタドライバで設定した用紙タイプと給紙トレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。**

操作パネルで給紙トレイの用紙タイプを設定するときは、次の手順で行います。

1

（オンライン）キーを押して､オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

2

セットアップキーを押します。

オンライン

セットアップ
カクチョウ キノウ →

3

＜、＞キーで「キュウシ」を選択し、Vキーを押します。

オンライン

セットアップ
キュウシ →

キュウシ
トレイ ヨウシ サイズ →

4

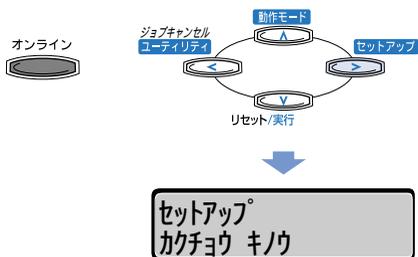
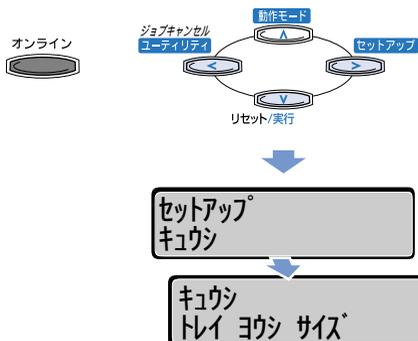
＜、＞キーで「トレイ　ヨウシ　タイプ」を選択し、Vキーを押します。

オンライン

動作モード
ジョブキャンセル
ユーティリティ
セットアップ
リセット/実行

キュウシ
トレイ ヨウシ タイプ →

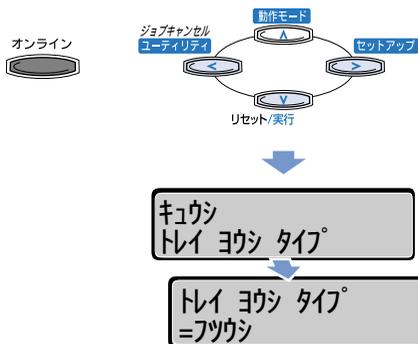
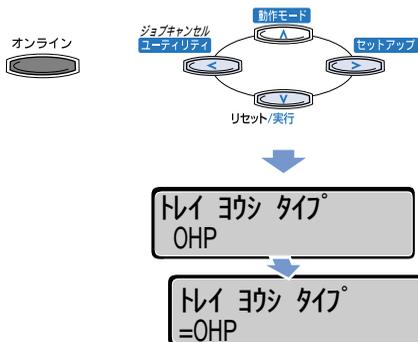
トレイ ヨウシ タイプ
=フツウシ →

5

＜、＞キーで用紙のタイプを選択し、Vキーを押します。

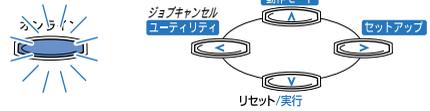
用紙タイプの左に「＝」が表示され、トレイの用紙タイプが設定されます。

オンライン

トレイ ヨウシ タイプ
OHP →

トレイ ヨウシ タイプ
=OHP →

オンライン キーを押して、オンラインランプを点灯します。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

プリントできる状態になります。

WindowsやMacintoshのプリンタドライバからプリントする場合は、プリンタドライバを設定してください。（→ P.104）

プリンタドライバを設定する

給紙トレイの用紙にプリントするときは、プリンタドライバの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］にセットした用紙サイズ、［給紙］ページの［給紙方法］に［手差し（トレイ）］、［用紙タイプ］に用紙の種類に合わせて下記の設定値を選択します。

用紙の種類	セットアップメニュー 「用紙タイプ」設定値
普通紙（64～105g/m²）	普通紙
厚紙（106～135g/m²）	厚紙
光沢フィルム	光沢フィルム
OHPフィルム	OHPフィルム
ラベル用紙	厚紙

プリンタドライバの設定は、Windows 95/98/Me 用プリンタドライバ Version8.3x を例に記載しています。

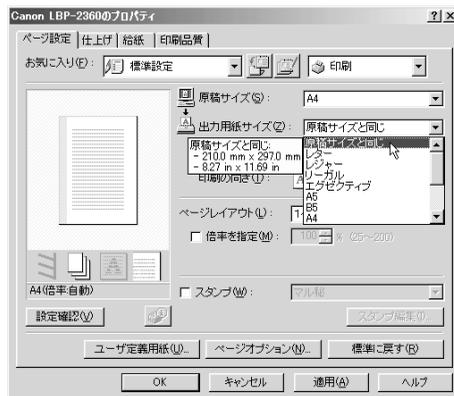
1

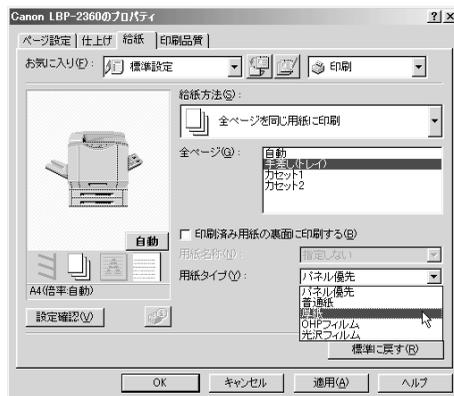
アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2

［ページ設定］ページをクリックし、［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

3

［給紙］ページをクリックし、［用紙タイプ］で用紙のタイプ、［給紙方法］で［手差し（トレイ）］を選択します。

［用紙タイプ］には、厚紙とラベル用紙の場合は［厚紙］、OHPフィルムの場合は［OHPフィルム］、光沢フィルムの場合は［光沢フィルム］を選択してください。

4

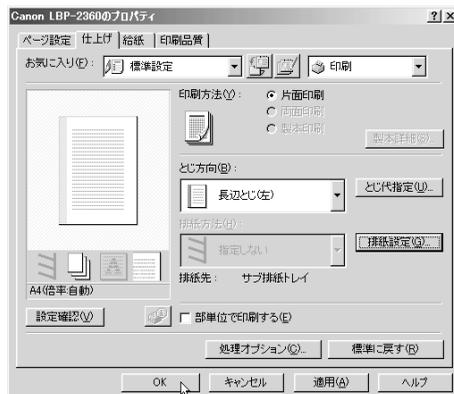
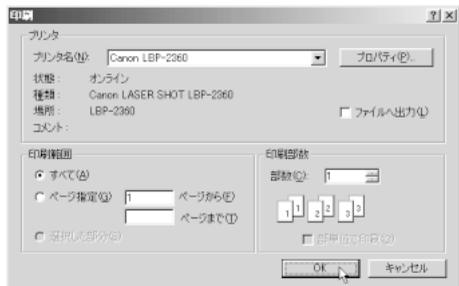
普通紙以外の用紙をセットした場合は、［仕上げ］ページをクリックし、［排紙設定］で［サブ排紙トレイ］を選択して［OK］を押します。

7ビンソータ装着時は、［ノンソートビン］を選択してください。
普通紙をセットしたときは、排紙先を選択できます。

お願い

● **A5Rサイズ、カスタムサイズ、厚紙（106～135g/m²）、ハガキ、封筒、ラベル用紙、OHPフィルム、光沢フィルムをビンに排紙することはできません。必ず［排紙設定］に［ノンソートビン］を指定してからプリントしてください。ビンを指定した場合は、排紙トレイに排紙されます。ただし、ハガキはノンソートビンに排紙されます。**

5

［OK］ボタンをクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

［OK］ボタンをクリックし、印刷を実行します。

お願い

● セットアップメニューの「トレイ　ヨウシ　サイズ」とプリンタドライバの［出力用紙サイズ］の設定が異なっていると、「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。

OHP フィルム / 光沢フィルムにプリントする

OHP フィルムや光沢フィルムにプリントするときは、次の操作や設定をすべて行ってください。

●給紙トレイに用紙をセットする（→ P.108）
本プリンタ専用の「キヤノン カラーレーザ OHP 用紙 TR-3 A4（A4 サイズ）」または「キヤノン カラーレーザ 光沢フィルム GF-1 A4（A4 サイズ）」を給紙トレイにセットします。

●用紙のサイズとタイプを設定する（→ P.110）
セットアップメニューの「キュウシ」グループ
「トレイヨウシサイズ」＝「A4」
「トレイヨウシタイプ」＝「OHP」（OHP フィルムの場合）
「コウタクフィルム」（光沢フィルムの場合）

●プリンタドライバを設定する（→ P.113）
プリンタドライバからプリントするときは、次の設定を行います。ここでは、Windows版プリンタドライバを例に説明しています。Macintosh版プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。
［ページ設定］ページ
［出力用紙サイズ］＝「A4」
［給紙］ページ
［用紙タイプ］＝［OHP フィルム］（OHP フィルムの場合）
［光沢フィルム］（光沢フィルムの場合）
［給紙方法］＝　［手差し（トレイ）］
［仕上げ］ページ
［排紙設定］＝［サブ排紙トレイ（ノンソートビン）］

お願い

- **「トレイ用紙サイズ」と「トレイ用紙タイプ」の設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ用紙サイズ」の設定と「トレイ用紙タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを継続することができます。**
- **OHP 用紙 TR-3 A4 は、LBP-2160/2040/2200/2260/2260PS/2300/2360 専用です。他のカラーレーザプリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。**
- **光沢フィルム GF-1 A4 は、LBP-2160/2200/2260/2260PS/2300/2360 専用です。他のカラーレーザプリンタやモノクロプリンタには絶対に使用しないでください。故障や画質低下の原因になります。**

メモ

- **OHP投影時にカールが気になる場合は、アプリケーションで上下の余白を十分にとるように編集するか、または投影時にOHP フィルムを「OHP フィルムホルダー」にはさんでご使用になることをおすすめします。**

給紙トレイに用紙をセットする

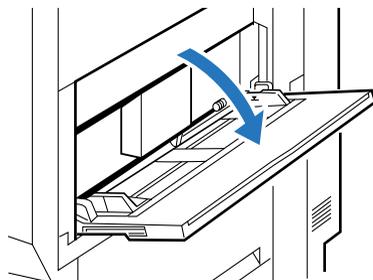
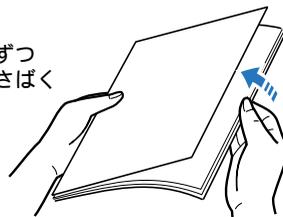
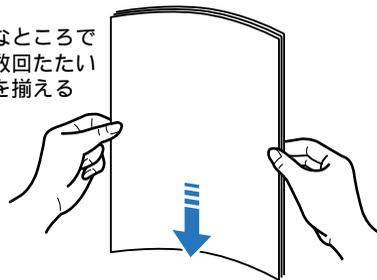
OHP フィルムや光沢フィルムは、次の手順でセットします。

1

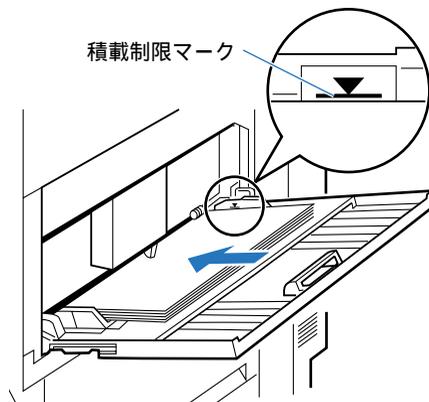
プリンタ右側面の給紙トレイを開きます。

2

用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

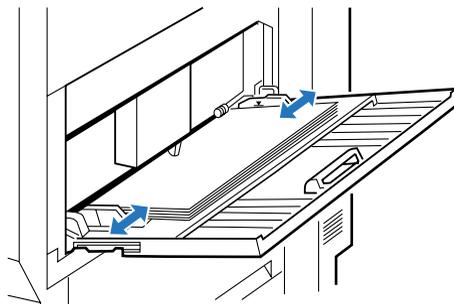
お願い

- **OHP フィルムや光沢フィルムをさばいたり揃えるときは、できるだけ端を持ち、プリント面に触れないようにしてください。**
- **OHP フィルムや光沢フィルムは、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、フィルムが重なって送られ、紙づまりの原因となります。**
- **OHPフィルムや光沢フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。プリント不良の原因となります。**

3

用紙が奥に当たって止まるまでゆっくりと給紙トレイに差し込みます。

お願い

- **積載制限マークを超えないようにセットしてください。**

4

用紙ガイドをスライドさせて、用紙の左右にぴったりと合わせます。

お願い

- **必ず用紙ガイドをOHPフィルムや光沢フィルムの幅に合わせてください。用紙サイズとガイドの位置が合っていないと、「9A　MPガイド　フセイ」のメッセージが表示されます。**
- **未開封の OHP フィルムや光沢フィルムは、温度範囲：0～40℃、湿度範囲：35～90%で保管してください。**
- **使いかけのOHPフィルムや光沢フィルムは放置せず、必ず元のパッケージに入れて保管してください。**

用紙のサイズとタイプを設定する

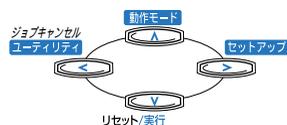
操作パネルで「トレイ　ヨウシ　サイズ」と「トレイ　ヨウシ　タイプ」を次のように設定します。

用紙の種類	「トレイ ヨウシ サイズ」	「トレイ ヨウシ タイプ」
OHPフィルム	A4	OHP
光沢フィルム	A4	コウタクフィルム

お願い

- 用紙サイズの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　サイズ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 用紙タイプの設定は、プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと、「PC　XXXヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと、「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され、プリントを続行することができます。
- 実際に給紙トレイにセットする用紙のタイプと「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定が一致していないとエンジンに重大な障害の起こる恐れがありますので、必ず用紙のタイプを一致させてください。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

00 インサツ カノウ　A4
ハイシ トレイ

2

（セットアップ）キーを押します。

セットアップ
カクチョウ キノウ　→

3

＜、＞キーで「キュウシ」を選択し、∨キーを押します。

オンライン

ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｷｭｳｼ →

ｷｭｳｼ
ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ →

4

＜、＞キーで「トレイ　ヨウシ　サイズ」を選択し、∨キーを押します。

オンライン

ｷｭｳｼ
ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ →

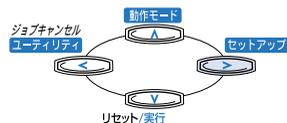
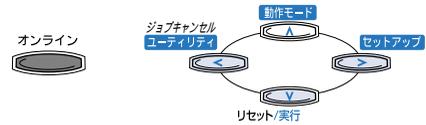
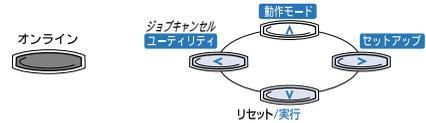
ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
=B5 →

5

＜、＞キーで用紙のサイズを選択し、∨キーを押します。

用紙サイズの左に「＝」が表示され、トレイの用紙サイズが設定されます。

オンライン

動作モード
ジョブキャンセル
ユーティリティ
セットアップ
リセット/実行

ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
A4 →

ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
=A4 →

6

＜、＞キーで「トレイ　ヨウシタイプ」を選択し、∨キーを押します。

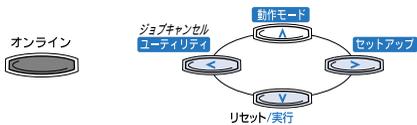
オンライン

ｷｭｳｼ
ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ﾀｲﾌﾟ →

ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ﾀｲﾌﾟ
=ﾌﾂｳｼ →

7

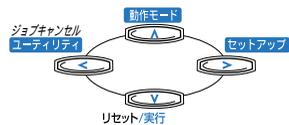
＜、＞キーで用紙のタイプを選択し、∨キーを押します。

用紙タイプの左に「＝」が表示され、トレイの用紙タイプが設定されます。
OHP フィルムの場合は［OHP］、光沢フィルムの場合は［コウタクフィルム］を選択してください。

トレイ ヨウシ タイプ
 OHP →

トレイ ヨウシ タイプ
=OHP →

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

第2章 給紙・排紙のしかた

プリンタドライバを設定する

プリンタドライバの［ページ設定］ページで［出力用紙サイズ］、［給紙］ページで［給紙方法］、［用紙タイプ］、［仕上げ］ページで［排紙設定］を次のように設定して印刷を実行します。

用紙の種類	ページ設定ページ	給紙ページ		仕上げページ
	出力用紙サイズ	給紙方法	用紙タイプ	排紙設定
OHPフィルム	A4	手差し（トレイ）	OHPフィルム	サブ排紙トレイ
光沢フィルム	A4	手差し（トレイ）	光沢フィルム	サブ排紙トレイ

お願い

●光量の少ないオーバーヘッドプロジェクタ（反射型 OHP 等）の場合、プリンタドライバで「お気に入り」の「明るさ強調」を選択してから、上記各項目の設定を行ってください。

プリンタドライバの設定は、Windows 95/98/Me 用プリンタドライバ Version8.3x を例に記載しています。

1

アプリケーションソフトで［印刷］を選択します。次に［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

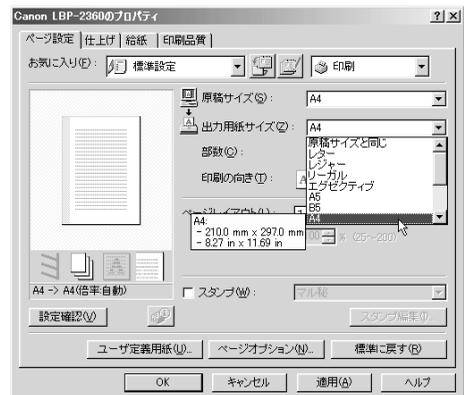
本プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

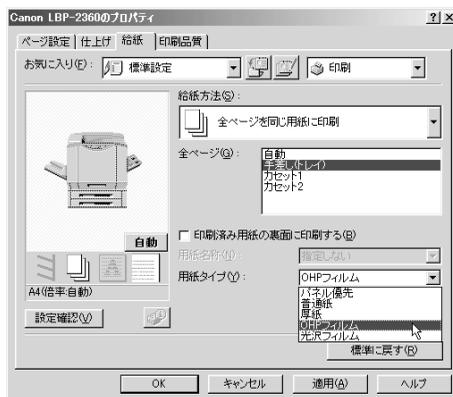
2

［ページ設定］ページをクリックし、［出力用紙サイズ］で［A4］を選択します。

2

第2章 給紙・排紙のしかた

3

［給紙］ページをクリックし、［用紙タイプ］で用紙のタイプ、［給紙方法］で［手差し（トレイ）］を選択します。

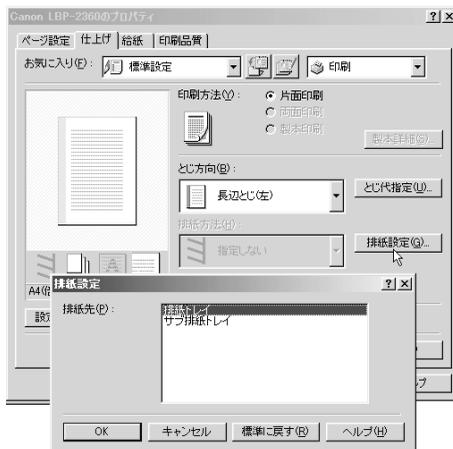
［用紙タイプ］には、OHP フィルムの場合は［OHP フィルム］、光沢フィルムの場合は［光沢フィルム］を選択してください。

お願い

●用紙タイプの設定は､プリンタ本体のセットアップメニューとプリンタドライバを一致させてお使いください。一致していないと､「PC　XXX ヨウシ　ニ　コウカン」のメッセージが表示されます。その場合（オンライン）キーを押すと､「トレイ　ヨウシ　タイプ」の設定がプリンタドライバの設定値に変更され､プリントを続行することができます。

4

［仕上げ］ページをクリックし、［排紙設定］で［サブ排紙トレイ］を選択して［OK］を押します。

7ビンソータ装着時は、［ノンソートビン］を選択してください。

お願い

●OHPフィルムや光沢フィルムをビンに排紙することはできません。必ず［排紙設定］に［ノンソートビン］を指定してからプリントしてください。ビンを指定した場合は、排紙トレイに排紙されます。

5

［OK］ボタンをクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

6

［OK］ボタンをクリックし、印刷を実行します。

お願い

●OHP フィルムや光沢フィルムは、フェースアップ排紙（サブ排紙トレイ）でプリントしてください。フィルムの折れやつまりを防ぐために、排紙された用紙を 1 枚毎に取り除いてください。

両面にプリントする

オプションの両面ユニットを取り付けると、定形サイズの普通紙に両面プリントすることができます。使用できる用紙は、A5、B5、A4、B4、A3、レター、リーガル、レジャー、エグゼクティブの用紙で、給紙カセットと給紙トレイのどちらからでも給紙できます。

● **定形外の用紙や厚紙、OHP フィルム、光沢フィルム、ラベル紙、ハガキ、封筒には、自動両面プリントできません。ただし、ハガキは手動で両面にプリントすることが可能です。（→ P.119）**

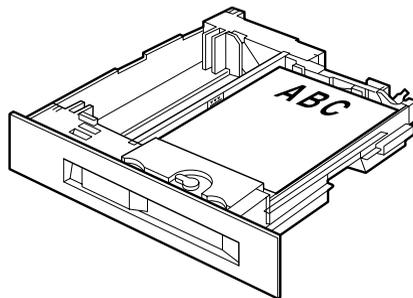
● **プリンタの RAM 容量が 32MB（標準）で印字動作が「ジドウ」（工場設定値）の場合、A3サイズまで両面プリントが可能です。ただし、罫線が多い文書や複雑なグラフィックデータのある文書を両面プリントする場合や、ファインモードで両面プリントする場合は、拡張 RAM を増設する必要があります。拡張 RAM については、付録「オプションについて」（→ P.252）をご覧ください。**

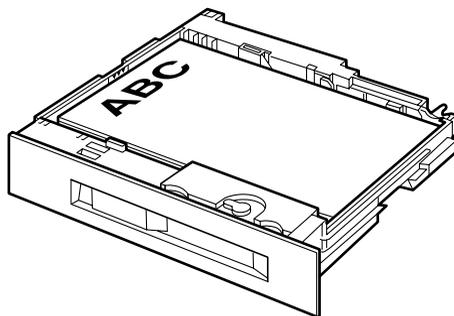
自動両面プリント時の用紙のセットについて

両面プリントでは、裏面からプリントされますので、用紙をセットする向きが片面プリントのときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙にプリントするときは次のように用紙をセットします。

■給紙カセットから給紙する場合

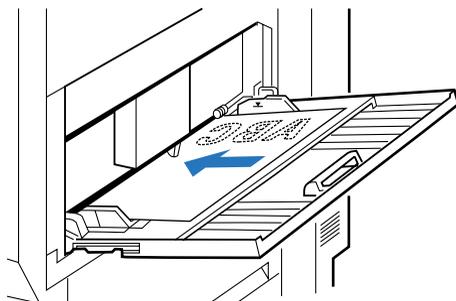
● A4 やレターなど用紙を横送りでセットする場合

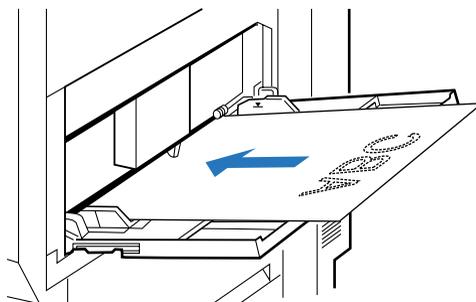
用紙の表面を上向きにし、用紙の上端を奥側に向けてセットします。

● B4 や A3 など用紙を縦送りでセットする場合

用紙の表面を上向きにし、用紙の上端を左側に向けてセットします。

■給紙トレイから給紙する場合

●下図は、オプションの両面ユニットを使って、給紙トレイから自動両面プリントする場合のセット方法です。

● A4 やレターなど用紙を横送りでセットする場合

用紙の表面を下向きにし、用紙の上端を奥側に向けてセットします。

● B4 や A3 など用紙を縦送りでセットする場合

用紙の表面を下向きにし、用紙の上端を右側に向けてセットします。

●A5、B5 サイズの用紙は、必ず縦送り方向にセットしてください。A5、B5 サイズの用紙を横送りでプリントすることはできません。

自動両面プリントと片面プリントを切り替える

■ Windows からプリントする場合

両面プリントをするときは、プリンタドライバの［仕上げ］ページで［印刷方法］を［両面印刷］に設定します。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。

■ Macintosh からプリントする場合

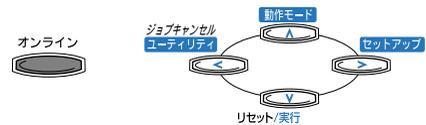
両面プリントをするときは、プリンタドライバの［両面印刷］ページで［両面印刷を行う］に設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOSやUNIXなど、プリンタドライバが使用できないOSからプリントする場合は、操作パネルの（両面）キーで設定します。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

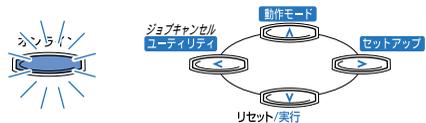
操作パネルで設定できる状態になります。

2

（両面）キーを押して、両面ランプを点灯します。

両面ランプが点灯しているときは、両面プリントが可能になります。ランプが消えているときは、片面プリントになります。

3

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

手動で両面にプリントする

本プリンタは、裏面にプリント済みの用紙にも対応しており、両面ユニットが使えない用紙にも両面プリントすることが可能です。プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバや操作パネルで設定が必要です。

お願い

- **本プリンタで一度プリントした用紙の裏面にプリントする場合は、必ず「テザシ リョウメン」を「2 メンメ」に設定してプリントしてください。**
- **ハガキに両面プリントする場合、裏面（文書側の面）から先に「テザシ　リョウメン」を「1 メンメ」に設定してプリントし、次に表面（宛名側の面）を「2 メンメ」に設定してプリントしてください。詳しくは、「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。**

■ Windows からプリントする場合

プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバの［給紙］ページで［印刷済み用紙の裏面に印刷する］をチェックします。プリンタドライバの操作については、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。

■ Macintosh からプリントする場合

プリント済み用紙の裏面にプリントするときは、プリンタドライバの［給排紙設定］ページで［印刷済み用紙の裏面に印刷する］をチェックします。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルから「テザシ　リョウメン」を「2 メンメ」に設定します。

1

オンライン キーを押して、オンラインランプを消灯します。

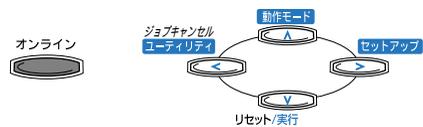
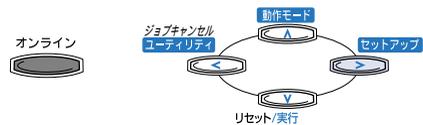
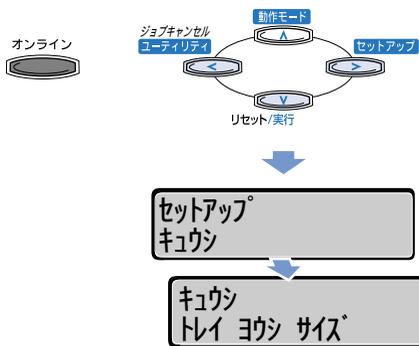
操作パネルで設定できる状態になります。

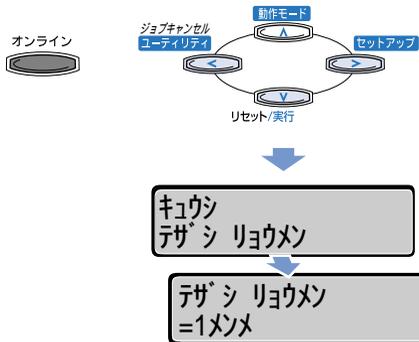
00　インサツ　カノウ　　A4
ハイシ　トレイ

2

セットアップ キーを押します。

セットアップ
カクチョウ　キノウ　→

3

＜、＞キーで「キュウシ」を選択し、∨キーを押します。

4

＜、＞キーで「テザシ　リョウメン」を選択し、∨キーを押します。

5

＜、＞キーで「2 メンメ」を選択し、∨キーを押します。

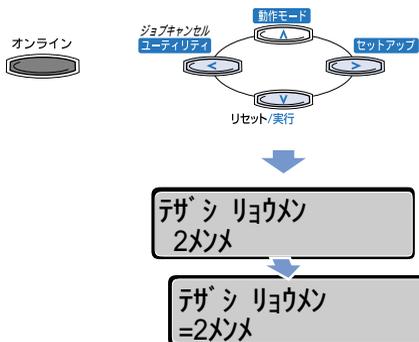
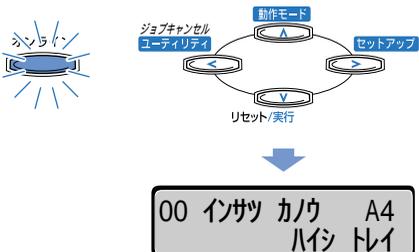
裏面プリントが設定されます。

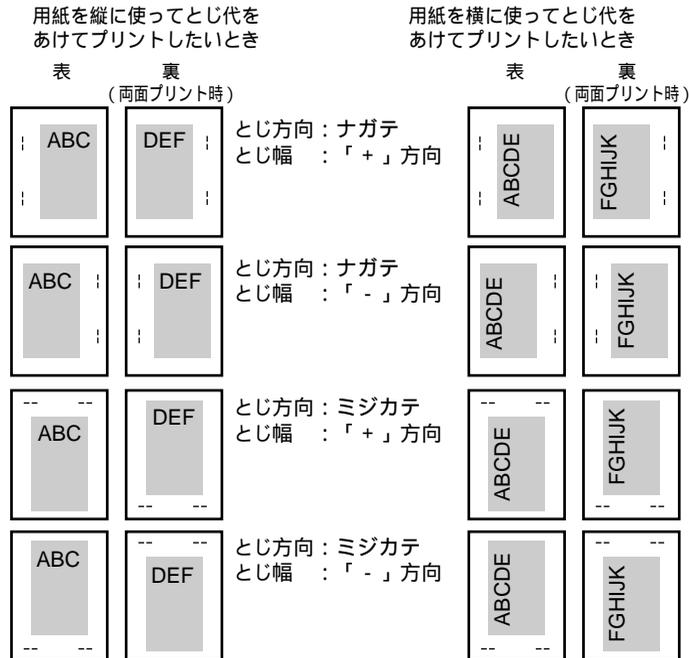
6

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

00 ｲﾝｻﾂ ｶﾉｳ A4
ﾊｲｼ ﾄﾚｲ

第2章　給紙・排紙のしかた

とじ代を付けてプリントする

用紙の端にとじ代用の余白を付けてプリントすることができます。とじ代を付けるときは、付ける位置（長手方向または短手方向）ととじ幅（最大30mm）を指定します。

●とじ代を設定した結果、用紙の印字可能領域を超えた部分はカットされます。

●プリンタドライバの場合、（＋）、（－）方向の設定はとじ位置の選択で行います。
●両面プリントの場合、表裏のとじ位置を自動的に合わせます。
●縦補正、横補正の設定はとじ幅の設定に関係なく有効です。このため、両面プリントで縦補正、横補正が設定されている場合、表裏のとじ代がずれることがあります。

とじ代を設定する

■ Windows からプリントする場合

とじ代は、プリンタドライバの［仕上げ］ページで［とじ方向］と［とじ代指定］を設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ Macintosh からプリントする場合

とじ代は、プリンタドライバの［とじ代］ページで設定します。プリンタドライバの操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ DOS や UNIX からプリントする場合

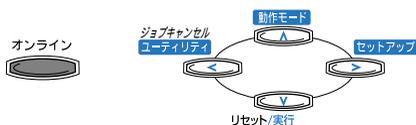
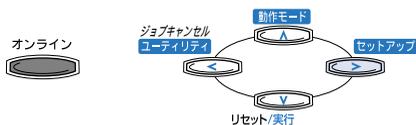
DOS や UNIX など、プリンタドライバが使用できない OS からプリントする場合は、操作パネルでとじ代を設定します。

1

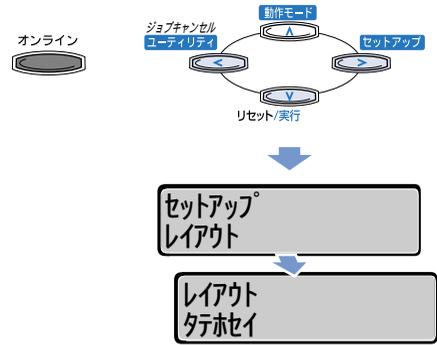
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

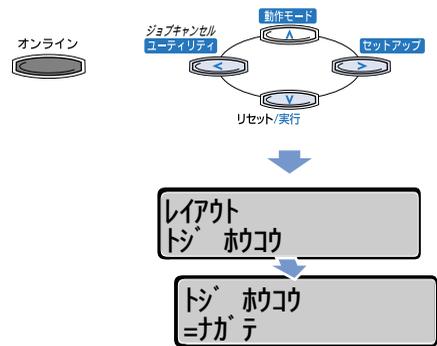
操作パネルで設定できる状態になります。

00 インサツ カノウ　A4
ハイシ トレイ

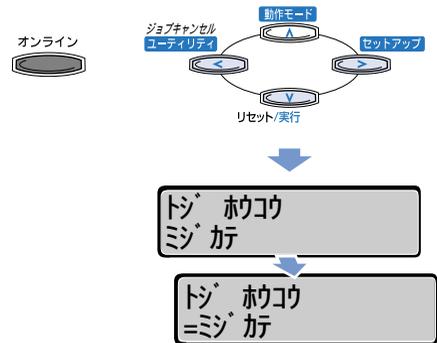
2

（セットアップ）キーを押します。

第2章　給紙・排紙のしかた

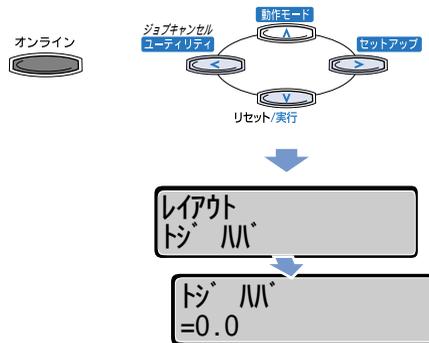
<、>キーで「レイアウト」を選択し、∨キーを押します。

<、>キーで「トジ　ホウコウ」を選択し、∨キーを押します。

とじ方向の設定値が表示されます。

5

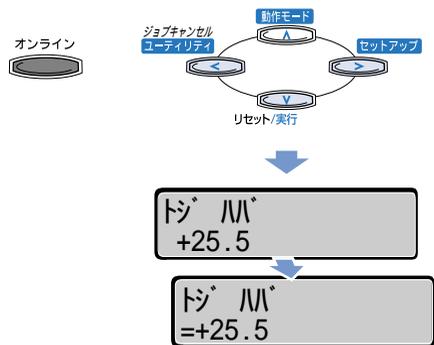
<、>キーで目的のとじ方向を選択し、∨キーを押します。

選択したとじ方向が設定されます。

6

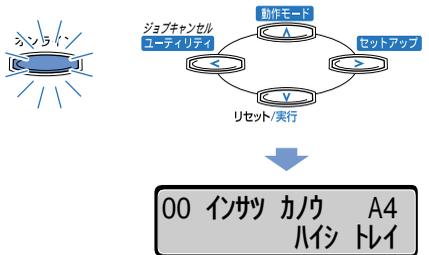
<、>キーで「トジ　ハバ」を選択し、∨キーを押します。

設定されているとじ幅が表示されます。

7

<、>キーで目的の数値を選択し、∨キーを押します。

数値は、<または>キーを押すたびに0.5mm単位で変化します。
選択した数値がとじ幅に設定されます。

8

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

第 3 章

日常のメンテナンス

トナーカートリッジを交換する

「トナー　チェック / コウカン」が表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。プリンタの使用中にトナーが少なくなると、ディスプレイにチェックを促すメッセージが表示されます。プリントは継続できますが、プリントが終わったあとトナーカートリッジの交換が必要です。そのまま使い続けると、交換を促すメッセージが表示されてプリントが停止しますので、新しいトナーカートリッジと交換してください。

メモ

- **セットアップメニューの「警告処理」設定を「継続」にしているときは、「16　X　トナー　コウカン」は表示されません。メニュー機能の設定については「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。**
- **メッセージに表示される色記号は、Y= イエロー、M= マゼンタ、C= シアン、K= ブラックの色を表しています。**

■「16　X　トナー　チェック」（X は Y または M、C、K）

「16　X　トナー　チェック」のメッセージは、表示された色のトナーが少なくなり、トナーカートリッジの交換時期が近いことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイに表示されたときは、すぐにはプリンタは停止せず、プリントを続行できます。ただし、トナーが少なくなってきているので、表示された色の新品トナーカートリッジをご用意ください。また、大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。

■「16　X　トナー　コウカン」（X は Y または M、C、K）

「16　X　トナー　コウカン」のメッセージは、表示された色のトナーが少なくなり、トナーカートリッジの交換時期が近いことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイに表示されたときは、プリンタが停止しますが、（オンライン）キーを押すとプリントを続行できます。ただし、トナーが少なくなってきているので、表示された色の新品トナーカートリッジをご用意ください。また、大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換してください。

■「1G　X　トナー　コウカン」（X は Y または M、C、K）

「1G　X　トナー　コウカン」のメッセージは、表示された色のトナーカートリッジが寿命となり、トナーカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイに表示されたときは、プリンタが停止してプリントを続行することはできません。このメッセージが表示されたときは、直ちに表示された色のトナーカートリッジを交換してください。

トナーカートリッジの寿命について

本プリンタ用のトナーカートリッジの寿命は、次のようになっています。プリント可能ページ数は一般的なプリント（印字比率：約5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。各色のトナー消費量はプリントする画像によって異なりますので、色によっては寿命が短くなります。

・カラートナーカートリッジ EP-82：A4原稿で約8,500ページ
・ブラックトナーカートリッジ EP-82：A4原稿で約17,000ページ

● **印字がかすれたり、印字むらが出るときは、「16　X　トナー　チェック」や「16　X　トナー　コウカン」メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。**

トナーカートリッジの交換

「1G　K　トナー　コウカン」などのメッセージが表示されたら、次の手順で新しいトナーカートリッジと交換してください。

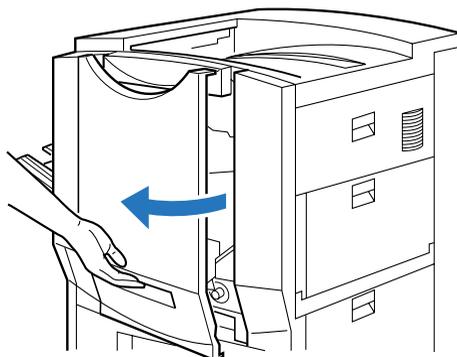
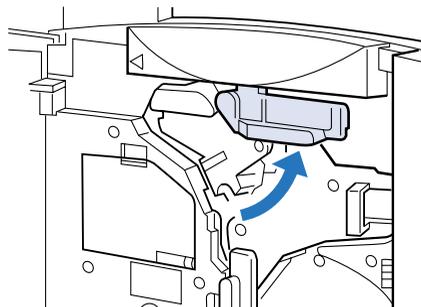
■ K（ブラック）トナーカートリッジの交換

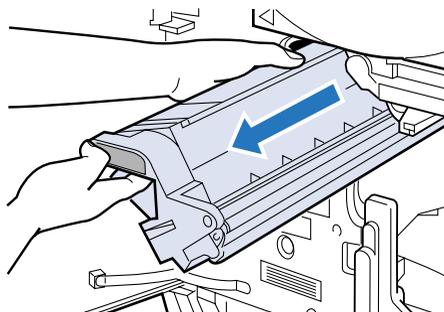
ディスプレイに「1G　K　トナー　コウカン」のメッセージが表示されたり、プリントの黒色がかすれてきたときは、次のような手順でK（ブラック）トナーカートリッジを交換してください。

1

前ドアを開けます。

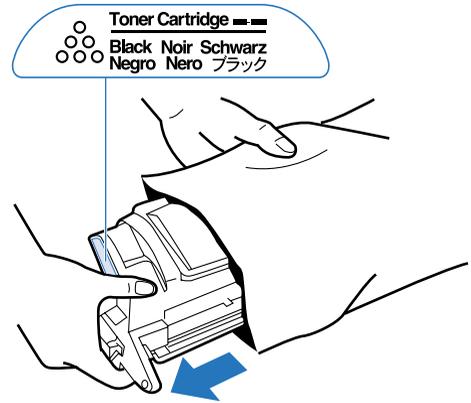
前ドアは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。

2

青色のロック解除レバーを図の矢印の方向へ押し上げます。

3

使用済みのK（ブラック）トナーカートリッジを抜き取ります。

警告

- **使用済みのK（ブラック）トナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。**

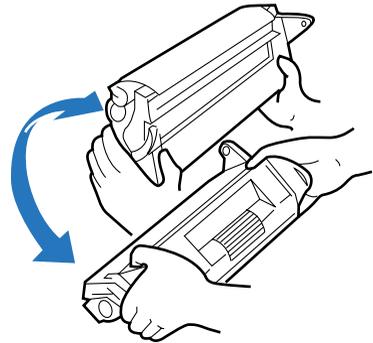
4

新しいK（ブラック）トナーカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

- K（ブラック）トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンス等、K（ブラック）トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

5

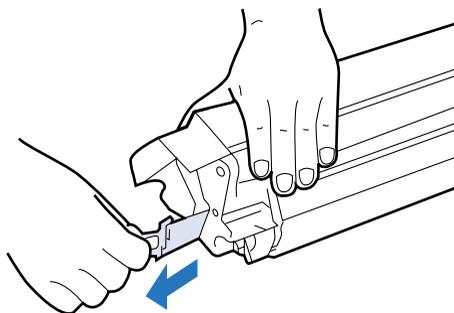
K（ブラック）トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。

お願い

- トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

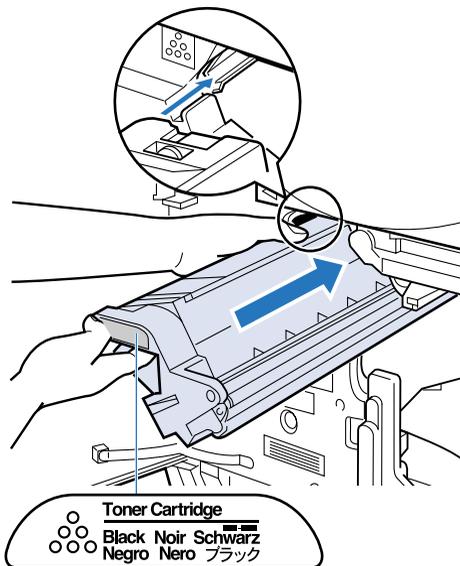
6

K（ブラック）トナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらシーリングテープを引き抜きます。

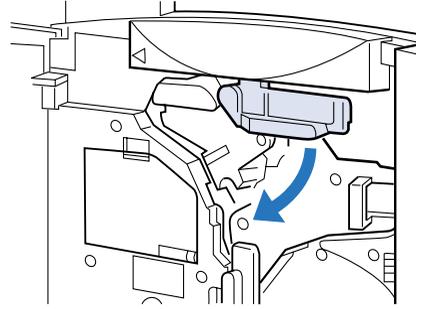
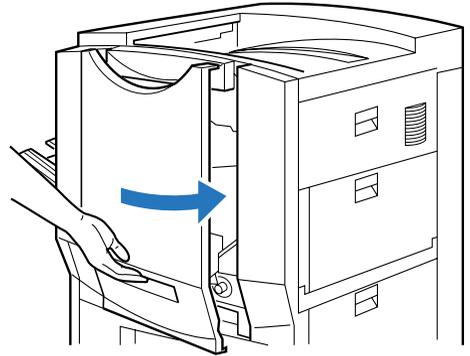
シーリングテープは、タブに指を掛け、真っ直ぐ横に引っ張って引き抜きます。

お願い

- **曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。**
- **シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。**
- **シーリングテープを引き抜いたK（ブラック）トナーカートリッジは、絶対に振らないでください。**
- **手や衣服をトナーで汚さないように十分に注意して作業を行ってください。**
- **シーリングテープを引き抜くときは、カートリッジシャッターを手で押さえつけないように十分に注意して作業を行ってください。**

7

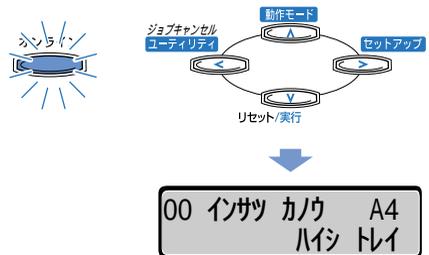
K（ブラック）トナーカートリッジを図のように水平に持ち、スロット内側のガイドに合わせ、しっかりと奥まで差し込みます。

8

青色のロック解除レバーを元の位置へ戻します。

9

前ドアを閉じます。

- **ロック解除レバーが正しくロックされていないとドアが閉じないのでご注意ください。**

10

プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンラインランプが消灯しているときは、(オンライン)キーを押してオンラインランプを点灯します。

■カラートナーカートリッジの交換

ディスプレイに「1G C トナー　コウカン」や「1G Y トナー　コウカン」などのメッセージが表示されたり、プリントのC（シアン）やM（マゼンタ）、Y（イエロー）がかすれてきたときは、次の手順でトナーがなくなった色のカラートナーカートリッジを交換してください。

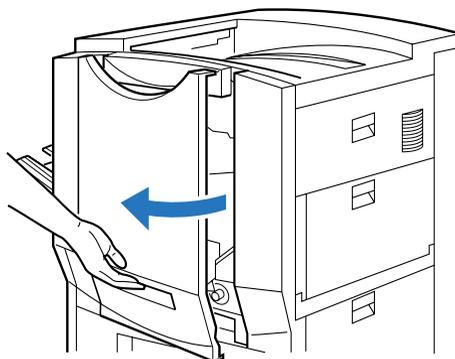
お願い

●カラートナーカートリッジ交換は、必ず電源がオンの状態で行ってください。オフのままではトナーカートリッジ交換ボタンが動作しません。
●カラートナーカートリッジ交換時は、K（ブラック）トナーカートリッジとドラムカートリッジが挿入されていることを確認してください。挿入されていないと、トナーカートリッジ交換ボタンを押してもカラートナーカートリッジは回転しません。

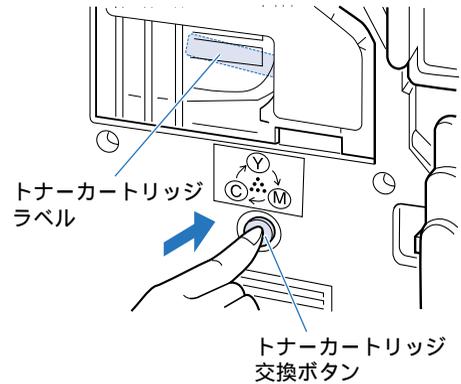
C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）のトナーカートリッジを、それぞれ同じ手順で交換してください。

1

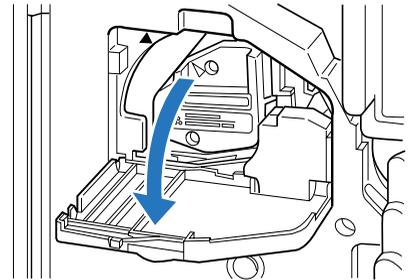
電源がオンの状態で前ドアを開けます。

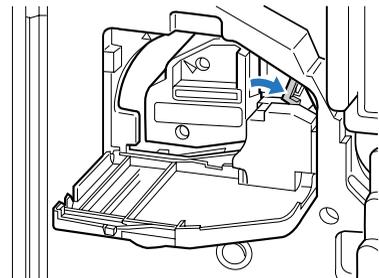
前ドアは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。
電源がオフのときは、オンにしてプリンタの準備が終わるまで待ってから前ドアを開いてください。

2

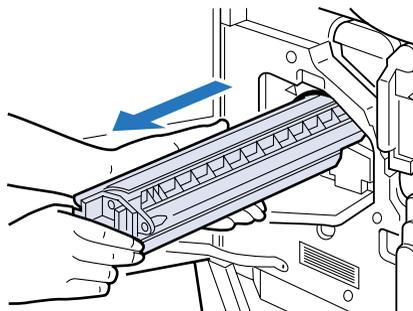
トナーカートリッジ交換ボタンを押して、交換する色のカラートナーカートリッジを選択します。

お願い

- カラートナーカートリッジを交換するときは、必ず一度トナーカートリッジ交換ボタンを押してください。一度もトナーカートリッジ交換ボタンを押さずにロック解除レバーを解除すると、ロックが正しく開かずに破損の原因となります。
- カラーカートリッジカバーが開いているときは、必ず閉じてからトナーカートリッジ交換ボタンを押してください。
- カートリッジが回転中はカラーカートリッジカバーを絶対に開けないでください。途中で開けてしまった場合は、エラーメッセージが表示されます。いったん電源をオフにしてカラーカートリッジカバーや前ドアを閉じてから、電源をオンにして操作をやり直してください。
- ドラムカートリッジおよびK（ブラック）トナーカートリッジがセットされていないとトナーカートリッジ差し込み部は回転しません。必ずドラムカートリッジおよびK（ブラック）トナーカートリッジがセットされていることを確認してください。

3

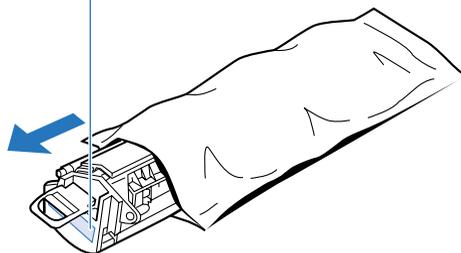
カラーカートリッジカバーを開きます。

4

トナーカートリッジ差し込み部右側の青色のロック解除レバーを右側へ開きます。

5

使用済みのカラートナーカートリッジを抜き取ります。

警告

●使用済みのカラートナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

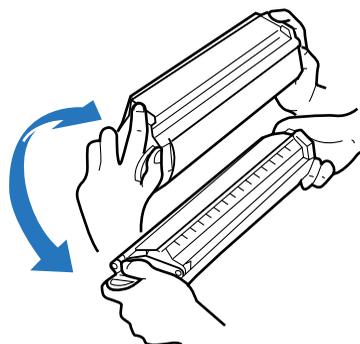
6

新しいカラートナーカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

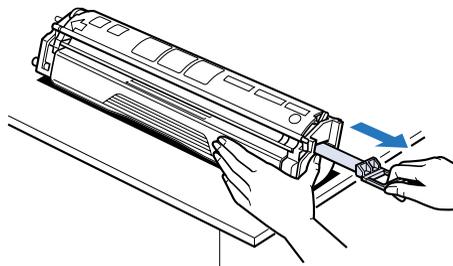
●カラートナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。本体のメンテナンス等、カラートナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

7

カラートナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと5～6回振って、内部のトナーを均一にならします。

お願い

●トナーが均一でないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。

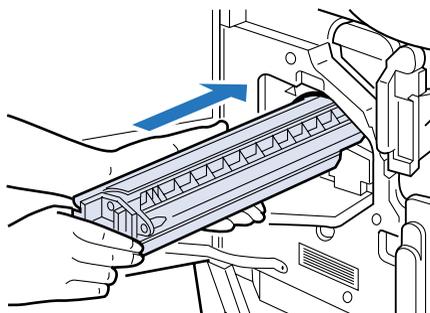
8

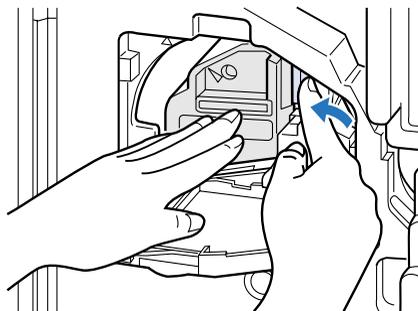
カラートナーカートリッジを平らな場所に置き、カートリッジを押さえながらシーリングテープを引き抜きます。

シーリングテープは、タブに指を掛け、真っ直ぐ横に引っ張って引き抜きます。

お願い

- **曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張ったりすると、シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。**
- **シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。**
- **シーリングテープを引き抜いたカラートナーカートリッジは、絶対に振らないでください。**
- **手や衣服をトナーで汚さないように十分に注意して作業を行ってください。**
- **シーリングテープを引き抜くときは、カートリッジシャッターを手で押さえつけないように十分に注意して作業を行ってください。**

9

カラートナーカートリッジを図のように水平に持ち、しっかりと奥まで差し込みます。

10

カラートナーカートリッジを奥へ押しながら、カチッと音がするまでロック解除レバーを元の位置へ戻して固定します。

11

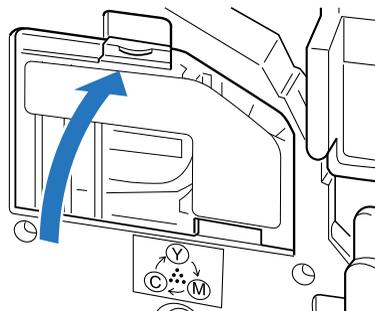
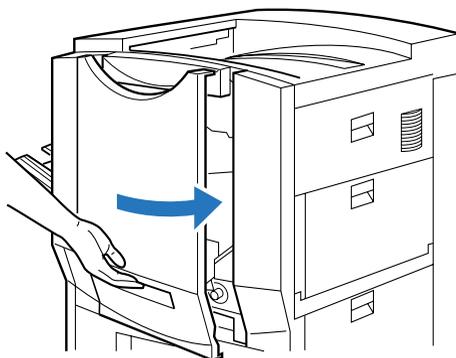
カラーカートリッジカバーを閉じます。

12

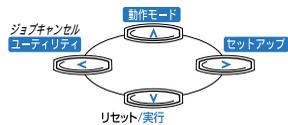
前ドアを閉じます。

お願い

● **ロック解除レバーが正しくロックされていないとドアが閉じないのでご注意ください。**

メモ

● **カラートナーカートリッジを交換した後は、カートリッジの検知が完了するまで数秒間エラーメッセージが表示されることがあります。**

13

プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンラインランプが消灯しているときは、（オンライン）キーを押してオンラインランプを点灯します。

トナーカートリッジの取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因となることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。

警告

●使用済みのトナーカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残ったトナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

注意

●万一手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着して、とれなくなる恐れがあります。

お願い

●トナーカートリッジを交換するときは、必ず同じ色のトナーカートリッジに交換してください。
●内部のスリーブを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、カートリッジシャッターを開けたりしないでください。
●立てたり、裏返したりしないでください。必ず矢印のついている面を上にして取り扱ってください。
●絶対に分解や改造などをしないでください。
●K（ブラック）トナーカートリッジは、磁気製品です。データを破損する恐れがありますので、ディスプレイやパソコン本体、フロッピーディスク、ディスクドライブなど、磁気を嫌う製品に近付けないでください。
●トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに１時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
●交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
●交換用のトナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをお勧めします。

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。
このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

お願い

- **新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。**
- **メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、パッケージに使われていた保護袋に入れて保管してください。**
- **立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。**
- **直射日光の当たる場所は避けてください。**
- **高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。**
  保管温度範囲：0 ～ 35℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%（相対湿度・結露しないこと）
- **アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。**
- **K（ブラック）トナーカートリッジは、磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブ、ディスプレイ、パソコン本体など、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。**
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**

結露とは
保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露は、トナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

ドラムカートリッジを交換する

「ドラム コウカン ヨコク / ドラム コウカン」が表示されたときは

ドラムカートリッジは消耗品です。ドラムカートリッジが寿命に近づくと、ディスプレイに「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」、「EF　ドラム　コウカン」、「98　ドラム　コウカン」のメッセージが表示されます。そのまま使い続けると、プリント面に黒い縦すじが現れ始め、印字品質が低下してきます。これらのメッセージが表示されたときは、次の指示にしたがってドラムカートリッジを交換してください。

お願い

- **ドラムカートリッジの交換時は、エアフィルタも交換してください。（→ P.154）また、分離除電ユニットや帯電ユニット、濃度センサー、前露光ランプ、レジストローラ付近の清掃も忘れずに行ってください。（→ P.148）**
- **一度使用したドラムカートリッジは、絶対に他のプリンタ（本プリンタと同じ機種）にセットしないでください。警告表示不良の原因となります。**
- **新品のドラムカートリッジに交換した後、警告表示を消すために、必ず数枚プリント出力を行ってください。**

メモ

- **セットアップメニューの「警告表示」設定を「シナイ」にしているときは、「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」は表示されません。メニュー機能の設定については「LIPS 機能ガイド」をご覧ください。**
- **ドラムカートリッジが寿命に近づいた場合に、「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」が表示されるか、「98　ドラム　コウカン」が表示されるかは、セットアップメニューの「警告処理」の設定によります。本プリンタ工場出荷時には、「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」が表示されるように設定されています。メニュー機能の設定については、LIPS 機能ガイド　第 3 章「1　拡張機能グループの設定項目」をご覧ください。**

ドラムカートリッジの寿命について

本プリンタ用のドラムカートリッジの寿命は、次のようになっています。

A4/ レター横送りの片面印刷を連続 2 枚ずつプリントした場合のプリント可能ページ数

- **フルカラープリントの場合　　約 12,500 ページ（50,000 イメージ）**
- **モノクロプリントの場合　　約 24,000 ページ**

メモ

- **A4/ レター（横送り）連続 2 枚ずつ以外のプリントや両面プリントの場合は、プリント可能ページ数は上記より少なくなります。**

■「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」のメッセージが表示されたとき

「E0 ドラム コウカン ヨコク」のメッセージは、ドラムカートリッジの寿命が近いことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイの上段に表示されると、プリンタが停止します。このメッセージが表示されたら、（オンライン）キーを押してプリントを継続できます。ディスプレイの下段に表示されると、すぐにはプリンタは停止せず、プリントを継続できます。
このメッセージが表示されたら、新品のドラムカートリッジをご用意ください。印字品質が低下している場合は、プリント終了後にドラムカートリッジを交換してください。

■「EF　ドラム　コウカン」のメッセージが表示されたとき

「EF　ドラム　コウカン」のメッセージは、ドラムカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージがディスプレイの上段に表示されると、プリンタが停止します。このメッセージが表示されたら、（オンライン）キーを押してプリントを継続し、プリント終了後直ちにドラムカートリッジを交換してください。
ディスプレイの下段に表示されると、すぐにはプリンタは停止せず、プリントを継続できます。プリント終了後にドラムカートリッジを交換してください。

■「98　ドラム　コウカン」のメッセージが表示されたとき

「98　ドラム　コウカン」のメッセージは、ドラムカートリッジの交換が必要なことを知らせるメッセージです。このメッセージが表示されると、プリンタが停止します。このメッセージが表示されたら、直ちにドラムカートリッジを交換してください。新品のドラムカートリッジに交換した後、警告表示を消すために、必ず数枚プリント出力を行ってください。

ドラムカートリッジの交換

「E0　ドラム　コウカン　ヨコク」、「EF　ドラム　コウカン」、「98　ドラム　コウカン」のメッセージが表示されたら、次の手順で新しいドラムカートリッジに交換してください。

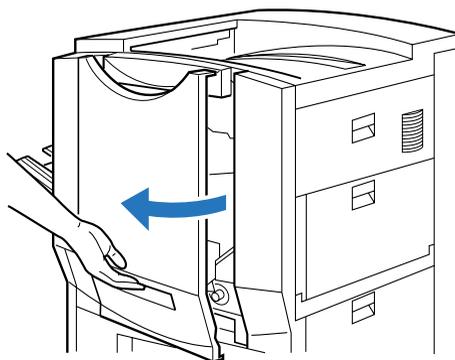
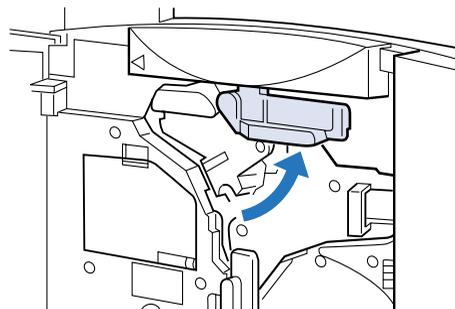
お願い

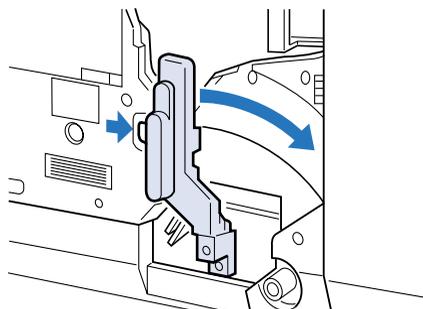
- **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリント品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。**
- **ドラムカートリッジの交換と同時に、エアフィルタの交換も行ってください。(→P.154)**
- **プリント品質を維持するために、ドラムカートリッジの交換と同時に、分離除電ユニットや帯電ユニット、濃度センサー、前露光ランプ、レジストローラ付近の清掃も行ってください。(→ P.148)**

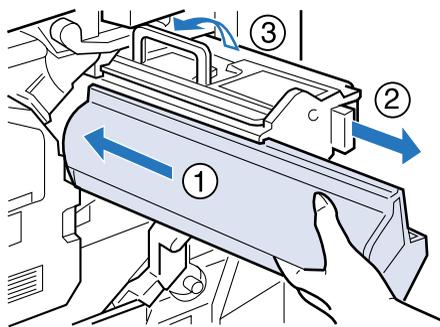
1

前ドアを開きます。

前ドアは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。

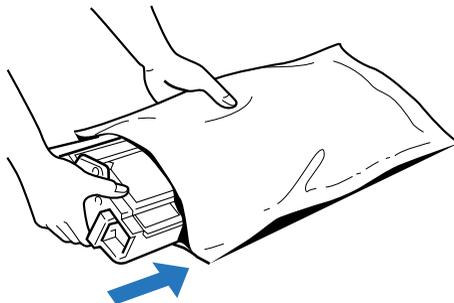
2

青色のロック解除レバーを図の矢印の方向へ押し上げます。

3

緑色のロック解除レバーを、白いボタンを押し込みながら、矢印の方向へ倒します。

4

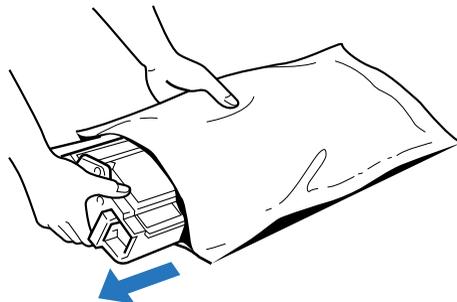
保護カバーをドラムカートリッジの位置にあてがい①、使用済みのドラムカートリッジを取っ手が立つ所まで引き出します②。取っ手を垂直に立てて③、取っ手を持ってドラムカートリッジを最後まで抜き取ります。

● 使用済みのドラムカートリッジの感光面はトナーで汚れていますので、取り外す場合はトナーが床にこぼれたり、手や衣服を汚さないように必ず、保管しておいた保護カバーをあてがって取り外してください。

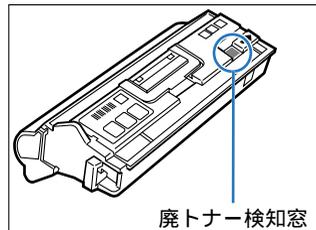
5

抜き取ったドラムカートリッジを保護袋に入れて処分します。

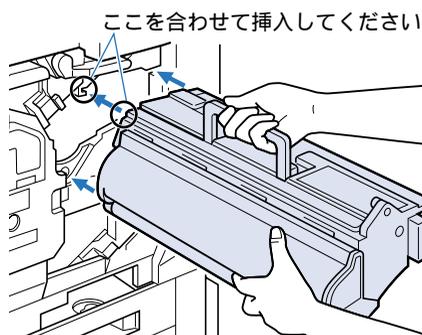
警告

● 使用済みのドラムカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残った廃トナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

6

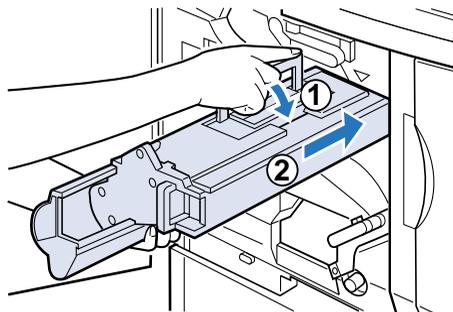
新しいドラムカートリッジを保護袋から取り出します。

お願い

- **ドラムカートリッジの廃トナー検知窓は絶対に手で触らないでください。万一触ってしまった場合は、乾いたやわらかい布で汚れを軽く拭き取ってください。**

- **ドラムカートリッジは光に非常に敏感です。光が当たると性能が劣化し、プリント品質が低下します。プリンタに取り付ける準備ができるまで保護袋から取り出さないでください。**

7

新しいドラムカートリッジの取っ手を起こして図のように持ち、ドラム差し込み部に合わせます。

8

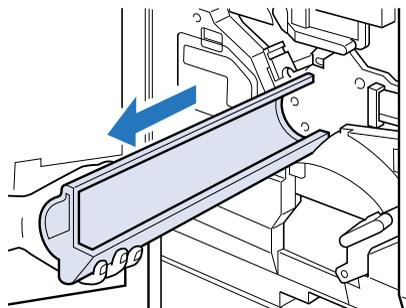
保護カバーを片手で支えながら、取っ手を元の位置へ戻し①、ドラムカートリッジ本体を水平にゆっくりと押し込みます②。

カチッと音がしてロックされるまで、しっかりと押し込んでください。

お願い

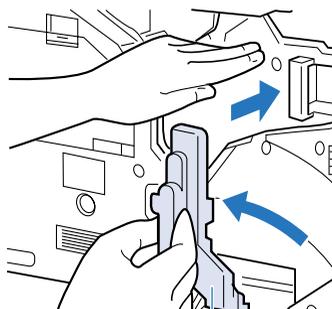
- **ドラムカートリッジの感光面には、絶対に触れないように注意してください。触れると印字品質が低下する原因となります。**

9

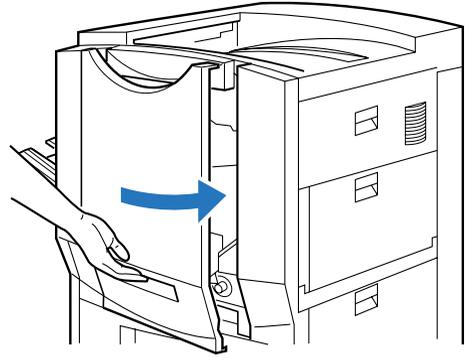
ドラムカートリッジを完全に押し込んだら、保護カバーを取り外します。

お願い

● 保護カバーは、ドラムカートリッジの交換時に必要になります。捨てずに保護袋といっしょにパッケージに入れて保管しておいてください。

10

青色と緑色のロック解除レバーを元の位置へ戻します。

11

前ドアを閉じます。

お願い

- **ロック解除レバーが正しくロックされていないとドアが閉じないのでご注意ください。**

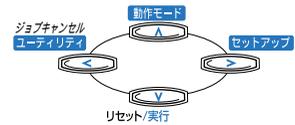
メモ

- **ドラムカートリッジを交換した後、カートリッジの検知が完了するまで数秒間エラーメッセージが残ることがあります。**

12

プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンラインランプが消灯しているときは、（オンライン）キーを押してオンラインランプを点灯します。

3
第3章 日常のメンテナンス

ドラムカートリッジの取り扱いのご注意

ドラムカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因となることがあります。ドラムカートリッジの取り付けや取り外し時には、次のような点に注意して取り扱ってください。

警告

●使用済みのドラムカートリッジは、絶対に火の中へ投じないでください。カートリッジ内に残った廃トナーに着火し、やけどや火災の原因になります。

注意

●万一手や衣服がトナーで汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。このとき、温水は使わないでください。トナーが融着して、とれなくなる恐れがあります。

●新品のドラムカートリッジは、プリンタに取り付ける準備ができるまで、保護袋から取り出さないでください。またメンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを取り出した場合は、遮光のために保護カバーを取り付けてから保護袋に入れ、取り扱いには十分注意してください。
●絶対に直射日光や強い光（1500 ルクス以上）に当てないでください。
●内部の感光面を手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたりしないでください。
●絶対に分解や改造などをしないでください。
●ドラムカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のドラムカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに１時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
●交換用のドラムカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをお勧めします。

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。
このカートリッジ回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったカートリッジをお買い求めの販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点にお持ちいただければ幸いと存じます。

ドラムカートリッジの保管について

交換用にお求めになったドラムカートリッジや、修理や移動時に取り出したドラムカートリッジは、次のような点に注意して保管してください。

お願い

- **新品のドラムカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。**
- **メンテナンスなどのために使用中のドラムカートリッジを取り出したときは、遮光のために保護カバーを取り付けてからパッケージに使われていた保護袋に入れて保管してください。**
- **立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。**
- **直射日光の当たる場所は避けてください。**
- **高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。**
  保管温度範囲：0 ～ 35℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%（相対湿度・結露しないこと）
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**

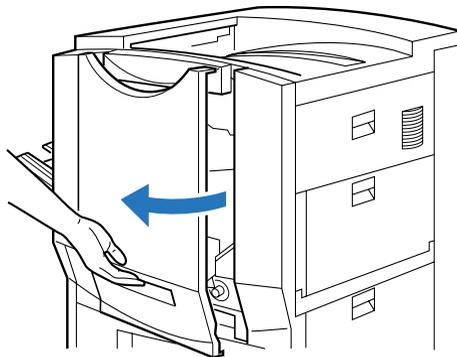
結露とは
保管湿度範囲内でも､外気との温度差によってドラムカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露は､ドラムカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

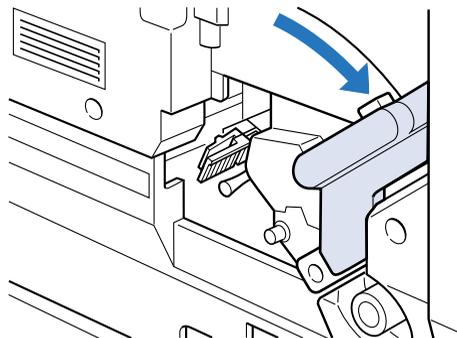
ドラムカートリッジ周辺の清掃

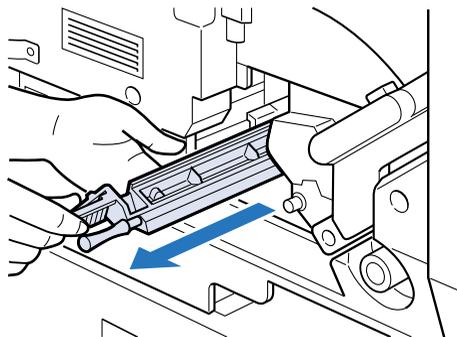
ドラムカートリッジの交換時は、分離除電ユニットや濃度センサー、レジストローラ、帯電ユニット、前露光ランプ付近の紙粉や汚れを清掃してください。
これらの部品が汚れると、プリントの品質低下や紙づまりの原因になります。このようなトラブルを防止するために、ドラムカートリッジの交換時に必ずこれらの部品の清掃も合わせて行ってください。

1

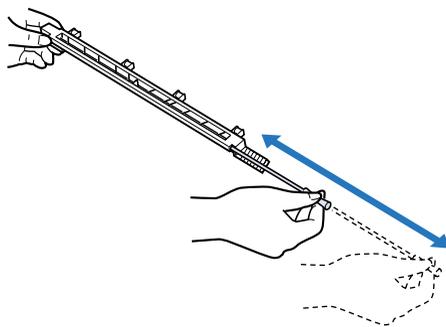
前ドアを開きます。

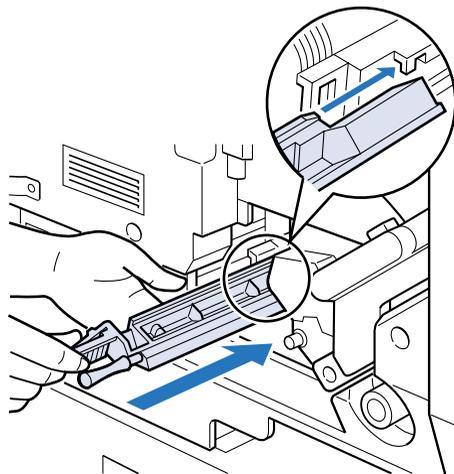
前ドアは、図のように手をかけ、手前に引くと開きます。

2

緑色のロック解除レバーを、白いボタンを押し込みながら、矢印の方向へ倒します。

3

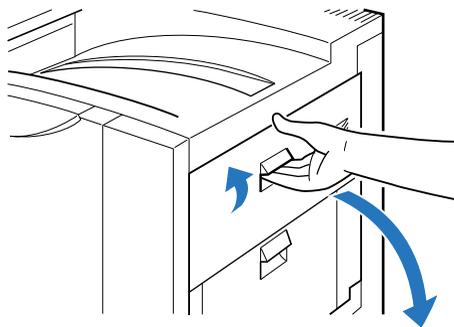
分離除電ユニットの青色の取っ手をつまみながら、分離除電ユニットを引き出します。

4

清掃用レバーを数回往復させて清掃します。

清掃用レバーは、一番奥から手前まで数回動かします。最後は、ロックするまで奥に押し込みます。

5

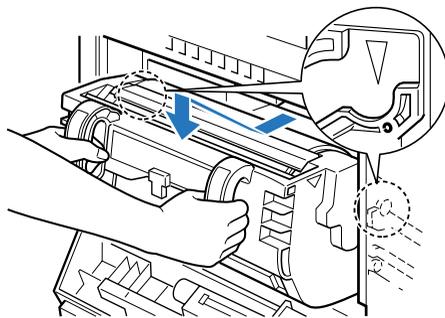
分離除電ユニットを上下の溝に合わせて、カチッと音がするまで押し込みます。

6

右上カバーを開きます。

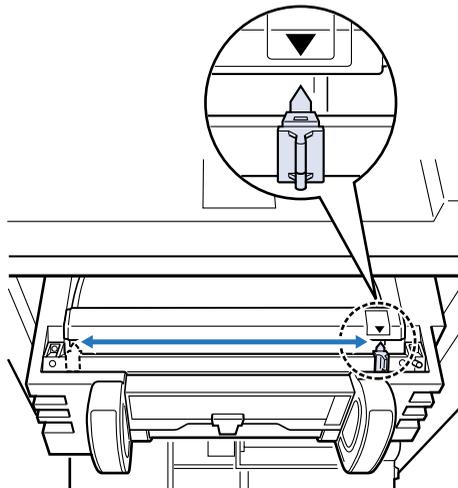
右上カバーは、開閉レバーを押し上げながら引くと開きます。

お願い

- **給紙トレイが開いているときは、給紙トレイを閉じてから右上カバーを開いてください。**

7

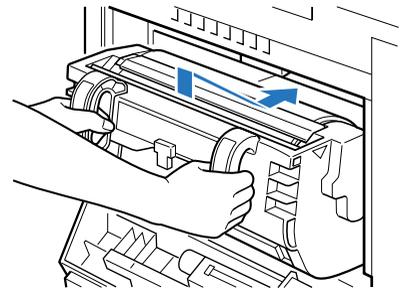
両手で中間転写体ユニットの取っ手を持ち、図の位置まで慎重に中間転写体ユニットを引き出します。

8

帯電ユニットの清掃用取っ手を数回往復させて、帯電ユニットを清掃します。

帯電ユニットの清掃用取っ手は、左右端まで数回往復させて清掃します。終わったら、帯電ユニット右端の矢印の位置に戻します。

お願い

● 帯電ユニットの清掃用取っ手は、必ず矢印の位置へ戻してください。プリントのムラや画質低下の原因になります。

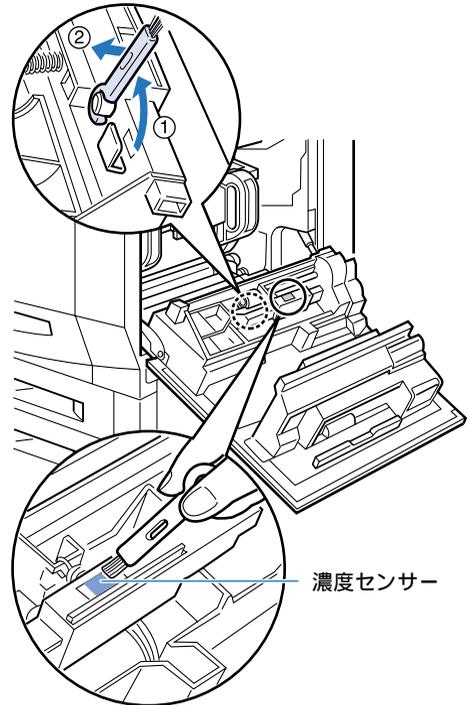
9

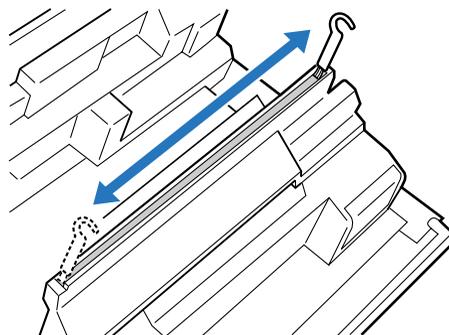
中間転写体ユニットを元の位置に戻します。

お願い

- **中間転写体ユニットを戻すときは、ゆっくりとていねいに挿入してください。無理な力がかかると、中間転写体ユニットやプリンタ破損の原因となります。**
- **中間転写体ユニット内のドラムの表面を手で触ったり、ぶつけたりしないように、慎重に取り扱ってください。ドラムの表面をキズ付けると、プリントのムラや画質低下の原因になります。**

10

右上カバー内部に取り付けられている濃度センサー清掃用ブラシで、濃度センサーを清掃します。

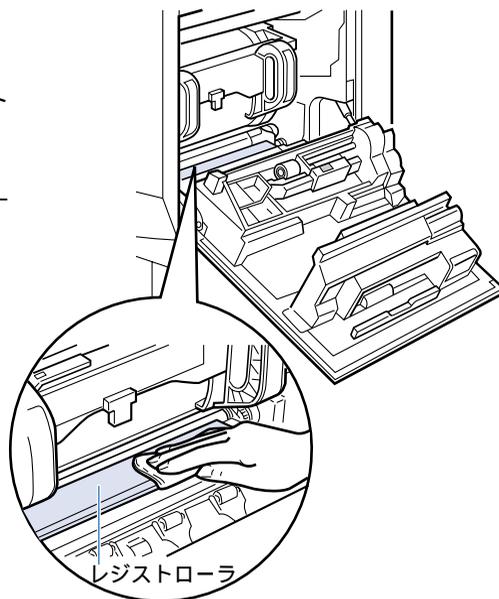
濃度センサー清掃用ブラシは、濃度センサーの横に取り付けられています。図のように取り外してご使用ください。

11

濃度センサー清掃用ブラシで前露光ランプを清掃します。

12

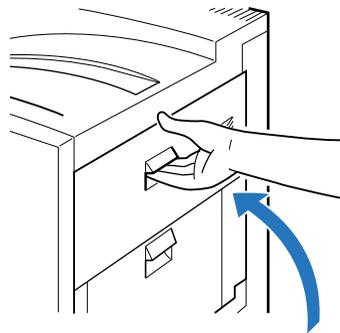
濃度センサー清掃用ブラシを元の位置へ戻します。

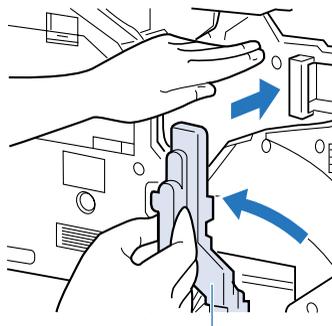
13

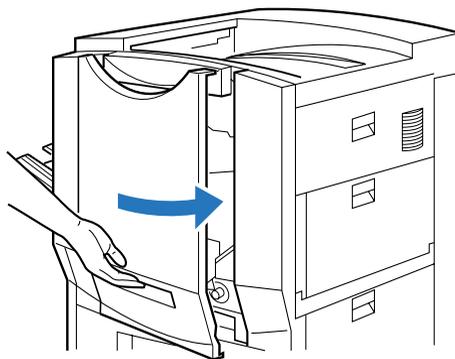
水を含ませた柔らかい布をかたく絞り、レジストローラ周辺の紙粉を拭き取ります。

紙粉を拭き取ったら、乾いた柔らかい布で水気を十分に拭き取ってください。

14

右上カバーを閉じます。

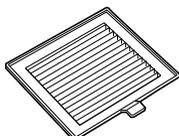
右上カバーは、カチッと音がしてロックするまで完全に閉じてください。

15

緑色のロック解除レバーを元の位置へ戻します。

16

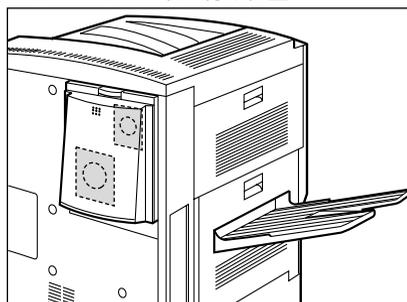
前ドアを閉じます。

- **ロック解除レバーが正しくロックされていないとドアが閉じないのでご注意ください。**

エアフィルタを交換する

本プリンタの背面の排気口内側には、エアフィルタが付いています。エアフィルタは、プリンタ内部の残留トナーなどが外に吹き出されるのを防ぎます。エアフィルタにトナー粉などが付着して目詰まりすると、内部を十分に冷却できなくなり、故障やトラブルの原因となります。エアフィルタは消耗品ですので、ドラムカートリッジの交換と同時にエアフィルタも必ず交換してください。

●ドラムカートリッジ EP-82 同梱品

・エアフィルタ（小）　**・エアフィルタ（大）**

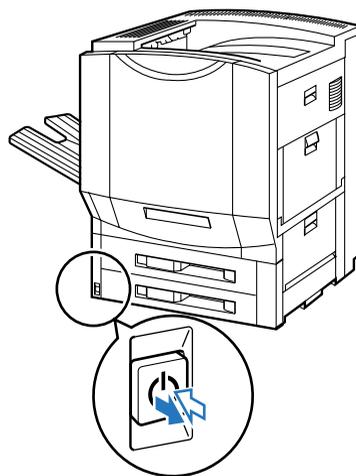
・ワイプクロス

●エアフィルタ取り付け位置

エアフィルタは次の手順で交換します。

1

電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約30分待ちます。

電源をオフにするときは、ジョブランプとメッセージランプ/HDDランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

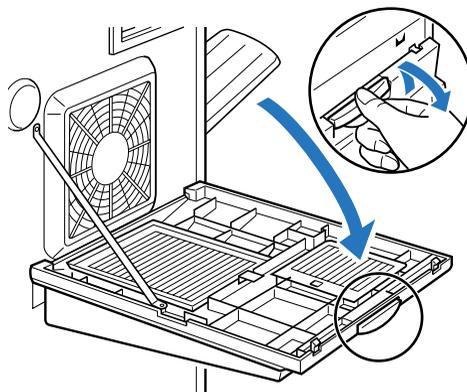
お願い

●カバーは、必ずファンが停止していることを確認してから開いてください。ファンが停止する前にカバーを開くと、エアフィルタに付着しているトナーが飛び散って、床や周囲、衣服を汚す恐れがあります。

メモ

●電源オフ後、電源プラグを電源コンセントから抜いてファンを停止させることもできます。

2

本体背面のエアフィルタ取り付け部のカバーを開きます。

カバーは、上部のロックボタンを指先で押さえて引くと開きます。

お願い

● 開いたカバーを上から押したり、外そうとしたりしないでください。破損の原因となります。

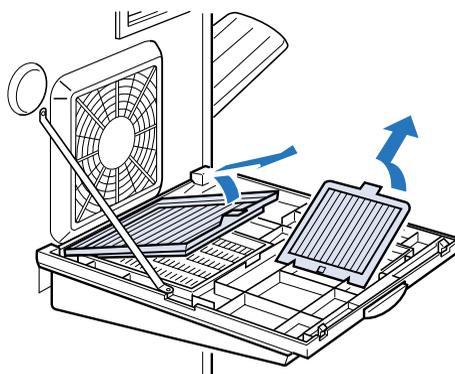
3

新しい大小2つのエアフィルタをビニール袋から取り出します。

ビニール袋は、古いエアフィルタを入れるために使うので、ていねいに取り出してください。

4

大小 2 つのエアフィルタを外します。

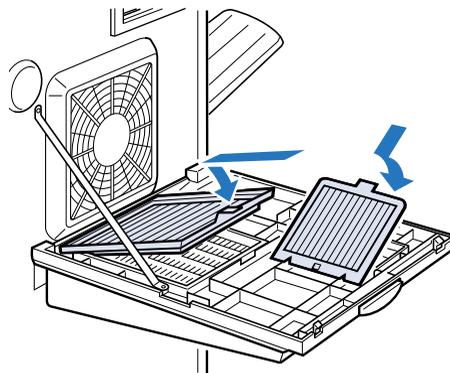
取り外したエアフィルタは、すぐに新しいエアフィルタが入っていたビニール袋に入れて、廃却してください。

お願い

● エアフィルタに付着したトナーが落下して、じゅうたんや床、衣服などを汚さないように注意してください。

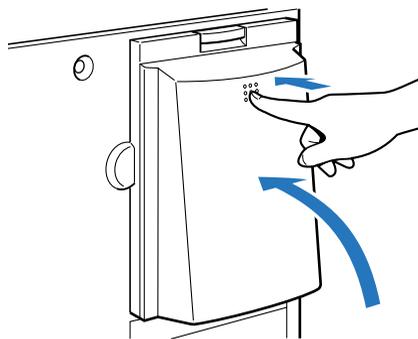
5

周囲がトナーで汚れている場合は、ワイプクロスで拭き取ります。

6

新しいエアフィルタを取り付けます。

7

カバーを閉じます。

カバーは､中央のマーク部分を押して左右のロックがカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

8

電源をオンにし、ファンを再び回転させます。

プリンタを清掃する

本プリンタを長期間使用している間に、本体にホコリや汚れが付着したときは、次の要領で清掃してください。

警告

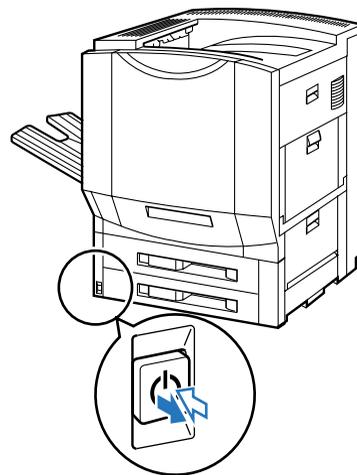
- **清掃する前に、必ず電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因になります。**
- **アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本体内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になります。**

お願い

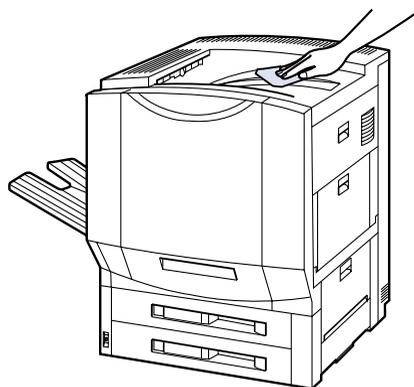
- **本体のプラスチックが変質したりひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。**
- **中性洗剤は、必ず水で薄めてご使用ください。**
- **本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。**

1

電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約30分待ち、電源プラグを電源コンセントから抜きます。

電源をオフにするときは、ジョブランプとメッセージランプ/HDDランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

2

水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞ってから拭きます。

付着した汚れは、少量の水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。中性洗剤を使用したときは、必ず後から水を含ませた柔らかい布で洗剤を拭き取ってください。

3

汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。

4

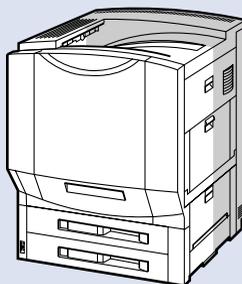
完全に乾いたら、電源プラグを電源コンセントに接続します。

プリンタを移動する

本プリンタは、本体のみで約83kgあります。メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の注意を守り、次ページの手順に従って移動してください。

警告

- **本プリンタは、本体のみで約83kgあります。必ず4人で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。**
- **絶対に、給紙カセットなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。プリンタを破損したり、落下してケガをするおそれがあります。**

- **本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。**

お願い

- **階段を使うような移動が必要な場合は、本体のみの場合でも、必ず専門の運送業者に依頼してください。**
- **7ビンソータと7ビンソータ用ペディスタルを装着している場合は、必ず専門のサービスマンに依頼してください。**

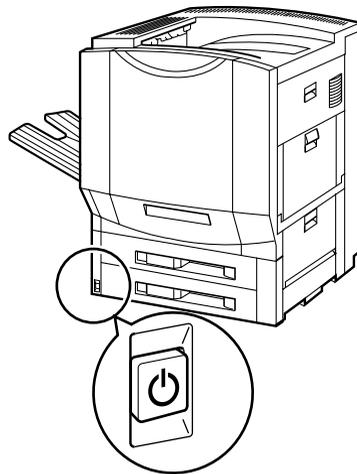
本体を移動する

本プリンタの本体のみを移動するときは、次の手順で持ち上げて運んでください。

1

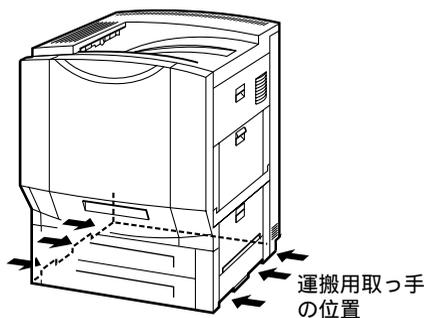
電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約30分待ちます。

電源をオフにするときは、ジョブランプとメッセージランプ/HDDランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

2

サブ排紙トレイや接続してあるケーブルをすべて外します。

電源コード、インタフェースケーブルなど、取り付けてあるケーブルをすべて外してください。

3

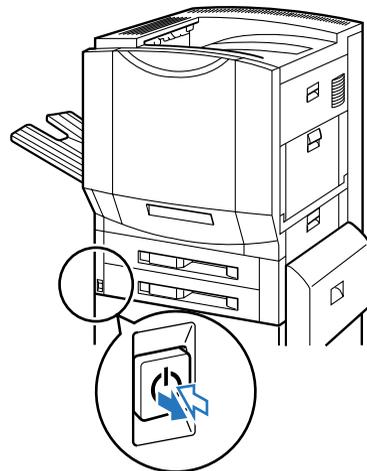
プリンタ下側にある6箇所の運搬用取っ手に4人で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

ペーパーデッキやペディスタルごと移動する

本プリンタにペーパーデッキまたはペディスタルを装着しているときは、次の手順で移動します。

1

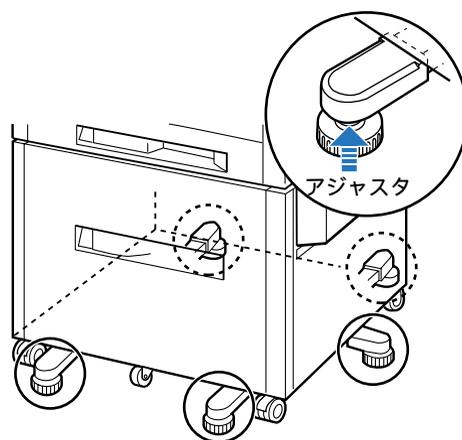
電源をオフにして、内部のファンが停止するまで約30分待ちます。

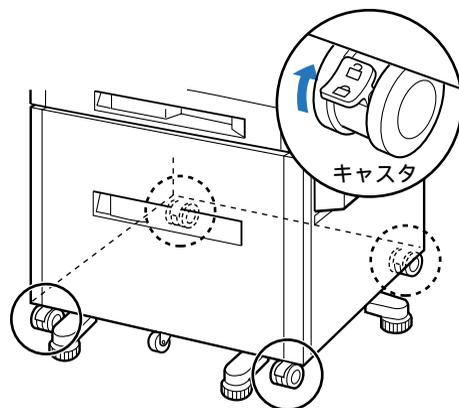
電源をオフにするときは、ジョブランプとメッセージランプ/HDDランプが消灯していることやディスプレイを見て、プリント中でないことを確認してください。

2

サブ排紙トレイや接続してあるケーブルをすべて外します。

電源コード、インタフェースケーブルなど、取り付けてあるケーブルをすべて外してください。

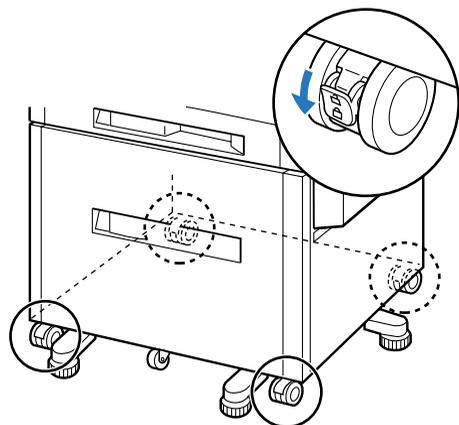
3

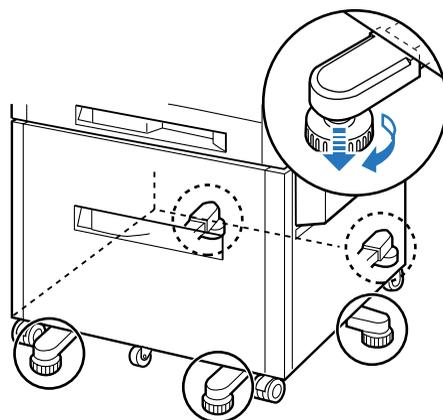
5個の転倒防止脚のアジャスタを右に回して上に突き当たるまで縮めます。

4

4 個のキャスタのロックを解除します。

5

必ず4人で前後を支え、転倒しないように慎重に押して運びます。

6

設置場所が決まったら、4個のキャスタをロックします。

7

5個の転倒防止脚のアジャスタを、床に軽く付くまで左に回して固定します。

プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下のお願いをよくお読みいただき、十分に注意して取り扱ってください。

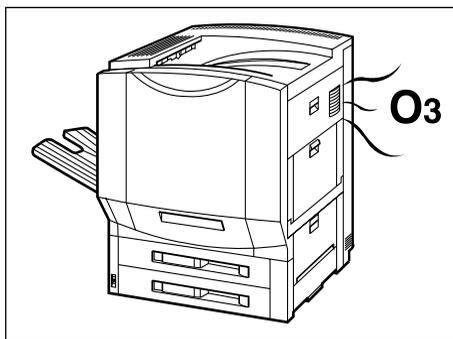
レーザ光について

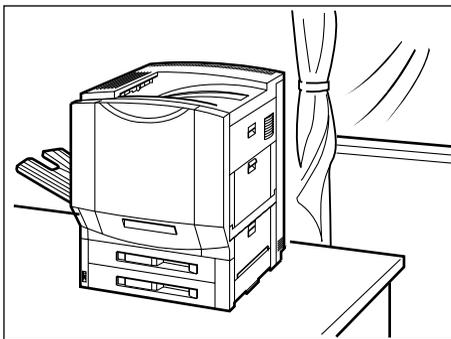
レーザ光は人体に有害となる恐れがあります。そのため本プリンタではレーザ光はレーザスキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザ光が漏れる心配は全くありません。
安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

注意

- **本書で指示された以外のカバーは絶対に開けないでください。**
- **レーザスキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。**
- **万一レーザ光が漏れて目に入った場合、目に傷害が起こる原因となることがあります。レーザ光は目に見えませんので、注意が必要です。**

オゾンの排出について

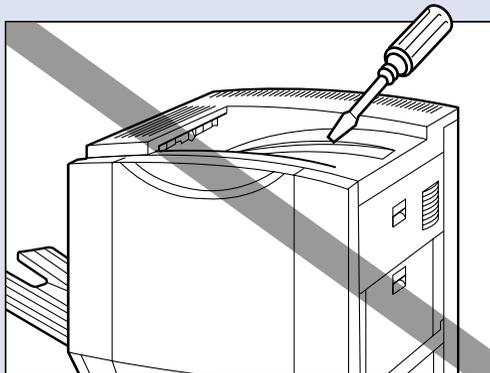
プリンタの静電記録の処理過程ではオゾン（O_3）が生成されます。本プリンタは排気口にオゾンフィルタが取り付けられており、Underwriter's Laboratories, Inc(UL)が発行したオゾン排出に関する適用基準の要求事項を満たしています。
オゾンは無色の気体ですが若干オゾン臭があり、特にオゾン臭に敏感な方は大量のオゾンを吸い込むと気分が悪くなることがまれにあります。
本プリンタの使用にあたっては、次の注意事項を守ってください。

お願い

- できるだけ風通しの良い広い部屋に本プリンタを設置し、時々（できれば1時間毎）換気を行ってください。

- 人のいる方向に排気口を向けないように設置してください。
- オゾンフィルタは、印刷枚数約 75,000 ページ（A4/ カラー）または 300,000 ページ（A4/ モノクロ）を目安に交換が必要です。交換は、専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんのでお買い求めの販売店などへ依頼してください。

プリンタ取り扱いのご注意

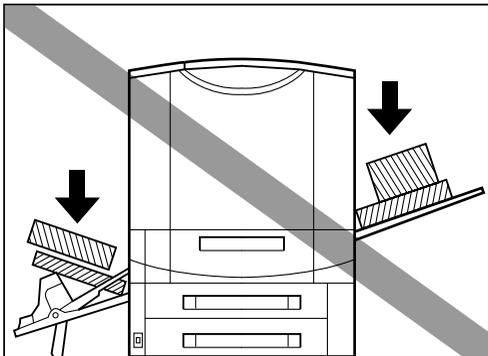
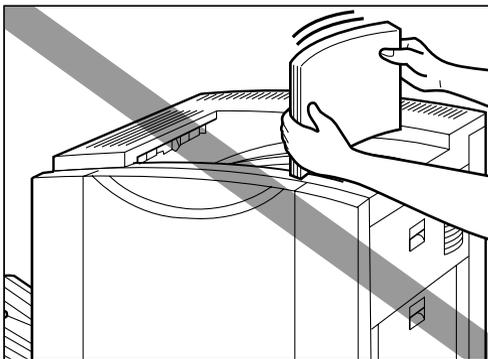
つねに最良の状態でプリントできるように、次の注意を守ってください。

警告

● 分解や改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因になります。

● 次のような場合は、本プリンタの電源コードを抜いて、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。
- 電源プラグやコードが傷ついている場合
- 本体内部に液体が入った場合
- 本体が雨や水にさらされた場合
- 操作手順にしたがって操作しても、正常に作動しなかった場合
- 本体を落としたり、本体が損傷を受けてしまった場合
- 本体の性能に明らかな変化が認められ、手入れや修理が必要とされる場合
- 発煙したり、変な臭いや音が生じた場合

注意

● 万一、プリンタ本体のハードディスクに不具合が発生した場合、登録・保存したデータが消失することがあります。重要なデータを登録・保存される場合にはオリジナルのデータは、必ず消さずに保管してください。お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

● 本体やトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

● プリント中に振動を与えないでください。プリントの品質が低下することがあります。

● プリント中は、絶対に本体の各カバーやオプションのカバーを開けないでください。故障の原因になります。
● 給紙トレイや本体の各カバー、オプションのカバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
● 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
● 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないようなときは、以下の環境で保管してください。

- **温度が 0 ～ 35℃の範囲内の場所**
- **湿度が 35 ～ 85%（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所**

第 4 章

困ったときには

トラブル解決マップ

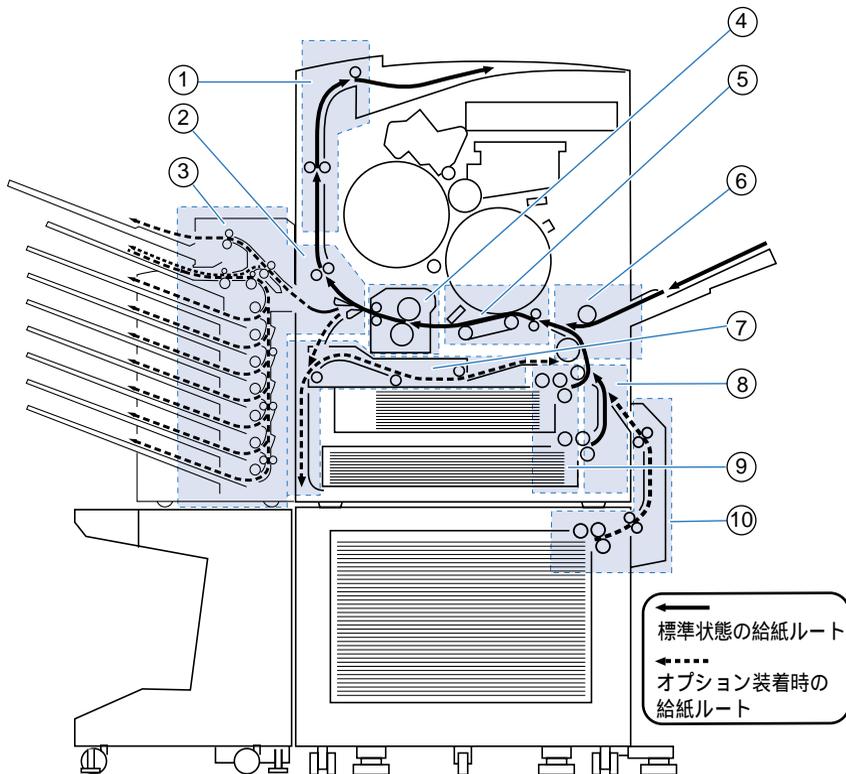
プリントできない
はい
いいえ
文字の内容がおかしい
はい
動作モードが合っていない
→第1章「動作モードについて」(P.52)
いいえ
用紙設定が合っていない
→LIPSソフトウェアガイド
はい
レイアウトがずれてしまう
フォントが置き換わっている
→LIPSソフトウェアガイド
いいえ
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトのマニュアル
メモリ不足のため、処理が変更されている
→第4章「メッセージが表示されたときは」(P.196)
はい
印字品質が悪い
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→第2章「用紙について」(P.58)
いいえ
トナーが少なくなってきている
→第3章「トナーカートリッジを交換する」(P.126)
その他のトラブル
→第4章「メッセージが表示されたときは」(P.196)
→第4章「正しいプリント結果が得られないときは」(P.217)

NetSpot Job Monitorにメッセージが表示されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→LIPSソフトウェアガイド
はい
“プリンタの準備ができていません”が表示されている
はい
プリンタの電源が入っていない
→第1章「電源のオン、オフ」(P.32)
プリンタがオフラインになっている
→第1章「オンラインとオフライン」(P.38)
ケーブルが正しく接続されていない
→設置ガイド
いいえ
エラーメッセージが表示されている
はい
“ヨウシガ　アリマセン”が表示されている
→第2章「給紙カセットからプリントする」(P.77)
→第2章「給紙トレイからプリントする」(P.92)
“ヨウシガ　ツマリマシタ”が表示されている
→第4章「紙づまりが起こったときは」(P.170)
“トナー　コウカン”が表示されている
→第3章「トナーカートリッジを交換する」(P.126)
その他のエラーメッセージが表示されている
→第4章「メッセージが表示されたときは」(P.196)
いいえ
プリンタのオンラインランプが点滅したままになっている
はい
前のジョブが残っていてプリントできない
→第4章「プリントを中止したいときは」(P.231)
いいえ
プリントデータを処理中です しばらくお待ちください

紙づまりが起こったときは（紙づまりの除去）

プリント中に、何らかの理由で紙づまりが起こると、ピーという警告音が鳴り、ディスプレイ上段に「13 ヨウシガ ツマリマシタ」、下段に「カセット」や「ミギウエカバー」など、紙づまりの位置を表すメッセージが表示されます。紙づまりが起こる場所には大きく分けて、給紙部/排紙部での紙づまりとプリンタ内部での紙づまりがあります。紙づまりを起こした場所によって対処の方法が異なりますので、ディスプレイのメッセージを参考に下図の各部を点検し、つまっている用紙を取り除いてください。

紙づまりの位置

本プリンタは、用紙が図のようなルートを通ってプリントされます。紙づまりが起きやすいのは、図で示した箇所です。

	ディスプレイメッセージ	紙づまり位置
①	「ヒダリウエカバー」	排紙トレイ部　（→ P.182）
②	「ヒダリシタカバー」	サブ排紙トレイ部（→ P.191）
③	「ソータ　セツゾクブ」 「ソータ　ミギカバー」 「ソータ　ウエカバー」 「ソータ　ハイシクチ」	7 ビンソータ部（→ P.183）
④	「ヒダリシタカバー」	定着ユニット部（→ P.193）
⑤	「マエドア／ミギウエカバー」	中間転写体ユニット部（→ P.186）
⑥	「ミギウエカバー」	給紙トレイ部（→ P.180）
⑦	「ヒダリシタカバー」	両面ユニット部（→ P.194）
⑧	「ミギシタカバー」	搬送路部（→ P.179）
⑨	「カセット」	給紙カセット部（→ P.173）
⑩	「2x500　デッキ」 「ペーパーデッキ」	2 × 500 枚ペーパーデッキ部（→ P.174） 2000 枚ペーパーデッキ部（→ P.176）

お願い

- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。
- 手順通りに用紙を取り除いても紙づまりのメッセージが消えないときは、まだ用紙の断片などが内部に残っている可能性があります。再度プリンタの各部を点検し、つまっている用紙を完全に取り除いてください。
- ドアやカバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、いずれかのカバーを一度開けてから閉め直してください。

紙づまりの除去手順

紙づまりが起こると、ディスプレイ上段には「13 ヨウシガ　ツマリマシタ」、下段には、紙づまりの位置に応じてメッセージが表示され、プリントが中断します。
紙づまりが起きたときは、電源をオンのまま紙づまりを取り除くことができます。次の手順でつまった用紙を取り除いた後、オンラインになると、プリントが再開されます。

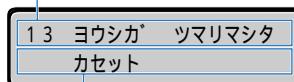
お願い

●紙づまりの除去は、本プリンタの電源をオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、プリント中のデータが消去されてしまいます。

1

ディスプレイのメッセージで、紙づまりの位置を確認します。

紙づまりが起こると表示されます。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ
カセット

紙づまりの起こった場所が表示されます。複数あるときは、すべての場所が順番に表示されます。

2

メッセージに表示された給紙カセットやカバーを開き、つまっている用紙を取り除きます。

3

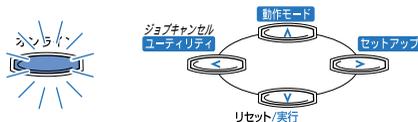
給紙カセットやカバーを元へ戻し、ディスプレイのメッセージを確認します。

お願い

●エラーメッセージが残っているときは、再度点検してください。
●給紙トレイ部や排紙トレイ部、サブ排紙トレイ部など、カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、いずれかのカバーを一度、開けてから閉め直してください。

4

プリンタがオンラインになっていることを確認します。

オンラインランプが消灯しているときは、（オンライン）キーを押してオンラインランプを点灯します。
中断したページからプリントが再開されます。

「カセット」（給紙カセット部）

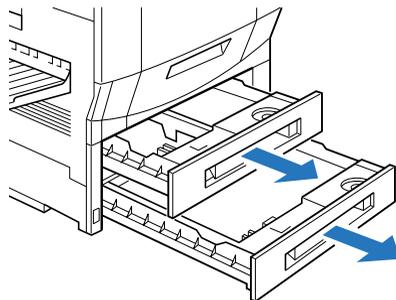
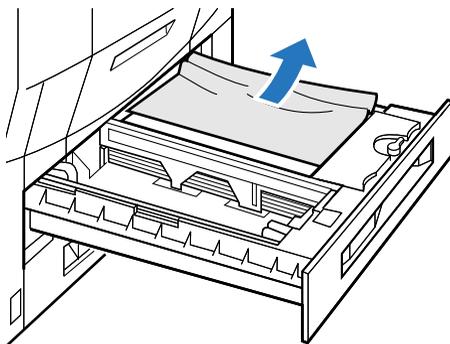
ディスプレイ下段に「カセット」と表示されているときは、プリンタ本体の給紙カセット部（カセット1、カセット2）で紙づまりが起こっていることを表しています。次の手順で給紙カセット部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

お願い

●つまっている用紙を取り除いた後、右下カバーを開き、搬送路部もチェックしてください。**（→ P.179）**

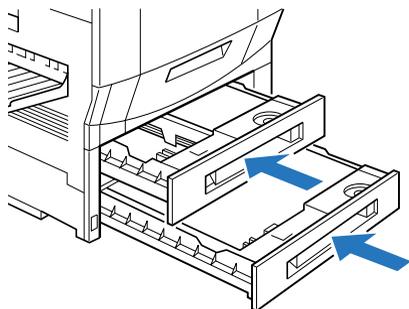
1

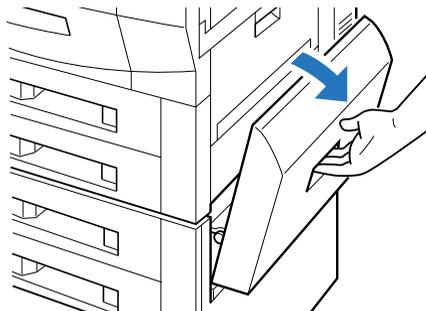
給紙カセットの取っ手を引いて、給紙カセットを引き出します。

2

つまっている用紙を取り除きます。

3

残った用紙を揃えて、セットし直します。

4

給紙カセットをカチッとロックするまで押し込みます。

「2x500　デッキ」（2 × 500 枚ペーパーデッキ部）

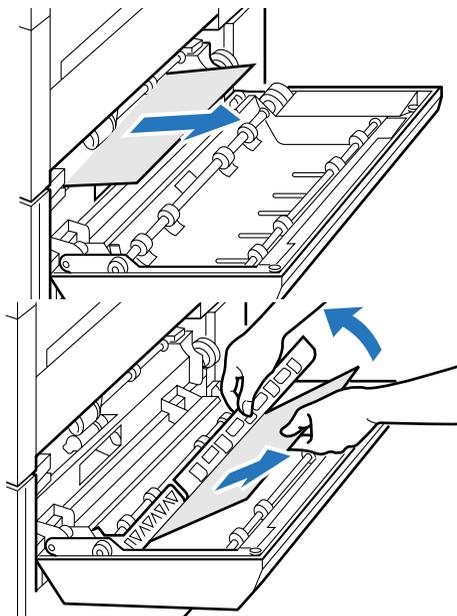
ディスプレイ下段に「2x500　デッキ」と表示されているときは、2 × 500 枚ペーパーデッキ部（カセット 3、カセット 4）で紙づまりが起こっていることを表しています。次の手順で 2 × 500 枚ペーパーデッキの給紙カセットをチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

1

2 × 500 枚ペーパーデッキの搬送路カバーを開きます。

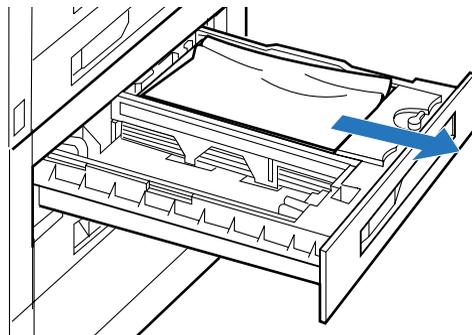
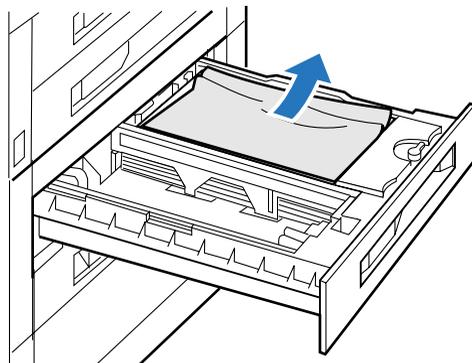
2

搬送路カバーの内側をチェックし､用紙がつまっていたら、引き出して取り除きます。

ペーパーデッキ側でつまっているときは､そのまま引っ張って抜き取ります。

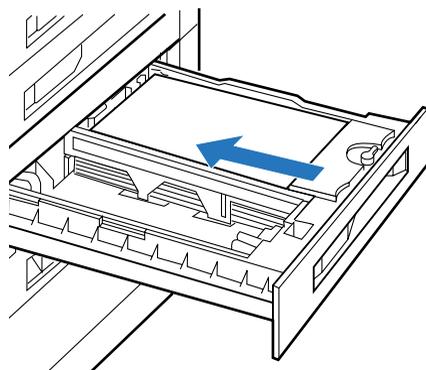
搬送路カバー内部でつまっているときは､プレートの緑色の部分を持ち上げながら､用紙を引き出します。

3

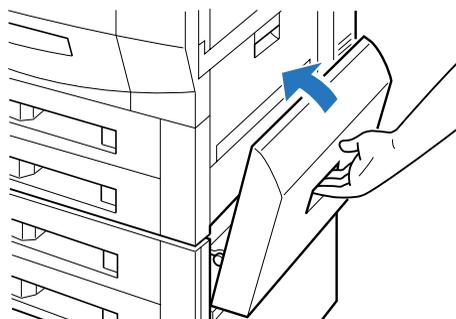
給紙カセットの取っ手を引いて､給紙カセットを引き出します。

4

つまっている用紙を取り除きます。

5

残った用紙を揃えて、セットし直します。

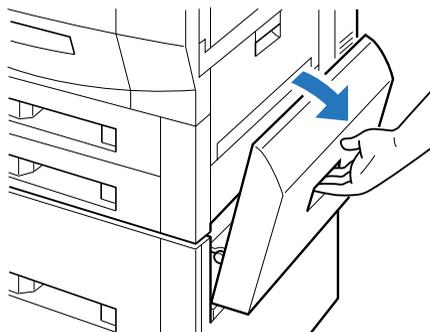
6

給紙カセットをカチッとロックするまで押し込みます。

7

2 × 500 枚ペーパーデッキの搬送路カバーを閉じます。

「ペーパーデッキ」（2000枚ペーパーデッキ部）

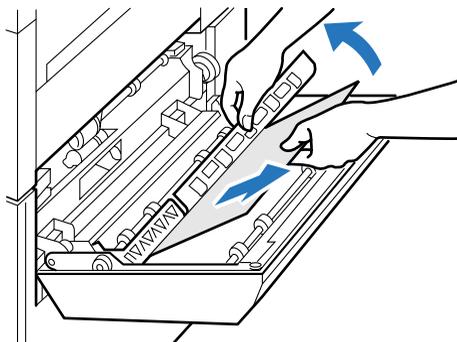
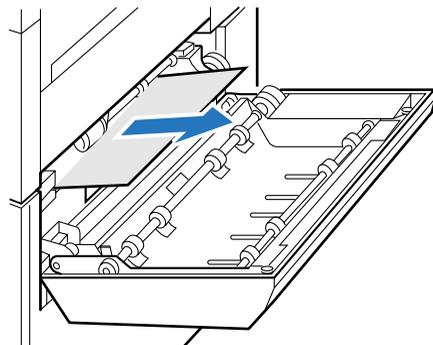
ディスプレイ下段に「ペーパーデッキ」と表示されているときは、2000枚ペーパーデッキ部で紙づまりが起こっていることを表しています。次の手順で2000枚ペーパーデッキをチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

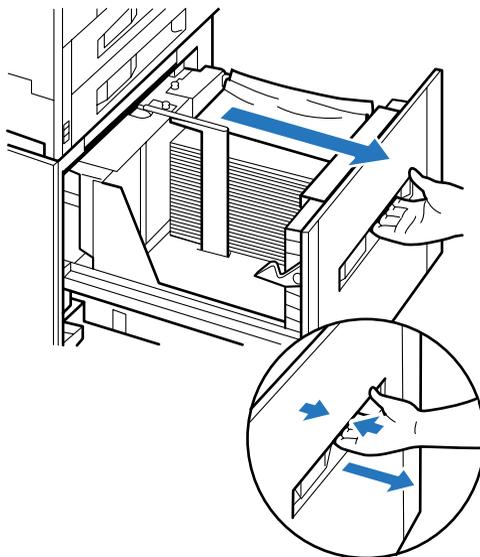
1

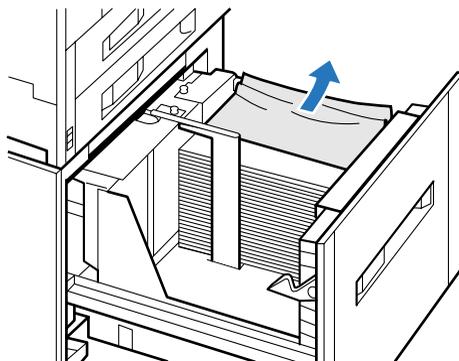
2000枚ペーパーデッキの搬送路カバーを開きます。

2

搬送路カバーの内側をチェックし、用紙がつまっていたら、引き出して取り除きます。

ペーパーデッキ側でつまっているときは、そのまま引っ張って抜き取ります。

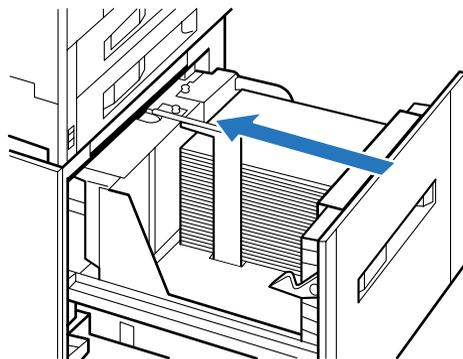
搬送路カバー内部でつまっているときは、プレートの緑色の部分を持ち上げながら、用紙を引き出します。

3

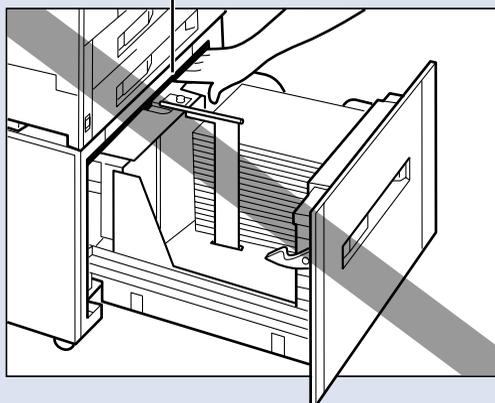
2000枚ペーパーデッキの取っ手を引いて、2000枚ペーパーデッキを引き出します。

4

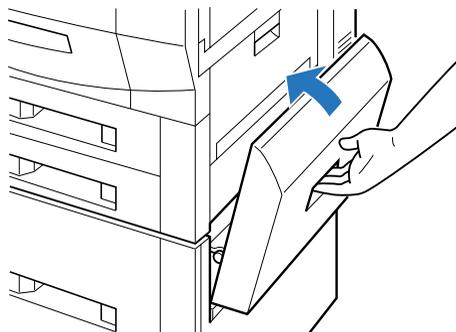
用紙がつまっていたら取り除きます。

5

残った用紙を揃え、セットし直します。

6

2000 枚ペーパーデッキをカチッとロックするまで押し込みます。

注意

●ペーパーデッキとプリンタのすき間に手を入れないでください。手をはさんで、けがの原因になることがあります。

7

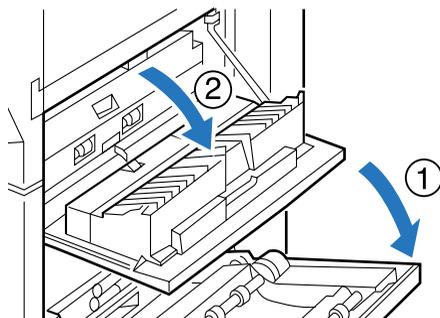
2000 枚ペーパーデッキの搬送路カバーを閉じます。

「ミギシタカバー」（搬送路部）

ディスプレイ下段に「ミギシタカバー」と表示されているときは、搬送路部で紙づまりが起こっていることを表しています。次の手順で搬送路部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

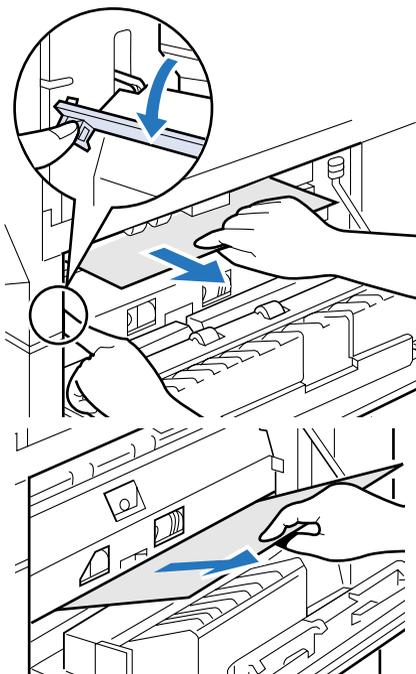
1

右下カバーの取っ手を引いて、右下カバーを開きます②。

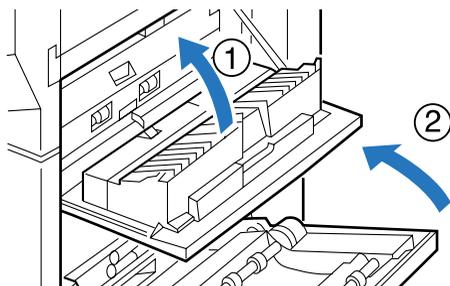
ペーパーデッキが取り付けられている場合は、先に搬送路カバーを開きます①。

2

つまっている用紙を取り除きます。

カセット1の出口で用紙がつまっているときは、緑色のレバーを下に押してカバーを開き、つまっている用紙を引き出します。

カセット2の出口で用紙がつまっているときは、つまっている用紙をそのまま引き出します。

3

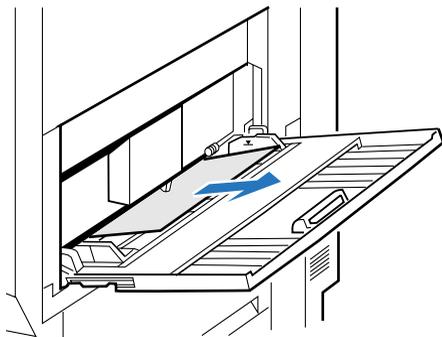
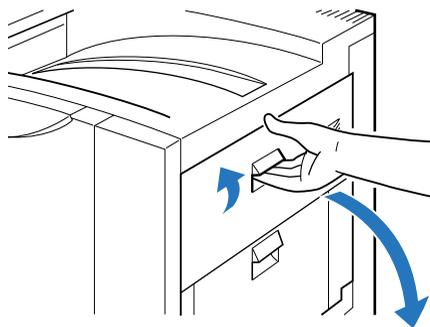
右下カバーを閉じます①。

ペーパーデッキが取り付けられている場合は、ペーパーデッキの搬送路カバーも閉じます②。

「ミギウエカバー」（給紙トレイ部）

ディスプレイ下段に「ミギウエカバー」と表示されているときは、給紙トレイ部や中間転写体ユニット入り口のレジストローラ付近で紙づまりが起こっていることを表しています。次の手順で給紙トレイ部やレジストローラ付近をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

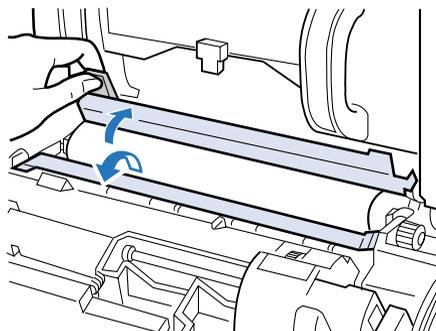
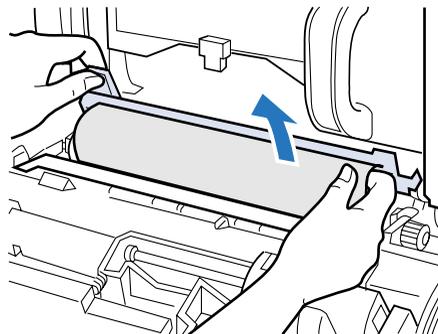
1

給紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、手前に引き出して取り除きます。

2

右上カバーの取っ手を引いて、右上カバーを開きます。

3

中間転写体ユニットの下にある搬送ガイドを開きます。

搬送ガイドは上側の搬送ガイドを押し上げて開くと、下側の搬送ガイドも自動的に開きます。

4

つまっている用紙を取り除きます。

● **用紙が中間転写体ユニットまで送られていて取り出せないときは、中間転写体ユニットを引き出してから取り除いてください。****（→ P.189）**

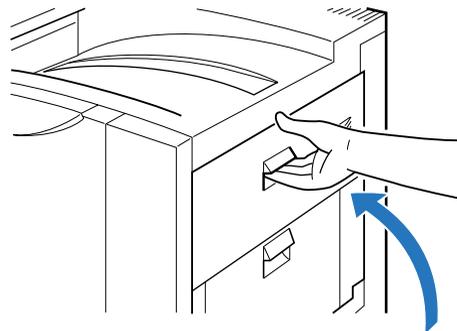
5

搬送ガイドを元に戻します。

搬送ガイドは上側の搬送ガイドを閉じると、自動的に下側の搬送ガイドも閉じます。

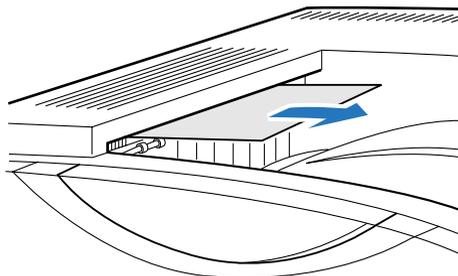
6

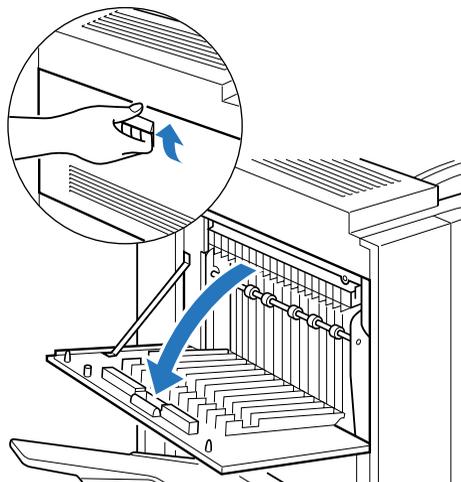
右上カバーを閉じます。

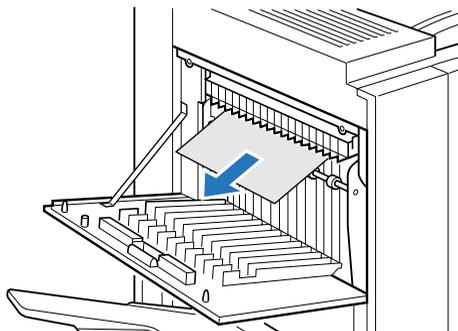
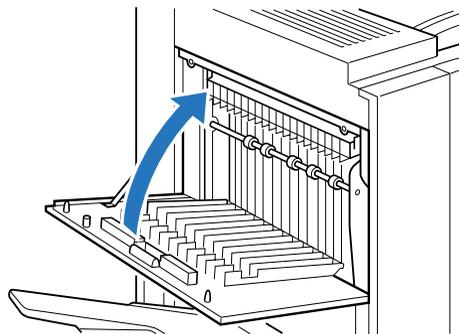
カチッと音がしてロックするまで、しっかりと閉じてください。

「ヒダリウエカバー」（排紙トレイ部）

ディスプレイ下段に「ヒダリウエカバー」と表示されているときは、排紙トレイ部（フェースダウントレイ）で紙づまりが起こっていることを表しています。次の手順で排紙トレイ部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

1

排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、手前に引き出して取り除きます。

2

左上カバーの取っ手を引いて、左上カバーを開けます。

3

用紙がつまっていたら取り除きます。

左上カバーを閉じます。

お願い

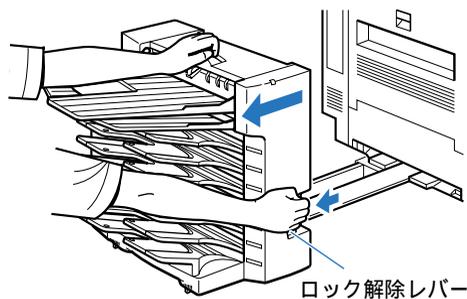
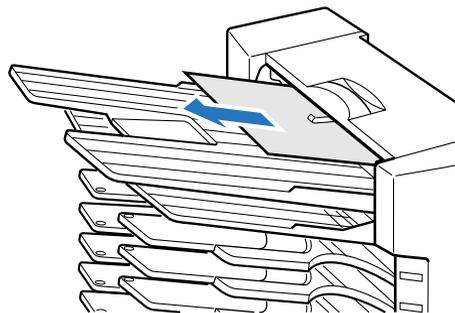
●左上カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。必ず左上カバーを一度、開けてから閉め直してください。

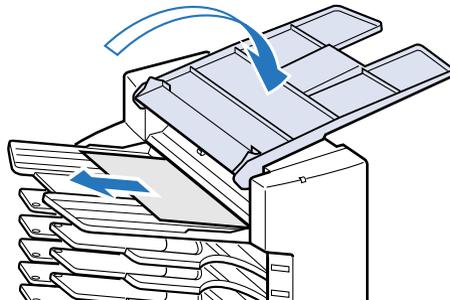
「ソータ セツゾクブ」「ソータ ミギカバー」「ソータ ウエカバー」「ソータ ハイシクチ」（7 ビンソータ部）

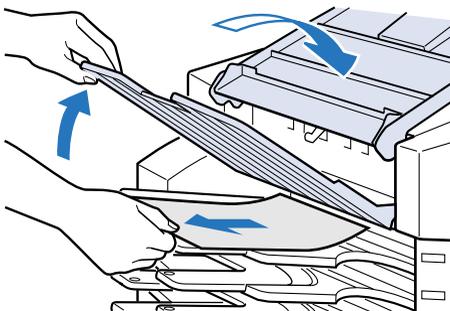
ディスプレイ下段に「ソータ　セツゾクブ」、「ソータ　ミギカバー」、「ソータ　ウエカバー」、「ソータ　ハイシクチ」と表示されているときは、7ビンソータ部で紙づまりが起こっていることを表しています。次の手順で7ビンソータ各部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

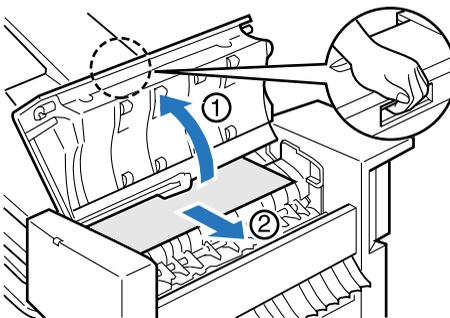
1

7ビンソータのロック解除レバーを引いてロックを解除し、7ビンソータをプリンタ本体から引き離します。

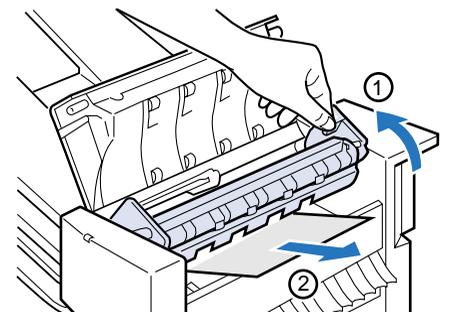
2

ノンソートビンにつまっているときは、用紙を引いて取り除きます。

3

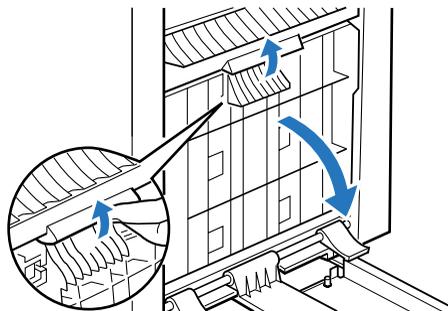
ノンソートビンを持ち上げ､反転トレイにつまっている用紙を取り除きます。

4

ノンソートビンと反転トレイを持ち上げ､ビンにつまっている用紙を取り除きます。

5

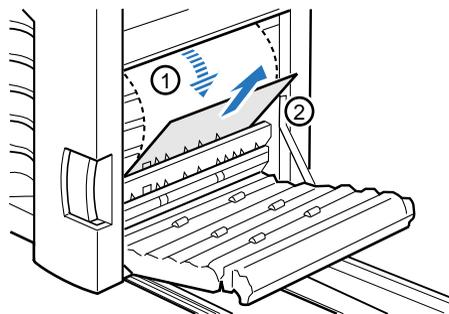
7ビンソータの上カバーのレバーを引いて上カバーを開き①、つまっている用紙を取り除きます②。

6

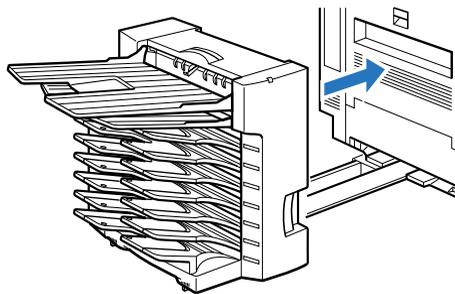
緑色のレバーを持って搬送ガイドを開き①､つまっている用紙を取り除きます②。

終わったら、搬送ガイドと上カバーを閉じます。

7

7ビンソータ内側の取っ手を引いて7ビンソータ右カバーを開きます。

8

ビンにつまっている用紙をいったん下に送り①、用紙を取り除きます②。

終わったら、7ビンソータ右カバーを閉じます。

9

7ビンソータをプリンタ本体に接続します。

お願い

- **7ビンソータおよびカバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。必ず7ビンソータを一度開いてから閉め直してください。**

「マエドア」／「ミギウエカバー」（中間転写体ユニット部）

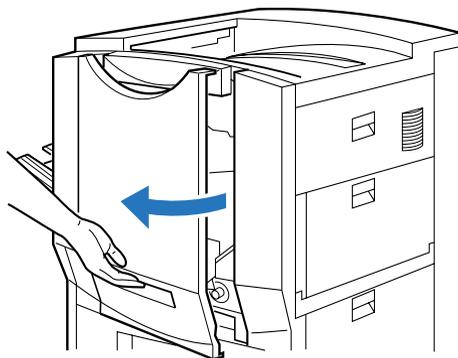
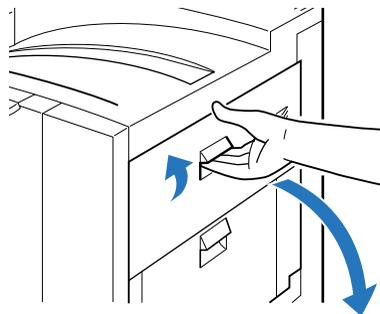
ディスプレイ下段に「マエドア」と「ミギウエカバー」が交互に表示されているときは、中間転写体ユニット部で紙づまりが起こっていることを表しています。用紙が見えない場合もありますが、必ず取り除いてください。
次の手順で中間転写体ユニット部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

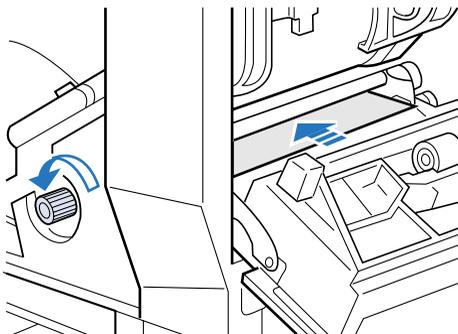
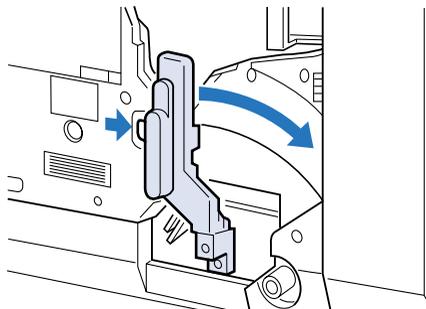
お願い

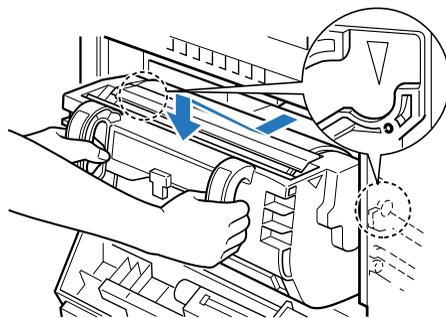
● レジストローラ付近の紙づまりで、用紙が中間転写体ユニットまで送られていて取り出せないときは、この手順で取り除いてください。

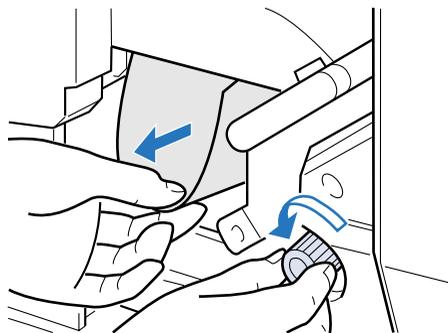
1

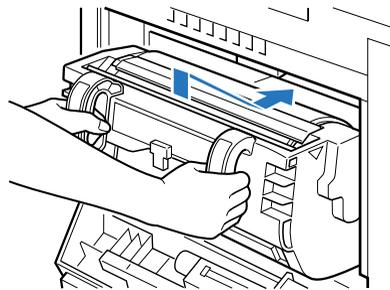
前ドアを開きます。

2

右上カバーの取っ手を引いて、右上カバーを開きます。

3

前ドア内部右下の用紙送りつまみを反時計方向に回し、つまっている用紙を奥へ送り込みます。

緑色のロック解除レバーを、白いボタンを押し込みながら、矢印の方向へ倒します。

5

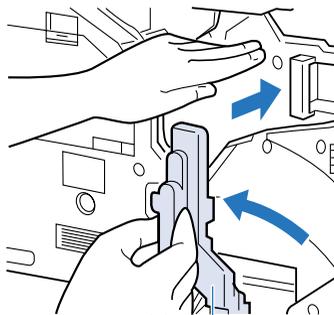
両手で中間転写体ユニットの取っ手を持ち、図の位置まで慎重に中間転写体ユニットを引き出します。

6

前ドア側の隙間から、つまっている用紙を取り除きます。

7

中間転写体ユニットを元に戻します。

お願い

- **中間転写体ユニット内のドラムの表面を手で触ったり、ぶつけたりしないように、慎重に取り扱ってください。ドラムの表面をキズ付けると、プリントのムラや画質低下の原因になります。**

8

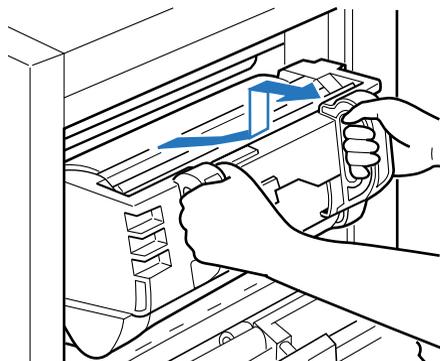
緑色のロック解除レバーを、元の位置へ戻します。

9

前ドアと右上カバーを閉じます。

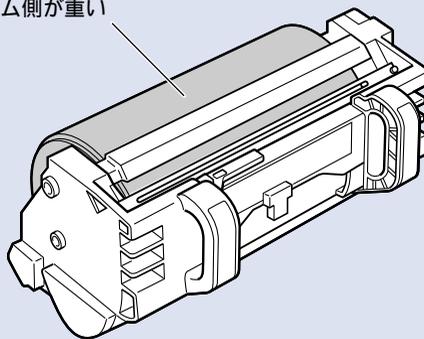
どうしても用紙が取り除けないときは

つまっている用紙がどうしても取り除けないときは、中間転写体ユニットをプリンタから取り外し、右上カバー側から取り除いてください。

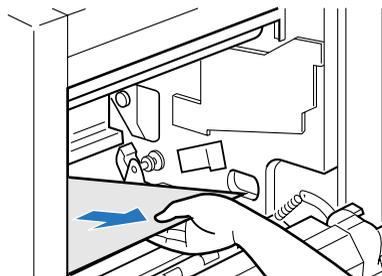
1

中間転写体ユニットをプリンタから取り出します。

注意

● 中間転写体ユニットは、約 6.5kg ありますので、しっかりと持ってください。中間転写体ユニットはドラム部が重くなっていますので、ご注意ください。

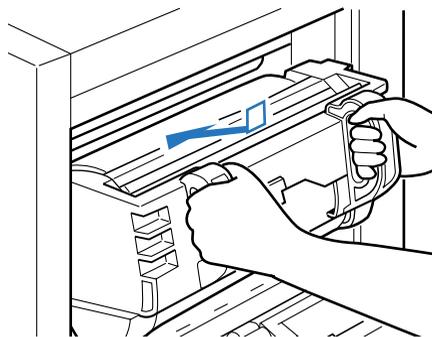
お願い

● 中間転写体ユニット内のドラムの表面を手で触ったり、床などに触れたりしないように、慎重に取り扱ってください。また、取り出した中間転写体ユニットは、十分な広さがある、水平で平らな場所に置いてください。ドラムの表面をキズ付けると、プリントのムラや画質低下の原因になります。

2

つまった用紙を取り除きます。

お願い

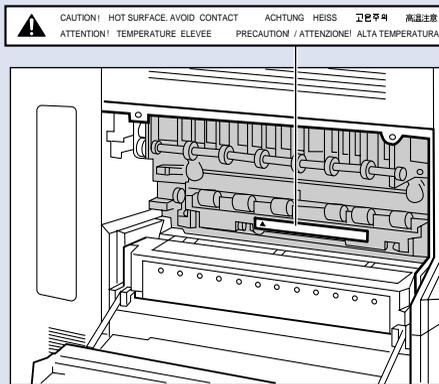
● 用紙が見当たらないときは、中間転写体ユニットのドラムに巻き付いていることがあるので、取り出した中間転写体ユニットを確認してください。

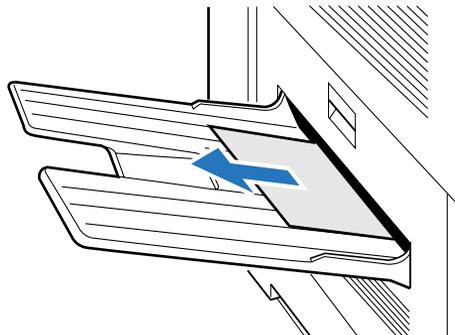
3

中間転写体ユニットをプリンタへ取り付けます。

「ヒダリシタカバー」（サブ排紙トレイ部、定着ユニット部、両面ユニット部）

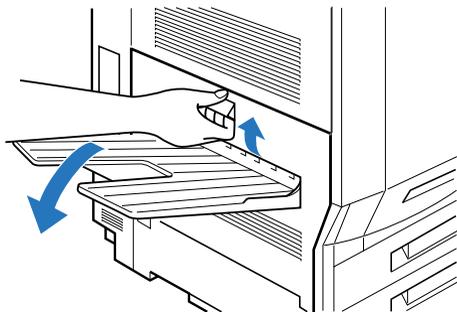
ディスプレイ下段に「ヒダリシタカバー」が表示されているときは、サブ排紙トレイ（フェースアップトレイ）部や定着ユニット部、両面ユニット部で紙づまりが起こっていることを表しています。次の手順でサブ排紙トレイ部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。サブ排紙トレイ部につまった用紙がない場合は、定着ユニット部や両面ユニット部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

注意

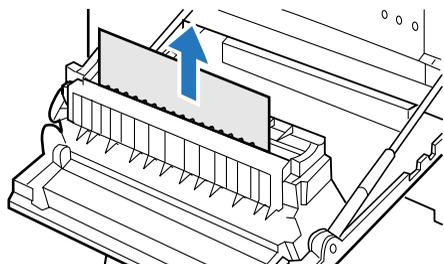
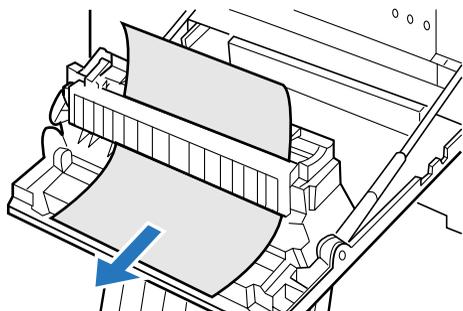
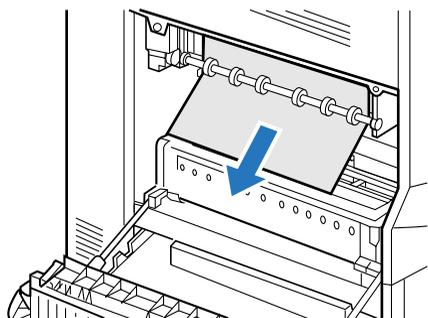
●プリンタを使用した直後は、定着ユニット付近が非常に高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。万一触れると、やけどの恐れがあります。

1

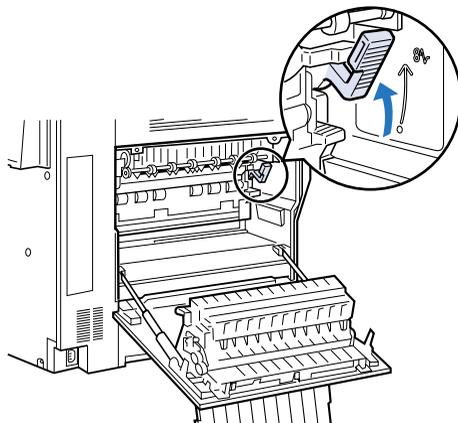
サブ排紙トレイをチェックし、用紙がつまっていたら、引き出して取り除きます。

●つまった用紙が簡単に取れない場合は、無理に引っ張らないでください。用紙が破れて紙片が残ると、再び紙づまりが発生する原因になります。その場合は、左下カバーを開いてから取り除いてください。

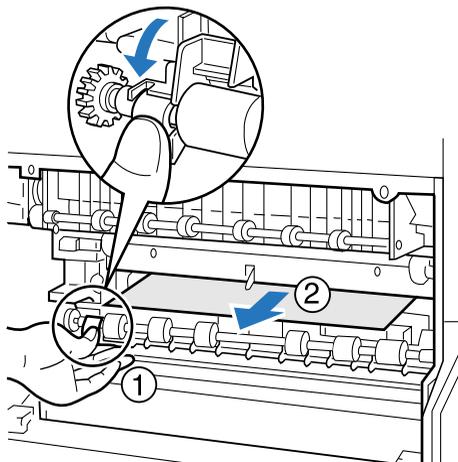
2

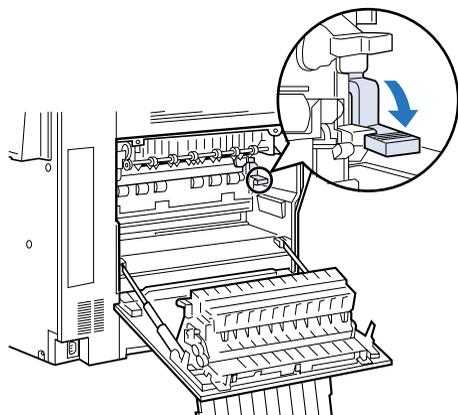
左下カバーの取っ手を引いて、左下カバーを開けます。

3

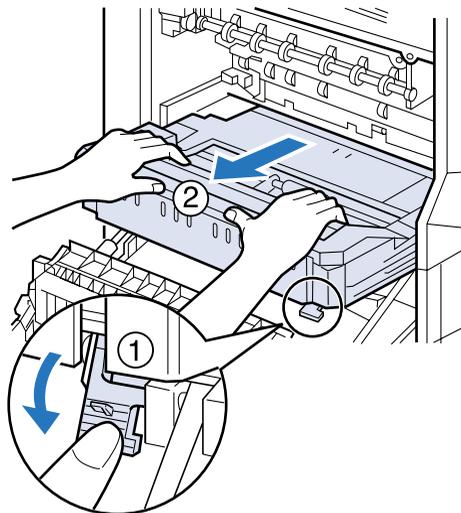
紙づまりの状態に応じて、矢印の方向に引っ張ってつまった用紙を取り除きます。

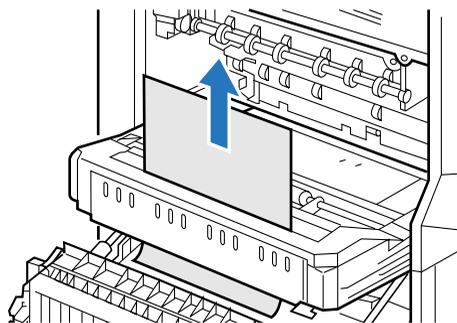
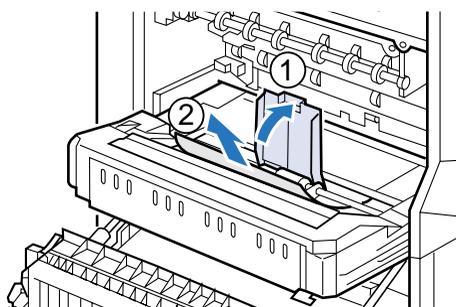
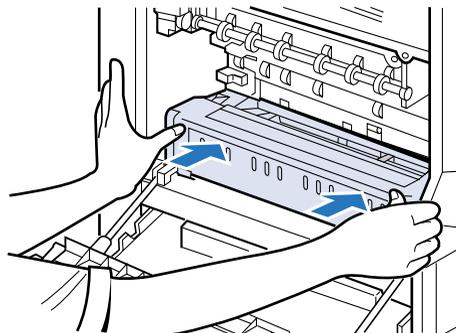
サブ排紙トレイへ排紙途中でつまっている場合は、そのまま引っ張って抜き取ります。

排紙トレイへ送られる途中でつまっている場合は、カバーの上側へ引っ張って取り除きます。

左上カバー側でつまっている場合は、下へ引っ張って取り除きます。

4

定着ユニットに用紙がつまっているときは、定着ユニット右側の加圧解除レバーを引き上げます。

5

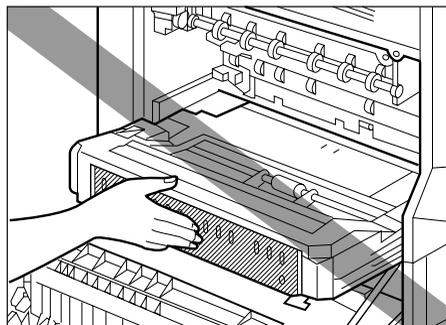
定着ユニット左側の緑色のレバーを押し下げながら①、つまった用紙を引き出します②。

6

定着ユニット右側の加圧解除レバーを押し下げます。

7

両面ユニットに用紙がつまっているときは、両面ユニット右下の緑色のレバーを押し下げてロックをはずし①、両面ユニットを引き出します②。

8

両面ユニットにつまった用紙を引いて取り除きます。

両面ユニット内部につまった用紙は、緑色のプレートを引き上げてから①、つまった用紙を取り出します②。

つまった用紙を取り除いたら、両面ユニットを右下の緑色のレバーがロックするまで押し込みます。

お願い

● **両面ユニット背面の金属板の部分を押さないでください。金属板が変形して、給紙不良や紙づまりの原因となることがあります。**

10

左下カバーを閉じます。

メッセージが表示されたときは

プリンタの使用中に、何らかの理由でプリントが不可能な状態になると、ブザーが鳴り、メッセージランプが点灯してディスプレイにトラブル内容を示すメッセージを表示します。
これらのメッセージが表示されたときは、メッセージに応じて次のような処置を行ってください。

メモ

- ●複数の警告が同時に発生しているときは、メッセージを交互に表示します。
- ●他のトラブルを示すメッセージが同時に発生しているときは、警告メッセージは表示されません。
- ●セットアップメニューの「ケイコクヒョウジ」を「シナイ」に設定すると、警告メッセージの付いているメッセージは表示されません。
- ●エラースキップ可のマークが付いているメッセージは、オンラインキーを押すとエラーを回避（エラースキップ）してプリントを継続できますが、プリントデータが欠落したり、正しくプリントされなかったりします。処理を中止したいときは、ソフトリセットの操作を行い、原因を取り除いてから、オンラインキーを押して再度プリントし直してください。また、このマークが付いているメッセージは、「自動エラースキップ」を「ツカウ」に設定すると自動的にエラースキップさせることもできます。

11　XXX ヨウシガ　アリマセン（XXX は用紙サイズ略号）（→ P.24 ⑨ ディスプレイ）

原　因　給紙元にアプリケーションソフトから指定したサイズの用紙がセットされていない（給紙モードが「自動」のときはすべての給紙元、固定のときは設定されている給紙元）

対策1　用紙を補給またはセットします。

対策2　給排紙選択キーで同じ用紙サイズまたは大きい用紙サイズの給紙元を選択します。

参照先　第2章「給紙元を選択する」（→ P.67）

12　カバーガ　アイテイマス

原　因　本体またはオプション機器のいずれのカバーが開いている

対　策　ディスプレイに表示されたカバーをしっかりと閉じます。オンライン状態になっていないときは、オンラインキーを押します。

メモ

- ●一つのカバーを閉じてもまだこのメッセージが表示される場合は、他のカバーが開いてます。他のカバーをチェックして、すべて閉じてください。

13　ヨウシガ　ツマリマシタ

原　因　内部で紙づまりを起こしている

対　策　紙づまりを除去し、給紙カセットやカバーを元に戻します。オンライン状態になっていないときは、オンラインキーを押します。

参照先　第4章「紙づまりが起こったときは」（→ P.170）

お願い

- 紙づまりが複数の場所で同時に起こった場合、ディスプレイ下段に紙づまりの位置を交互に表示します。
- 本体またはオプション装置、いずれのカバーも開けずに紙づまりを取り除いた場合は、必ず本体とオプション装置両方のカバーを一度開閉してください。

14　カートリッジ　チェック

原　因　トナーカートリッジがロックされていない、または正しくセットされていない

対　策　トナーカートリッジをロックする、またはトナーカートリッジを正しくセットし直します。

参照先　第3章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.126）

14　X　カートリッジ　ナシ（X は Y または M、C、K）

原因1　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジがセットされていない

対　策　表示された色のトナーカートリッジをセットします。

原因2　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジが正しくロックがされていない

対　策　表示された色のトナーカートリッジをロックします。

参照先　第3章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.126）

メモ

- トナーカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

16　X　トナー　チェック（X は Y または M、C、K）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーの残量が少なくなってきている

対　策　少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備します。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換します。前ドアを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、オンラインキーを押します。

参照先　第3章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.126）

16 X トナー コウカン（X は Y または M、C、K） エラースキップ可

原　因 Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーの残量が少なくなってきている

対　策 （オンライン）キーを押します。少しの間はそのままプリントを継続できますが、新しいトナーカートリッジを準備してください。大量にプリントするときは、表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジに交換します。前ドアを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先 第3章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.126）

メモ

●トナーカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

17 カセット 1 ヨウシ ナシ 警告メッセージ

原因 1 カセット 1 の用紙が切れている

対　策 カセット 1（プリンタ本体の上段カセット）に用紙を補給します。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先 第2章「給紙カセットからプリントする」（→ P.77）

原因 2 LBP-2300で上段カセットを装着していないのに、カセット1を使用する設定になっている

対策 1 給紙メニューで「カセット1 シヨウ」を「シナイ」に設定してからハードリセットします。

対策 2 Windowsの場合は、プリンタドライバの [デバイスの設定] で [500枚カセット] のチェックを外します。

参照先 LIPS 機能ガイド 第3章「2 給紙グループの設定項目」

17 カセット 2 ヨウシ ナシ 警告メッセージ

原　因 カセット 2 の用紙が切れている

対　策 カセット 2（プリンタ本体の下段カセット）に用紙を補給します。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先 第2章「給紙カセットからプリントする」（→ P.77）

17 カセット 3 ヨウシ ナシ 警告メッセージ

原　因 カセット 3 の用紙が切れている

対　策 カセット 3（2 × 500 枚ペーパーデッキの上段カセット）に用紙を補給します。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先 第2章「給紙カセットからプリントする」（→ P.82）

17 カセット 4 ヨウシ ナシ 警告メッセージ

原　因 カセット 4 の用紙が切れている

対　策 カセット 4（2 × 500 枚ペーパーデッキの下段カセット）に用紙を補給します。給紙カセットを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先 第2章「給紙カセットからプリントする」（→ P.82）

17　デッキ　ヨウシ　ナシ　警告メッセージ

原　因　2000枚ペーパーデッキの用紙が切れている

対　策　2000枚ペーパーデッキに用紙を補給します。ペーパーデッキを元に戻した後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先　第2章「給紙カセットからプリントする」（→ P.87）

18　カセット　キュウシ　フカ

原　因　給紙カセットから給紙できない用紙タイプが指定されている

対策1　（給排紙選択）キーで給紙トレイを選択し、指定した用紙タイプの用紙をセットします。

対策2　給紙メニューでトレイ用紙タイプを「フツウシ」に設定します。

参照先　第2章「給紙トレイからプリントする」（→ P.101）

18　オプション　ツカエマセン　エラースキップ可

原　因　本プリンタで使用できないオプションが装着されている、または正しく接続されていない

対策1　電源をオフにして、該当するオプションを取り外します。

対策2　（オンライン）キーを押すと、オプションが装着されていない状態として使用することができます。

19　ヨウシヲ　ダシマシタ　エラースキップ可

原　因　プリンタ内に残っていた用紙を自動的に排出した

対　策　（オンライン）キーを押すと、プリントが再開されます。

19　ヨウシガ　ノコッテイマス　警告メッセージ

原　因　給紙カセット内に用紙が残っている

対　策　給紙カセットを引き出して、用紙を取り除いてください。

1C　ソウシンチュウ：セントロ／USB／N/W／EXP　警告メッセージ

原因1　双方向通信に対応していないパソコンとセントロニクスで接続している場合で、メニューの双方向の設定が「ECP」または「ニブル」になっている

対　策　メニューの双方向の設定を「ツカワナイ」にします。

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「5. インタフェースグループの設定項目」

原因2　双方向通信機能を使ってプリンタからパソコンへデータを送信したときに、パソコン側がデータの処理中でデータを受信できる状態になっていなかった

対　策　一定時間後に自動的に送信データを消去し、メッセージが消えます。

1F　ヨウシヲ　トッテクダサイ

原因1　指定した排紙ビンもしくは切り替えた排紙ビンに用紙が残っている

対　策　排紙ビンの用紙を取り除いてください。

原因2　ソート排紙でプリント中に割り込み印刷が行われた

対　策　排紙ビンの用紙を取り除いてください。

1F　ハイシトレイ　チェック　警告メッセージ

原　因　排紙トレイが満載になってきている

対　策　排紙トレイの用紙を取り除いてください。

1F　ハイシトレイ　フル

エラースキップ可

原　因	排紙トレイが満載になった
対策1	排紙トレイの用紙を取り除いてください。
対策2	排紙先を他の排紙先に切り替えてください。
対策3	オンライン キーを押すと、サブ排紙トレイに排紙されます。
参照先	第2章「排紙先を選択する」(→ P.72)

1F　FUトレイ　フル

原因1	サブ排紙トレイが満載になった
対策1	サブ排紙トレイの用紙を取り除いてください。
対策2	排紙先を排紙トレイに切り替えてください。
対策3	オンライン キーを押すと、プリントが継続されます。
参照先	第2章「排紙先を選択する」(→ P.72)
原因2	ノンソートビンが満載になった
対策1	ノンソートビンの用紙を取り除いてください。
対策2	排紙先を他の排紙ビンまたは排紙トレイに切り替えてください。
対策3	オンライン キーを押すと、プリントが継続されます。
参照先	第2章「排紙先を選択する」(→ P.72)

1F　ビン　フル

原　因	排紙ビンが満載になった
対策1	排紙ビンの用紙をすべて取り除いてください。
対策2	排紙先を排紙トレイに切り替えてください。
参照先	第2章「排紙先を選択する」(→ P.72)

1F　ビンn　フル（nはビン番号）

原　因	指定した排紙ビンが満載になった
対策1	排紙ビンの用紙を取り除いてください。
対策2	他のビンの用紙を取り除き、排紙先を切り替えてください。
参照先	第2章「排紙先を選択する」(→ P.72)

1F　ハイシ　チェック

原因1	排紙トレイにフェースダウン排紙できない用紙タイプや用紙サイズを指定した
対策1	厚紙やOHPフィルム、光沢フィルム、封筒を排紙するときは、排紙先をサブ排紙トレイに切り替えてください。
対策2	オンライン キーを押すと、サブ排紙トレイに排紙されます。
参照先	第2章「排紙先を選択する」(→ P.72)
原因2	排紙ビンに排紙できない用紙タイプや用紙サイズを指定した
対策1	厚紙やOHPフィルム、光沢フィルム、封筒を排紙するときは、排紙先をノンソートビンに切り替えてください。
対策2	オンライン キーを押すと、ノンソートビンに排紙されます。
参照先	第2章「排紙先を選択する」(→ P.72)

1F　ゼンビン　シヨウチュウ

警告メッセージ

原　因　7ビンソータにユーザ名排紙（ユーザセパレート：自動）で排紙するときに、空きビンがない

対　策　排紙トレイに排紙されます。排紙ビンに排紙したいときは、排紙ビンの用紙を取り除いてください。

1G　X　トナー　コウカン（X は Y または M、C、K）

原　因　Y（イエロー）または M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）のトナーカートリッジの寿命がきた

対　策　表示された色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジと交換します。

参照先　第3章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.126）

メモ

●トナーカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

21　プリント　オーバーラン

エラースキップ可

原　因　データが複雑すぎて処理が間に合わなかった（オーバーランした）

対策1　セットアップメニューのデータ処理解像度の設定がファインのときは、クイックに変更し、プリントをし直します。

対策2　対策1の処置をしてもエラーが発生する場合は、セットアップメニューで、バンド制御を「ツカワナイ」に設定し、データを送り直します。

対策3　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

23　ダウンロードメモリフル

エラースキップ可

原　因　オーバレイフォームや外字などを登録するメモリが不足してオーバーフローした

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、オーバーフローしたデータは登録されません。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、次のような方法で空き RAM 容量を増加し、データを登録し直してプリントします。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れ直す。（プリンタが受信したメモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）
- セットアップメニューで、印字動作を「トウロク　ユウセン」に設定してからハードリセットする
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　第1章「電源のオン、オフ」（→ P.32）
設置ガイド　第3章「RAM/ROM」
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

26　システムメモリ　フル

エラースキップ可

原　因　システムのデータ処理（主に図形処理や文字処理）時に、処理に必要なワークメモリが不足した

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

対策2　オプションの拡張RAMを取り付けます。

参照先　設置ガイド　第3章「RAM/ROM」

27　ジョブカイシ　フカノウ

エラースキップ可

原　因　指定したエミュレーションが存在しない

対策1　本プリンタに内蔵のエミュレーションを指定するか、オプションのコントロールROMを取り付けエミュレーションを追加します。

対策2　（オンライン）キーを押し、次のプリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータはプリントされません。

参照先　設置ガイド　第3章「RAM/ROM」

28　ビョウガメモリ　フル

エラースキップ可

原　因　描画メモリが不足して処理ができなかった

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントし直します。

対策3　オプションの拡張RAMを取り付けます。

参照先　第1章「電源のオン、オフ」（→ P.32）
設置ガイド　第3章「RAM/ROM」
LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

29　シテイ　バイリツ　エラー

エラースキップ可

原　因　拡大／縮小プリントで、本プリンタで処理できない倍率（25%～200%の範囲を超えた場合）や用紙サイズを指定した

対策1　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、倍率や用紙サイズを正しく設定して、プリントし直します。

対策2　（オンライン）キーを押してプリントを継続します。ただし、パソコン側で指定したサイズの用紙に等倍でプリントします。完全なプリント内容にならないことがあります。

参照先　LIPS機能ガイド　第4章「拡大／縮小」

30　メモリ　フル

エラースキップ可

原因1　システムのデータ処理で、ワークメモリが不足した

対　策　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされないことがあります。

原因2　（電源のオン時に本エラーが発生した場合）メモリの構成が変更された（拡張RAMが取り外された）ためにNVRAMに設定されているメモリの容量を確保できなかった

対策1　（オンライン）キーを押し、NVRAMのメモリの構成を確保可能な値に書き換えてプリントを継続します。ただし、メモリ構成の変更により正しくプリントされないことがあります。

お願い

●「30　メモリ　フル」が発生した時点で、NVRAMのメモリの構成が確保可能な値*に書き換えられます。(*：印字動作、フォームキャッシュメモリは工場出荷値に戻ります。)

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

対策2　電源をオフにした後、メモリの構成を変更前の構成に戻して（取り外した拡張RAMを取り付けて）プリントし直します。

参照先　第1章「電源のオン、オフ」(→ P.32)
設置ガイド　第3章「RAM/ROM」

対策3　フォームキャッシュメモリを設定し直して、プリントし直します。
LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

32　リョウメン　フカノウ

エラースキップ可

原因1　両面プリントできない用紙を指定した

対　策　本プリンタの給紙元選択とパソコンのプリント用紙サイズの選択を定形サイズに設定してプリントし直します。

原因2　両面プリントするためのメモリが確保できない

対策1　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントし直します。

対策2　次のような方法で空きRAM容量を増加し、プリントし直します。
・登録されているデータを削除する
・オプションの拡張RAMを取り付ける

参照先　第1章「電源のオン、オフ」(→ P.32)
設置ガイド　第3章「RAM/ROM」
LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

原因3　自動両面プリントできない用紙タイプの両面データを受信した

対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、両面のデータを片面ずつ2ページに分けてプリントします。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、両面プリント可能な用紙サイズに変更して、プリントし直します。

33　ワークメモリ　フル

エラースキップ可

原　因　各動作モード専用のワークメモリが確保できない

対策1　(オンライン)キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

お願い

●(オンライン)キーを押してプリントを継続する場合、登録済みのオーバレイやマクロなどのデータは削除されることがありますので、ご注意ください。

対策2　(リセット)キーを押してソフトリセットした後、次のような方法でRAMの空き容量を増加し、プリントし直します。

- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れ直す。(プリンタが受信したメモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。)
- セットアップメニューで、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットする
- オプションの拡張RAMを取り付ける

参照先　第1章「電源のオン、オフ」(→ P.32)
設置ガイド　第3章「RAM/ROM」
LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

34　NVRAM　フル

エラースキップ可

原　因　オプションのエミュレーションを搭載しすぎてNVRAMの領域が不足した

対策1　(オンライン)キーを押し、プリントを継続します。ただし、NVRAMの設定値は工場出荷値でプリントします。

対策2　(リセット)キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューでパネル設定初期化を実行して、セットアップメニューの設定を工場出荷時の状態に戻し、使用する動作モードを優先動作モードに設定してプリントし直します。

参照先　LIPS機能ガイド　第2章「10　セットアップメニューの初期化」
LIPS機能ガイド　第6章「2　優先エミュレーションメニューの設定項目」

35　トウロクテーブル　フル

エラースキップ可

原　因　オプションのエミュレーションを搭載しすぎて、システムがオーバーフローした

対策1　パネル設定初期化を実行して、セットアップメニューの設定を工場出荷時の状態に戻し、(オンライン)キーを押してプリントを継続します。ただし、NVRAMの設定値は工場出荷値でプリントします。

対策2　電源をオフにして不必要なコントロールROMを取り外し、再度プリントし直します。

参照先　LIPS機能ガイド　第2章「10　セットアップメニューの初期化」
設置ガイド　第3章「RAM/ROM」

36　カイチョウ　テイカ

エラースキップ可

原　因 データが複雑、あるいは多量すぎて処理ができなかった

対策1 オンライン キーを押し、プリントを継続します。ただし、カラー時、600dpi 多値 から 600dpi 2 値 に階調処理を低下してプリントします。

対策2 リセット キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントし直します。

対策3 次のような方法で空き RAM 容量を増加し、プリントし直します。
- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れ直す（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　設置ガイド　第3章「RAM/ROM」
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

37　ヨウシタイプ　フカノウ

原　因 使用できない用紙タイプを指定した

対策1 オンライン キーを押し、プリントを継続します。普通紙としてプリントが継続されます。普通紙でない場合は、正しいプリント結果が得られません。

対策2 セットアップメニューで用紙タイプを適切な用紙タイプに設定し、プリントし直します。

38　ガシツテイカ

エラースキップ可

原　因 データが複雑あるいは多量すぎて処理できなかった

対策1 オンライン キーを押し、プリントを継続します。ただし、解像度 300dpi でプリントします。

対策2 リセット キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューで印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してからハードリセットし、プリントし直します。

対策3 リセット キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューの階調処理を次のように設定して、プリントし直します。
- 「コウカイチョウ 2」に設定されているときは、「コウカイチョウ 1」に設定する
- 「コウカイチョウ 1」に設定されているときは、「ヒョウジュン」に設定する

対策4 次のような方法で空き RAM 容量を増加し、プリントし直します。
- ハードリセットするか、プリンタの電源を入れ直す（メモリ内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。）
- オプションの拡張 RAM を取り付ける

参照先　第1章「電源のオン、オフ」（→ P.32）
設置ガイド　第3章「RAM/ROM」
LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

40　ツウシン　エラー

エラースキップ可

原　因 LAN に接続しているときに、本プリンタとパソコンのデータのやりとりでエラーが発生した

対策1 オンライン キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したデータは正しくプリントされません。

対策2 リセット キーを押してソフトリセットした後、本プリンタとパソコン間の LAN ケーブルの接続を確認し、プリントし直します。

対策3 リセット キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューのインターフェースグループの各設定値と、パソコンの設定値を合わせてプリントし直します。

41　プリント　チェック

エラースキップ可

原　因　実際に給紙トレイにセットした用紙サイズと、パソコンまたは操作パネルから設定したトレイ用紙サイズの設定が違っている

対　策　トレイ用紙サイズとセットした用紙のサイズを合わせ（オンライン）キーを押します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第３章「2　給紙グループの設定項目」

42　インタフェース：1　エラー

原　因　LBP-2360 で内蔵プリントサーバに重度の障害が発生した

対　策　電源をオフにした後、電源をオンにし直します。

お願い

●上記の操作をしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

参照先　第１章「電源のオン、オフ」（→ P.32）

42　インタフェース：2　エラー

原　因　オプションのプリントサーバに重度の障害が発生した

対　策　電源をオフにした後、オプションのプリントサーバの取り付けをチェックし、電源をオンにし直します。

お願い

●上記の操作をしても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

参照先　オプションのプリントサーバの取扱説明書

43　インタフェース：1　エラー

エラースキップ可

原因１　LBP-2360 で内蔵プリントサーバに軽度の障害が発生した

対　策　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

原因２　リセット処理により、内蔵プリントサーバの通信が切断された

対　策　（オンライン）キーを押します。

43　インタフェース：2　エラー

エラースキップ可

原因１　オプションのプリントサーバに軽度の障害が発生した

対　策　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

原因２　リセット処理により、オプションのプリントサーバの通信が切断された

対　策　（オンライン）キーを押します。

44　トレイ　コショウ

エラースキップ可

原　因　給紙トレイに障害が発生した

対　策　（オンライン）キーを押すと、自動的に給紙カセットから給紙してプリントを継続します。

4A　ソートハイシ　フカノウ　エラースキップ可

原因1　ソート排紙に必要なオプションが装着されていない
対策1　オンラインキーを押すと、排紙トレイに排紙されます。
対策2　7ビンソータまたは、ハードディスクと拡張RAMを取り付けます。
参照先　付録「オプションについて」（→ P.249, 251, 252）
原因2　指定された部数のソート排紙ができない
対策1　オンラインキーを押すと、排紙トレイに排紙されます。
対策2　ハードディスクと拡張RAMを取り付けます。
原因3　ハードディスクの空き容量が足りず、電子ソートで排紙できない
対策1　オンラインキーを押すと、排紙トレイに排紙されます。
対策2　拡張RAMを取り付けます。

4A　スタックハイシ　フカノウ　エラースキップ可

原　因　スタック排紙に必要なオプションが装着されていない
対策1　オンラインキーを押すと、排紙トレイに排紙されます。
対策2　7ビンソータを取り付けます。
参照先　付録「オプションについて」（→ P.249）

4A　ハイシ　フカノウ　エラースキップ可

原因1　排紙トレイにフェースダウン排紙できない用紙タイプや用紙サイズを指定した
対策1　厚紙やOHPフィルム、光沢フィルム、ハガキ、封筒を排紙するときは、排紙先をサブ排紙トレイに切り替えます。
対策2　オンラインキーを押すと、サブ排紙トレイに排紙されます。
参照先　第2章「排紙先を選択する」（→ P.72）
原因2　排紙ビンに排紙できない用紙タイプや用紙サイズを指定した
対策1　厚紙やOHPフィルム、光沢フィルム、ハガキ、封筒を排紙するときは、排紙先をノンソートビンに切り替えます。
対策2　オンラインキーを押すと、ノンソートビンに排紙されます。
参照先　第2章「排紙先を選択する」（→ P.72）

4A　ユーザセパレート　フカ　エラースキップ可

原　因　指定された名称の排紙先が見つからない
対策1　オンラインキーを押すと、排紙トレイに排紙されます。
対策2　排紙ビンの用紙を取り除きます。
対策3　正しい排紙先名称を指定して、プリントし直します。

52　イメージモード　フカ

原　因　イメージモードでプリント中に、対応していない形式のデータを受信した
対策1　オンラインキーを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。
対策2　イメージデータ形式に対応したプリンタドライバでプリントし直します。

52　ヌリツブシメイレイ　フカ

エラースキップ可

原　因　モノクロモードの高階調1または高階調2でプリント中に、塗り潰し命令を受信した

対策1　（オンライン）キーを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。

対策2　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューのデータ処理の設定を「ファイン」または「クイック」にして、プリントし直します。

対策3　（リセット）キーを押してソフトリセットした後、セットアップメニューの階調処理のを「ヒョウジュン」に設定して、プリントし直します。

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

53　セキュア　フカノウ

原因1　ハードディスクが装着されていない、またはハードディスクが使用できない状態のときにセキュアプリントを行った

対策1　（オンライン）キーを押してプリントをキャンセルした後、ハードディスクを取り付けて、再度プリントし直します。

参照先　設置ガイド　第3章「ハードディスク」

対策2　（オンライン）キーを押してプリントをキャンセルした後、セットアップメニューのハードディスクを「ツカウ」に設定してからハードリセットし、プリントし直します。

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

原因2　セキュアプリントとして保存できるジョブ数を超えた（保存可能なジョブ数は、セキュアプリントジョブ、停止ジョブ合わせて24個までです。）

対　策　（オンライン）キーを押してプリントをキャンセルした後、停止ジョブを再開したり、不要なセキュアプリントジョブを削除してから、再度プリントし直します。

原因3　セキュアプリントとして保存できるジョブの容量を超えた（保存可能な容量は、セキュアプリントジョブ、停止ジョブ合わせて2048MBまでです。）

対　策　（オンライン）キーを押してプリントをキャンセルした後、停止ジョブを再開したり、不要なセキュアプリントジョブを削除してから、再度プリントし直します。

53　パケットエラー

エラースキップ可

原　因　プリントデータ受信中にデータを認識できなくなった

対策1　（オンライン）キーを押すと、そのプリントデータを無視して、次のプリントを開始します。

対策2　本プリンタをネットワークに接続しているときは、ネットワーク上のすべてのパソコンをチェックし、プリンタドライバを本プリンタ対応にアップデートします。

対策3　NetSpotまたはNetSpot Job Monitorがインストールされていることを確認します。インストールされていないときは、インストールします。

参照先　LIPSソフトウェアガイド

53　ストア　フカノウ

原因1	プリンタのハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない
対　策	（オンライン）キーを押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。
原因2	プリンタのハードディスクに保存できるジョブ数を超えた
対策1	（オンライン）キーを押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。
対策2	ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除して、プリントし直します。
原因3	プリンタのハードディスクに保存できるジョブの容量を超えた
対策1	（オンライン）キーを押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。
対策2	ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除して、プリントし直します。

53　テイシ　フカノウ

原　因	停止できるジョブの容量を超えた
対　策	（オンライン）キーを押すと、停止中のジョブが再開されます。

54　ソートハイシ　フカノウ

原　因	プリンタのハードディスクの空き容量が足りず、電子ソートで排紙できない
対策1	（オンライン）キーを押すと、排紙トレイに排紙されます。
対策2	ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除します。

55　ハード　ディスク　エラー

原　因	ハードディスクにエラーが発生した
対策1	自動的に再フォーマットされます。
対策2	（オンライン）キーを押すと、ハードディスクを使用しない設定で起動します。ただし、ハードディスクを使用する機能ではプリントできません。
対策3	電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認します。
参照先	設置ガイド　第3章「ハードディスク」

56　ハード　ディスク　エラー

原　因	ハードディスクにエラーが発生した
対策1	電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認します。
対策2	ユーティリティメニューのHDユーティリティでフォーマットを実行します。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換します。
参照先	設置ガイド　第3章「ハードディスク」 LIPS機能ガイド　第6章「3　ユーティリティメニューの設定項目」

57　ハード　ディスク　エラー

原　因　ハードディスクへアクセス中にエラーが発生した

対策1　電源をオフにしてからオンにし直した後、セットアップメニューでrip once（リップワンス）を「ツカワナイ」に設定します。

参照先　第1章「電源のオン、オフ」（→ P.32）
LIPS機能ガイド　第3章「1　機能拡張グループを設定する」

対策2　電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているかを確認して、プリントし直します。

対策3　ユーティリティメニューのHDユーティリティでフォーマットを実行します。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換します。

参照先　設置ガイド　第3章「ハードディスク」
LIPS機能ガイド　第6章「3　ユーティリティメニューを設定する」

57　rip once　フカノウ

エラースキップ可

原因1　ハードディスクの容量が不足して、rip once（リップワンス）による複数部数プリントを継続できなくなった

対策1　複数のジョブに分割してプリントし直します。

対策2　拡張機能グループの「rip once（リップワンス）」を「ツカワナイ」に設定します。（rip once（リップワンス）の機能は使えなくなります。）

対策3　（オンライン）キーを押すと、1部のみプリントされます。

参照先　LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

原因2　［編集＋プレビュー］モードでプリント時に、処理できるプリントジョブ数を超えた

対策1　すべてのプリントジョブを本プリンタ用のプリンタドライバを使ってプリントし直します。

対策2　一度にプリントするページ数を減らし、複数回に分けてプリントし直します。

参照先　第1章「ジョブの印刷と保存について」（→ P.45）

5F-50　サービス　コール

原　因　プリンタ本体に故障が発生した

対策1　いったん電源をオフにし、20分以上待ってから電源をオンにし直します。メッセージが消えることがあります。

対策2　対策1の処置をしてもエラーが表示されるときは、ディスプレイのメッセージをメモした後、電源をオフにして電源コードを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際にはメッセージの内容をお知らせください。

5F-55　サービス　コール

原　因　定着ユニットに故障が発生した

対策1　いったん電源をオフにし、20分以上待ってから電源をオンにし直します。メッセージが消えることがあります。

対策2　対策1の処置をしてもエラーが表示されるときは、ディスプレイのメッセージをメモした後、電源をオフにして電源コードを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際にはメッセージの内容をお知らせください。

5F-nn　サービス　コール（nn は２桁の英数字）

原因１　プリンタの内部に結露 * が発生した可能性がある

対策１　本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、プリンタを設置してある環境に1時間以上放置してからプリントします。結露が発生したままの状態でプリントすると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因となったり、印字不良となることがあります。

対策２　対策１の処置をしてもエラーが表示されるときは、ディスプレイのメッセージをメモした後、電源をオフにして電源コードを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際にはメッセージの内容をお知らせください。

※ 結露とは、本プリンタの設置してある部屋を急激に暖めた場合や、本プリンタを温度や湿度の低いところから高いところへ移動した場合に、プリンタ内部に水滴が生じることです。

原因２　カラートナーカートリッジ交換時、カートリッジ回転中にカラーカートリッジカバーを開いた

対　策　いったん電源をオフにし、カラーカートリッジカバーや前ドアを閉じてから電源をオンにします。

91　オプション　コショウ

原　因　オプションで装着した装置が故障した

対　策　電源をオフにして故障したオプションを取り外し、電源をオンにすると、プリントできるようになります。

お願い

●オプション装置の修理は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

93　ケーブル　カクニン

原因１　オプションコントローラボードが装着されている場合、オプションコントローラボードとオプション装置間のケーブルが正しく接続されていない

対　策　電源をオフにし、オプション装置とオプションコントローラボードの接続を確認してから、電源をオンにします。再度同じメッセージが表示される場合は、メッセージ内容をメモし、お買い求めの販売店へご連絡ください。

原因２　オプション装置の電源コードが正しく接続されていない

対　策　電源をオフにし、オプション装置の電源コードを接続してから、電源をオンにします。再度同じメッセージが表示される場合は、メッセージ内容をメモし、お買い求めの販売店へご連絡ください。

98　ドラム　コウカン

原　因　ドラムカートリッジの寿命がきた

対　策　ドラムカートリッジを取り出して新しいドラムカートリッジと交換します。

参照先　第３章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.141）

メモ

●ドラムカートリッジを交換しても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

99　ITDユニット　チェック

原因1　**中間転写体ユニットが正しくセットされていない**

対　策　**中間転写体ユニットを正しくセットし直します。**

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.139）

9A　MPガイド　フセイ

原　因　**給紙トレイの用紙ガイド位置が、指定された用紙サイズの幅と合っていない**

対策1　**給紙トレイの用紙ガイドを用紙に合わせて正しくセットします。**

参照先　第2章「給紙トレイからプリントする」（→ P.92）

対策2　**設定した用紙サイズの用紙がセットされている他の給紙元を選択します。**

参照先　第2章「給紙元を選択する」（→ P.67）

9B　ヨウシタイプ　フセイ

エラースキップ可

原　因　**給紙された用紙が、指定された用紙タイプと合っていない**

対策1　**OHPフィルムをセットしている場合は、〔オンライン〕キーを押すと、プリントがキャンセルされます。正しい用紙タイプを設定してから、プリントし直します。**

参照先　第2章「OHPフィルム/光沢フィルムにプリントする」（→ P.107）

対策2　**OHPフィルム以外の用紙をセットしている場合は、〔オンライン〕キーを押すと、プリントを継続します。ただし、正しくプリントされないことがあります。**

参照先　第2章「給紙トレイからプリントする」（→ P.92）

E0　ドラム　コウカン　ヨコク

警告メッセージ

原　因　**ドラムカートリッジの寿命が近い**

対策1　**ディスプレイの上段に表示されている場合は、〔オンライン〕キーを押すとプリントを続行できます。新品のドラムカートリッジをご用意ください。印字品質が低下しているときは、新品のドラムカートリッジと交換します。**

対策2　**ディスプレイの下段に表示されている場合は、プリンタは停止せず、プリントを続行できます。新品のドラムカートリッジをご用意ください。印字品質が低下しているときは、新品のドラムカートリッジと交換します。前ドアを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、〔オンライン〕キーを押します。**

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.139）

E2　ドラムユニット　チェック

原　因　**ドラムカートリッジがセットされていない、または正しくセットされていない**

対　策　**ドラムカートリッジをしっかり奥まで押し込み、青色と緑色のロック解除レバーをロックします。**

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」（→ P.139）

メモ

●ドラムカートリッジをセットしても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

E5　テイチャクキ　ヨコク

原　因　定着ユニットの寿命が近い

対　策　本プリンタをお買い求めの販売店へ、定着ユニットの交換をご依頼ください。

- 定着ユニット交換は、専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、必ず販売店へご連絡ください。
- 寿命が来た定着ユニットを使い続けると、定着ユニット内のローラが破損し、プリントできなくなります。

E8　テイチャクキ　ナシ

原　因　定着ユニットが故障した、または正しくセットされていない

対　策　電源をオフにし、冷却ファンの回転が止まるまで約30分間待ち、左下カバーを開けて定着ユニットの取り付けを確認します。再度同じメッセージが表示される場合は、メッセージ内容をメモし、お買い求めの販売店へご連絡ください。

EE　ノウドセンサーチェック　警告メッセージ

原因1　濃度センサーが汚れている

対　策　右上カバーを開き、付属の清掃用ブラシで濃度センサーを清掃します。

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.151)

原因2　ドラムカートリッジが正しく奥までセットされていない

対　策　ドラムカートリッジをしっかり奥まで押し込み、青色と緑色のロック解除レバーをロックします。

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.139)

原因3　右上カバー内に紙がつまっている

対　策　右上カバーを開き、つまった用紙を取り除きます。

参照先　第4章「紙づまりが起こったときは」(→ P.170)

EF　ドラム　コウカン

原　因　ドラムカートリッジの寿命がきた

対策1　ディスプレイの上段に表示されている場合は、（オンライン）キーを押してプリントを続行し、プリントが終了後直ちに新品のドラムカートリッジと交換します。そのまま使い続けると、プリント面に黒い縦すじが現れ始めて印字品質が低下しますので、必ず新品のドラムカートリッジと交換してください。

対策2　ディスプレイの下段に表示されている場合は、プリンタは停止せず、プリントを続行できます。プリントが終了したら新品のドラムカートリッジと交換してください。前ドアを閉じた後、オンライン状態になっていないときは、（オンライン）キーを押します。

参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.139)

- ドラムカートリッジを交換しても、メッセージが消えるまで数秒時間がかかります。

F0　フォーマット　フセイ　エラースキップ可

原　因　フラッシュメモリやコントロール ROM が壊れている
対策1　（オンライン）キーを押すと、壊れたフラッシュメモリやコントロールROMを無視してプリントを継続します。
対策2　電源をオフにし、セットしたフラッシュメモリやコントロールROMを正常なものに交換し、電源をオンにし直します。
参照先　設置ガイド　第 3 章「RAM/ROM」

F1　スロット　シヨウ　フカノウ　エラースキップ可

原　因　本プリンタ用でないフラッシュメモリやコントロール ROM がセットされた
対策1　（オンライン）キーを押すと、本プリンタ用でないフラッシュメモリやコントロール ROM を無視してプリントを継続します。
対策2　電源をオフにし、セットしたフラッシュメモリやコントロールROMを抜き取り、電源をオンにし直します。
参照先　設置ガイド　第 3 章「RAM/ROM」

F2　フォント　ミジッソウ　エラースキップ可

原　因　オーバレイフォームの作成に使用した登録フォントが、プリント時に消去されていた
対策1　（オンライン）キーを押すと、間引き描画でプリントを継続します。
対策2　メモリに再度フォントを登録し直すか、使用可能な登録フォントを使ってフォームを作り、プリントし直します。

F3　コントロール ROM　フセイ

原　因　本プリンタ用ではないコントロール ROM がセットされた
対　策　電源をオフにし、セットしたフラッシュメモリやコントロールROMを抜き取り、電源をオンにし直します。
参照先　設置ガイド　第 3 章「RAM/ROM」

F9-08　チェック　プリンタ

原　因　プリントデータ処理中にトラブルが発生した
対　策　電源をいったんオフにし、3 秒以上経ってからオンにしてプリントし直します。

FF　フォント　フル　エラースキップ可

原　因　登録するフォントの数が多すぎてフォントの情報を登録するための領域（フォントテーブル）がオーバーフローした
対策1　（オンライン）キーを押し、プリントを継続します。ただし、エラーが発生したページは正しくプリントされません。
対策2　LIPSのコマンドをプログラミングしてプリントしたときは、不要な文字セットを消去してからプリントし直します。
参照先　プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス 4.2」

OF　オプション　ゴソウサ

原因1　本プリンタの電源がオンになっているときに、オプションの両面ユニットが脱着された

対　策　電源をいったんオフにし、オプションの両面ユニットを脱着してから電源をオンにし直します。

原因2　オプションの両面ユニットが正しく取り付けられていない

対　策　電源をいったんオフにし、オプションの両面ユニットを正しく取り付けてから電源をオンにし直します。

原因3　いずれかのドアまたはカバーを開けたまま、電源をオンまたはハードリセットした

対　策　電源をいったんオフにし、ドアまたはカバーをすべて閉じてから、電源をオンにし直します。

PC　XXX ヨウシ ニ コウカン（XXX は用紙サイズ略号）（→ P.251 ディスプレイ）　エラースキップ可

原　因　アプリケーションソフトで設定したサイズの用紙が、プリンタの給紙カセットや給紙トレイにセットされていない、もしくは、違う用紙サイズの給紙元が選択されている

対策1　選択されている給紙カセットにアプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定したサイズの用紙をセットします。

参照先　第2章「給紙カセットからプリントする」(→ P.77)

対策2　給紙トレイの場合はトレイ用紙サイズを確認し、アプリケーションソフト（または拡大／縮小）で設定した用紙サイズと合っていない場合は正しく設定します。

参照先　第2章「給紙トレイからプリントする」(→ P.92)
LIPS機能ガイド　第3章「2　給紙グループの設定項目」

対策3　(給排紙選択)キーで、サイズの合った用紙がセットされている給紙カセットを選択します。

参照先　第2章「給紙元を選択する」(→ P.67)

対策4　(オンライン)キーを押し、セットされている用紙に強制的にプリントします。給紙トレイの場合、トレイ用紙サイズの設定が自動的にアプリケーションソフトの設定に切り替わります。

お願い

●「PC XXX ヨウシ ニ コウカン」のメッセージが表示されているときに前ドアや左右カバーのいずれかを開けると、メッセージの表示が消えることがありますが、必ず表示されていたメッセージにしたがって用紙を交換してください。

W0　マーク　タイム　警告メッセージ

原　因　描画データが複雑で、描画処理に10分以上時間がかかっている

対　策　そのまましばらくお待ちください。

W1　RIP　ONCE　警告メッセージ

原　因　rip once（リップワンス）機能を使用してプリントしている場合に、1部目のデータをハードディスクに保存している

対　策　そのまましばらくお待ちください。ハードディスクへの保存が終了すると、メッセージが消えます。

nn-nn　サービス　コール（nn は２桁の英数字）

原　因	プリンタの内部機構にトラブルが発生した
対　策	電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源をオンにし直します。メッセージが消えることがあります。

●上記の操作をしてもメッセージが消えないときは、ディスプレイの上の行に表示されている４桁の英数字、および下の行のメッセージをメモした後、電源をオフにして電源コードを電源コンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。ご連絡の際には、症状およびメモをした英数字とメッセージをお知らせください。

正しいプリント結果が得られないときは

本プリンタを使用中に、トラブルかなと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。
本書に記載されていない症状が起きたとき、あるいは記載されている処置を行っても症状が回復しなかったとき、原因がどうしてもわからないときは、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

電源やプリンタ動作のトラブル

電源が入らない

原因1	**電源コードのプラグが電源コンセントから抜けている**
対　策	**電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。**
原因2	**ブレーカーが落ちている**
対　策	**配電盤のブレーカーをオンにします。**
原因3	**電源コード内部で断線している**
対　策	**同じタイプの他の装置の電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい電源コードを購入の上、交換します。**
参照先	設置ガイド　第2章「電源コードを接続する」

プリンタが動かない

原因1	**オフラインになっている**
対　策	**オンライン キーを押し、オンラインランプを点灯します。**
参照先	第1章「オンラインとオフライン」(→ P.38)
原因2	**メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）**
対　策	**オンライン キーを押してオフラインにし、排出 キーを押してメモリ内に残っているデータを出力します。**
参照先	第4章「プリントを中止したいときは」(→ P.231)
原因3	**インタフェースケーブルが外れている**
対　策	**インタフェースケーブルをパソコンおよびプリンタのインタフェース接続部にしっかりと接続します。**
参照先	設置ガイド　第2章「パソコンと接続する」
原因4	**ハードディスクにエラーが発生している**
対策1	**電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認します。**
対策2	**ユーティリティメニューのHDユーティリティでフォーマットを実行します。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換します。**
参照先	設置ガイド　第3章「ハードディスク」 LIPS機能ガイド　第6章「3　ユーティリティメニューの設定項目」
原因5	**本プリンタやオプション装置に故障がある**
対　策	**ディスプレイのメッセージを見て、処置します。**
参照先	第4章「メッセージが表示されたときは」(→ P.196)

プリントが途中で止まってしまった

原因1　**メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）**

対　策　**（オンライン）キーを押してオフラインにし、（排出）キーを押してメモリ内に残っているデータを出力します。**

参照先　第4章「プリントを中止したいときは」**(→ P.231)**

原因2　**ソート排紙中に排紙ビンがいっぱいになった**

対　策　**7部以上をソート排紙するときは、7部プリントするごとに排紙ビンから用紙を取り除きます。**

操作パネルのランプがつかない

原因1　**電源がオンになっていない**

対　策　**電源をオンにします。**

原因2　**スリープモードになっている**

対　策　**プリントデータを送るか、操作パネルのキーをどれか押すとプリント可能な状態に戻ります。**

参照先　第1章「電源のオン、オフ」**(→ P.32)**

操作パネルのスイッチが機能しない

原因1　**オンラインになっている**

対　策　**（オンライン）キーを押し、オフライン状態にします。**

参照先　第1章「オンラインとオフライン」**(→ P.38)**

原因2　**メモリ内にデータが残っている（ジョブランプが点灯している）**

対　策　**（オンライン）キーを押してオフラインにし、（排出）キーを押します。**

参照先　第4章「プリントを中止したいときは」**(→ P.231)**

プリントするたびに紙づまりが起こる

原因1　**給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙が積載制限マークを超えている**

対　策　**用紙を積載制限マークの範囲内まで減らし、プリントし直します。**

参照先　第2章「給紙カセットからプリントする」**(→ P.77)**
第2章「給紙トレイからプリントする」**(→ P.92)**

原因2　**給紙カセットや給紙トレイに用紙が正しくセットされていない**

対　策　**用紙を正しくセットし直し、プリントし直します。**

参照先　第2章「給紙カセットからプリントする」**(→ P.77)**
第2章「給紙トレイからプリントする」**(→ P.92)**

原因3　**給紙カセットや給紙トレイに使用できない用紙がセットされている**

対　策　**使用できる用紙に交換し、プリントし直します。**

参照先　第2章「給紙元を選択する」**(→ P.67)**
第2章「用紙について」**(→ P.58)**

原因4　**紙づまり処理が不完全である**

対　策　**紙づまりを除去し、プリントし直します。**

参照先　第4章「紙づまりが起こったときは」**(→ P.170)**

左下カバーが閉まらない

原　因　加圧解除レバーが上がったまま、左下カバーを閉じようとしている
対　策　加圧解除レバーを下げてから、左下カバーを閉じます。
参照先　第4章「紙づまりが起こったときは」（→ P.193）

前ドアが閉まらない

原　因　ロック解除レバーやカラーカートリッジカバーが正しい位置に戻されていない
対　策　ロック解除レバーやカラーカートリッジカバーを正しい位置に戻してから、前ドアを閉じます。
参照先　第3章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.126）

ハードディスクが使えない

原因1　ハードディスクエラーが発生した
対　策　ユーティリティメニューのHDユーティリティでフォーマットを実行します。同様のエラーが発生する場合は、ハードディスクを交換します。
参照先　LIPS機能ガイド　第6章「3　ユーティリティメニューの設定項目」
原因2　ハードディスクが正しく装着されていない
対　策　電源をオフにし、ハードディスクが正しく取り付けられているか確認します。
参照先　設置ガイド　第3章「ハードディスク」
原因3　ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない
対　策　ハードディスクにストアしてあるジョブのうち、不要なジョブを削除します。
原因4　セットアップメニューの拡張機能の「ハードディスク」が「ツカワナイ」に設定されている
対　策　セットアップメニューの拡張機能の「ハードディスク」を「ツカウ」に設定してからハードリセットします。
参照先　LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

ジョブが停止できない

原　因　停止できるジョブの容量を超えた
対　策　（オンライン）キーを押すと、停止中のジョブが再開されます。

ジョブが保存できない

原因1　ハードディスクの空き容量が足りず、ハードディスクに保存できない
対策1　（オンライン）キーを押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。合計900MBを超えるデータを保存することはできません。
対策2　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除します。
原因2　保存できるジョブ数を超えた
対策1　（オンライン）キーを押すと、プリントデータを無視して、印刷可能な状態に戻ります。同時に保存できるのは、64個までです。
対策2　ハードディスクに保存してあるジョブのうち、不要なジョブを削除します。
原因3　保存できるジョブの容量を超えた
対　策　（オンライン）キーを押すと、プリントデータを無視して印刷可能な状態に戻ります。900MBを超えるデータを保存することはできません。

プリントサーバのランプがすべて消灯している

原因1	LAN ケーブルが正しく取り付けられていない、または断線している
対策1	LAN ケーブルを一度取り外し、接続し直します。
対策2	他の LAN ケーブルに交換し、接続し直します。
原因2	ハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続している
対策1	ハブの“X”マークのあるポートに接続し直します。
対策2	ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“X”側に切り替えます。
原因3	クロスタイプの LAN ケーブルを使っている
対策1	ストレートタイプの LAN ケーブルと交換します。
対策2	クロスタイプの LAN ケーブルをハブの UP-LINK（カスケード）ポートに接続します。ハブに UP-LINK（カスケード）スイッチがある場合は、“=”側にします。
原因4	ハブと通信できない
対策1	ハブの電源がオンになっていることを確認します。
対策2	接続したハブの通信速度に合わせてプリントサーバのディップスイッチを設定します。
参照先	設置ガイド　第2章「パソコンと接続する」 設置ガイド　第3章「プリントサーバ」
対策3	ハブを交換します。
原因5	オプションのプリントサーバの場合は、プリントサーバが正しく取り付けられていない
対　策	オプションのプリントサーバを一度取り外し、取り付け直します。
原因6	プリントサーバのハードウェアに異常がある
対　策	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

プリントサーバの ERR ランプが点灯している

原因1	プリントサーバが正しく取り付けられていない
対　策	オプションのプリントサーバを一度取り外し、取り付け直します。
原因2	プリントサーバが故障している
対　策	お買い求めの販売店に連絡してください。

プリントサーバの ERR ランプが 4 回ずつ点滅している

原　因	LBP-2360 に標準のプリントサーバおよび NB-4F の場合は、プリントサーバのディップスイッチ 1 がオンになっている
対　策	一度プリントサーバを取り外し、ディップスイッチ 1 をオフに設定します。
参照先	第4章「プリントサーバをリセットしたいときは」（→ P.244）

プリントサーバの ERR ランプが点滅し続けている

原　因	プリントサーバのハードウェアに異常がある
対　策	お買い求めの販売店に状況を連絡してください。

プリント結果のトラブル

意味不明の半角文字がプリントされる

原因1　LIPS 専用セットアップメニューの漢字コードの設定が違っている

対　策　LIPS専用セットアップメニューの漢字コードの設定をパソコンで使用している漢字コードに正しく合わせて、プリントし直します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第4章「LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」

原因2　付属の Windows 用プリンタドライバを組み込まずに Windows からプリントした

対　策　付属の Windows 用プリンタドライバを組み込み、プリントし直します。

参照先　第1章「ソフトウェアをインストールする」（→ P.40）
LIPS ソフトウェアガイド

原因3　DOS アプリケーションソフトのプリンタ設定が適切でない

対　策　DOSアプリケーションソフトのプリンタ設定を、本プリンタと互換性のあるプリンタに設定し直します。

参照先　第1章「ソフトウェアをインストールする」（→ P.41）
LIPS ソフトウェアガイド

原因4　コントロール ROM をセットして使用中に、動作モードの自動切り替えができなかった

対　策　動作モードを、プリンタにセットしたコントロールROMのエミュレーションに固定し、インタフェースの設定を、パソコンと接続しているインタフェースに固定してプリントし直します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「5　インタフェースグループの設定項目」
LIPS 機能ガイド　第6章「2　優先エミュレーションメニューの設定項目」

指定した書体と違う書体で印字される

原　因　Windows 用プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えが設定されている

対　策　Windows 用プリンタドライバで TrueType フォントの置き換えを正しく設定し直し、プリントし直します。

参照先　プリンタドライバのヘルプ

白紙のページがプリントされない

原　因　LIPS セットアップメニューの「ハクシセツヤク」が「ツカウ」になっている

対　策　白紙のページをプリントするときは、LIPS セットアップメニューの「ハクシセツヤク」を「ツカワナイ」に設定します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第4章「白紙節約」

最後のページがプリントできない

原　因　パソコンからデータの終わりを表すコマンドが送られて来ない（ジョブランプが点灯している）

対　策　（オンライン）キーを押してオフラインの状態にし、（排出）キーを押します。（印刷機能のないアプリケーションソフトでプリントした場合、最後のページのデータが1ページに満たないと、そのままメモリ内に残ってしまいます。）

参照先　第4章「プリントを中止したいときは」（→ P.231）

データが用紙をはみだした（用紙の周囲のデータがプリントされない）

原因1 **データのサイズより小さな用紙をセットした**
対　策 **データのサイズに合った用紙をセットするか、用紙サイズに合わせた縮小率で縮小プリントをします。**
参照先　LIPS 機能ガイド　第4章「拡大／縮小」
原因2 **用紙をセットする位置が合っていない**
対　策 **用紙を正しくセットし、プリントし直します。**
参照先　第2章「給紙カセットからプリントする」（→ P.77）
第2章「給紙トレイからプリントする」（→ P.92）
原因3 **余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした**
対　策 **データの周囲に5mm以上（封筒は10mm以上）の余白を取ってプリントし直します。（用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲にはプリントできません。）**
参照先　アプリケーションソフトのマニュアル

印字位置がずれてしまう

原因1 **セットアップメニューのレイアウトの「とじ代」、「縦補正」、「横補正」が設定されている**
対　策 **セットアップメニューのレイアウトの「とじ代」、「縦補正」、「横補正」の設定を「0」に設定し、プリントし直します。**
原因2 **アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が合っていない**
対　策 **アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定し、プリントし直します。**
参照先　アプリケーションソフトのマニュアル

指定した排紙ビンに排紙されない

原　因 **指定した排紙ビンに用紙が残っている**
対　策 **排紙ビンの用紙を取り除きます。**

ページの途中から次ページにわかれてプリントされる

原因1 **アプリケーションソフトの「行間」や「1ページの行数」の設定が合っていない**
対　策 **1ページに収まるようにアプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1ページの行数」を変更してからプリントし直します。**
参照先　アプリケーションソフトのマニュアル
原因2 **動作モードメニューが「ジドウセンタク」に設定されているときに、セットアップメニューの拡張機能の「タイムアウト」の設定秒数が短すぎる**
対　策 **動作モードメニューを「ジドウセンタク」以外に設定するか、「タイムアウト」の設定秒数を十分に長くします。**
参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」
LIPS 機能ガイド　第6章「1　動作モードメニューの設定項目」

縮小されてプリントされる

原　因　**縮小プリントの設定がされている**
対策１　**LIPS セットアップメニューの「拡大／縮小」を「シナイ」にします。**
参照先　LIPS 機能ガイド　第４章「拡大／縮小」
対策２　**プリンタドライバの「拡縮率」の設定を確認します。**
参照先　LIPS ソフトウェアガイド

メモ

- **ディスプレイにメッセージが表示されたときは、「メッセージが表示されたときは」（→ P.196）をご覧ください。**
- **紙づまりが起ったときは、「紙づまりが起こったときは」（→ P.170）をご覧ください。**

用紙にしわがよる

原因１　**給紙カセットに用紙が正しくセットされていない**
対　策　**給紙カセットに用紙を正しくセットします。**
参照先　第２章「給紙カセットからプリントする」（→ P.77）
原因２　**給紙トレイに用紙を斜めにセットした**
対　策　**給紙トレイにまっすぐに用紙をセットします。**
参照先　第２章「給紙トレイからプリントする」（→ P.92）
原因３　**用紙が吸湿している**
対　策　**未開封の新しい用紙と交換します。**

メモ

- **A3、レジャーサイズの場合は、75g/m^{2}以上の用紙をご使用になることをおすすめします。**

原因４　**定着ユニットの寿命が近づいてきている**
対　策　**新品の定着ユニットと交換します。**

用紙が真っ白で何もプリントされない

原因１　**シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした**
対　策　**トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットし直します。**
参照先　第３章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.126）
原因２　**用紙が重なって送られた**
対　策　**給紙カセットや給紙トレイの用紙を、よくさばいてセットし直します。**
参照先　第２章「給紙カセットからプリントする」（→ P.77）
第２章「給紙トレイからプリントする」（→ P.92）
原因３　**プリンタ内部でトラブルが発生している**
対策１　**ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源をオンにし直します。メッセージが消えることがあります。**
対策２　**対策１の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼します。**

用紙が真っ黒で何もプリントされない

原因１	**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している**
対　策	**ドラムカートリッジを新品に交換します。**
参照先	第３章「ドラムカートリッジを交換する」**（ → P.139）**
原因２	**プリンタ内部でトラブルが発生している**
対策１	**ディスプレイに「nn-nn　サービス　コール」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、３秒以上待ってから電源をオンにし直します。メッセージが消えることがあります。**
対策２	**対策１の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼します。**

4
第４章　困ったときには

印字品質のトラブル

白い縦すじまたは黒い縦すじが入る

原因1　**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化、あるいは損傷している**
対　策　**新しいドラムカートリッジに交換します。**
参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.139)

原因2　**帯電ユニットが汚れている**
対　策　**帯電ユニットを清掃します。**
参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.150)

部分的に白く抜ける

原因1　**用紙が適切でない**
対　策　**使用できる用紙に交換し、プリントし直します。**
参照先　第2章「用紙について」(→ P.58)

原因2　**用紙の保管状態が悪く、吸湿している**
対　策　**新しい用紙に交換し、プリントし直します。**
参照先　第2章「用紙について」(→ P.58)

原因3　**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している**
対　策　**新しいドラムカートリッジに交換します。**
参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.139)

プリントしない部分に残像が現れる

原因1　**プリントする用紙が適切でない**
対　策　**用紙やOHPフィルムを取り替えてプリントします。**
参照先　第2章「用紙について」(→ P.58)

原因2　**ドラムカートリッジ内の感光ドラムが劣化している**
対　策　**新しいドラムカートリッジに交換します。**
参照先　第3章 「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.139)

印字が全体的にうすい、濃い

原因1　**使用環境によってプリント濃度に影響を受けることがある**
対策1　**すべての色(C.M.Y.K)についてトナー濃度を最高の「15」に設定してプリントし直し、濃度が改善されるか確認します。**
参照先　LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」
対策2　**操作パネルで拡張機能メニューの「定着モード」を「モード2」に設定します。**
参照先　LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

原因2　**セットアップメニューのトナー節約が「ツカウ」に設定されている**
対　策　**セットアップメニューの拡張機能グループで、トナー節約を「ツカワナイ」に設定します。**
参照先　LIPS機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

原因3　**濃度センサーが汚れている**
対　策　**濃度センサーを付属の清掃用ブラシで清掃します。**
参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.151)

印字ムラが出る

原因1　**トナーカートリッジの寿命がきている**
対　策　**新しいトナーカートリッジに交換します。**
参照先　第3章「トナーカートリッジを交換する」(→ P.126)
原因2　**ドラムカートリッジが劣化、あるいは損傷している**
対　策　**新しいドラムカートリッジに交換します。**
参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.139)
原因3　**用紙が湿っている、あるいは乾燥している**
対　策　**適切な用紙に交換します。**
参照先　第2章「用紙について」(→ P.58)

画像にトナーを散らしたような汚れが出る

原因1　**分離除電ユニット内のワイヤーが汚れている**
対　策　**分離除電ユニットを清掃します。**
参照先　第3章「ドラムカートリッジを交換する」(→ P.148)
原因2　**用紙が適切でない**
対　策　**適切な用紙に交換し、プリントし直します。**
参照先　第2章「用紙について」(→ P.58)

定着性が悪い

原　因　**用紙の種類により、定着性が悪い場合がある**
対　策　**プリンタドライバの「印字品質」ページで「カラーの設定を行う」をチェックし、「カラー設定」ボタンを押して「マッチング」ページの「マッチング方法」を「色み優先」に設定します。**
参照先　LIPS ソフトウェアガイド

同時に使用している他のCOLOR LASER SHOT LBP-2360/2300と色が合わない

原　因　**工場出荷時のY(イエロー)、M(マゼンタ)、C(シアン)、K(ブラック)のトナー濃度に若干のバラツキがある**
対　策　**Y(イエロー)またはM(マゼンタ)、C(シアン)、K(ブラック)のトナー濃度を微調整します。**
参照先　第4章「カラーバランスを調整したいときは」(→ P.229)

お願い

●トナー濃度を変更すると、すべてのカラープリントに影響を与えます。通常は、工場出荷時の設定(8)のままでご使用ください。

色ズレにより正しい色（指定した色）でプリントされない、カラーの文字がぼけて見える

原因1 **プリンタが設置してある場所の温度が低い、またはプリンタ本体の機内が十分あたたまっていない**

対策1 **プリンタをお使いになる前に、設置してある部屋の温度に十分なじませてから、プリントし直します。**

対策2 **操作パネルで拡張機能メニューの「ハイレジストモード」を「ツカウ」に設定します。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「1　拡張機能グループの設定項目」

メモ

●本プリンタは、なるべく20～27℃の温度環境でお使いください。

原因2 **4色のトナーカートリッジのいずれかのトナー残量が少ない、またはトナーカートリッジが劣化している**

対　策 **「トナーチェック」または「トナーコウカン」のメッセージが表示されている色のトナーカートリッジを新品に交換します。**

参照先　第3章「トナーカートリッジを交換する」（→ P.126）

原因3 **用紙が適切でない**

対　策 **使用できる用紙に交換し、プリントし直します。**

参照先　第2章「用紙について」（→ P.58）
第2章「給紙元を選択する」（→ P.67）

原因4 **電源投入時など、キャリブレーション終了前にデータを送った**

対　策 **ディスプレイに「00　インサツ　カノウ」と表示されていることを確認して、プリントし直します。**

細い線や塗りつぶしパターンの色が指定した色でプリントされない、または消えてしまう

原因1 **色やパターンの組み合わせにより、再現されない場合がある**

対策1 **アプリケーションソフトで色を調整して、プリントし直します。**

対策2 **アプリケーションソフトでパターンを変更して、プリントし直します。**

原因2 **網点のパターンにより、色が違って見える**

対策1 **濃い色に変更して、プリントし直します。**

対策2 **「ファイン」または「クイック」のプリント解像度設定を切り替えて、プリントし直します。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

対策3 **用紙の送り方向を変えてセットし直し、プリントし直します。**

網かけパターンが正しい色（指定した色）でプリントされない

原　因 **プリントデータの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している**

対策1 **アプリケーションソフトで網かけパターンの設定をしないで、プリントし直します。**

対策2 **プリンタドライバで「カラー中間調」の設定を「階調」や「色調」に変更して、プリントし直します。**

対策3 **操作パネルで印字調整メニューの「特殊中間調」を「ツカウ」に設定します。**

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

写真などのプリントでディスプレイの色とプリントの色が異なる

原　因　画面（RGB）とプリンタ（YMC）で色の調整方法が異なるため、プリントでは、画面の色が忠実に再現できない場合がある

対策1　プリンタドライバの「印字品質」ページで「印刷目的」を「グラフィックス」に変更して、プリントし直します。

対策2　プリンタドライバの「印字品質」ページで「カラーの設定を行う」をチェックし、「カラー設定」ボタンを押して「マッチング」ページの「ガンマ補正」を調節します。

グラデーションのかかった図形をプリントした場合に、グラデーションにすじが入る

原　因　図形の「すじ」のグレイの色の部分に、グレイ補償が効いている

対　策　プリンタドライバの「印字品質」ページで「詳細設定」ボタンを押し、「グラフィック」ページの「グレイ補償」を「使わない」に設定して、プリントし直します。

中間色にモアレ（模様）が出る

原　因　プリントデータの網かけパターンとプリンタのディザパターンが干渉している

対　策　操作パネルで印字調整メニューの「特殊中間調」を「ツカウ」に設定します。

参照先　LIPS 機能ガイド　第3章「4　印字調整グループの設定項目」

Windows からの出力で「すじ」が入ったり、部分的に色味が異なる図形がプリントされる、または塗りつぶしなしの図形が透過されずに正しい色でプリントされない

原　因　拡大／縮小印刷により重ね合わせた部分がずれた、あるいはアプリケーションで複雑な重ね合わせを指定した

対　策　プリンタドライバの「印字品質」ページで「お気に入り」から「ビットマップ展開」を選択し、「詳細設定」ボタンを押して「グラフィック」ページの「モード詳細」を「高品質」に設定して、プリントし直します。

カラープリントした OHP フィルムを投影すると黒っぽくみえる

原　因　光量の少ないオーバーヘッドプロジェクタ（反射型 OHP）の場合、カラートナーがきちんと定着されていないと、投影光量が足りなくなる場合がある

対　策　プリンタドライバで「お気に入り」の「明るさ強調」を選択して、プリントし直します。また、光量の大きい透過型 OHP のご使用をお勧めします。

参照先　LIPS ソフトウェアガイド

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

対策1　細めのフォントを使用して、プリントし直します。

対策2　プリンタドライバの「印字品質」ページで「カラーの設定を行う」をチェックし、「カラー設定」ボタンを押して「マッチング」ページの「マッチング方法」を「色み優先」に設定します。

参照先　LIPS ソフトウェアガイド

カラーバランスを調整したいときは

プリント結果が全体に赤っぽかったり、青っぽかったり、カラーバランスが狂っているときは、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のトナー濃度をそれぞれ調節し、補正することができます。トナー濃度は、1～15の範囲で設定でき、工場出荷時には標準的な濃度（8）に設定されています。

お願い

- **トナー濃度を調節するときは、少しずつ調節し、テストプリントで結果を確認してください。どうしてもうまく調節できないときは、工場出荷時の値（8）に戻し、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。**

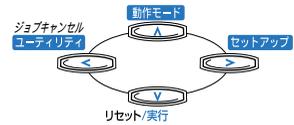
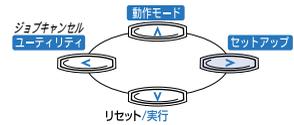
操作パネルのキーで設定するときは、次の手順で操作します。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

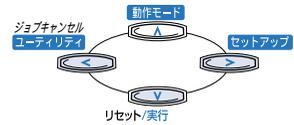
00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

2

（セットアップ）キーを押します。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

3

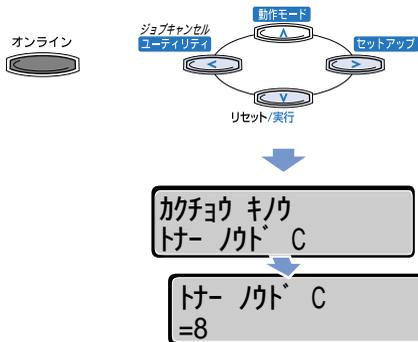
（<）、（>）キーで「カクチョウ　キノウ」を選択し、（V）キーを押します。

ディスプレイに拡張機能の項目が表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

カクチョウ キノウ
コピーマイスウ →

4

<、>キーで目的の色の「トナー　ノウド」を選択し、∨キーを押します。

ディスプレイに現在の設定値が表示されます。

5

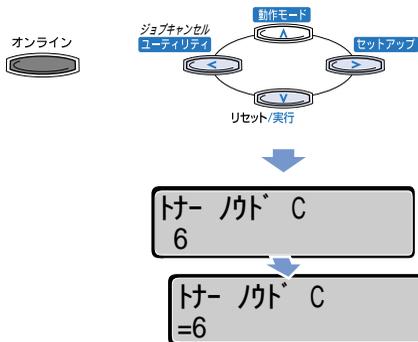
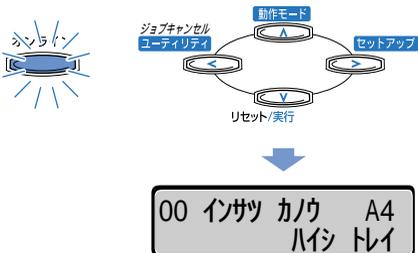
<、>キーで濃度を選択し、∨キーを押します。

1にすると一番薄い濃度、15にすると一番濃い濃度になります。
設定値の左に「＝」が表示され、濃度が設定されます。

6

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

プリントを中止したいときは

パソコン側の操作でプリントを中止しても、すでにプリンタに一部データが送られてしまった場合、データを排出してプリンタ側の印刷処理を中止させたり、プリンタ側で現在実行中の処理やすべての作業を中止することができます。

データを排出する（強制排出）

受信したデータが１ページ分に満たない場合やプリント中にオフラインにした場合、パソコン側でプリントを中止した場合など、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。プリンタのメモリにプリントデータが残ったり、ジョブが終了しないときは、次の操作で強制的に排出することができます。

お願い

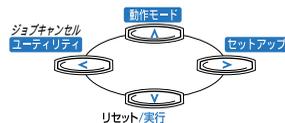
- **データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントし直してください。**
- **オプションのハードディスクを取り付けた場合、セットアップメニューの「ジョブタイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 秒」に設定することをお勧めします。**

メモ

- **プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。**
- **ジョブタイムアウト時間が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、１ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブタイムアウトは「15 ビョウ」に設定されています。**
- **データ排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。****（→ P. 235）**

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

2

排出キーを押します。

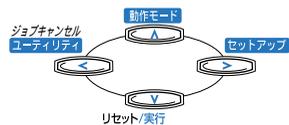
ディスプレイに「05 ハイシチュウ」と表示され、メモリに残っているデータがプリントされます。

メモ

● **排出途中に再度排出キー、またはオンラインキーを押すと、強制排出を中止します。ただし、中止されたページのデータは消去されます。**

3

オンラインキーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

プリントをキャンセルする（ジョブキャンセル）

現在実行中のプリントをキャンセルしたいときは、「ジョブキャンセル」を行います。ジョブキャンセルは、そのときデータ受信中またはデータ処理中のジョブをキャンセルすることができます。次のプリントデータやまだデータ処理が始まっていないジョブには影響しません。

メモ

●ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）にオフライン状態で行ってください。ジョブランプが消灯しているときに（ジョブキャンセル）キーを押すと、（ユーティリティ）キーとして動作します。
●すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、ご注意ください。
●本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。
●ハードディスク内に保存されているジョブは、キャンセルできません。リモートUIでキャンセルしてください。詳細については、「LIPS ソフトウェアガイド」をご覧ください。

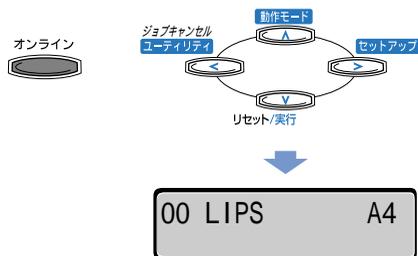
ジョブキャンセルは、次の手順で操作します。必ずジョブランプが点灯または点滅しているとき（キャンセルしたいジョブがデータ受信中またはデータ処理中の状態）に行ってください。

1

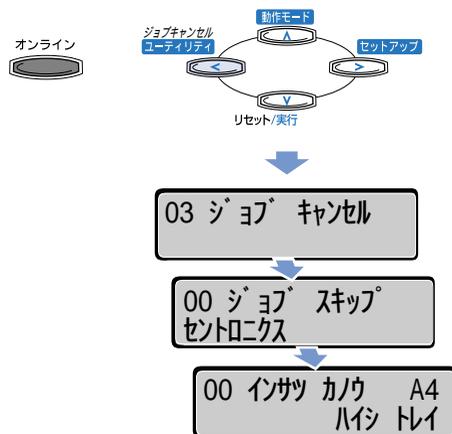
（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

メモ

●上記のディスプレイ表示は、LIPSモードのジョブを処理している場合を例にしています。ディスプレイ表示は、使用状況により表示が異なります。ジョブ処理中は、ディスプレイ上段に動作モード、下段にユーザ名やプリンタの状態などの情報が表示されます。

2

（ジョブキャンセル）キーを押します。

「03　ジョブ　キャンセル」が表示され、処理中のプリントデータがキャンセルされます。
データの受信中など処理に時間がかかるときは、「00　ジョブ　スキップ」の表示に変わります。

「00　インサツ カノウ」が表示されたら、ジョブキャンセル完了です。

お願い

- **「00　ジョブ　スキップ」が表示されているときは、（リセット）キーを押してソフトリセットまたはハードリセットを行うことができます。その場合は受信中のプリントデータや他のインタフェースのプリントデータも消去されますので、再度プリントを行ってください。**
- **「03　ジョブ キャンセル」が表示されているときは、ソフトリセットまたはハードリセットを行うことができません。ジョブキャンセルが完了するか、「00　ジョブ　スキップ」が表示されるまでお待ちください。**

現在実行中の処理を中止する（ソフトリセット）

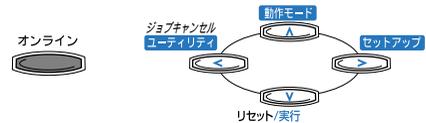
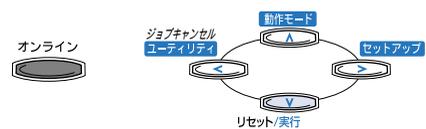
現在実行中の処理を中止したいときは、次の操作で「ソフトリセット」を実行します。ソフトリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

お願い

- **必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからプリンタ側でプリント中止（ソフトリセット）の操作を行ってください。**
- **ソフトリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントし直してください。**
- **他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。**
- **ジョブの保存中や排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。**

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

00 インサツ カノウ　A4
ハイシ トレイ

2

（リセット）キーを押し続け、「ソフトリセット」と表示されたら放します。

約1秒で表示されます。そのまま5秒以上押し続けると「03　ハードリセット」の操作になります。

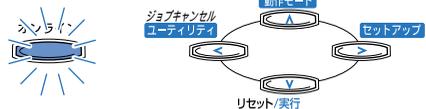
「03　ソフトリセット」の表示が消えたらリセットが完了します。

00 インサツ カノウ　A4
ハイシ トレイ

03 ソフト リセット

3

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

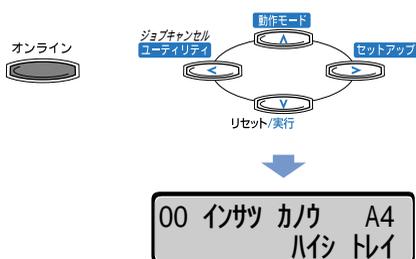
プリントできる状態になります。

00 インサツ カノウ　A4
ハイシ トレイ

すべての作業を中止する（ハードリセット）

何らかの理由で、すべての処理やすでにメモリに受信されたデータをクリアしたいときは、次の操作で「ハードリセット」を実行します。ハードリセットは、すべてのインタフェースに受信されたプリントデータや処理中のジョブ、プリンタメモリ内のプリントデータを消去します。

●データの受信中にリセットした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされないことがあります。
●他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないように注意してこの操作を行ってください。

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

2

（リセット）キーを押し続け、「ハードリセット」と表示されたら離します。

「03　ハードリセット」が表示されるまで（約5秒）押し続けます。5秒未満の場合、「03　ソフトリセット」の操作になります。

操作パネルの表示やランプが点滅した後、「00　インサツ　カノウ」が表示されると、リセットが完了します。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

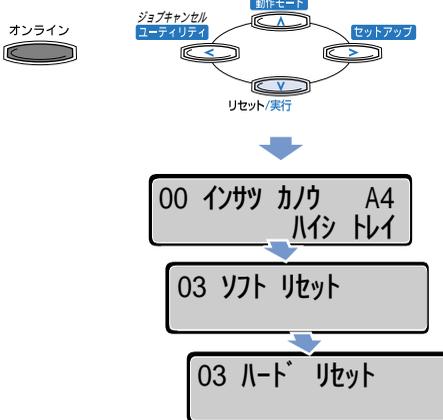
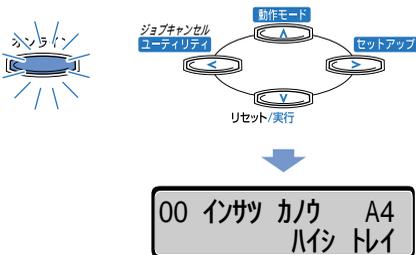
03 ソフト リセット

03 ハード゛ リセット

3

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを点灯します。

プリントできる状態になります。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

プリンタの機能を確認したいときは

本プリンタは、最良の印字品質を維持するため、印字品質を確認できるテストプリントやメニューの設定値などを確認できるステータスプリントなどの機能を備えています。プリンタの準備や接続が終わった後やプリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

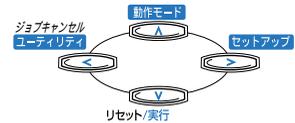
テストプリント

本プリンタには、プリンタの状態や印字品質などを確認するためのテストプリント機能が付いています。プリンタの準備や接続が終わった後などにテストプリントを行い、プリンタの動作を確認してください。テストプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ

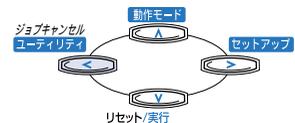
- **テストプリントは、A4サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。**
- **プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、テストプリントにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、テストプリントも両面に2ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数とカラーモードの設定は無視され、常に1枚の用紙がカラーモードでプリントされます。**

1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

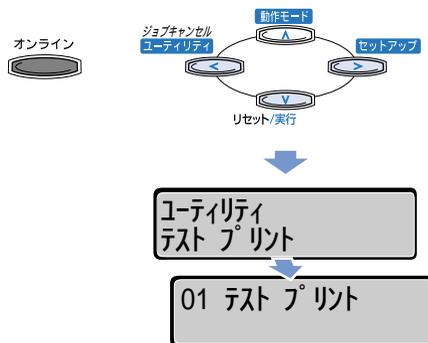
2

（ユーティリティ）キーを押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

ユーティリティ
ステータス プリント →

3

＜、＞キーで「テスト　プリント」を選択し、∨キーを押します。

ディスプレイに「01　テスト　プリント」と表示され、テストプリントを開始します。

■テストプリントのプリント内容

テストプリントを行うと、下図のようにプリントされます。テストプリントでは、グラフィックの図形や線、グラデーションの階調表現、内蔵フォントのサンプル、プリントムラなどを確認できます。

ステータスプリント

ステータスプリントでは、プリンタで現在使用できる機能や、メニュー設定値の一覧などがプリントされます。ステータスプリントを行うときは、次の手順で操作します。

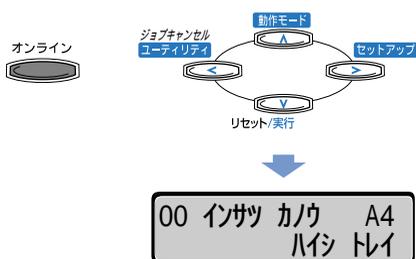
メモ

- **ステータスプリントは、A4サイズ用に設定されています。他の用紙サイズでもプリントできますが、拡大または縮小されたり、一部がカットされたり、片寄ってプリントされることがあります。**
- **プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、ステータスプリントにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、ステータスプリントも両面に2ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数とカラーモードの設定は無視され、常に1枚の用紙がモノクロモードでプリントされます。**

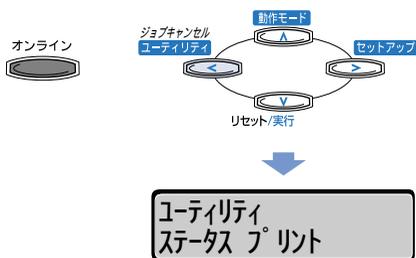
1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

操作パネルで設定できる状態になります。

2

（ユーティリティ）キーを押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

3

（∨）キーを押します。

ディスプレイに「01　ステータス　プリント」と表示され、ステータスプリントを開始します。

■ステータスプリントのプリント内容

ステータスプリントを行うと、下図のようにプリントされます。ステータスプリントでは、現在使用できる機能やプリンタ機能メニューで設定されている設定値の一覧、プリンタに内蔵されているソフトウェアやハードウェアのバージョン名、プリント枚数などを確認できます。

Canon STATUS PRINT COLOR LASER SHOT LBP-2360

A3 ZOOM 3100 MAX 2000 32MB 両面 HDD
自動 自動 セントロニクス 平成明朝 平成角ゴ 丸ゴ USB 100/10 Base-T 拡張

バージョン : R1.03/GTO0827D
サブバージョン : 15.00/2EI-4113-C410-100.0-200/34/00
エンジンバージョン : D0448/M0418
フォントバージョン : 19990518

給紙モード : 自動
排紙選択モード : 排紙トレイ
両面モード : 片面印刷

全体メモリ搭載状況 : 32 (32 MB + 0 MB)
空きメモリ量 : 2434 Kbytes
動作モード : 自動
優先エミュレーション : ESC/P

拡張機能グループ

コピー枚数 : 1枚
タイムアウト : 15秒
スリープ モード : 30分
ブザー警告 : 1回
警告表示 : する
トナー節約 : 使わない
定着モード : モード1
キャリブレーション : モード1
ハイレジストモード : 使わない
トナー濃度C : 8
トナー濃度M : 8
トナー濃度Y : 8
トナー濃度K : 8
警告処理 : 継続
自動エラースキップ : 使わない
表示言語 : 日本語
自動切替／LIPS : 使う
自動切替／ESC/P : 使う

給紙グループ

トレイ用紙サイズ : A4
デフォルト用紙サイズ : A4
用紙の向き : 自動
トレイ優先 : しない
自動選択／トレイ : 使う
自動選択／カセット１ : 使う
自動選択／カセット２ : 使う
デフォルト用紙タイプ : 普通紙
トレイ用紙タイプ : 普通紙
ハガキ優先 : 画質
手差し両面 : １面目
用紙名称／トレイ :
用紙名称／カセット１ :
用紙名称／カセット２ :

インタフェースグループ

インタフェース選択 : 自動
Busy-Ack : A-B-A
セントロスピード受信 : 高速
セントロスピード送信 : 高速
インプットプライム : 動作モード依存
双方向 : ECP
コネクション認識 : する

印字調整グループ

スーパースムーズ : 使う
データ処理 : ファイン
階調処理 : 高階調１
カラーモード : 自動
モノクロ中間調選択 : パターン１
カラー中間調選択／テキスト : 解像度
カラー中間調選択／グラフィック : 階調
カラー中間調選択／イメージ : 階調
特殊中間調選択 : 使わない
バンド制御 : する
画質警告 : 継続
フォームキャッシュメモリ : 使わない
印字動作 : 自動

レイアウトグループ

縦補正 : 0.0mm
横補正 : 0.0mm
綴じ方向 : 長手
綴じ幅 : 0.0mm

デバイスID
Manufacturer : Canon
Model : COLOR LASER SHOT LBP-2360
Description : Canon COLOR LASER SHOT LBP-2360
CompatibleID :

搭載コントローラ
LIPS Ver.02.06 LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
ESC/P Ver.01.60 ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

標準ネットワーク
ボード名称 : NB-E1
ベンダーID : CANON INC.
バージョン : 0.20
ベンダーインフォ : MAC Address: 000085112004

USB
ベンダーID : 0x04a9
プロダクトID : 0x2606
シリアルナンバー :

Page Count : 0014063

フォントリスト

フォントリストは、プリンタに内蔵されているフォントの名称とサンプルが印字されます。フォントリストのプリントを行うときは、次の手順で操作します。

メモ

- A4より小さいサイズで出力した場合には、縮小されずに画像がカットされてプリントされます。
- A4より大きいサイズで出力した場合には、余白が大きく空いてプリントされます。
- プリンタの操作パネルからメニューで設定した値は、フォントリストにも反映されます。例えば、両面プリントが設定されている場合は、フォントリストも両面に2ページ分プリントされます。ただし、コピー枚数とカラーモードの設定は無視され、常に1枚の用紙がモノクロモードでプリントされます。

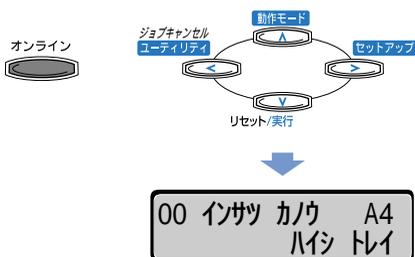
1

（オンライン）キーを押して、オンラインランプを消灯します。

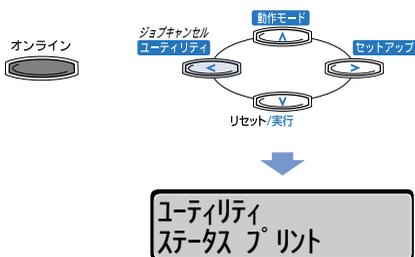
操作パネルで設定できる状態になります。

オンライン
動作モード
ジョブキャンセル
ユーティリティ
セットアップ
リセット/実行

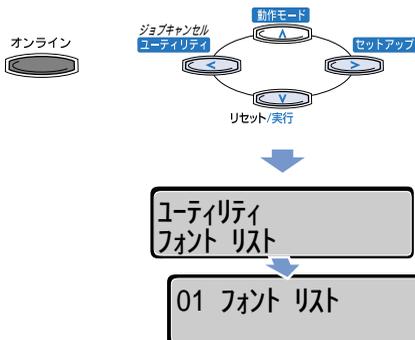
00 インサツ カノウ A4
ハイシ トレイ

2

（ユーティリティ）キーを押します。

ディスプレイに「ステータス　プリント」と表示されます。

ユーティリティ
ステータス プリント →

3

（＜）、（＞）キーで「フォント　リスト」を選択し、（∨）キーを押します。

ディスプレイに「01　フォント　リスト」と表示され、フォントリストがプリントされます。

01 フォント リスト

■フォントリストのプリント内容

フォントリストをプリントすると、下図のようにプリントされます。フォントリストでは、プリンタに内蔵されている日本語フォントと欧文フォントの名称、フォントID、フォントのサンプルが確認できます。

Canon FONT LISTS COLOR LASER SHOT LBP-2360

フォント名称	フォントＩＤ	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
RoundGothic-Light-H	005	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
RoundGothic-Light	006	あいうえおカキクケコ差氏巣背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Symbol		ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφ
Ncourier10		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij

Page Count : 0014041

プリントサーバをリセットしたいときは

LBP-2360に標準装備のプリントサーバの設定値を工場出荷時の値に戻したいときは、操作パネル、NetSpot、リモート UI、FTP クライアントのいずれかの方法で行います。操作パネルについては「LIPS 機能ガイド」、NetSpot については NetSpot のヘルプ、リモート UI については「リモート UI ガイド」、FTP クライアントについては「ネットワークガイド」をご覧ください。
もし、上記のいずれの方法も行えない場合は、次の手順でプリントサーバのディップスイッチを操作して、プリントサーバの設定値をリセットすることができます。

1

プリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから外します。

2

電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

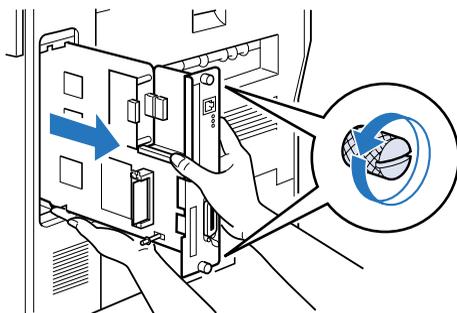
3

作業がしにくいときは、サブ排紙トレイを取り外します。

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動してください。

4

メインボードを上下のネジをゆるめて引き出し、両手で持って取り外します。

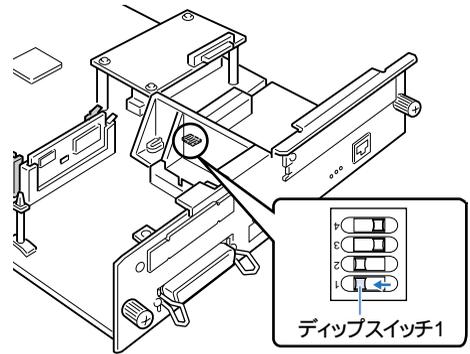
ネジは軽く動くところまでゆるめれば十分です。取り外す必要はありません。取り出したメインボードは、水平で作業しやすい場所に置いてください。

注意

- **メインボードは必ず両手で全体を支えながら取り外してください。ネジ部だけを持って引き出すと、メインボードが落下してけがや破損の恐れがあります。**

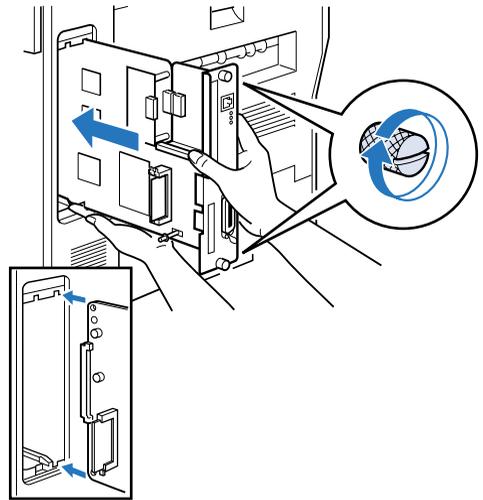
お願い

- **メインボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。**
- **作業中にネジなどの金属がメインボードに触れないように注意してください。**

5

プリントサーバのディップスイッチ1をオン側に切り換えます。

6

メインボードを図のように両手で持ち、メインボード後部のフック（黒いプラスチックの部分）を本体のメインボード差し込み部のレールに載せてまっすぐに押し込んで、上下のネジを締めて固定してください。

お願い

- メインボードのパネル面がプリンタ本体にぴったりと合うまでしっかりと押し込んでください。

7

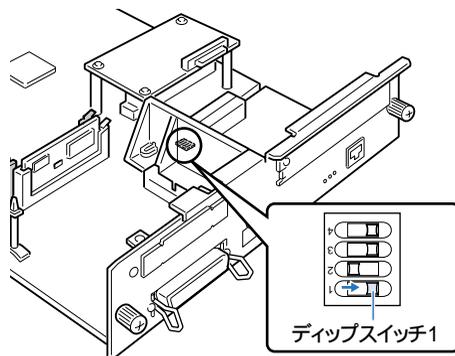
電源コードやインタフェースケーブルを取り付け、電源プラグを電源コンセントに接続します。

8

プリンタの電源をオンにしてオンライン状態になるまで待ってから、プリンタの電源を切ります。

電源プラグを電源コンセントから外し、電源コードやインタフェースケーブルを取り外します。

9

メインボードをプリンタから取り外し、プリントサーバのディップスイッチ 1 をオフ側に戻します。

10

メインボードをプリンタに取り付けます。

11

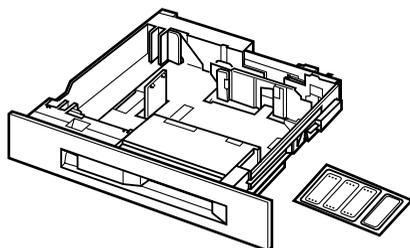
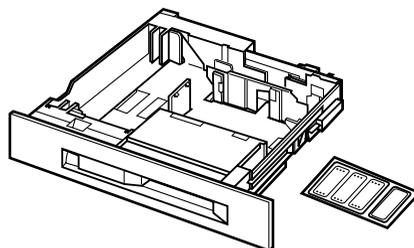
プリンタにサブ排紙トレイや電源コード、インタフェースケーブルを取り付け、電源プラグを電源コンセントに接続します。

付録

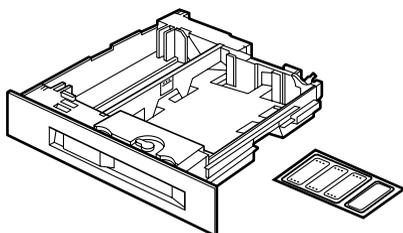
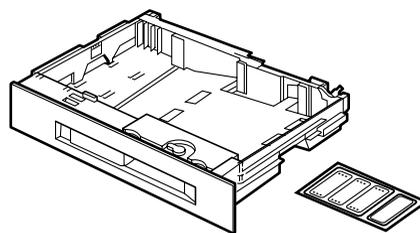
オプションについて

本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品が用意されています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

■ 500 枚カセット

B5 または A5 の用紙を縦送りするための給紙カセットです。用紙サイズ毎に 2 種類の専用給紙カセットが用意されています。普通紙（64g/m^2）を最大で 500 枚までセットできます。LBP-2360 の場合は、プリンタ本体の上段カセット（カセット 1）と差し換えて使用します。LBP-2300 の場合は、プリンタ本体の上段カセットカバーを取り外して装着します。また、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1、2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L の上段カセット（カセット 3）と差し替えて使用することもできます。

500枚カセット　CS-82 B5R　　500枚カセット　CS-82 A5R

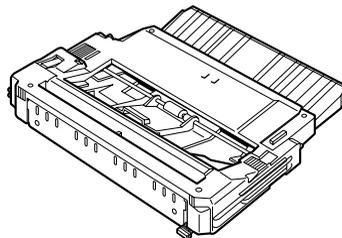
■ 500 枚ユニバーサルカセット

用紙サイズ変更が可能な給紙カセットです。500 枚ユニバーサルカセット UC-82 は、A4、B4、レター、リーガルサイズの普通紙、500 枚ユニバーサルカセット UC-82K は A4、B4、A3、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙を最大で 500 枚（64g/m^2）までセットできます。
500 枚ユニバーサルカセット UC-82 は、プリンタ本体の上段カセット（カセット 1）と差し替えて（LBP-2300 の場合は追加して）使用します。500 枚ユニバーサルカセット UC-82K は、プリンタ本体の下段カセット（カセット 2）と差し替えて使用します。

500枚ユニバーサルカセット UC-82　　500枚ユニバーサルカセット UC-82K

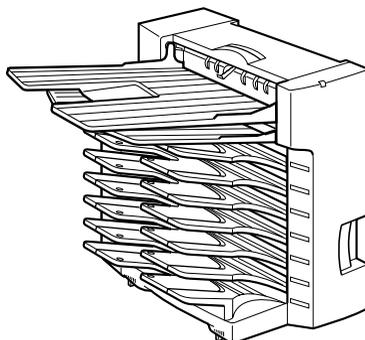
お願い

● 500 枚カセット CS-82（B5R、A5R）は、プリンタ本体のカセット 1 および 2 × 500 枚ペーパーデッキのカセット 3 用です。プリンタ本体のカセット 2 や 2 × 500 枚ペーパーデッキのカセット 4 に取り付けることはできません。

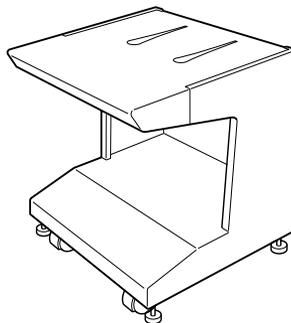
■両面ユニット

両面プリントを可能にするためのユニットです。給紙カセットまたは2000枚ペーパーデッキから供給される、定形サイズ（A5R、B5R、A4、A4R、B4、A3、レター、レターR、リーガル、レジャー、エグゼクティブ）の普通紙に両面プリントができます。両面ユニットは、本プリンタの内部に取り付けます。

両面ユニット DU-82

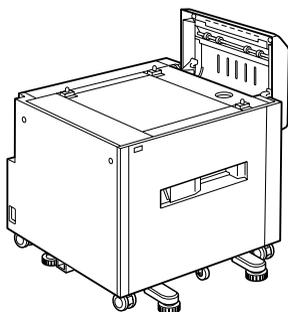
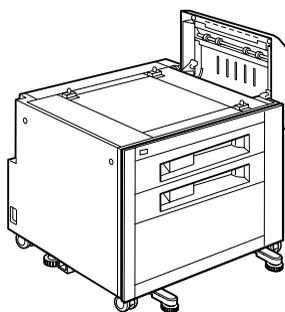
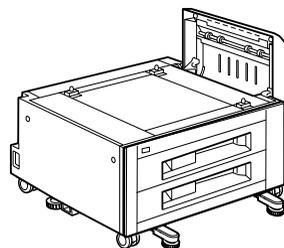
■ 7 ビンソータ

7つのビンを装備したソータユニットです。それぞれのビンには約120枚（75g/m^2）まで積載可能で、7つのビンをさまざまに使い分けて排紙することができます。7ビンソータはサブ排紙トレイを取り外し、プリンタ本体側面に装着します。7ビンソータ装着時は、オプションコントローラボードの取り付けが必要です。

7 ビンソータ -H1

■ 7 ビンソータ用ペディスタル

2000枚ペーパーデッキまたは2×500枚ペーパーデッキ装着時に7ビンソータを装着するための専用台です。ペディスタルを固定するためのアジャスタと7ビンソータを本体から引き離すためのスライドトレイが付いています。

7 ビンソータ用ペディスタル

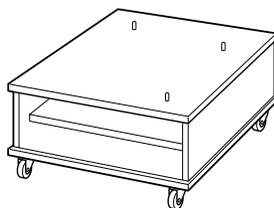
■ペーパーデッキ

ペーパーデッキは、給紙元を増設するためのプリンタ本体の下に装着するユニットです。2000枚ペーパーデッキPD-82と2×500枚ペーパーデッキ-C1、2×500枚ペーパーデッキ-C1Lの3種類があり、いずれか1つを装着できます。2000枚ペーパーデッキPD-82を装着すると、A4、B4、A3、レター、リーガル、レジャーサイズの普通紙を約2000枚までセットできます。2×500枚ペーパーデッキ-C1または2×500枚ペーパーデッキ-C1Lを装着すると、500枚給紙カセットを2つ追加することができます。
ペーパーデッキには、キャスタとプリンタを固定するためのアジャスタ、ペーパーデッキを安定させるための転倒防止脚が付いています。また、ペーパーデッキ装着時は、オプションコントローラボードの取り付けが必要です。

2000枚ペーパーデッキ PD-82

2×500枚ペーパーデッキ -C1

2×500枚ペーパーデッキ -C1L

メモ

●2×500枚ペーパーデッキ-C1や2×500枚ペーパーデッキ-C1Lの上段カセット(カセット3)を、オプションの500枚カセットCS-82 B5Rまたは500枚カセットCS-82 A5Rと差し替えて、B5やA5サイズの用紙をセットすることもできます。

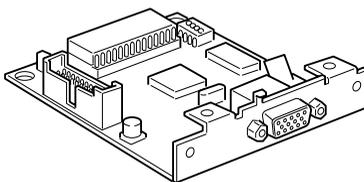
■ペディスタル

本プリンタを、操作しやすい高さで設置するための専用台です。キャスタとプリンタを固定するためのアジャスタが付いています。

本プリンタ専用ペディスタル

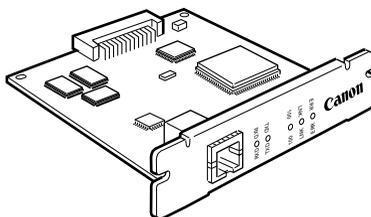
お願い

●7ビンソータと2×500枚ペーパーデッキ-C1Lまたは本プリンタ専用ペディスタルを組み合わせて使用することはできません。
●本プリンタに7ビンソータ用ペディスタルと7ビンソータを組み合わせて使用する場合、およびペーパーデッキや本プリンタ専用ペディスタルを取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

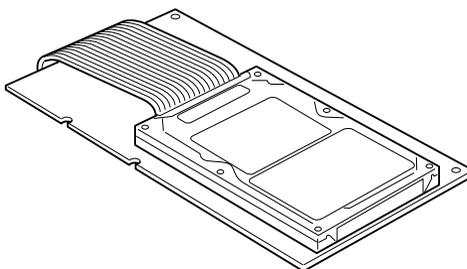
■オプションコントローラボード

オプションのペーパーデッキや7ビンソータを使用するときに必要です。

オプションコントローラボード PH-82M

■プリントサーバ

プリントサーバは、本プリンタをLANに接続するためのプリンタ内蔵型ボードです。IPX/SPX、TCP/IP、NetBIOS/NetBEUI、AppleTalkのプロトコルに対応したものがありますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare、イントラネットなど幅広いLANシステムに対応可能です。専用のネットワーク管理ソフト「NetSpot」はプリンタに標準同梱されています。

例）キヤノンレーザショット内蔵型プリントサーバ NB-4F

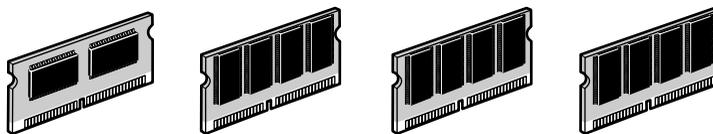
■ハードディスク（LBP-2360のみ）

ハードディスクは､受信したプリントジョブを一時的に保存するためのプリンタ内蔵型ハードディスクです。ハードディスクを装着することにより、プリントジョブのスプールやセキュアプリント、電子ソート（rip once（リップワンス）機能）などの機能が使えるようになります。

ハードディスク HD-9

お願い

- **ハードディスクを使用するときは、32MB以上の拡張RAM増設が必要です。また、rip once（リップワンス）機能を使用する場合は、64MB以上の拡張RAM増設が必要です。併せて取り付けてください。**
- **ハードディスクを使用するときは､セットアップメニューの｢ジョブタイムアウト｣の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15ビョウ」に設定することをお勧めします。**

■拡張 RAM

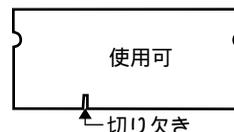
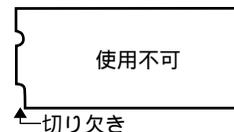
メモリ容量を拡張するための増設メモリです。本プリンタは32MBのメモリを標準装備していま す。拡張RAMは1個増設可能で、本プリンタのメモリ総容量を最大256MBまで拡張することができます。

32MB（RD-32MS）　64MB（RD-64MS）　128MB（RD-128MS）　256MB（RD-256MS）

拡張RAMには、32MB（RD-32MS）、64MB（RD-64MS）、128MB（RD-128MS）、256MB（RD-256MS）の4種類があります。

拡張RAM	取り付け後の使用可能容量	印字保証サイズ
32MB	64MB	B4×2
64MB	96MB	リーガル×4
128MB	160MB	A3×4
256MB	256MB	B4×8

上記印字保証サイズは、「印字動作」を「ガシツ　ユウセン」、「データ処理」を「ファイン」、「階調処理」を「ヒョウジュン」に設定した場合の値です。

メモ

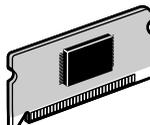
- **印字保証サイズについては、LIPS機能ガイド　第3章「4. 印字調整グループの設定項目」をご覧ください。**
- **オーバレイなどの大量の登録データを処理する場合にも拡張RAMの増設が必要です。**
- **拡張RAMは、必ず本プリンタに対応した3.3V用SD RAM DIMMをご使用ください。キヤノン製拡張RAM（RD-32MS、RD-64MS、RD-128MS、RD-256MS）のご使用をお勧めします。**

- **従来の5V、3.3V用RAM DIMM（RD-4M、RD-8M、RD-16M、RD-4ME、RD-8ME、RD-16ME、RD-16ML、RD-32ML、RD-64ML）は、図のように形状が異なるため、スロットには取り付けることはできません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**

- **本プリンタに256MB（RD-256MS）を取り付けた場合、総容量は288MBになりますが、使用可能な容量は256MBまでです。**

■コントロール ROM

エミュレーションモードを追加するためのROMです。本プリンタを、お使いのコンピュータに対応した専用プリンタのように動作させることができます。1枚のコントロールROMに、次のエミュレーションモードとフォントが収録されています。

- **PS/55、PS/V シリーズ**
- **HP-GL 対応のアプリケーションに対応のエミュレーションモード**
- **バーコードフォント ROM（FR-BFV2CL 相当）**

本プリンタには、コントロール ROM またはフラッシュメモリのいずれか 1 個を増設可能です。

製品名
CR-HIS

メモ

- **コントロールROMは、必ず本プリンタに対応したもの（CR-HIS）をご使用ください。**
- **従来の3.3 V用コントロールROM（CR-5577M、CR-7550M、CR-ESL、CR-MEL）は、図のように形状が異なるため、取り付けることはできません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**
- **従来の5.5Vコントロール ROM（CR-5577/2、CR-359/2、CR-5273/2、CR-7550/C、CR-201/2、CR-ES/2、）は、図のように形状が異なるため、取り付けることはできません。誤って使用した場合は、正しく動作しません。**

■フラッシュメモリ

オーバレイ、マクロなどをダウンロードするためのメモリ（ROM）です。

お願い

- **フラッシュメモリに関しては、発売未定です。**

■プログラマーズマニュアル

本プリンタ用のプリンタドライバや印刷設定プログラムなどを作成するための、プログラマー用のマニュアルです。次の 3 種類が用意されています。

製品名

プログラマーズマニュアル「ソフトウェア概説書4.2」
（LIPSコマンドの概要を知るためのマニュアル）

プログラマーズマニュアル「コマンドリファレンス4.2」
（LIPSコマンドの手引き）

プログラマーズマニュアル「クックブック4.2」
（プログラムサンプル集）

付録

主な仕様

■ハードウェアの仕様

項目		内容	
形式		デスクトップ型ページプリンタ	
プリント方式		電子写真方式	
解像度		モノクロ カラー	600dpi(ﾌｧｲﾝﾓｰﾄﾞ)／300dpi(ｸｲｯｸﾓｰﾄﾞ) 600dpi/多値／600dpi/2値
プリント速度	普通紙(64～105g/m^2)	A4横片面連続プリント時	モノクロ　24ページ／分 フルカラー　6ページ／分
		その他	モノクロ　12ページ／分 フルカラー　3ページ／分
	厚紙(106～135g/m^2)	A4/ﾚﾀｰ横片面連続プリント時	モノクロ　約3ページ／分 フルカラー　約2ページ／分
	OHPフィルム	A4横片面連続プリント時	モノクロ　約2ページ／分 フルカラー　約2ページ／分
ウォーミングアップ時間		390秒以下（20℃, 拡張RAM未装着時）	
ファーストプリント時間		モノクロ　19.5秒以下（A4／フェースダウン時）	
		カラー　34.5秒以下（A4／フェースダウン時）	
用紙サイズ	カセット1 (LBP-2300はｵﾌﾟｼｮﾝ)	A4、B4､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	カセット2	A4、B4、A3､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ､ﾚｼﾞｬｰ 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	500枚ｶｾｯﾄ B5R*	B5R 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	500枚ｶｾｯﾄ A5R*	A5R 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	2×500枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ* カセット3	A4、B4､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	2×500枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ* カセット4	A4、B4、A3､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ､ﾚｼﾞｬｰ 最大積載枚数	 約500枚（64g/m^2）
	2000枚ﾍﾟｰﾊﾟｰﾃﾞｯｷ*	A4、B4、A3､ﾚﾀｰ､ﾘｰｶﾞﾙ､ﾚｼﾞｬｰ 最大積載枚数	 約2000枚（64g/m^2）
	給紙トレイ	幅 長さ （A5、B5サイズは縦送りのみ可能） 最大積載枚数	98.4～304.8mm 190～469.9mm 約100枚（64g/m^2）
	両面プリント	A5、B5、A4、A4R、B4、A3、レター、レターR、リーガル、レジャー、エグゼクティブ	

* 印の製品は、別売のオプションです。

付録

排紙方式		フェースダウン／フェースアップ	
排紙積載枚数		排紙トレイ サブ排紙トレイ	約 300 枚（64g/m²） 約 100 枚（64g/m²）
	7 ビンソータ *	排紙ビン ノンソートビン	約 120 枚（64g/m²）× 7 約 100 枚（64g/m²）
稼働音音圧レベル（バイスタンダ位置）（ISO9296 に基づく公表騒音放出値）		スタンバイ時 動作時	最大　49dB[A] 最大　54dB[A]
使用環境 （プリンタ本体のみ）		動作環境温度　15 ～ 30℃ 湿度　20 ～ 80%RH（結露しないこと）	
保管環境 （プリンタ本体のみ）		保管環境温度　0 ～ 35℃ 湿度　35 ～ 85%RH（結露しないこと）	
電源		100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）	
消費電力 （20℃時）	LBP-2360	動作時（モノクロ） スタンバイ時 スリープモード時（ファン回転時）*2 スリープモード時（ファン停止時） 最大	平均　約 724W*1 平均　約 196W*1 平均　約 42W*1 平均　約 19W*1 1221W 以下 *3
	LBP-2300	動作時（モノクロ） スタンバイ時 スリープモード時（ファン回転時）*2 スリープモード時（ファン停止時） 最大	平均　約 724W*1 平均　約 196W*1 平均　約 41W*1 平均　約 17W*1 1199W 以下 *3
	*1 本体標準状態での値です。 *2 スリープモード移行後、約 30 分間ファンは回転し続けます。 *3 フルオプション装着時／起動時の瞬間的ピークを除いた値です。		
	2000 枚ペーパーデッキ PD-82*		28W 以下
	2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1/C1L*		38W 以下
	7 ビンソータ -H1*		22W 以下
消耗品	K(ブラック)トナー	EP-82 トナーカートリッジ プリント可能ページ数	（ブラック） 約 17000*4 ページ
	Y(イエロー)トナー	EP-82 トナーカートリッジ プリント可能ページ数	（イエロー） 約 8500*4 ページ
	M(マゼンタ)トナー	EP-82 トナーカートリッジ プリント可能ページ数	（マゼンタ） 約 8500*4 ページ
	C(シアン)トナー	EP-82 トナーカートリッジ プリント可能ページ数	（シアン） 約 8500*4 ページ
	ドラム	EP-82 ドラムカートリッジ プリント可能ページ数	 約 12500*4 ページ（カラー） 約 24000*4 ページ（モノクロ）
		*4 A4 横片面プリント、印字比率 5% の場合	

質量	プリンタ本体（カートリッジは除く）	約 83 kg
	ドラムカートリッジ	約 2.5 kg
	トナーカートリッジ（K）	約 1.9 kg
	トナーカートリッジ（YMC）	約 1.4 kg
	両面ユニット *	約 3.6 kg
	2000 枚ペーパーデッキ PD-82*	約 30kg
	2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1*	約 30kg
	2 × 500 枚ペーパーデッキ -C1L*	約 30kg
	7 ビンソータ -H1*	約 14kg

* 印の製品は、別売のオプションです。

■コントローラの仕様

	LBP-2360	LBP-2300
CPU	PowerPC603ei（200MHz）	PowerPC603ei（200MHz）
メモリ（RAM）容量	標準 32MB （最大 256MB まで拡張可能）	標準 32MB （最大 256MB まで拡張可能）
ホストインタフェース パラレルコネクタ USB コネクタ LAN コネクタ 拡張インタフェース（オプション）	 1（セントロニクス準拠／双方向） 1（V1.0 スレーブのみ） 1（10BASE-T/100BASE-TX） 1	 1（セントロニクス準拠／双方向） 1（V1.0 スレーブのみ） － 1
ユーザインタフェース ディスプレイ ランプ 操作キー	 16 桁× 2 段 9 個（うち 1 個は 2 色） 8 個	 16 桁× 2 段 9 個 8 個
RAM スロット	1	1
ROM スロット	1	1
拡張ボードスロット	1	1
ハードディスク（オプション）容量	6GB 以上 *	－

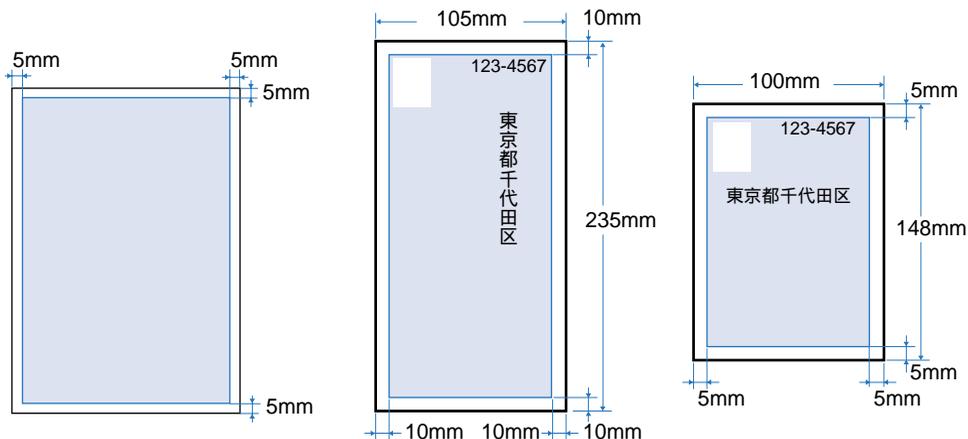
* 保存可能なジョブは 64 個、もしくは 900MB までです。残りの領域は、拡張 RAM 領域として利用します。

■ソフトウェアの仕様

内蔵コントロールコマンド	LIPS II ＋／LIPS III／LIPS IV
内蔵スケーラブルフォント	平成明朝体™W3*注、平成角ゴシック体™W5*注、 丸ゴシック体（LBP-2360のみ）、ラインプリンタボールド、ガーランド *注：これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。 Courier、Dutch、Swiss、Symbol
有効印字領域	上下左右とも周囲5mm（封筒は10mm）の範囲には印字できません。

5mm 5mm 5mm 5mm

105mm 10mm 123-4567 東京都千代田区 ○○○ 235mm 10mm 10mm 10mm

100mm 5mm 123-4567 東京都千代田区 ○○○ 148mm 5mm 5mm 5mm

■ LBP-2360標準装備プリントサーバの仕様

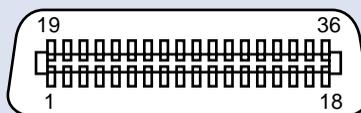
CPU		RISC（100MHz）	
ROM容量		2 MB（Flash ROM）	
RAM容量		4MB	
ネットワークインタフェース		10BASE-T/100BASE-TX共用（RJ45）	
ランプ		3個（LNK、ERR、100）	
対応プロトコル	IPX/SPX	フレームタイプ： プリントアプリケーション：	802.2、802.3、Ethernet II、802.2 SNAP Bindery PServer、NDS PServer、NPrinter、RPrinter
	TCP/IP	フレームタイプ： プリントアプリケーション：	Ethernet II LPD、FTP、RAW、IPP
	NetBIOS/NetBEUI	フレームタイプ：	802.2
	AppleTalk（EtherTalk）	フレームタイプ： プリントアプリケーション：	802.2 SNAP（Phase II） CAP（Canon AppleTalk Printserver）

インタフェース仕様

パラレルインタフェース（セントロニクス準拠）

■信号線とピン配置

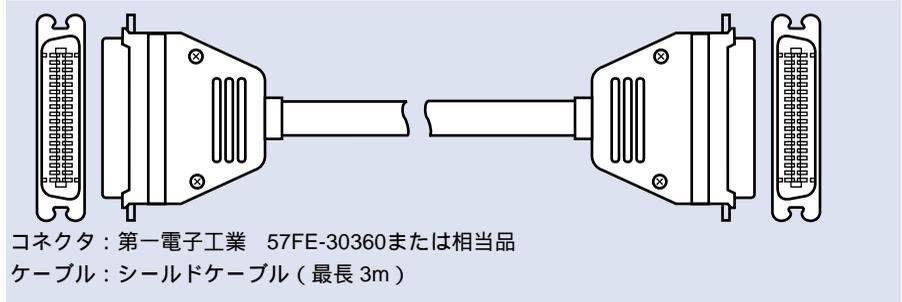
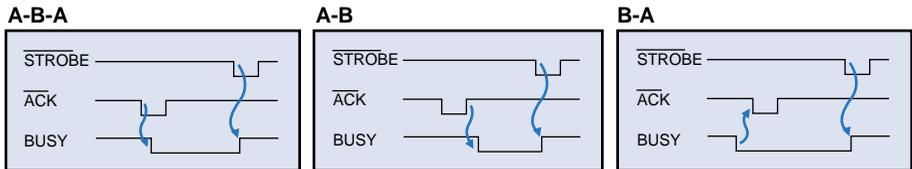
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	STROBE	19	GND (STROBE)
2	DATA0	20	GND (DATA0)
3	DATA1	21	GND (DATA1)
4	DATA2	22	GND (DATA2)
5	DATA3	23	GND (DATA3)
6	DATA4	24	GND (DATA4)
7	DATA5	25	GND (DATA5)
8	DATA6	26	GND (DATA6)
9	DATA7	27	GND (DATA7)
10	ACK	28	GND (PERROR, SELECT, ACK)
11	BUSY	29	GND (BUSY, FAULT)
12	PERROR	30	GND (AUTOFD, SELECT IN, INIT)
13	SELECT	31	INIT
14	AUTOFD	32	FAULT
15	AUXOUT1	33	AUXOUT2
16	Logic GND	34	AUXOUT3
17	Chassis GND	35	AUXOUT4
18	Peripheral Logic High	36	SELECT IN

メモ

●「AUXOUT」は、拡張用の信号出力で、現在は未使用です。

■コネクタおよびケーブル

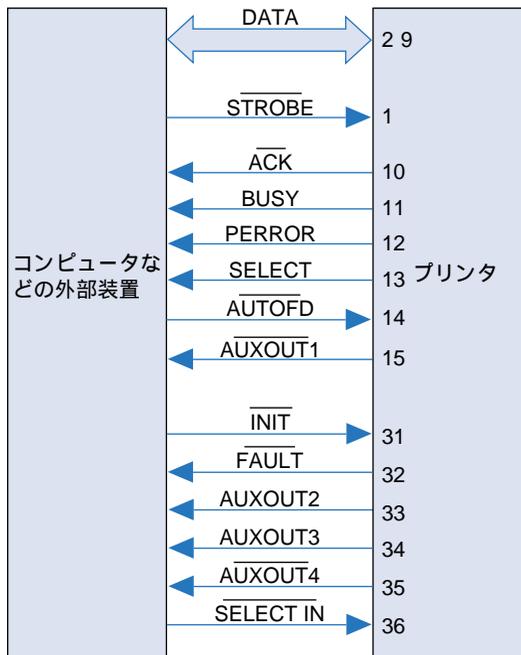
コネクタ：第一電子工業　57FE-30360または相当品
ケーブル：シールドケーブル（最長 3m）

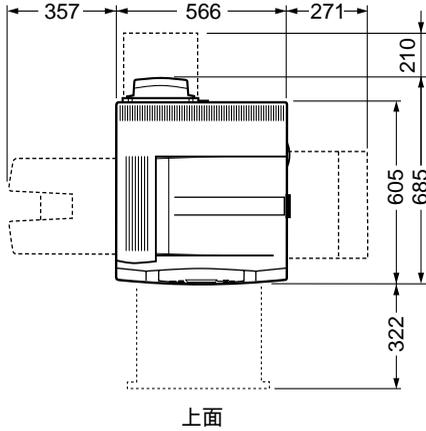
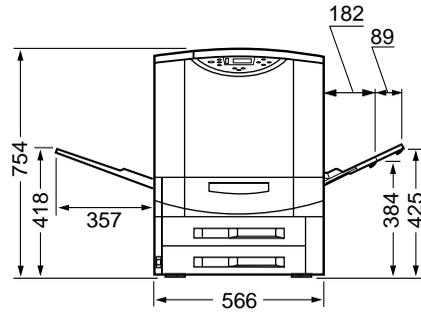
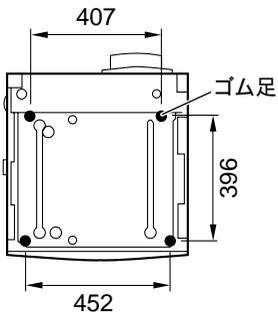
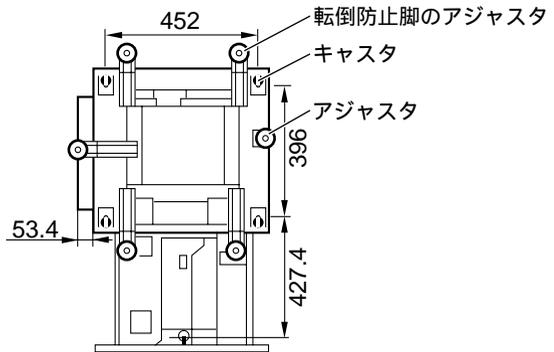
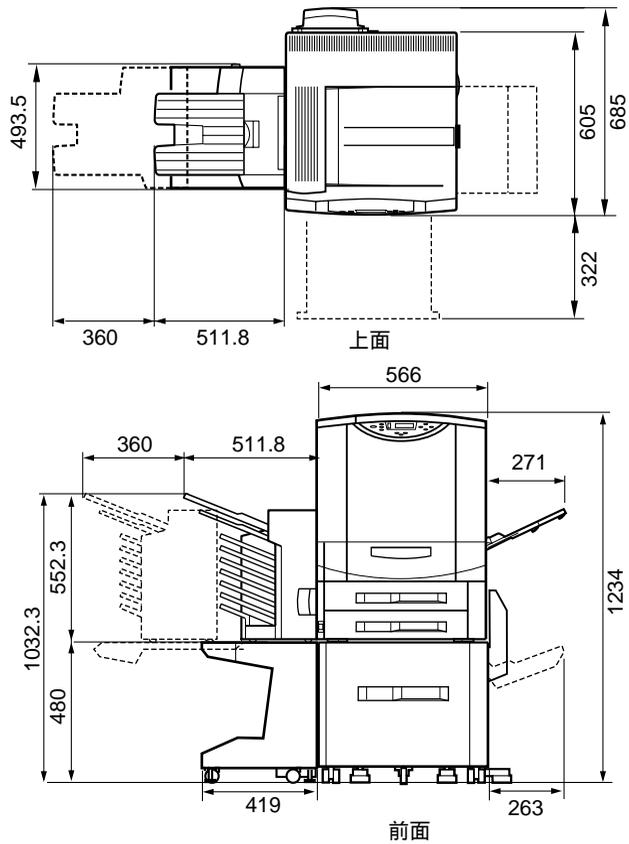
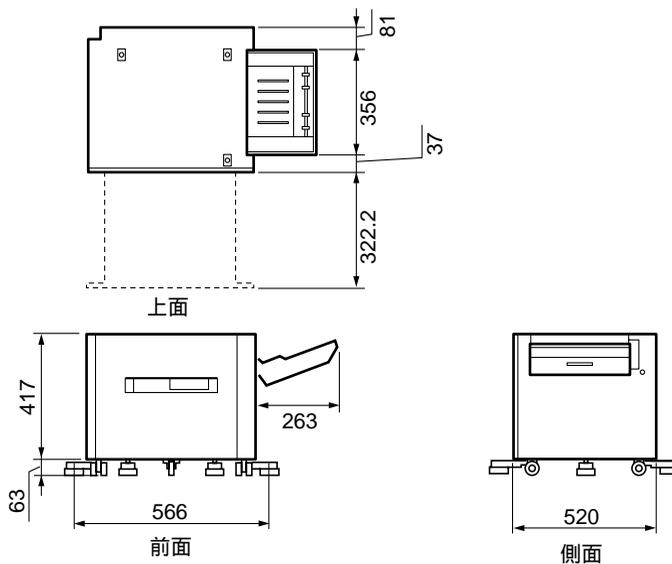
■タイミングチャート

メモ

●タイミングはメニュー機能の「インタフェースグループの設定項目」で変更します。
（→ LIPS 機能ガイド）

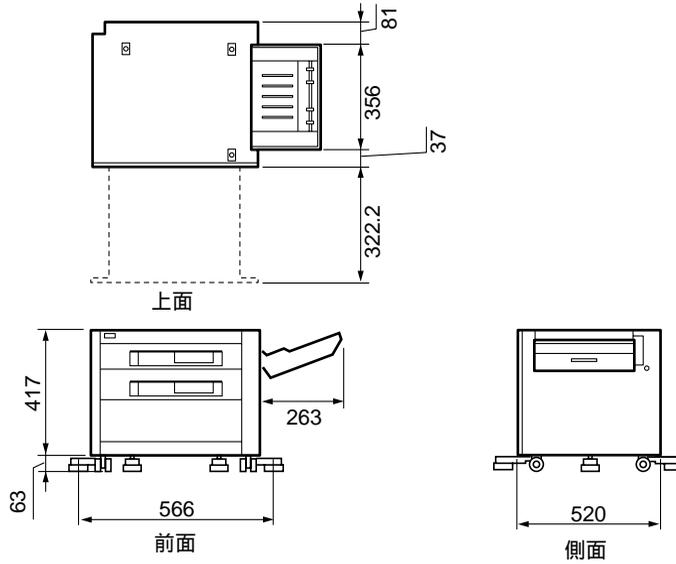
■結線図

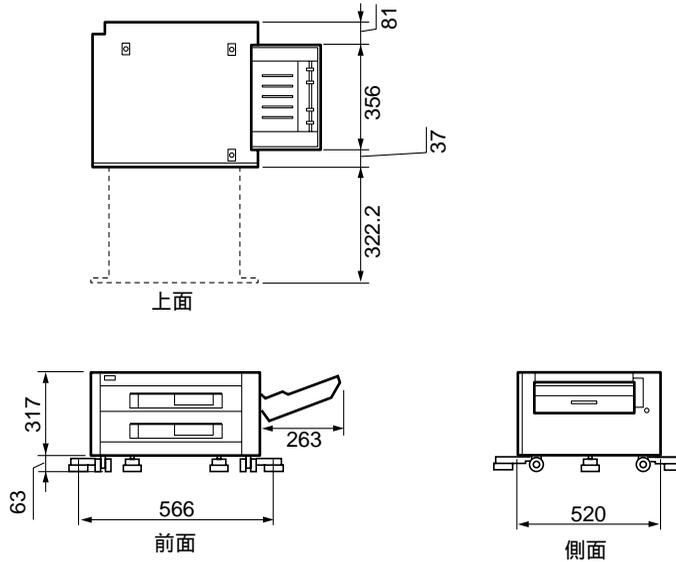
各部の寸法

■本体

（単位はmm）

●標準仕様時の寸法

●本体底面のゴム足の位置

●ペーパーデッキのキャスタ、アジャスタ、転倒防止脚アジャスタの位置

●オプション取付時の寸法

■ 2000 枚ペーパーデッキ PD-82

（単位は mm）

■ 2x500 枚ペーパーデッキ -C1

（単位は mm）

■ 2x500 枚ペーパーデッキ -C1L

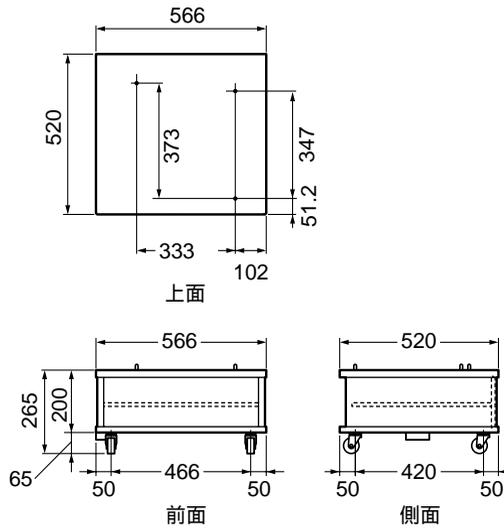
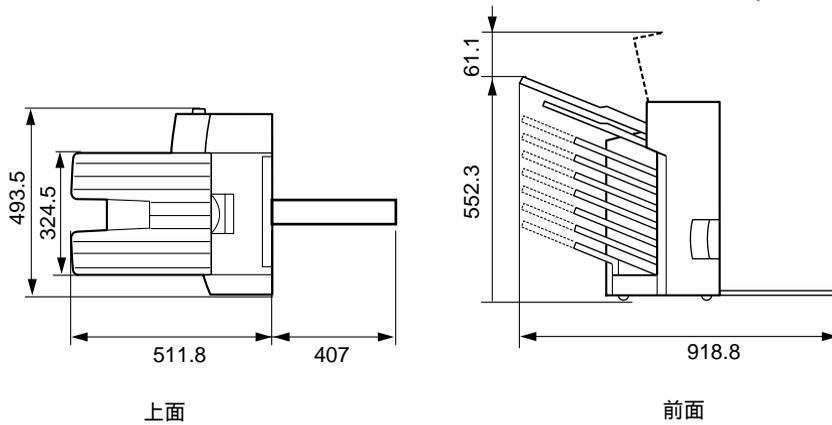
（単位は mm）

■ペディスタル

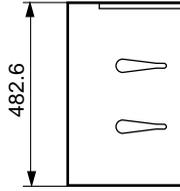
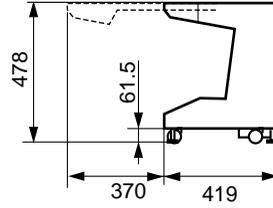
（単位は mm）

■ 7 ビンソータ -H1

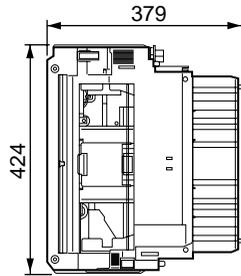
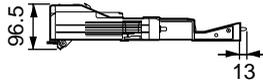
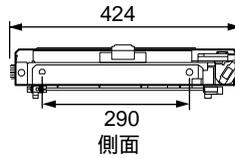
（単位は mm）

上面

前面

■ 7 ビンソータ用ペディスタル

（単位は mm）

上面

前面

■両面ユニット DU-82

（単位は mm）

上面

前面

側面

用語集

LIPS

LIPSとは、キヤノンの日本語プリンタ用に開発されたコントロールコマンドです。LIPS II、LIPS II+、LIPS III、LIPS IV、LIPS IVcの5種類があり、LIPS IV、LIPS IVcはLIPS IIIの機能を拡張したもので、フルカラープリントにも対応しています。それぞれのコマンドは上位互換を保っています。本プリンタはLIPS II+とLIPS III、LIPS IV、LIPS IVcに対応しています。

MaxiMem（マキシメム）

高精細プリントを最大限に引き出す、キヤノン独自のメモリ効率化機能です。

NetSpot

NetSpotは、ネットワーク上のプリンタやパソコンに接続されたプリンタをパソコンからプリンタの設定や管理を行うためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてコンピュータにインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド）

NetSpot Job Monitor

NetSpot Job Monitorは、プリンタの状態をリアルタイムでパソコン画面に表示するためのユーティリティソフトです。本プリンタに標準添付されており、必要に応じてコンピュータにインストールして使用します。
（→LIPSソフトウェアガイド）

NVRAM

NVRAMとは、Non-Volatile Random Access Memoryの略で、電源を切っても内容が保存される、読み書き可能なメモリのことです。本プリンタではメニュー機能の設定内容を保存するために用いられており、常に最新の設定内容が保存できるようになっています。

RAM

RAMとは「Random Access Memory」の略で、読み書き可能なメモリですが、電源を切ると登録した内容が消えてしまいます。本プリンタでは、システムワークメモリや受信バッファに使っています。また、本プリンタのメモリ容量を増加するために、オプションの拡張RAMが用意されています。

ROM

ROMとは「Read Only Memory」の略で、読み出し専用メモリです。電源を切っても内容が消えません。本プリンタでは、システムのプログラムを書き込んでいます。また、オプションのコントロールROMに使用されています。

USBコネクタ

USBとは「Universal Serial Bus」の略で、コンピュータと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。Windows98パソコンやMacintoshコンピュータのプリンタ接続やキーボード接続、マウス接続などに利用されています。

エミュレーションモード

各メーカーのコンピュータ専用のシリアルプリンタをエミュレーション（模倣）して動作するモードです。本プリンタは、標準でESC/Pエミュレーションモードを内蔵しています。オプションのコントロールROMを取り付けることで、PS/55やPS/Vシリーズ、HP-GL専用プリンタのエミュレーションモードに対応したアプリケーションなどからプリントすることができます。
（→第１章「動作モードについて」P.52）

オプションROM

本プリンタでは、別売のオプションとして、「フラッシュメモリ」、「コントロールROM」を用意しています。フラッシュメモリは、オプションのフォントやオーバレイなどをダウンロードするためのROMです。コントロールROMは、本プリンタをPS/55やPS/Vシリーズ、HP-GL対応のアプリケーションに対応した専用プリンタとして使えるようにします。
（→フラッシュメモリ、コントロールROM）

オフライン

コンピュータとプリンタ間の回線が切断され、コンピュータからのプリントデータを受信できない状態をいいます。用紙の選択やメニュー機能を使うときは必ずオフラインの状態にします。オフライン状態では、操作パネルのオンラインランプは消灯しています。
（→第１章「オンラインとオフライン」P.38）

オンライン

コンピュータとプリンタ間の回線がつながって、コンピュータからのプリントデータを受信できる状態をいいます。プリントは必ずオンラインの状態で行います。用紙の選択やメニュー機能は設定できません。オンライン状態では、操作パネルのオンラインランプが点灯しています。
（→第１章「オンラインとオフライン」P.38）

オーバレイ

２ページ分のデータを重ね合わせて1ページの書類としてプリントすることをいいます。本プリンタには、オーバレイ用のメモリ領域が用意されています。このメモリにあらかじめ重ね合わせてプリントしたいデータを登録しておくことで、プリント時に重ね合わせることができます。各種の帳票を多量にプリントするときなど、まず帳票のフォーマットデータを登録しておけば、後から数値などのデータを送るだけでスピーディーにプリントすることができます。
（→LIPSソフトウェアガイド、LIPS機能ガイド）

拡張RAM

プリンタのメモリを増設するためのオプションです。32MB、64MB、128MB、256MBのうちいずれか1個を増設でき、標準で32MBのメモリを最大256MBまで拡張できます。拡張RAMを装着すると、システムワークメモリや受信バッファ、描画メモリ容量を増し、ファインモードでプリント可能な用紙サイズを拡大します。また、オーバレイなどの多量の登録データの処理にも拡張RAMの増設が必要な場合があります。
（→付録「オプションについて」P.252）
（→受信バッファ、システムワークメモリ、描画メモリ）

クイックモード

画像データや写真イメージデータをデータ処理解像度300dpi（カラー時600dpi）で出力するモードです。

コントロール ROM

コンピュータメーカー各社のシリアルプリンタをエミュレート（模倣）するためのオプションです。PS/55やPS/Vシリーズ、HP-GL対応のアプリケーションに対応した専用プリンタのコントロール ROM が用意されています。
（→付録「オプションについて」P.253）
（→エミュレーションモード）

コントロールコマンド

ページにプリントする文字や罫線、網かけ、図形、イメージなどのデータ、および印字位置や印字方法など、どこに何をどのようにプリントするかをプリンタに指示するための命令です。本プリンタは、キヤノン独自の LIPS II＋、LIPS III 、LIPS IV を内蔵しています。
（→エミュレーションモード）
（→第 1 章「動作モードについて」P.52）

システムワークメモリ

主に多角形描画などの図形処理のときにシステムが使用するメモリです。搭載されているメモリ容量に応じて自動的に確保されます。ただし、取り付けられている拡張 RAM、フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。
（→拡張 RAM、描画メモリ、受信バッファ）

受信バッファ

コンピュータから送られたプリントデータを一時的に保存しておくためのメモリです。ただし、取り付けられている拡張RAM、フォームキャッシュメモリの設定によって確保できる容量は変わります。
（→拡張 RAM、描画メモリ、システムワークメモリ）

ジョブ

コンピュータから送られるひとまとまりのプリントデータのことをいいます。通常、コンピュータから送られるプリントデータには、開始と終了を表す命令（コマンド）がついており、この命令で他のジョブと区別します。

スケーラブルフォント

文字を外郭の曲線や直線を数式で記録し、数値を変えることで文字を拡大・縮小したり変形できるタイプのフォントです。輪郭線で文字を表すため、拡大しても曲線部分がギザギザになりません。本プリンタでは、明朝体、角ゴシック体、丸ゴシック体（LBP-2360のみ）、ラインプリンタボールド、ガーランド、Courier、Dutch、Swiss、Symbol などの欧文書体のスケーラブルフォントが使えます。

セントロニクス

コンピュータと周辺機器を接続するパラレルインタフェースの代表的な規格です。コンピュータで扱っている16ビットや32ビットのデータを、8本の線を使い、8ビットずつ同時に伝送します。高速なデータ伝送が可能ですが、ケーブル長の限界が3m程度に制限されます。現在では、ほとんどのパソコンでプリンタケーブルの規格として採用されています。
本プリンタでは、接続しているコンピュータからプリンタの設定や状態の管理ができる、IEEE1284対応の双方向通信が可能な方式を採用しています。
（→パラレルインタフェース）
（→設置ガイド）

動作モード

本プリンタ が動作している状態をいいます。本書では、どのコントロールコマンドに対応できる状態になっているかで、LIPS モードや ESC/P エミュレーションモードなどと呼びます。本プリンタは、オプションのコントロール ROM を取り付けることで、標準の LIPS モードとコントロール ROM のエミュレーションモードの動作モードを自動切り替えで使用することができます。
（→第 1 章「動作モードについて」P.52）
（→エミュレーションモード）

トナーカートリッジ

キヤノン独自の、カラープリンタ専用トナーカートリッジです。Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K（ブラック）の4種類があります。交換作業も非常に簡単で、トナーが無くなったカートリッジだけを交換できます。
（→第 3 章「トナーカートリッジを交換する」P.126）

パラレルインタフェース

コンピュータと周辺機器との間のデータ伝送方式（インタフェース）のひとつです。
コンピュータで扱っている16ビットや32ビットのデータを、複数の線を使って数ビットずつまとめて（パラレルで）伝送します。データをまとめて送るため高速伝送が可能ですが、ケーブルの線数を多く必要とし、線間の干渉などによる信号ロスも多いため、ケーブルの長さに制限があります。パラレルインタフェースの代表的なもののひとつが「セントロニクス」です。
（→セントロニクス）
（→設置ガイド）

ビットマップフォント

１つの文字を点の集合で表したフォントのことです。ビットマップフォントは拡大率（文字サイズ）に応じてパターンが必要で、拡大率に制限があります。グラフィックセット、文字ピッチ、文字サイズ、文字スタイル、文字太さ、書体（これらを属性と呼ぶ）の組み合わせ方によっていろいろなフォントになります。

描画メモリ

ファインモード（600dpi）のプリント時に必要な描画用のメモリの容量です。印字動作を「画質優先」に設定すると、システムワークメモリや受信バッファ用のメモリを自動調整し、入力データに依存せずに600dpiの処理が可能になります。ただし、確保できる描画メモリ（印字保証サイズ）の容量は、取り付けられている拡張 RAM の容量で変わります。
（→ LIPS 機能ガイド）

ファインモード

画像データや写真イメージデータを高品位なデータ処理解像度600dpiで出力するモードです。

フォームキャッシュメモリ

オーバレイに使用するフォーム画像を保持するためのメモリ領域です。
(→オーバレイ、拡張RAM、描画メモリ、受信バッファ、システムワークメモリ)

フォント

印字する文字や数字やシンボルの集合のことをフォントと呼びます。1つのフォントでは文字やシンボルは同じデザインとなっていますが、フォントごとに文字のデザインが異なり、このデザインのことを書体と呼びます。和文フォントには明朝体やゴシック体、欧文フォントにはDutch、Courierなどの種類があります。また、文字を表すデータの違いでビットマップフォントとスケーラブルフォントがあります。
本プリンタは、明朝体、角ゴシック体、丸ゴシック体(LBP-2360のみ)、ラインプリンタボールド、ガーランド、Courier、Dutch、Swiss、Symbolのスケーラブルフォントを標準で内蔵しています。
(→ビットマップフォント、スケーラブルフォント)

フラッシュメモリ

オプションのフォントやオーバレイなどをダウンロードするためのオプションメモリです。
(→付録「オプションについて」P.253)
(→オプションROM)

プリンタドライバ

アプリケーションソフトで作成したデータをプリンタが受け付けるデータに変換するためのソフトウェアです。通常、接続したプリンタ用のプリンタドライバをOSに組み込んで使用します。お使いのプリンタに対応したプリンタドライバがないと、アプリケーションソフトから正しくプリントできません。本プリンタには、Windows用およびMacintosh用プリンタドライバ(LIPS IV)が付属しており、単にデータの変換だけでなく、プリンタの各種機能の設定ができます。
(→LIPSソフトウェアガイド)

メニュー機能

本プリンタ の動作モードや各種機能を設定するための機能です。操作パネルのキーやユーティリティソフト「NetSpot」から設定できます。
(→LIPSソフトウェアガイド)
(→LIPS機能ガイド)

優先エミュレーション

動作モードを自動切り替えに設定して使用中に、受信したデータの解析ができなかったときに優先的に選択される動作モードです。本プリンタの工場出荷時の設定はESC/Pモードになっています。オプションのコントロールROMを取り付けると、コントロールROMのエミュレーションモードに変更できます。
(→動作モード)

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

付録

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

付録

付録

設置サービスのご案内

本プリンタの設置は、設置ガイドおよびユーザーズガイドをご一読いただくことで簡単に行えますが、設置について不安な場合、遠隔地に設置をご希望される場合には、専門のサービスマンが設置を有償で行います。本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。
また、本プリンタに7ビンソータ用ペディスタルと7ビンソータを組み合わせて使用する場合、およびペーパーデッキや本プリンタ専用ペディスタルを取り付けて使用する場合は、専門のサービスマンが設置します。ご購入の際は、本プリンタをお買い求めの販売店に設置を依頼してください。お客様による設置はできません。

無償保証について

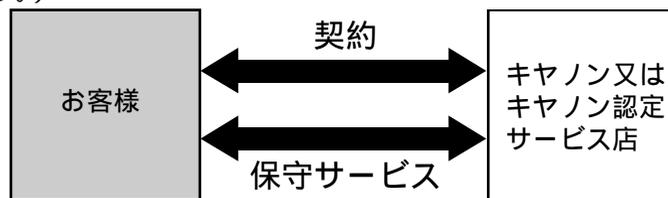
・本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。
・定期交換部品は無償保証の対象外となります。定期交換部品については、「定期交換部品のご案内」（**→ P.278**）をご覧ください。
・無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保守契約制度のご案内

ご購入製品をいつまでもベストの状態で
ご使用いただくために

このたびはレーザショットプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザショットプリンタの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ便利でお得な当制度に是非ともご加入いただき、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機械は精密機器です。この機械は大切な情報の計算、記録、保管、伝達等の目的でご購入いただいております。万一にでも、思いがけないトラブルが発生した場合、お仕事の上に時間的なロス等の不便が生じます。そこでトラブルが起こってからではなく、トラブルを未然に防ぐために日頃の専門的な「手入れ」が必要になります。この「手入れ」をキヤノンでは保守契約制度で完全に実施いたします。また、万一のトラブルにも「サービスエンジニア」が修理にあたる万全の体制を備えています。

＊保守契約制度は、キヤノン製品を安心してお使いいただくために設けたお客様のための制度です。
＊トナーカートリッジ、などの消耗品は保守契約の対象外です。

本製品には、無償保証期間後の保守契約制度として、A 方式（定期交換部品代金を含まない方式）とB方式（定期交換部品代金を含む方式）を用意しています。本保守契約制度にご加入いただきますと、ただちに「お客様用カルテ」を作成し、コンピュータに登録を行い、ご愛用品の「健康管理」を開始いたします。

キヤノン保守契約制度の内容およびメリット

内　容	メリット
●定期点検の実施 キヤノン認定のサービスエンジニアが定期的に機械の保守点検を実施します。	トラブルの発生を未然に防止することで、製品の信頼性を高め、更に製品の寿命も伸びます。
●優先サービス 万一トラブルが発生した場合には、最優先のサービスが受けられます。	トラブル時の業務停止時間を最小限に押さえます。
●保守契約料金は一定 保守契約料金は契約時に定額を支払うだけです。	サービス費用の予算がたてやすく、また事務の簡素化が計れます。
●修理料金は無料 保守契約料金には定期点検と偶発的に発生したトラブル時の訪問料金、部品代、技術料等いっさいを含んでおります。（B方式）	契約期間中に発生したトラブルは、その内容や回数にかかわらず無料です。（B方式） （但し天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）
●スポット料金より割安 トラブルの内容により保守契約料金より１回のスポット料金の方が高い場合もあります。	スポット料金より年間維持経費は大巾に割安になります。
●定期交換部品の交換料金は無料 （A方式は部品代のみ有償） 本プリンタでは、定着ユニット、中間転写体ユニット、オゾンフィルタなどの定期交換を行います。	契約期間中に定期交換が発生した場合は、その内容や回数にかかわらず無料です。 （但し、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。）

購入時契約のおすすめ

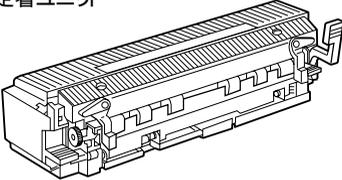
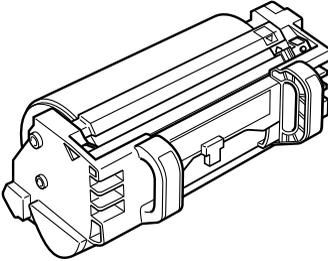
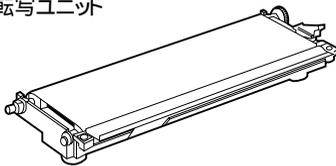
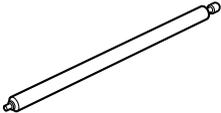
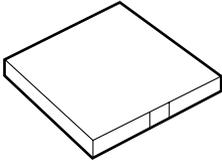
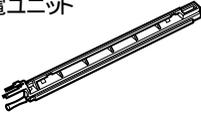
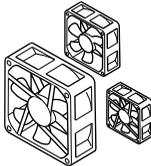
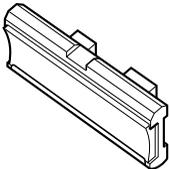
ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

定期交換部品のご案内

定着ユニットを始め、本プリンタでは、定期交換部品として以下のものが用意されています。定期交換部品の交換は専門のサービスマンが行います。お客様での交換はできませんので、本プリンタをお買い求めの販売店などへ依頼してください。
サービスマンが定期交換部品を交換した場合には、部品代と技術料、訪問料金が別途必要となります。（定期交換部品交換作業も含んだ保守契約制度も用意していますので、お買い求めの販売店にご相談ください。）
トナーカートリッジなどの消耗品は、保守契約の対象外です。

●定期交換部品は、以下の表の記載を目安に交換してください。ただし、プリンタの設置環境やプリントする用紙サイズにより、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります.

定期交換部品	交換の目安	用途
定着ユニット	50,000ページ （A4横片面、1枚毎に印刷） 100,000ページ（A4横片面、連続印刷）	トナーを用紙に定着させるためのユニットです。寿命を過ぎると、画像不良や用紙のしわの原因となります。
中間転写体ユニット	37,500～75,000ページ（A4横片面）	トナーを感光ドラムから中間転写体ドラムに転写（一次転写）するユニットです。寿命を過ぎると、画像不良の原因となります。
転写ユニット	37,500～75,000ページ（A4横片面）	中間転写体ドラムからトナーを用紙へ転写（二次転写）するためのユニットです。寿命を過ぎると、画像不良の原因となります。

定期交換部品	交換の目安	用途
クリーニングローラ	75,000～150,000ページ／A4横片面	中間転写体をきれいにするローラです。寿命を過ぎると、クリーニング不良の原因となります。
オゾンフィルタ	75,000～300,000ページ（A4横片面／カラー／白黒）	オゾンを吸着するためのフィルタです。
分離除電ユニット	150,000ページ／A4横片面	画像の乱れを防ぐ部品です。寿命を過ぎると、画像不良の原因となります。
ファン	3万時間（80角、120角）	本体内部を冷却するためのファンです。寿命を過ぎると、異音や回転不良の原因となります。
上段／下段カセット用給紙ローラ	150,000ページ	用紙を給紙するためのローラです。
MP給紙ローラ	200,000ページ	用紙を給紙するためのローラです。
分離パッド	200,000ページ	用紙の重送を防ぐためのパッドです。
2,000枚ペーパーデッキ用給紙ローラ	150,000ページ	オプションの2,000枚ペーパーデッキの用紙を給紙するためのローラです。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot、PageComposer は、キヤノン株式会社の商標です。
LASER SHOT、MaxiMem、TypeWing は、キヤノン株式会社の登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
Apple、AppleTalk、EtherTalk、Macintosh、TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
AT、IBM、PowerPC、PS/55 シリーズ、PS/V シリーズは、米国 International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
NetWare、Novell は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。
Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。
NetHawk は新潟キヤノテック株式会社の商標です。
ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
Unix は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

下記の書体は米国ビットストリーム社よりライセンスを受けています。
Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol

Century 702 Century Schoolbook, Century 702 Century Schoolbook Bold, Century 702 Century Schoolbook Bold Italic, Century 702 Century Schoolbook Italic, Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, ITC ZapfDingbats, Revival 711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique, Swiss 721 Narrow Oblique, Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Humanist 601, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Italic

下記の書体名は米国ビットストリーム社の商標です。
Dutch 801, Swiss 721
下記の書体名は米国インターナショナルタイプフェイス社の商標です。
ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。
本プリンタで使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

付録

Canon

■■■■■■■■■ ソフトウェアのバージョンアップについて ■■■■■■■■■

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容についてご了解いただいたものとさせていただきます。

■ 情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

❑ キヤノンFAX情報サービス

札幌（011）728-0485　秋田（018）826-0441　仙台（022）211-5730　東京（03）3455-5962
名古屋（052）936-0758　大阪（06）4795-9011　広島（082）240-6729　高松（087）826-1621
福岡（092）411-9510

音声メッセージにしたがって操作をしてください。

ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。

情報BOX番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASER SHOT】インフォメーション」内に掲載されています。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

■ ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

❑ キヤノン販売ホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）

キヤノン販売ホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

❑ @niftyキヤノンステーション（http://www.nifty.com）

@niftyアクセス後、キヤノンステーションへのGOコマンド「SCANON」を入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ･ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@niftyで予め入会の手続きをお取りください。

❑ CD-ROM・FDの郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアのCD-ROMもしくはFDを郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額はFＡＸ情報サービス、キヤノン販売ホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418

口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

・「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
・「払込住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
・お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
・お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
・ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FDのメディアが異なります。

お客様ご相談窓口について

COLOR LASER SHOT LBP-2360/2300の取り扱い方法、消耗品などのお問い合わせ、および修理サービスについてのご相談は、お買い上げの販売店または下記の窓口にご相談ください。

■ 製品取り扱い方法ご相談窓口

技術的なご質問・お取り扱い方法については、下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター　全国共通電話番号　　キヤノンお客様サポートネット

TEL 0570-01-9000 <該当番号：42>*1

全国6４ヶ所の最寄りのサービス拠点までの通話料金のみで製品に関するご質問に電話でお答えします。
なお、携帯電話等をご使用の場合は、（043）211-9627をご利用ください。

上記窓口の受付時間*2は以下のとおりです。
月曜～金曜（祝日を除く）：9:00～12:00、13:00～18:00、19:00～21:00
土、日、祝日（1/1～1/3は休み）：10:00～12:00、13:00～17:00

*1 該当番号は予告なく変更することがあります。音声メッセージに従って該当番号を選択してください。
*2 受付時間は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■ 消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。

■ 修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。ご不明な場合は、上記**お客様相談センター**までご相談ください。

パターンチャート A の保管について

パターンチャートAが汚れたり、色褪せてきた場合は正確なキャリブレーションを行うことができません。パターンチャートAをお使いになった後は、二つ折りにして下のポケットに入れて保管してください。
使用上の注意については、CD-ROMの［CALIB］フォルダに格納されているPDFマニュアルをご覧ください。
パターンチャートAの使用方法については、「LIPSソフトウェアガイド」をご覧ください。